

年 報

(第29卷)

2024年



社会医療法人 仙養会 北摂総合病院

巻頭のことは

2024 年度（令和 6 年度）は行動指針を「Very Best Hospital を目指して、途中困難最後必勝」と定めて活動を行ってまいりました。それは、2024 年度は 2023 年度に引き続き、コロナ感染による様々な影響で病院運営は大変厳しくなると予想されたからです。世間ではコロナ感染は徐々に沈静化の気配にありましたが、病院運営においては大きな影響を受け続けていました。院内感染におけるクラスターの発生や実働看護師の不足により病床を制限しながらの運用を余儀なくされました。認可病床 217 床がフルに使用できるようになったのは、実に半年後の 2024 年 10 月からでした。その結果、2024 年度は病院開院以来の記録的な赤字決算となりました。稼動病床が最低 144 床まで制限せざるを得なかった 2023 年と比較すると医業収益は大きく増収となりましたが、それでも高騰する人件費や物価を賄うだけの医業収益を確保できなかったことがその要因と考えられました。

2024 年度は診療報酬の改定が行われた年です。少子高齢化社会を見越して様々な改定が行われましたが、当院にとりましても重大な選択を迫られることになりました。当院は 217 床の稼動病床のうち 14 床は HCU、残りの 203 床を急性期入院基本料 1 として運営してきましたが、増加する高齢者救急に対応するため 6 階病棟（旧呼吸器病棟）を地域包括医療病棟へ変更。さらに地域の人々の健康管理と入院前から入院時、入院後に発生する様々な患者サービスを一元化する目的で「患者サポートセンター」を立ち上げ活動を開始しました。当院が位置する高槻市南圏域は高槻市の中でも特に高齢化が進んだ地域です。今後、少子高齢化が急速に進行する我が国において、今回の当院が行なった病院運営における体制の変更は重要な決断だったと考えています。コロナ感染により病院運営に大きな影響を受けたことは事実ですが、現在医療界が直面するものは、コロナ感染の陰で、静かに進行する少子高齢化による様々な問題なのです。増大し続ける高齢者の医療・介護需要と、それに対して医療や介護に関わる人材不足は避けることのできない問題です。

このような厳しい現実の中でも、皆様のご協力、ご支援のお蔭を持ちまして令和 6 年度も病院運営を全うすることができました。ありがとうございました。ここに令和 6 年度の活動を年報としてまとめました。ご覧いただき皆様方の忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。私たちの活動を様々な場面でご支援、ご協力いただいておりますことに心より感謝し、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025 年 7 月

理事長 木野 昌也

目 次

巻頭のことば

I. 現 況

1. 病院沿革	1 ～ 5
2. 病院概要	6 ～ 8
3. 病院組織	9 ～ 12
4. 医療体制	13 ～ 17
登録医名簿	18 ～ 30
5. 職員構成	31
6. 医療環境	32 ～ 34

II. 患者の状況

1. 外来	(1) 外来延べ患者数の推移	35
	(2) 科別 外来患者構成比の推移	35
	(3) 新来患者数・紹介患者数の推移	36
	(4) 月別 診療科別平均通院回数	37 ～ 38
	(5) 地域別 外来患者構成比	39
	(6) 年齢別・男女別 外来患者構成比	40
	(7) コールセンター実績	41
	(8) 外来診療予約率	42
	(9) 外来診療待ち時間調査結果	43
2. 入院	(1) 在院患者延べ数の推移	44
	(2) 科別 入院患者構成比の推移	44
	(3) 新入院患者数・紹介患者数の推移	45
	(4) 1日平均在院数・平均在院日数の推移	45
	(5) 地域別 入院患者構成比	46
	(6) 年齢別・男女別 入院患者構成比	47
3. 時間外・救急	(1) 時間外・救急患者数	48
	(2) 月別・科別・入外別 救急車搬入数	48 ～ 49
	(3) 消防署別・入外別 救急車搬入数	49
4. 病歴統計	(1) 死亡患者数【ICD-10 大分類 科別】	50
	(2) 退院患者 ICD-10 大分類統計【科別】	51 ～ 52
	(3) 退院患者 ICD-10 大分類統計【在院日数別】	53 ～ 54
	(4) 退院患者 ICD-10 大分類統計【年齢別】	55 ～ 56
	(5) 退院患者 ICD-10 大分類・中分類統計【科別】	57 ～ 67
	(6) DPC 診断群分類別 退院患者入院期間構成比	68 ～ 75
	(7) 退院患者クリニカルパス（電子パス）使用件数	76
	(8) 臨床評価指標	77
5. アンケート調査結果	(1) 外来患者満足度	78
	(2) 入院患者満足度	79 ～ 80

Ⅲ. 診療活動等の状況

1-1. 2024 年度 理事長活動報告	81 ~ 82
1-2. 2024 年度 病院長 院外活動報告	83 ~ 84
2-1. 循環器科	85 ~ 88
2-2. 消化器内科・血液内科	89 ~ 98
2-3. 呼吸器内科	99 ~ 100
2-4. 糖尿病・内分泌内科	101 ~ 103
2-5. 総合内科	104 ~ 105
2-6. 内科症例検討会	106
3. 小児科	107 ~ 108
4. 一般・消化器外科	109 ~ 110
5. 呼吸器外科	111
6. 心臓血管外科	111
7. 整形外科	112 ~ 115
8. 婦人科	116 ~ 117
9. 眼科	118 ~ 120
10. 皮膚科	121 ~ 122
11. 泌尿器科	123
12. 救急診療科	124 ~ 125
13. 放射線科	126
14. 麻酔科	127
15. 病理診断科	128 ~ 129
16. 血液浄化療法科	130
17. 健診科	130
18. 診療部医薬品勉強会	131
19. 地域研修実績	132 ~ 133
20. 卒後臨床研修実績	134 ~ 135
21. 看護部	(1) 北摂ラダー・教育の実績 136 ~ 137
	(2) 認定看護師取得状況と活動実績 137 ~ 165
	(3) 院内研修一覧 166 ~ 170
	(4) 院外研修出張一覧 171 ~ 173
	(5) 活動実績と看護学生臨床実習受け入れ実績 174
22. 中央手術センター	(1) 科別・術式別（手術室）手術件数 175 ~ 201
	(2) 科別麻酔手技別件数 201
23. 内視鏡センター	内視鏡的検査及び処置・手術件数（月別・手技別） 202
24. カテーテル治療センター	月別検査・治療件数 203
25. 薬剤科	(1) 処方箋枚数・剤数及び薬剤管理指導件数 204
	(2) 採用・削除医薬品集計 205
	(3) 実務実習受入れ実績 205
	(4) 学会発表・学術研修会参加実績 206
	(5) 院内研修会開催実績 207
	(6) 薬剤科内研修実績 207

26. 放射線科	(1) 年間活動報告	208 ~ 209
	(2) 月別 検査件数	210 ~ 212
27. 臨床検査科	(1) 年間活動報告	213 ~ 218
	(2) 月別 検体検査件数	219
	(3) 月別 その他検査件数	219
	(4) 月別 生理機能検査件数	220 ~ 221
	(5) 眼科機器別検査件数	221
	(6) 臨床検査科設置主要機器一覧	222 ~ 223
28. 臨床工学科	(1) 業務	224
	(2) 医療機器 安全管理体制	224 ~ 226
	(3) 血液浄化室業務	227
	(4) 人工呼吸器業務	228
	(5) カテーテル治療センター業務	228
	(6) ペースメーカ業務	229
	(7) 内視鏡センター業務	229 ~ 230
	(8) 研修・学会活動 等	231
29. リハビリテーション科	(1) 施設基準 等	232
	(2) 認定資格	232 ~ 233
	(3) 学術集会・研究会・勉強会等 参加実績	233 ~ 234
	(4) 実習生受け入れ実績	234
	(5) 月別・理学療法実績	235
30. 地域医療連携室	(1) 市町村別 登録医届出数	236
	(2) 登録医新規届出数	236
	(3) 紹介患者総数	236
	(4) 登録医紹介患者数	236
	(5) 登録医回診数	237
	(6) 介護・福祉施設・その他医療機関からの紹介患者数	237
	(7) 逆紹介数	237
	(8) MSW 業務実績	237 ~ 238
	(9) 登録医向け情報誌「Link」発刊実績	239
	(10) 登録医会議・懇親会	240
31. 健康事業室	(1) ドック種別・月別 受検者数	241
	(2) 人間ドック結果要精密検査数	241
	(3) ドック種別 個人負担別受検者数	242
32. 栄養科		243
33. 医療秘書係		244
34. 訪問看護ステーション	(1) 利用状況	245
	(2) 実習受け入れ状況	245
	(3) 地域活動	246
	(4) 院内外活動	246

35. ケアプランセンター	(1) 居宅介護支援・委託業務実績	247
	(2) 地域活動マネジメント（地域住民対象）	247
	(3) 地域役員・地域ケア会議参加実績	247
	(4) 実習受入実績	248
36. 各種委員会活動	(1) 医療安全対策室／医療安全管理委員会	249～252
	(2) クリニカルパス委員会	253～256
	(3) 院内学会運営委員会	257～258
	(4) 感染防止対策室・院内感染対策委員会	259～266
	(5) 薬事審議会	267～271
	(6) 救急委員会	272
	(7) 褥瘡対策委員会	273～274
	(8) 労働安全衛生委員会	275
	(9) 臨床検査管理運営委員会	276～278
	(10) 輸血管理委員会	279～283
	(11) 治験審査委員会	284
	(12) 職員教育研修委員会	285～286
	(13) 病床・ICU 運営管理委員会	287～290
	(14) 地域医療支援病院運営委員会	291～292
	(15) がん治療・化学療法委員会・緩和ケア委員会及びレジメン管理委員会	293～298
	(16) 診療録管理（監査）委員会	299～300
	(17) 診療報酬適正化委員会	301～303
	(18) 栄養委員会	304～308
	(19) 診療材料委員会	309～311
	(20) 病院情報管理運営委員会	312
	(21) 勤務医及び看護職員負担軽減・処遇改善委員会	313
	(22) FLS 委員会	314
	(23) 患者サポートセンター	315
37. 学会実績報告 各種学会・論文・講演会等実績		316
38. 病院見学等受入実績		317
39. 国際医学医療研修受入実績		317
40. 信条学習会		318
41. 病院機関誌「ほくせつ」		319
42. 奉仕活動	(1) 出前健康教室の実績	320
	(2) 献血奉仕活動	321
	(3) 「小さな親切」運動	321
43. 院内コンサート		322～323
44. ホームページ閲覧件数		324～325



I. 現 況

1. 病院沿革

1965年 4月	医療法人仙養会 北摂病院開設 認可病床数 80 床 初代病院長・理事長 芳川 仙作 標榜診療科目 内科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・泌尿器科
1967年 6月	理事長に木野 猛 就任
1967年10月	認可病床 22 床増床、102 床 標榜診療科目に整形外科・産婦人科を追加
1968年 5月	総合病院の承認
1969年 4月	院内保育所を開設（大阪府下で第 1 号）
1970年 3月	看護学生寮完成 看護学生 36 名が入寮
1971年 4月	高槻市医師会准看護学院、実習受入れ開始
1971年 7月	認可病床 55 床増床、157 床
1971年 9月	職員の誕生祝い開始
1971年10月	病院情報誌「ほくせつ」新聞創刊
1973年 8月	認可病床 26 床増床、183 床
1975年 4月	創立 10 周年記念行事
1977年 1月	「親切係」制度開始
1978年 4月	認可病床 18 床増床、201 床
1981年 4月	医事コンピュータ導入
1981年10月	認可病床 16 床増床、217 床
1983年 9月	初代院長 芳川 仙作 死去 2 代目病院長に芳川 浩男 就任
1985年 4月	20 周年記念行事
1985年11月	（財）大阪府三島救命救急センターが開設され、初代院長 芳川 仙作 祈念成就
1986年 3月	3 代目病院長に木野 昌也 就任（現理事長）
1988年 3月	院長回診へコメディカルの同行開始
1988年 7月	C I マーク制定
1988年 8月	院内ビデオ放送開始
1989年 4月	心臓血管造影・腹部血管造影検査開始
1989年 6月	院内 F A X 網の整備 日本病院学会への演題発表開始
1990年10月	再来自動受付システムのオンライン稼動開始
1990年12月	Q C サークル活動開始
1991年 2月	京都銀行 A T M が病院玄関に設置
1991年 3月	人工透析開始
1993年 3月	医薬分業（完全型）実施
1994年 4月	病院の基本姿勢（患者の権利憲章）制定
1994年 5月	患者満足度アンケート調査開始
1994年 7月	病院機能評価（医療の質に関する研究会）受審
1995年 8月	リハビリテーション（理学療法施設基準Ⅱ）の開始
1995年11月	30 周年記念事業（たかつき京都ホテル）
1997年 4月	年間行動計画（事業計画）による病院運営開始
1997年 6月	地域医療連絡室の設置
1997年 8月	開放型病院の承認
1997年 9月	第 1 回北摂病院 登録医会議 / 懇親会 開催

1997年 9月	北摂病院「年報」の発刊開始（第1巻 1996年度版）
1997年10月	開放型病院登録医数 100 名を超える
1997年11月	訪問看護サービスの開始
1998年 4月	医療法改正で総合病院の名称独占廃止 病歴室を設置
1998年 6月	開放型病院登録医数 150 名を超える クリニカルパス委員会の設置
1998年 9月	登録医用「病診連携プレート」の制定
1999年 1月	ご意見箱の設置 医療事故防止対策委員会の設置
1999年 3月	治験審査委員会の設置 開放型病院登録医数 250 名を超える
1999年 4月	登録医向け月刊情報誌「Link」創刊
1999年 5月	登録医紹介患者搬送サービス開始
1999年 7月	第1回院内クリニカルパス大会開催
1999年 9月	訪問看護ステーション開設
1999年10月	Home Page 公開
1999年12月	救急告示指定を受ける
2000年 2月	病院名称変更 北摂病院から「北摂総合病院」へ
2000年 3月	ケアプランセンター開設
2000年 4月	200 床以上の病院の初診の特定療養費徴収開始 地域医療連絡室から「地域医療連携室」へ名称変更
2000年 5月	外来 Information の刷新
2000年 6月	国際内科を開設
2000年 8月	Hokusetsu Doctor's Site 稼動
2000年11月	リスクマネージャーの設置
2001年 1月	第1回米国病院視察研修の実施
2001年 4月	脳神経外科・呼吸器外科・放射線科の標榜 高階国際クリニック（淀川区）開設 委員会・会議の再編
2001年 6月	病院機能評価（一般病院B）の受審
2001年 7月	MRI（GE 社製 1.5 テスラ）の稼動開始
2001年 9月	第5回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催 Hokusetsu Doctor's Site の画像レポート機能付加とインターネット公開
2001年11月	一群一般病棟入院診療基本料 I 及び急性期病院加算の承認を受ける
2002年 4月	200 床以上の病院の再診の特定療養費徴収開始
2002年 7月	麻酔科の標榜
2002年 8月	財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価（一般病院B）認定を受ける
2002年 9月	第6回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2003年 9月	第7回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2003年10月	厚生労働省より「管理型 臨床研修病院」の指定を受ける
2003年12月	第15回 QC 大会開催（茨木市民会館内ドリームホール） 病院新築計画発表
2004年 4月	卒後臨床研修医の研修開始

2004年 9月	第 8 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2004年12月	第 16 回 QC 大会開催 (茨木市福祉文化会館文化ホール)
2005年 9月	第 9 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2005年12月	第 17 回 QC 大会開催 (茨木市福祉文化会館文化ホール)
2006年 4月	Vision、Mission、Strategy 刷新 DPC 準備病院となる
2006年 5月	病院新築移転 PET-CT (GE 社) の稼動開始 CT (GE 社 16 列) の稼動開始 病院情報システム (亀田医療情報研究所社、ドリームアクセス社) の稼動開始 (フィルムレス・完全ペーパーレス化) グループウェア (コメディクス社) の稼動開始
2006年 9月	第 10 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2006年12月	透視装置 (TOSHIBA 社) の機器更新
2007年 1月	血管造影装置 (PHILIPS 社) の機器更新
2007年 3月	第 18 回 QC 大会開催 (北摂総合病院 3 階多目的ホール) 標榜診療科に循環器科を追加
2007年 7月	病院機能評価更新 (Ver.5) (財団法人日本医療機能評価機構)
2007年 9月	第 11 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会 VHJ 研究会・機構加入
2007年11月	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.5 認定
2008年 2月	第 19 回 QC 大会開催 (北摂総合病院 3 階多目的ホール)
2008年 3月	DPC 対象病院となる
2008年 7月	CT (GE 社 64 列) の稼動開始
2008年 9月	第 12 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会
2008年11月	地域医療支援病院の承認 (大阪府)
2009年 1月	QC 大会を発展的に解消し第 1 回院内学会開催 (高槻現代劇場)
2009年 3月	大阪ガス「もっと Save」エネルギー監視システム導入
2009年 4月	大阪府がん診療拠点病院の指定 (大阪府)
2009年 9月	第 13 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会 医療秘書科の設置
2010年 1月	第 2 回院内学会開催 (高槻現代劇場)
2010年 9月	第 14 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会
2011年 1月	第 3 回院内学会開催 (高槻現代劇場)
2011年 3月	3 階屋上緑化 (癒しの庭) 完成 (大阪府みどりの基金)
2011年 4月	東北地方太平洋沖地震で被害のあった岩手県大槌町で医療支援活動実施
2011年 9月	第 15 回登録医会議 / 懇親会
2012年 1月	第 4 回院内学会開催 (高槻現代劇場)
2012年 2月	第 1 回 緩和ケア研修会開催 (高槻市生涯学習センター)
2012年 7月	病院機能評価更新 (Ver.6) (財団法人日本医療機能評価機構)
2012年 9月	第 16 回登録医会議 / 懇親会
2012年11月	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.6 認定
2013年 1月	第 5 回院内学会開催 (高槻現代劇場)
2013年 9月	第 17 回登録医会議 / 懇親会

2014年 1月	2代目理事長 木野 猛 死去 3代目理事長に木野 昌也 就任 第6回院内学会開催（高槻現代劇場）
2014年 2月	病院情報システム（亀田医療情報株式会社・富士フィルム IT ソリューションズ） ハードリプレイス
2014年 7月	7対1看護配置基準 取得
2014年 9月	第18回登録医会議 / 懇親会
2014年12月	骨塩定量装置（GE 社）の稼動開始
2015年 1月	第7回院内学会開催（茨木福祉文化ホール）
2015年 4月	MR I（SIEMENS 社 3テスラ）の稼動開始
2015年 8月	第1回 多職種連携の会 開催
2015年 9月	50周年記念講演 並びに記念式典（ヒルトン大阪） 透視装置（HITACHI 社）の機器更新
2015年10月	第2回 多職種連携の会 開催
2016年 1月	第8回院内学会開催（茨木福祉文化ホール）、50周年記念祝賀会（グランヴィア大阪） 院内売店リニューアル
2016年 2月	おおさかストップ温暖化賞 優秀賞受賞（資材・施設課）
2016年 6月	第3回 多職種連携の会 開催
2016年 7月	社会医療法人に認定
2016年 8月	フルデジタル乳房 X 線撮影装置、泌尿器検査・処置用 X 線透視テーブルシステム、 一般撮影装置 FPD（フラットパネルディテクタ）導入
2016年 9月	第19回登録医会議 / 懇親会
2016年10月	第4回 多職種連携の会 開催
2017年 1月	第9回 院内学会開催（高槻現代劇場大ホール）
2017年 2月	病院機能評価更新（3rdG:Ver.1.1）（財団法人日本医療機能評価機構）
2017年 3月	第5回 多職種連携の会 開催
2017年 4月	標榜診療科に心臓血管外科を追加
2017年 6月	日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG:Ver1.1 認定 第6回 多職種連携の会 開催
2017年 9月	第20回 登録医会議 / 懇親会
2017年10月	VHJ 研究会 第28回 職員交流研修会（当院主幹）
2017年11月	第7回 多職種連携の会 開催
2018年 1月	第10回 院内学会開催（毎日新聞オーバルホール）
2018年 3月	第8回 多職種連携の会 開催 緩和ケア研修会開催（高槻市生涯学習センター）
2018年 4月	近隣コミュニティセンターでの出前健康教室開始
2018年 5月	呼吸器センター開設
2018年 6月	第9回 多職種連携の会 開催
2018年 9月	第21回 登録医会議 / 懇親会
2018年10月	第10回 多職種連携の会 開催
2019年 1月	第11回 院内学会開催（毎日新聞オーバルホール）
2019年 2月	病院ホームページリニューアル
2019年 3月	第11回 多職種連携の会 開催
2019年 4月	高槻市営バス 北柳川町（北摂総合病院前）停留所新設
2019年 7月	第12回 多職種連携の会 開催

2019年 9月	第 22 回 登録医会議 / 懇親会 開催
2020年 1月	第 12 回 院内学会開催 (毎日新聞オーバルホール)
2020年 2月	第 14 回 多職種連携の会 開催 (第 13 回は中止)
2020年 3月	仙養会 高階国際クリニック 閉院 新型コロナウイルス感染対策本部設置 (2 月より帰国者・接触者外来開始)
2020年 4月	小林病院長代理が病院長就任 発熱外来開設・稼働開始
2020年 6月	高槻市地域外来検査センターの稼働開始
2020年 8月	標榜診療科に病理診断科を追加
2020年10月	標榜診療科を産婦人科から婦人科へ変更
2021年 1月	病院情報システム (亀田医療情報株式会社・富士フィルムメディカル IT ソリューションズ 他) ハード・ソフトリプレイス CT 装置更新 (SIEMENS 社 2 管球 CT) 新型コロナ協力医療機関 (最大 2 床) 申請
2021年 2月	新型コロナ重点医療機関 (最大 5 床) 申請
2021年 5月	新型コロナ重点医療機関 (最大 9 床) 申請
2021年 7月	新型コロナ中等症重症一体化病院② (重症 2 床、軽中等症 7 床) 申請
2021年 9月	第 23 回 登録医会議 開催 (WEB 開催)
2021年11月	新型コロナ中等症重症一体化病院② (重症 2 床、軽中等症 9 床) 申請
2021年12月	血管造影装置 (PHILIPS 社) の機器更新
2022年 1月	第 13 回 院内学会開催 (病院内 WEB + 集合)
2022年 6月	新型コロナ中等症・重症病院 (重症 2 床、軽中等症 9 床) 移行
2022年 7月	新型コロナ中等症・重症病院 (重症 2 床、軽中等症 10 床) 申請
2022年 9月	第 24 回 登録医会議 開催 (グランヴィア大阪)
2023年 1月	第 14 回 院内学会開催 (病院内 WEB + 集合)
2023年 2月	学校法人藍野大学と包括連携協定締結 緩和ケア研修会 開催 (多目的ホール) 第 15 回 多職種連携の会 開催
2023年 5月	病院機能評価更新審査 (3rdG:Ver.2.0) (財団法人日本医療機能評価機構)
2023年 6月	第 16 回多職種連携の会 開催
2023年 8月	日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG:Ver.2.0 認定
2023年 9月	第 25 回登録医会議 開催 (グランヴィア大阪)
2023年10月	第 17 回多職種連携の会 開催
2023年12月	JCEP (NPO 法人卒後臨床研修評価機構) 受審
2024年 1月	緩和ケア研修会 開催 (多目的ホール) 第 15 回院内学会、職員親睦会開催 (毎日新聞オーバルホール他)
2024年 3月	第 18 回多職種連携の会 開催 改正感染症法に基づく 感染症医療措置協定 締結
2024年 6月	第 19 回多職種連携の会 開催
2024年 9月	第 26 回登録医会議 開催 (グランヴィア大阪)
2024年10月	第 20 回多職種連携の会 開催
2024年11月	地域包括医療病棟 (47 床) 届出、病棟名称の変更 患者サポートセンター設置・運営開始
2025年 1月	第 16 回院内学会、職員親睦会開催 (毎日新聞オーバルホール他)
2025年 2月	第 21 回多職種連携の会 開催

2. 病院概要

(令和6年4月1日現在)

1. 病 院 名 社会医療法人仙養会 北摂総合病院
2. 開 設 者 社会医療法人仙養会 理事長 木野 昌也
3. 管 理 者 病院長 小林 一朗
4. 所 在 地 大阪府高槻市北柳川町 6-24 (〒 569-8585)
5. 標 榜 科 目 内科、循環器科、心臓血管外科、小児科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、病理診断科、麻酔科
6. 診 療 科 目 循環器科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、総合内科、血液内科、脳神経内科、心臓血管外科、小児科、一般消化器外科、乳腺外科、脳神経外科、呼吸器外科、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、病理診断科
7. 病 院 開 設 1965 年
8. 病 院 種 別 地域医療支援病院、大阪府がん診療拠点病院、基幹型臨床研修指定病院
9. 認 可 病 床 217 床 (HCU14 + 一般 203)
10. 診 療 指 定 医療保険、国民健康保険、結核予防法、公害健康被害補償法、生活保護法、身体障害者福祉法、児童福祉法、戦傷病者特別援護法、原爆被爆者医療、母子保険法、大阪府特定疾患、大阪府小児特定疾患、高槻市一般健康審査、高槻市乳癌・子宮癌・肺癌検診、他
11. 救 急 医 療 救急告示病院 (内科、循環器科、外科、整形外科、小児科 (火))
12. 教 育 施 設 大阪医科薬科大学、高槻市医師会看護学校、宝塚大学看護学科、藍野大学看護学科、藍野大学短期大学部第一看護学科、大阪医療看護専門学校、大阪保健福祉専門学校看護科、大阪府病院協会看護専門学校、梅花女子大学看護保健学部看護学科、藍野大学理学療法学科、大阪河崎リハビリテーション大学理学療法学科、東洋医療専門学校 他
13. 学 会 認 定 等 財団法人日本医療機能評価機構 病院機能評価 3rdG:Ver.2.0 認定病院
大阪府肝炎専門医療機関
日本内科学会認定医制度教育関連病院 (日本内科学会)
日本消化器病学会認定医制度認定施設 (日本消化器病学会)
日本消化器内視鏡学会認定指導施設 (日本消化器内視鏡学会)
日本循環器専門医研修施設 (日本循環器病学会)
日本小児科学会認定医制度研修施設 (日本小児科学会)
日本小児科専門医研修施設 (日本小児科学会)
日本外科学会認定医制度修練施設 (日本外科学会)
日本大腸肛門病学会専門医修練施設 (日本大腸肛門学会)
日本脳神経外科学会専門医認定指定訓練場所 (日本脳神経外科学会)
呼吸器外科専門研修連携施設 (呼吸器外科専門医合同委員会)
日本呼吸器学会認定施設 (日本呼吸器学会)
日本整形外科学会認定医制度研修施設 (日本整形外科学会)
日本整形外科学会専門医制度研修施設 (日本整形外科学会)
日本眼科学会専門医制度研修施設 (日本眼科学会)
日本皮膚科学会認定専門医研修施設 (日本皮膚科学会)

日本泌尿器科専門医教育施設（日本泌尿器科学会）
日本放射線科専門医修練協力機関（日本医学放射線学会）
マンモグラフィ検診施設画像認定（マンモグラフィ検診制度管理中央委員会）
被ばく線量低減推進施設認定証（全国循環器撮影研究会）
日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設（日本医療薬学会）
日本がん治療認定医機構認定研修施設（日本がん治療認定医機構）
薬学生実務実習受入施設（薬学教育協議会）
日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設（日本超音波医学会）
ゼンセン同盟指定日帰り人間ドック実施病院（全日本病院協会）
健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施病院（全日本病院協会）
日本優良人間ドック施設（日本病院会）
日本手外科学会研修施設（日本手外科学会）
CVIT 研修関連施設（日本心血管インターベンション治療学会）
病院総合医 育成プログラム認定施設（日本病院会）

14.施設基準（2025年7月1日時点）

【基本診療料】

一般病棟入院基本料／地域包括医療病棟入院料／救急医療管理加算／臨床研修病院入院診療加算（1基幹型）／診療録管理体制加算1／医師事務作業補助体制加算1 25対1／急性期看護補助体制加算（25対1／夜間50対1）／看護補助体制充実加算1／看護職員夜間配置加算 16対1／療養環境加算／重症者等療養環境特別加算／無菌治療室管理加算2／栄養サポートチーム加算／地域加算3／医療安全対策加算1／医療安全対策地域連携加算1／感染対策向上加算1／感染対策向上加算1 指導強化加算／患者サポート体制充実加算／重症者初期支援充実加算／報告書管理体制加算／褥瘡ハイリスク患者ケア加算／ハイリスク妊娠管理加算／後発医薬品使用体制加算1／病棟薬剤業務実施加算1／病棟薬剤業務実施加算1（小児入院医療管理料含む）病棟薬剤業務実施加算2／データ提出加算2 イ／入退院支援加算1／入院時支援加算／総合機能評価加算／地域連携診療計画加算／認知症ケア加算1／せん妄ハイリスク患者ケア加算／緩和ケア診療加算／精神疾患診療体制加算／地域医療体制確保加算／協力対象施設入所者入院加算／ハイケアユニット入院医療管理料1／早期離床・リハビリテーション加算／早期栄養介入管理加算／小児入院医療管理料5／短期滞在手術等基本料1／看護職員処遇改善評価料61／医療DX推進体制整備加算

【特掲診療料】

遠隔モニタリング加算（ペースメーカー指導管理料）／糖尿病合併症管理料／糖尿病透析予防指導管理料／慢性腎臓病透析予防指導管理料／がん性疼痛緩和指導管理料／外来緩和ケア管理料／がん患者指導管理料イ／がん患者指導管理料ロ／がん患者指導管理料ハ／小児運動器疾患指導管理料／婦人科特定疾患治療管理料／二次性骨折予防継続管理料1／二次性骨折予防継続管理料3／下肢創傷処置管理料／院内トリアージ実施料／夜間休日救急搬送医学管理料／外来腫瘍化学療法診療料1／連携充実加算（外来腫瘍化学療法診療料）／ニコチン依存症管理料／開放型病院共同指導料／がん治療連携計画策定料／薬剤管理指導料／地域連携診療計画加算／医療機器安全管理料1／在宅療養後方支援病院／遺伝学的検査／BRCA1／2 遺伝子検査（卵巣癌 血液・腫瘍細胞）／HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）／検体検査管理加算（Ⅰ）／検体検査管理加算（Ⅳ）／時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト／ヘッドアップティルト試験／小児食物アレルギー負荷検査／認知療法・認知行動療法1／画像診断管理加算2／CT 撮影及び MRI 撮影／冠動脈 CT 撮影加算／心臓 MRI 撮影加算／抗悪性腫瘍剤処方管理加算／外来化学療法加算1／無菌製剤処理料／心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）／脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）／運動器リハビリテーション料（Ⅰ）／呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）／がん患者リハビリテーション料／静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）人工腎臓1／導入期加算1／透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算／下肢末梢動脈疾患指導管理加算／ストーマ合併症加算／緊急整復固定加算及び緊急挿入加算／椎間板内酵素注入療法／緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）／緑内障手術（濾過胞再建術（needle 法））／乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。）／食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）及び腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）／経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）／ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術／大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）／腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）／腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術／早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術／膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）／胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）／輸血管理料2／輸血適正使用加算／人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算／胃瘻造設時嚥下機能評価加算／病理診断管理加算1／悪性腫瘍病理組織標本加算／外来・在宅ベースアップ評価料1／入院ベースアップ評価料71／入院時食事療養・入院時生活療養（Ⅰ）

3. 病院組織

2024年4月1日 現在

理事・監事	理 事 長	木 野 昌 也
	理 事	芳 川 た江子
	理 事	松 尾 浩
	理 事	小 林 一 朗
	理 事	木 野 圭一朗
	理 事	斎 藤 隆 晴
	理 事	辻 節 子
	理 事	田 尻 愛 子
	監 事	勝 山 武 彦
	監 事	小 糸 仁 史

病院管理責任者	理 事 長	木 野 昌 也
	病 院 長	小 林 一 朗
	病院長代理	診療部管理担当、職員教育・研修担当
	副 院 長	救急・災害医療体制管理担当、内科系診療管理担当
	副 院 長	労働安全衛生管理担当、外科系診療管理担当
	病院長補佐	救急医療担当
	病院長補佐	がん診療・臨床研修・医師会担当
	病院長補佐	医療安全管理担当
	病院長補佐	患者サービス・チーム医療推進担当
	病院長補佐	経営・運営改善担当、地域医療連携担当
		植 田 直 樹
		森 井 功
		豊 田 昌 夫
		劉 長 勸
		佐野村 誠
		竹 内 徹
		田 尻 愛 子
		坂 部 博 志

	会議・委員会名	目的	定期開催日	構 成	◎は議長 ○司会
0	社員総会・理事会	毎事業年度の計画、収支予算・決算、他重要事項の決定及び変更	年2回（3・6月）及び臨時開催	理事、社員、監事	
1	病院運営企画会議	医療運営全般に関する企画提案会議	随時	理事長、病院長、病院長代理、副院長、看護部長、事務局長、副事務局長、事務局長：菅田課長	
2	経営幹部会	医療運営全般に関する最高意思決定会議	毎週木曜	理事長、○病院長、病院長代理、芳川理事、副院長、病院長補佐、看護（副）部長、診療技術（副）部長、（副）事務局長、経営企画室、人事課長、または病院長が指名した者	
3	診療部長会	診療施策に関する運営・連絡・検討、意思決定・実行運営会議	毎週火曜	理事長、○病院長、病院長代理、副院長、病院長補佐、各診療科部長、看護部長、診療技術（副）部長、（副）事務局長、経営企画室	
4	朝会	病院運営上の諸問題（患者の権利・臨床および職業倫理などを含む）の連絡・共有・検討と日常的意識決定会議	毎週月・金曜	理事長、○病院長、病院長代理、医局長、看護（副）部長、看護部長、看護部長、看護（副）事務局長、室長・科長・課長、もしくは各部署代表者	
5	ブラス会	病院運営上に関する問題などの連絡・共有会議	毎月第3土曜	理事長、病院長、病院長代理、医局長、看護部・診療技術部・事務所の役職者全員 事務局長：濱田係長	
6	地域医療支援病院運営委員会	地域医療支援病院としての適切な運営の確保・評価	4・7・10・1月第2木曜	委員長：小林病院長、外部有識者9名 事務局長：池田室長	
7	臨床研修管理委員会	医師卒後臨床研修の統括管理	7・11・3月第4木曜	委員長：佐野村病院長補佐、外部有識者5名 事務局長：上松主任	
8	医療安全管理委員会	医療安全管理対策の実行	毎月第2金曜	委員長：竹内病院長補佐、副委員長：松江看護師長	
9	院内感染対策委員会	院内感染対策の実行	毎月第3火曜	委員長：貴島呼吸器内科部長、副委員長：馬場看護師長、笹井看護師長	
10	病院情報管理運営委員会	病院情報システムを含む全ての情報の保管・運営・管理と活用促進	毎月第3月曜	委員長：山口血液浄化療法科部長、副委員長：黒岩課長 事務局長：黒岩課長	
11	診療録管理（監査）委員会	診療記録内容の適切性の監査	毎月第1木曜	委員長：諏訪臨床検査科部長、副委員長：奥村看護師長 事務局長：黒岩課長	
12	個人情報検討委員会	個人情報に関する計画・立案・指示・監査	随時	委員長：小林病院長	
13	クリニカル・パス運営委員会	クリニカル・パス法の研究開発と導入・普及	毎月第3火曜	委員長：福井リハビリテーション科部長、副委員長：山中看護係長 事務局長：大森係長	
14	院内学会運営委員会	院内学会の運営・実行を、計画・支援・実施	2ヶ月に1回	委員長：植田病院長代理	
15	治験審査委員会	治験の可否審査	毎月第2火曜	委員長：芳川皮膚科部長、外部有識者1名 事務局長：岩村係長	
16	薬事審議会	院内採用薬の採否判定	毎月第3月曜	委員長：佐野村病院長補佐、副委員長：岩村係長	
17	臨床検査管理運営委員会	臨床検査の適切な施行管理	毎月第3火曜	委員長：諏訪臨床検査科部長	
18	病床・ICU運営管理委員会	病床の効率的利用推進及びICU運営上の諸問題の検討・評価	毎月第1水曜	委員長：小林病院長	
19	救急委員会	救急診療の適切性評価及び運営上の諸問題の検討	毎月第2金曜	委員長：森井副院長、副委員長：小西看護師長 事務局長：吉本病院サービス課係員	
20	中央手術センター運営会議	手術室の安全で効率的な運営推進	毎月第1火曜	委員長：豊田中央手術センター長、副委員長：古川看護副部長	
21	輸血管理委員会	輸血治療の安全性確保と輸血副作用報告の検討	毎月第1火曜	委員長：劉病院長補佐、副委員長：古川看護副部長	
22	栄養委員会	患者給食における栄養管理の向上、NST活動の検討・推進・評価	年2回以上（第2月曜）	委員長：竹内病院長補佐、副委員長：岡本係長	
23	褥瘡対策委員会（チーム）	褥瘡の管理及び予防対策	毎月第1水曜	委員長：芳川皮膚科部長、副委員長：門戸看護主任	
24	倫理委員会	臨床研究・臨床倫理・職業倫理及び人権に係る事業の検討及び承認	年1回以上	委員長：森井副院長	
25	労働安全衛生委員会	職員の健康保持及び労働災害等の防止	毎月第2火曜	委員長：豊田副院長、副委員長：富田科長 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
26	医療ガスの安全管理委員会	医療ガス設備の安全管理	年2回以上	委員長：豊田副院長	
27	放射線防護安全管理委員会	放射線障害防止及び公共の安全の確保	毎月1回	委員長：結城放射線科部長、副委員長：萩原副部長 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
28	診療材料委員会	診療材料の標準化及び効率的な利用	毎月第3水曜	委員長：森井副院長、副委員長：劉病院長補佐 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
29	職員教育研修委員会	全職員を対象とした教育研修計画の立案・実施・評価	毎月第2金曜	委員長：植田病院長代理、副委員長：田尻病院長補佐、坂部病院長補佐 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
30	接遇委員会	全職員を対象とした接遇のQOL	年2回以上（第4月曜）	委員長：田尻病院長補佐 事務局長：佐藤病院サービス課係員	
31	広報検討会	広報活動の評価	年2回以上（第4水曜）	委員長：坂部病院長補佐 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
32	診療報酬適正化委員会	診療報酬請求の適切性の確保と維持	毎月第2金曜	委員長：森井副院長、副委員長：豊田副院長 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
33	地域医療従事者等研修委員会	地域の医療従事者等に対する研修会の企画及び関係プログラムの作成・評価	年3回以上（第2金曜）	委員長：植田病院長代理、副委員長：田尻病院長補佐、坂部病院長補佐 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
34	がん治療・化学療法委員会	がん化学療法と集学的がん治療の促進・質向上	毎月第4金曜	委員長：佐野村病院長補佐、副委員長：京林看護係長、増井看護主任 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
35	緩和ケア委員会（チーム）	緩和ケアの専門的評価と提供	毎月第4金曜	委員長：佐野村病院長補佐、副委員長：京林看護係長、増井看護主任 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
36	勤務医負担軽減・処遇改善委員会	勤務医の負担軽減及び処遇改善に関する計画を検討・策定・評価	年2回以上、第4土曜	委員長：小林病院長 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
37	カテーテルセンター運営委員会	カテーテルセンター運営上の諸問題の検討・評価	年2回以上、第4火曜	委員長：永谷循環器科部長 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
38	レジメン管理委員会	化学療法法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会	毎月第4金曜	委員長：佐野村病院長補佐、副委員長：京林看護係長 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
39	透析機器安全管理委員会	血液浄化室の運営及び関連装置に関する安全管理	毎月1回 水曜	委員長：山口血液浄化療法科部長 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
40	院内メディカルコントロール委員会	緊急救命士の業務や救急処置の検討と評価を行い、質の保証	毎月1回	委員長：森井副院長、副委員長：小西看護師長 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
41	患者サポート委員会	多職種連携による患者サービスと支援の向上	毎月第3金曜	委員長：竹内病院長補佐、副委員長：田尻・坂部病院長補佐 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
42	認知ケア委員会	認知症ケアの促進とケアの質的向上	毎月1回	委員長：森井副院長、副委員長：柴田看護主任 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
43	特定行為委員会	看護師が行う特定行為の質的向上	年6回	委員長：森井副院長、副委員長：床尾看護主任 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	
44	FLS委員会	診療報酬に係るデータベース管理、院内啓発活動、院外健康教室開催	2～3ヶ月に一回	委員長：劉病院長補佐、副委員長：田中看護主任 事務局長：菅田課長、天野係長、井澤主任	

社会医療法人 仙美会 北摂総合病院 委員会メンバー 一覧

2024年4月1日現在

部 署	委員及び副委員長	看護部	中央手術センター	外来フロア	ICU・救命フロア	CT・造影フロア	消化器センター	呼吸器センター	循環器センター	救急センター	放射線科	臨床検査科	臨床工学科	リハビリテーション科	栄養科	事務局	事務局長	病院サームズ	経営企画部	地域医療推進部	総務部	人事課	訪問看護センター	診療部
地域医療支援病院運営委員会	長：小林病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
臨床研修管理委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
医療安全管理委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
院内感染対策委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
病院情報管理運営委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
診療録管理(監査)委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
個人情報保護委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
がん・カルパニクス運営委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
院内学芸会運営委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
治療委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
業務推進委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
臨床検査管理運営委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
病棟・ICU運営管理委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
救急委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
中央手術センター運営会議	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
輸血管理委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
栄養委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
制薬対策委員会(チーム)	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
倫理委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
労働安全衛生委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
医療安全委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
放射線安全管理委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
診療材料委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
職員教育研修委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
協議委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
広報委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
診療報酬適正化委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
地域医療従事者等研修委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
がん治療・化学療法委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
緩和ケア委員会(チーム)	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
勤務医等負担軽減・減退改善委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
がん対策委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
レジメン管理委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
透析機器安全管理委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
院内感染対策委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
患者サポート委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
認知症ケア委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
特定行為委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻
FLS委員会	長：佐野病院長	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻	田尻

医療安全対策室・感染防止対策室・がん診療推進室・災害対策室・児童虐待防止チーム メンバー 一覧

部 署		ICU・救急・ICU・消化器・呼吸器・循環器・放射線科・臨床検査科・臨床工学室・リハビリテーション科・栄養科・事務部・事務局・病院サームズ・経営企画部・地域医療推進部・総務部・人事課・訪問看護センター・診療部																				
医療安全対策室	長：内田昭宏 室長：栗原真	看護部	中央手術センター	外来フロア	ICU・救急フロア	消化器センター	呼吸器センター	循環器センター	放射線科	臨床検査科	臨床工学室	リハビリテーション科	栄養科	事務部	事務局	病院サームズ	経営企画部	地域医療推進部	総務部	人事課	訪問看護センター	診療部
リスクマネージャー	長：佐野有希子 室長：高橋裕子	西村	長尾	松山	中口	鶴谷	山田	小西	伊中	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室
報告書確認対策チーム	長：佐野有希子 室長：高橋裕子	松江																				
感染防止対策室	長：佐野有希子 室長：高橋裕子	神崎	伊集院	守谷	追	新井	水山	西野	山田	藤本	松永	(佐々)		入坂	酒田							
ICM/AST委員会	長：佐野有希子 室長：高橋裕子																					
がん診療推進室	長：佐野有希子 室長：高橋裕子																					
災害対策室	長：佐野有希子 室長：高橋裕子	小西																				
虐待防止チーム	長：佐野有希子 室長：高橋裕子	小西	堀江	松山	中口	鶴谷	山田	小西	伊中	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室

※各委員の役職は、省略しています。 ★…事務局

4. 医療体制

2024年4月1日 現在

理事長	木野昌也
病院長	小林一朗
病院長代理	植田直樹（診療部管理担当、職員教育・研修担当）
副院長	森井功（救急・災害医療体制管理担当、内科系診療管理担当）
副院長	豊田昌夫（労働安全衛生管理担当、外科系診療管理担当）
病院長補佐	劉長勸（救急医療担当）
病院長補佐	佐野村誠（がん診療・臨床研修担当、医師会担当）
病院長補佐	竹内徹（医療安全管理担当）
病院長補佐	田尻愛子（患者サービス・チーム医療推進担当）
病院長補佐	坂部博志（経営・運営改善担当、地域医療連携担当）

総合内科	部長	玄武司（循環器科医長）
	医長	黄俊貴文
	非常勤	西村綾（循環器科）

糖尿病・内分泌内科	部長	竹内徹（病院長補佐、医療安全管理担当）
	非常勤	王衣里子
	非常勤	中嶋素子

消化器内科	主任部長	佐野村誠（病院長補佐、がん診療・臨床研修担当、医師会担当、緩和ケアセンター長）
	医長	西谷仁（化学療法センター長）
	医長	碓山直邦（内視鏡センター長）
	医員	奥井寛太
	医員	門坂里菜
	医員	山田達明
	医員	疋田千晶
	非常勤	佐々木有一
	非常勤	福田彰
	非常勤	朝井章
	非常勤	西川知宏
	非常勤	西岡伸
	非常勤	由上博喜
	非常勤	山田真規

血液内科	非常勤	長谷川稔
	非常勤	越智陽太郎

腎臓内科	非常勤	中嶋章貴
------	-----	------

循環器科		木 野 昌 也 (理事長)
	部 長	永 松 航 (カテーテル治療センター長)
		森 井 功 (副院長・救急診療科部長)
	医 長	玄 武 司 (総合内科部長)
	医 長	山 口 茂 (血液浄化療法科部長)
	医 員	諏 訪 道 博 (臨床検査科部長)
	医 員	斎 藤 隆 晴 (健診科部長)
	医 員	津 田 浩 佑
	医 員	藤 田 正 紘
	非常勤	西 村 綾 (総合内科)

呼吸器内科	部 長	貴 島 源 一 (呼吸器センター長)
	非常勤	田 村 洋 輔
	非常勤	鶴 岡 健二郎
	非常勤	辻 博 行
	非常勤	船 本 智 哉
	非常勤	由 良 成

精神科	非常勤	豊 田 勝 孝
	非常勤	西 澤 由 貴
	非常勤	釜 瀬 貴 之

神経内科	非常勤	澤 井 大 樹
------	-----	---------

小児科	部 長	八 上 隆 行
	医 員	水 谷 翠
	非常勤	清 水 達 雄
	非常勤	黒 柳 裕 一

一般・消化器外科	主任部長	豊 田 昌 夫 (副院長)
	部 長	川 崎 浩 資
	医 員	西 内 善 彦
	医 員	濱 口 拓 哉
	非常勤	鈴 木 悠 介

乳腺外科	非常勤	碓 絢 菜
	非常勤	田 中 亨 明

脳神経外科	非常勤	梶 本 宜 永
	非常勤	梶 本 佐知子
	非常勤	野々口 直 助
	非常勤	古 瀬 元 雅

心臓血管外科	医 長	禹 英 喜
	非常勤	森 本 大 成
	非常勤	牧 浦 琢 朗

呼吸器外科	医 長	越 智 薫
	非常勤	文 元 聰 志

整形外科	主任部長	植 田 直 樹 (副院長・手外科センター長)
	部 長	劉 長 勸 (病院長補佐・救急医療担当)
	医 長	福 井 浩 一 (リハビリテーション科部長)
	医 長	池 田 邦 明
	医 員	木 野 圭一朗
	医 員	伊 藤 英 智
	医 員	安 田 果 歩
	非常勤	中 野 敦 之
	非常勤	廣 藤 真 司
	非常勤	藤 野 圭太郎
	非常勤	三 宅 克 広
	非常勤	高 島 雅 俊
	非常勤	新 保 高志郎
	非常勤	岩 崎 祐 和

リハビリテーション科	部 長	福 井 浩 一 (整形外科医長)
------------	-----	------------------

婦人科	医 長	田 中 理 恵
	非常勤	田 中 良 道
	非常勤	橋 田 宗 祐

耳鼻咽喉科	非常勤	寺 田 哲 也
	非常勤	東 野 正 明
	非常勤	乾 崇 樹
	非常勤	綾 仁 悠 介
	非常勤	谷 内 政 崇
	非常勤	野 呂 恵 起
	非常勤	西 川 周 治

眼科	医 長	丸 山 会 里
	医 員	田 端 珠 美
	医 員	延 藤 綾 香
皮膚科	部 長	芳 川 た江子
	非常勤	逢 坂 萌
泌尿器科	医 長	濱 田 修 史
	医 員	東 尾 卓 弥
	非常勤	東 治 人
放射線科	部 長	結 城 雅 子
	非常勤	田 中 康 敬
	非常勤	土 井 健 司
	非常勤	新 保 大 樹
	非常勤	堀 章 裕
	非常勤	藤 谷 知 弘
	非常勤	沖 野 佳
	非常勤	戸 田 壮
麻酔科	非常勤	辰 巳 真 一
	非常勤	城 戸 晴 規
	非常勤	中 野 祥 子
	非常勤	上 野 健 史
	非常勤	北 埜 学
	非常勤	藤 澤 貴 信
	非常勤	野 田 祐 一
	非常勤	愛 甲 一 樹
	非常勤	古 田 俊太郎
	非常勤	西 尾 晃 司
救急診療科	部 長	森 井 功（副院長）
集中治療科	部 長	森 井 功（副院長）
血液浄化療法科	部 長	山 口 茂（循環器科医長）

病理診断科	部 長	植 田 初 江
	非常勤	松 本 学
	非常勤	波多野 裕一郎
	非常勤	服 部 公 亮
	非常勤	雨 宮 妃

臨床検査科	部 長	諏 訪 道 博（循環器科）
-------	-----	---------------

健診科	部 長	斎 藤 隆 晴（健康管理センター長、循環器科）
-----	-----	-------------------------

臨床研修	研修医	中 瀬 亜 子
	研修医	三 澤 風 花
	研修医	中 村 俊太郎
	研修医	華 岡 輝 青

登録医名簿

所 属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	西 原 賢太郎	(医) 共生会 アールクリニック	高槻市辻子
高槻市	藤 原 俊 介	(医) 俊優会 ふじわら診療所	高槻市栄町
高槻市	中 村 信 之	(医) 整形外科なかむらクリニック	高槻市郡家本町
高槻市	田 中 基 晴	(医) 晴聖会 天神田中内科クリニック	高槻市芥川町
高槻市	稲 田 礼 子	(医) 悠仁会 稲田クリニック	高槻市城北町
高槻市	稲 田 泰 之	(医) 悠仁会 稲田クリニック	高槻市城北町
高槻市	徳 嶋 良 輔	T内科クリニック 高槻院	高槻市宮野町
高槻市	天 野 忠 温	あまの小児科	高槻市日吉台
高槻市	池 田 昌 人	いけだ内科・呼吸器内科	高槻市古曽部町
高槻市	稲 田 陽	いなだ訪問クリニック	高槻市中川町
高槻市	稲 本 潤	いなもと こどもクリニック	高槻市富田町
高槻市	内 山 敬 達	うちやま小児科こどもクリニック	高槻市富田丘町
高槻市	扇 谷 大 輔	おおぎたに内科・胃腸内科	高槻市宮田町
高槻市	大 隈 正 純	おおくま医院	高槻市天神町
高槻市	庄 田 裕 美	おおしま眼科クリニック	高槻市西冠
高槻市	大 関 道 薫	おおぜき医院	高槻市高槻町
高槻市	大 西 雅 彦	おおにしクリニック	高槻市富田町
高槻市	岡 崎 英 明	おかざき内科クリニック	高槻市芝生町
高槻市	田 辺 敏 明	おかだクリニック	高槻市東和町
高槻市	岡 田 聡	おかだ歯科クリニック	高槻市東和町
高槻市	陵 本 清 剛	おかもと整形外科	高槻市奈佐原
高槻市	荻 原 博 美	おぎはらこども医院	高槻市川添
高槻市	糟 谷 彰 宏	かすや整形外科・骨粗しょう症クリニック	高槻市西冠
高槻市	鈴 木 俊 明	かねはらクリニック	高槻市城北町
高槻市	河 本 浩 二	かわもとこどもクリニック	高槻市登町
高槻市	紀 貴 之	きい内科クリニック	高槻市城北町
高槻市	北 浦 俊 哉	きたうら整形外科	高槻市庄所町
高槻市	鍔 啓 司	くろがね内科循環器科	高槻市城北町
高槻市	齋 藤 総一郎	さいとう眼科	高槻市富田町
高槻市	齊 藤 純	さいとう内科クリニック	高槻市西冠
高槻市	佐久間 勲	さくま歯科クリニック	高槻市富田町
高槻市	佐々木 智 康	ささき医院	高槻市岡本町
高槻市	谷 口 重 俊	しげとオリーブ歯科	高槻市宮田町
高槻市	清 水 義 臣	しみず内科クリニック	高槻市桜ヶ丘北町
高槻市	下 江 文 子	しもえ皮フ科クリニック	高槻市奈佐原
高槻市	下 村 裕 章	しもむら内科クリニック	高槻市藤の里町
高槻市	白 神 哲 也	しらかみ歯科医院	高槻市西町
高槻市	井 元 恵津子	しらかわ・いもとクリニック	高槻市西冠
高槻市	杉 本 啓 司	すぎもと整形外科・麻酔科	高槻市城南町

所 属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	杉 和 憲	すぎ胃腸内科クリニック	高槻市北園町
高槻市	大 東 淳 子	だいとう皮フ科クリニック	高槻市西冠
高槻市	高 田 潤	たかだクリニック	高槻市富田丘町
高槻市	田 村 雅 一	たむらクリニック	高槻市桜ヶ丘南町
高槻市	千 葉 恭 士	ちばクリニック	高槻市宮野町
高槻市	辻 宏 明	つじ・クリニック	高槻市辻子
高槻市	大 石 優 子	つむぎの森ホームクリニック	高槻市庄所町
高槻市	野 原 裕 貴	つむぎの森ホームクリニック	高槻市庄所町
高槻市	富 田 誠 司	とみた整形外科クリニック	高槻市白梅町
高槻市	鳥 居 芳太郎	とりい内科クリニック	高槻市大蔵司
高槻市	中 嶋 哲 史	なかじま整形外科 循環器内科クリニック	高槻市富田町
高槻市	中 嶋 洋	なかじま整形外科 循環器内科クリニック	高槻市富田町
高槻市	中 坪 弥 生	なかつぼ眼科	高槻市西町
高槻市	中 西 一 吉	なかにし産婦人科クリニック	高槻市芝生町
高槻市	成 清 道 博	なりきよ医院	高槻市富田町
高槻市	西 垣 昌 人	にしがき眼科	高槻市芥川町
高槻市	布 谷 健太郎	ぬのたに眼科	高槻市氷室町
高槻市	服 部 登志夫	はっとり内科・皮フ科	高槻市庄所町
高槻市	西 川 佳 枝	パナソニックライティングデバイス株式会社 高槻健康管理室	高槻市幸町
高槻市	林 麻衣子	はやし眼科クリニック	高槻市栄町
高槻市	人 見 宣 江	ひとみクリニック	高槻市柱本
高槻市	人 見 克 司	ひとみクリニック	高槻市柱本
高槻市	人 羅 俊 貴	ひとら内科クリニック	高槻市西冠
高槻市	福 永 崇 樹	ふくなが眼科	高槻市大畑町
高槻市	藤 田 日出雄	フジタ医院	高槻市昭和台町
高槻市	堀 内 信 子	ほくせつデンタルクリニック	高槻市富田町
高槻市	堀 内 裕 子	ほくせつデンタルクリニック	高槻市富田町
高槻市	緒 方 敏 子	マーガレット出張助産院	高槻市大畑町
高槻市	松 井 広 登	まつい血管内科・静脈瘤クリニック	高槻市芥川
高槻市	松 枝 洋	まつえだ整形外科・ウェルスポーツクリニック	高槻市高槻町
高槻市	松 下 弘 二	まつしたクリニック	高槻市城西町
高槻市	真 野 利 之	まの・すぎのこどもクリニック	高槻市氷室町
高槻市	信 田 みすみ	みすみ内科クリニック	高槻市上田辺町
高槻市	大 尾 充 剛	みつたけこころのクリニック	高槻市古曽部町
高槻市	宗 光 俊 博	むねみつホームメディカルクリニック	高槻市野見町
高槻市	森 毅	もりクリニック	高槻市大手町
高槻市	森 田 勇	もりた内科・胃腸内科	高槻市川添
高槻市	森 京 子	もり耳鼻咽喉科クリニック	高槻市城北町
高槻市	保 田 浩	やすだクリニック	高槻市神内

所 属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	山 口 研一郎	やまぐちクリニック	高槻市富田丘町
高槻市	山 野 剛	やまの内科・胃腸内科クリニック	高槻市庄所町
高槻市	吉 川 剛 司	よしかわ皮フ科	高槻市川添
高槻市	梁 壽 男	りょうクリニック	高槻市川添
高槻市	小 西 和 孝	阿武山こどもクリニック	高槻市奈佐原
高槻市	岡 本 良 三	阿武山こどもクリニック	高槻市奈佐原
高槻市	阿 部 奈々美	阿部整形外科内科	高槻市郡家新町
高槻市	阿 部 邦 美	阿部整形外科内科	高槻市郡家新町
高槻市	伊 藤 祐	伊藤診療所	高槻市寿町
高槻市	合 田 公 志	医療法人合仁堂 ごうだ内科	高槻市大畑町
高槻市	藤 林 稔 和	医療法人至誠会 藤林クリニック	高槻市芥川町
高槻市	井 上 裕 之	井上クリニック	高槻市富田町
高槻市	永 田 明 義	永田医院	高槻市高垣町
高槻市	田 中 覚	駅前さとるプレストクリニック	高槻市北園町
高槻市	白 石 将 史	奥天神 白石クリニック	高槻市奥天神町
高槻市	奥 田 高 大	奥田歯科医院	高槻市牧田町
高槻市	奥 田 稔	奥田歯科医院	高槻市牧田町
高槻市	横 井 英 之	横井整形外科	高槻市上牧南駅前
高槻市	横 山 永	横山医院	高槻市城北町
高槻市	下 谷 麻里子	下谷内科	高槻市川添
高槻市	花 田 尚 志	花田内科	高槻市天王町
高槻市	城 戸 晴 規	芥川きどクリニック	高槻市真上町
高槻市	芥 川 知 明	芥川きどクリニック	高槻市真上町
高槻市	丸 山 俊 郎	丸山眼科医院	高槻市登美の里町
高槻市	岸 本 吉 史	岸本歯科医院	高槻市藤の里町
高槻市	喜 田 衛	喜田医院	高槻市柱本新町
高槻市	吉 田 卓 也	吉田耳鼻咽喉科	高槻市白梅町
高槻市	吉 田 政 雄	吉田耳鼻咽喉科医院	高槻市天神町
高槻市	島 津 保 生	宮田診療所	高槻市宮田町
高槻市	宮 内 章 光	宮内内科クリニック	高槻市芥川町
高槻市	近 藤 基 之	近藤診療所	高槻市南平台
高槻市	古 賀 旭	古賀眼科	高槻市天神町
高槻市	後 藤 昌 弘	後藤オンコロジークリニック	高槻市高槻町
高槻市	後 藤 栄	後藤レディースクリニック	高槻市白梅町
高槻市	高 橋 徳	高橋医院	高槻市藤の里町
高槻市	高 松 順 太	高松内科クリニック	高槻市紺屋町
高槻市	山 根 一 眞	高槻ファミリー歯科	高槻市大塚町
高槻市	杉 浦 希	高槻南仁寿会診療所	高槻市栄町
高槻市	福 井 潤	高槻福井整形外科・内科クリニック	高槻市大畑町

所 属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	黒 川 浩 史	黒川医院	高槻市日吉台一番町
高槻市	今 岡 靖 浩	今岡内科クリニック	高槻市氷室町
高槻市	今 津 伸 一	今津診療所	高槻市高槻町
高槻市	坂 谷 則 彰	坂谷クリニック	高槻市津之江町
高槻市	坂 中 勝	坂中内科クリニック	高槻市奈佐原
高槻市	坂 本 好 治	坂本医院	高槻市紺屋町
高槻市	堺 正	堺医院	高槻市高槻町
高槻市	平 井 景	三康診療所	高槻市郡家新町
高槻市	上 野 信 之	三康病院附属診療所	高槻市野見町
高槻市	三田村 有 二	三田村整形外科	高槻市川添
高槻市	山 賀 保	山賀歯科クリニック	高槻市赤大路町
高槻市	市 岡 五 道	市岡医院	高槻市古曾部町
高槻市	宗 光 博 文	宗光診療所	高槻市寺谷町
高槻市	小 西 研 史	小西けんじ皮フ科クリニック	高槻市富田町
高槻市	小 林 茂	小林診療所	高槻市昭和台町
高槻市	松 尾 俊 介	松尾医院	高槻市大畑町
高槻市	松 尾 源一郎	松尾医院	高槻市大畑町
高槻市	松 本 浩 明	松本ほからかクリニック	高槻市日吉台七番町
高槻市	安 東 里 真	上島内科医院	高槻市上土室
高槻市	上 島 嘉 美	上島内科医院	高槻市上土室
高槻市	瀬 川 直 樹	上牧かねはらクリニック	高槻市神内
高槻市	金 原 裕 則	上牧かねはらクリニック	高槻市神内
高槻市	林 宏 一	新阿武山クリニック	高槻市天神町
高槻市	平 野 建 二	新阿武山クリニック	高槻市天神町
高槻市	森 口 暁 仁	森口胃腸科内科クリニック	高槻市深沢町
高槻市	森 田 英次郎	森田内科・胃腸内科	高槻市城南町
高槻市	森 敏 純	森内科	高槻市城南町
高槻市	伊 藤 奏	清水クリニック	高槻市北園町
高槻市	清 水 篤	清水クリニック	高槻市北園町
高槻市	西 律	西医院	高槻市高槻町
高槻市	櫟 原 維 華	西冠いちはら耳鼻咽喉科皮膚科	高槻市西冠
高槻市	櫟 原 新 平	西冠いちはら耳鼻咽喉科皮膚科	高槻市西冠
高槻市	西 野 弘 志	西野医院	高槻市柳川町
高槻市	西 崎 一 志	西崎クリニック	高槻市如是町
高槻市	石 河 清 彦	石河診療所	高槻市上土室
高槻市	竹 内 望	摂津診療所	高槻市富田町
高槻市	藤雄木 亨 修	摂津富田駅前歯科	高槻市富田町
高槻市	川 口 哲 史	川口医院	高槻市津之江町
高槻市	川 口 清 敏	川口医院	高槻市津之江町

所 属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	川 口 憲 明	川口内科	高槻市寿町
高槻市	川 村 真	川村産婦人科医院	高槻市松が丘
高槻市	川 村 俊	川村産婦人科医院	高槻市松が丘
高槻市	丸 山 耕 一	川添丸山眼科	高槻市川添
高槻市	丸 山 優 子	川添丸山眼科	高槻市川添
高槻市	川 部 伸一郎	川部医院	高槻市弥生が丘町
高槻市	莊 野 美詠子	莊野医院	高槻市郡家新町
高槻市	莊 野 忠 泰	莊野医院	高槻市郡家新町
高槻市	村 上 晴 郎	村上医院	高槻市野見町
高槻市	村 上 詩 郎	村上医院	高槻市野見町
高槻市	井 上 隆 夫	大関医院	高槻市紺屋町
高槻市	大 橋 一	大橋内科	高槻市宮之川原
高槻市	大 桑 隆	大桑皮膚科	高槻市北園町
高槻市	大 杉 友 顕	大杉内科	高槻市永楽町
高槻市	大 西 邦 夫	大西歯科医院	高槻市上土室
高槻市	大 津 和 弥	大津耳鼻咽喉科・ボイスクリニック	高槻市西町
高槻市	大 津 彌 平	大津耳鼻咽喉科・ボイスクリニック	高槻市西町
高槻市	池 浦 淳	池浦整形外科	高槻市日吉台二番町
高槻市	中 山 明 子	中山クリニック	高槻市真上町
高槻市	渡 邊 尚 代	中村耳鼻咽喉科	高槻市富田町
高槻市	中 村 昭 文	中村整形外科	高槻市大蔵司
高槻市	中 谷 祐 子	中谷医院	高槻市登町
高槻市	中 田 知 伸	中田眼科	高槻市栄町
高槻市	莊 野 明 希	中島莊野クリニック	高槻市永楽町
高槻市	中 島 立 博	中島莊野クリニック	高槻市永楽町
高槻市	津久田 康 成	津久田医院	高槻市栄町
高槻市	堤 明 裕	堤レディースクリニック	高槻市城北町
高槻市	鄭 栄 植	鄭クリニック	高槻市北柳川町
高槻市	田 崎 龍之介	田崎医院	高槻市川西町
高槻市	田 中 芳 人	田中歯科クリニック	高槻市紺屋町
高槻市	渡 辺 昭 典	渡辺内科クリニック	高槻市氷室町
高槻市	石 河 二 郎	渡辺婦人科	高槻市南松原町
高槻市	土 居 宗 算	土居整形外科	高槻市高槻町
高槻市	東 山 信 彦	東山産婦人科	高槻市辻子
高槻市	湯 浅 文 雄	湯浅医院	高槻市紺屋町
高槻市	宮 城 健 一	筒井・宮城医院	高槻市本町
高槻市	藤 井 利 武	藤井内科医院	高槻市東上牧
高槻市	藤 村 圭 祐	藤村医院	高槻市春日町
高槻市	藤 村 紫	藤村診療所	高槻市春日町

所 属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	藤 村 宣 夫	藤村診療所	高槻市春日町
高槻市	藤 本 良 介	藤本クリニック	高槻市高槻町
高槻市	津久田 康 成	酉島診療所	高槻市宮田町
高槻市	谷 川 淳	内科・循環器内科たにがわクリニック	高槻市上土室
高槻市	橋 村 直 英	内科・消化器内科 はしむらクリニック	高槻市富田丘町
高槻市	鍋 島 敏 也	鍋島クリニック	高槻市大冠町
高槻市	檜 原 敬二郎	檜原産婦人科	高槻市春日町
高槻市	角 田 力	南平台かどたクリニック	高槻市南平台
高槻市	難 波 繁 伸	難波クリニック	高槻市富田町
高槻市	入 野 健	入野内科	高槻市玉川
高槻市	白 石 奈々子	白石クリニック	高槻市芥川町
高槻市	白 石 将 史	白石クリニック	高槻市芥川町
高槻市	白 石 龍 哉	白石整形外科	高槻市藤の里町
高槻市	尾 花 貴 志	尾花医院	高槻市宮田町
高槻市	尾 原 幹 啓	尾原内科医院	高槻市芥川町
高槻市	彦 坂 祐 子	彦坂医院	高槻市安岡寺町
高槻市	彦 坂 誠	彦坂医院	高槻市安岡寺町
高槻市	辻 雄一郎	富田つじ耳鼻咽喉科	高槻市大畑町
高槻市	富 永 正 夫	富永クリニック	高槻市南平台
高槻市	武 田 維 明	武田消化器内科	高槻市春日町
高槻市	服 部 智	服部整形外科	高槻市安岡寺町
高槻市	中 川 義 明	福井医院	高槻市大畑町
高槻市	福 森 達 郎	福森医院	高槻市竹の内町
高槻市	福 田 美弥子	福田クリニック	高槻市出丸町
高槻市	福 田 治 彦	福田クリニック	高槻市出丸町
高槻市	福 田 拓 也	福田歯科クリニック	高槻市京口町
高槻市	平 野 敏 行	平野眼科	高槻市北園町
高槻市	松 木 勇 人	北摂皮膚科クリニック	高槻市大畑町
高槻市	米 田 雅 子	北摂皮膚科クリニック	高槻市大畑町
高槻市	北 川 眞	北川クリニック	高槻市別所新町
高槻市	末 吉 公 三	末吉クリニック	高槻市東五百住町
高槻市	稲 毛 和	末光・稲毛クリニック	高槻市柳川町
高槻市	稲 毛 昭 彦	末光・稲毛クリニック	高槻市柳川町
高槻市	津 本 学	木村診療所	高槻市南芥川町
高槻市	門 田 俊 一	門田内科・心療内科クリニック	高槻市富田丘町
高槻市	野 田 友 一	野田皮フ科クリニック	高槻市白梅町
高槻市	矢 野 善 之	矢野歯科医院	高槻市大畑町
高槻市	櫟 原 崇 宏	櫟原医院	高槻市川添
高槻市	櫟 原 茂 之	櫟原医院	高槻市川添

所 属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	澤 田 賢 市	澤田医院	高槻市城北町
三島郡	中小路 隆 裕	なかこうじ内科・循環器内科	三島郡島本町
三島郡	難 波 健	ナンバ眼科医院	三島郡島本町
三島郡	藤 吉 健 司	ふじよし医院	三島郡島本町
三島郡	森 拓 美	もり整形外科リウマチ科クリニック	三島郡島本町
三島郡	加 藤 壮 介	加藤産婦人科クリニック	三島郡島本町
三島郡	加 藤 和 光	加藤産婦人科クリニック	三島郡島本町
三島郡	高 島 哲 哉	高島クリニック	三島郡島本町
三島郡	山 口 三 男	山口診療所	三島郡島本町
三島郡	西 本 孝	西本医院	三島郡島本町
三島郡	大 村 正 樹	大村耳鼻咽喉科	三島郡島本町
三島郡	栗 山 隆 信	楠薫堂医院	三島郡島本町
茨木市	中 嶋 真一郎	アイルすまいるクリニック	茨木市園田町
茨木市	伊 藤 嘉 啓	アイルすまいるクリニック	茨木市園田町
茨木市	山 本 彩	あやフラウクリニック	茨木市舟木町
茨木市	城 谷 知 彦	いしが城谷クリニック	茨木市大手町
茨木市	城 谷 敬 子	いしが城谷クリニック	茨木市大手町
茨木市	井 上 隆	いのうえ整形外科	茨木市見付山
茨木市	井 上 俊 宏	いのうえ内科	茨木市竹橋町
茨木市	今 井 道 生	いまい内科ハートクリニック	茨木市双葉町
茨木市	今 井 政 治	いまい内科ハートクリニック	茨木市双葉町
茨木市	梅 田 達 也	うめだクリニック	茨木市舟木町
茨木市	梅 田 直 也	うめだ整形外科	茨木市双葉町
茨木市	王 聡	おおしま糖尿病・甲状腺クリニック	茨木市庄
茨木市	王 衣里子	おおしま糖尿病・甲状腺クリニック	茨木市庄
茨木市	大 谷 晃 司	おおたに内科医院	茨木市西中条町
茨木市	大 宮 由 香	おおみや形成外科クリニック	茨木市大手町
茨木市	小 笠 智 嗣	おがさ整形外科	茨木市白川
茨木市	奥 田 和 人	おくだ内科クリニック	茨木市双葉町
茨木市	生 越 まち子	おごし皮フ科	茨木市玉櫛
茨木市	加 藤 明 子	かとう眼科	茨木市別院町
茨木市	金 本 裕 吉	かねもとクリニック	茨木市見付山
茨木市	亀 井 里 実	かめい眼科	茨木市下中条町
茨木市	亀 井 宏 治	かめい内科消化器クリニック	茨木市西駅前町
茨木市	河 崎 千恵子	かわさき眼科クリニック	茨木市舟木町
茨木市	韓 鴻 濱	かん整形外科	茨木市並木町
茨木市	中 林 博 道	きずな友愛クリニック	茨木市永代町
茨木市	高 島 美智子	きどレディースクリニック	茨木市舟木町
茨木市	木 戸 良 子	きどレディースクリニック	茨木市舟木町

所 属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	木 原 幸 一	きはら内科クリニック	茨木市中総持寺町
茨木市	金 原 太	きんばらホームクリニック	茨木市南春日丘
茨木市	久保田 泰 隆	くぼた眼科	茨木市白川
茨木市	東 野 亮 太	くれはクリニック	茨木市沢良宜浜
茨木市	渡 辺 克 哉	くれはクリニック	茨木市沢良宜浜
茨木市	中 河 秀 生	くれはクリニック	茨木市沢良宜浜
茨木市	好 田 康	こうだクリニック	茨木市上穂東町
茨木市	河 本 陽 介	こうもと内科・小児科クリニック	茨木市水尾
茨木市	坂 口 正 展	さかぐち皮フ科クリニック	茨木市新中条町
茨木市	佐々木 有 一	ささき内科・内視鏡クリニック	茨木市総持寺
茨木市	松 井 左千子	さちこ内科クリニック	茨木市平田
茨木市	川 床 聡	さと在宅クリニック	茨木市玉櫛
茨木市	中 尾 幸 嗣	サンライズ幸 内科・訪問診療クリニック	茨木市永代町
茨木市	塩 見 俊 行	しおみ整形外科・痛み・関節クリニック	茨木市新中条町
茨木市	柴 崎 浩 一	しばさき小児科	茨木市下穂積
茨木市	川 田 淳 史	しらべの森ホームクリニック	茨木市星見町
茨木市	中 尾 幸 嗣	しらべの森ホームクリニック	茨木市星見町
茨木市	水 野 裕 太	じんないクリニック	茨木市中津町
茨木市	杉 田 光 司	すぎたクリニック	茨木市三島丘
茨木市	杉 田 久美子	すぎた子どもクリニック	茨木市見付山
茨木市	杉 本 清	すぎもとクリニック	茨木市総持寺駅前町
茨木市	瀬 下 巖	せしも胃腸肛門クリニック	茨木市元町
茨木市	園 田 薫	そのだクリニック	茨木市総持寺駅前町
茨木市	高 岡 勇 稀	たかおか耳鼻・甲状腺クリニック	茨木市中穂積
茨木市	宇 野 耕太郎	たかおか耳鼻・甲状腺クリニック	茨木市中穂積
茨木市	立 花 宏 一	たちばなクリニック	茨木市双葉町
茨木市	巽 昭 雄	たつみ内科クリニック	茨木市新中条町
茨木市	田 中 聡	たなかクリニック	茨木市白川
茨木市	田 辺 敏 明	たなべ医院	茨木市三島丘
茨木市	溪 浩 司	たに医院	茨木市天王
茨木市	月 山 芙 蓉	つきやまクリニック	茨木市双葉町
茨木市	得 居 将 文	とくいクリニック	茨木市大池
茨木市	富 田 智 史	とみたクリニック	茨木市星見町
茨木市	中 禎 二	なかクリニック	茨木市中穂積
茨木市	中 島 周 三	なかじま内科	茨木市鮎川
茨木市	河 原 みどり	なかむかいクリニック	茨木市下中条町
茨木市	中 迎 憲 章	なかむかいクリニック	茨木市下中条町
茨木市	中 村 玄	なかむら整形外科	茨木市沢良宜浜
茨木市	中 谷 宏 幸	なごみ整形外科リウマチクリニック	茨木市総持寺

所 属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	根 来 伸 行	ねごろ内科循環器科	茨木市大池
茨木市	野 瀬 優	のせ整形外科クリニック	茨木市東中条町
茨木市	野 瀬 隆 夫	のせ皮ふ科	茨木市双葉町
茨木市	砂 野 彰 宏	ノダ・砂野歯科	茨木市鮎川
茨木市	橋 爪 喜代子	はしづめ内科	茨木市天王
茨木市	原 啓 太	はら小児科クリニック	茨木市学園南町
茨木市	半 田 忠 利	はんだクリニック	茨木市玉櫛
茨木市	平 岩 哲 也	ひらいわクリニック	茨木市西中条町
茨木市	木野田 茂	ファミリークリニック ゆい	茨木市玉櫛
茨木市	別 役 聡 士	ベッチャククリニック	茨木市中総持寺町
茨木市	田 中 マ キ	マキレディースクリニック	茨木市春日
茨木市	光 田 輝 彦	みつだクリニック	茨木市駅前町
茨木市	水戸守 寿 洋	みともり子どもクリニック	茨木市舟木町
茨木市	宮 崎 敬 士	みやざきちびっこ診療所	茨木市総持寺
茨木市	村 井 基 修	むらい内科循環器内科	茨木市中穂積
茨木市	村 西 美智子	むらにし皮フ科	茨木市見付山
茨木市	元 廣 高 之	もとひろクリニック	茨木市並木町
茨木市	高 原 寛	ももたろう 痛みのクリニック	茨木市宮元町
茨木市	山 口 和 男	やまぐち整形外科・リウマチクリニック	茨木市天王
茨木市	山 本 紀 彦	やまもとクリニック	茨木市永代町
茨木市	山 本 誠 士	やまもとホームケアクリニック	茨木市本町
茨木市	吉 田 剛	よしだ内科	茨木市新中条町
茨木市	吉 田 修 平	よしだ内科・呼吸器内科クリニック	茨木市西中条町
茨木市	向 井 ゆかり	よねだレディースクリニック	茨木市上郡
茨木市	米 田 直 人	よねだレディースクリニック	茨木市上郡
茨木市	高 原 健	医療法人 高原クリニック	茨木市沢良宜
茨木市	高 原 順 矢	医療法人 高原クリニック	茨木市沢良宜
茨木市	田 中 雄一朗	医療法人 SKY スカイクリニック	茨木市双葉町
茨木市	瀬 戸 洋 一	医療法人 SKY スカイクリニック	茨木市双葉町
茨木市	吉 野 茂 雄	医療法人 SKY スカイクリニック	茨木市双葉町
茨木市	井 上 秀 治	井上・神田クリニック	茨木市大手町
茨木市	上 田 真由美	茨木市駅うえた眼科	茨木市双葉町
茨木市	永 井 隆 子	永井眼科医院	茨木市水尾
茨木市	奥 村 泰 啓	奥村クリニック	茨木市元町
茨木市	奥 野 真知子	奥野眼科	茨木市総持寺駅前町
茨木市	横 山 如 人	横山・渡辺クリニック	茨木市春日
茨木市	渡 辺 洋一郎	横山・渡辺クリニック	茨木市春日
茨木市	岡 本 文 雄	岡本クリニック	茨木市西中条町
茨木市	岡 本 光 豊	岡本医院	茨木市末広町

所 属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	河 村 英 輔	河村メディカルクリニック	茨木市別院町
茨木市	岸 本 康 朗	岸本クリニック	茨木市沢良宜西
茨木市	岩 井 博 司	岩井医院	茨木市総持寺駅前町
茨木市	岩 松 克 彦	岩松クリニック	茨木市東太田
茨木市	岩 崎 正 洋	岩崎正洋クリニック	茨木市鮎川
茨木市	平 通 也	希ファミリークリニック	茨木市永代町
茨木市	吉 岡 宣史朗	吉岡歯科クリニック	茨木市舟木町
茨木市	安 成 隆 治	吉原眼科医院	茨木市舟木町
茨木市	居 相 浩 之	居相整形外科	茨木市三島丘
茨木市	橋 本 裕 美	橋本こどもクリニック	茨木市太田
茨木市	橋 本 善 造	橋本診療所	茨木市島
茨木市	栗 原 裕 彦	栗原医院	茨木市宮元町
茨木市	金 子 元 春	健彰会クリニック整形外科リウマチ科	茨木市総持寺台
茨木市	安 達 克 郎	公益財団法人 淀川勤労者厚生協会茨木診療所	茨木市元町
茨木市	江 川 泰 人	江川クリニック	茨木市総持寺駅前町
茨木市	江 川 真 人	江川産婦人科医院	茨木市総持寺
茨木市	高 島 孝 之	高島整形外科	茨木市沢良宜西
茨木市	高 坂 祐加子	佐久川クリニック	茨木市中津町
茨木市	佐久川 政 尚	佐久川クリニック	茨木市中津町
茨木市	細 見 洋 一	細見医院	茨木市下中条町
茨木市	阪 上 博 史	阪上耳鼻咽喉科医院	茨木市駅前
茨木市	山 本 員 久	三康クリニック	茨木市総持寺
茨木市	岡 部 宇 彦	耳鼻咽喉科 岡部医院	茨木市橋の内
茨木市	篠 永 安 秀	篠永医院	茨木市真砂
茨木市	林 与志子	勝田クリニック	茨木市玉島
茨木市	勝 田 隆	勝田クリニック	茨木市玉島
茨木市	小 林 光	小林整形外科	茨木市春日
茨木市	小 林 誠	小林整形外科	茨木市春日
茨木市	上 野 豊	上野医院	茨木市大手町
茨木市	上 野 眞 徳	上野歯科医院	茨木市白川
茨木市	森 脇 昭	森脇内科	茨木市双葉町
茨木市	須 永 恭 司	須永医院	茨木市玉水町
茨木市	須 永 匡 彦	須永内科小児科医院	茨木市耳原
茨木市	須 藤 正 治	須藤耳鼻咽喉科	茨木市大池
茨木市	成 田 基 良	成田クリニック	茨木市中総持寺町
茨木市	西 尾 聖	聖クリニック	茨木市郡
茨木市	西 里 枝久子	西里医院	茨木市総持寺駅前町
茨木市	石 田 丈 雄	石田診療所	茨木市寺田町
茨木市	川 尻 勝 久	川尻クリニック	茨木市舟木町

所 属	登録医氏名			診療所名	診療所住所
茨木市	泉	善	雄	泉内科医院	茨木市西中条町
茨木市	前	羽	宏 史	前羽クリニック	茨木市春日
茨木市	増	田	一 裕	増田内科医院	茨木市下中条町
茨木市	大河内	寿	一	大河内医院	茨木市駅前
茨木市	大 崎		尚	大崎医院	茨木市別院町
茨木市	大 森	研	史	大森医院	茨木市玉櫛
茨木市	宮 脇	真理子		大谷クリニック	茨木市別院町
茨木市	大 谷	峯	久	大谷クリニック	茨木市別院町
茨木市	大 島	正	義	大島整形外科	茨木市庄
茨木市	大 嶋	太	郎	大嶋クリニック	茨木市双葉町
茨木市	大 嶋	一	徳	大嶋クリニック	茨木市双葉町
茨木市	寺 村	智	子	第二近藤診療所	茨木市玉櫛
茨木市	近 藤	章	子	第二近藤診療所	茨木市玉櫛
茨木市	近 藤	浩	之	第二近藤診療所	茨木市玉櫛
茨木市	石 川	一	彦	辰見クリニック	茨木市白川
茨木市	辰 見	宣	夫	辰見医院	茨木市大字大岩
茨木市	谷 口	寛	昌	谷口内科循環器クリニック	茨木市中河原町
茨木市	竹 村	博	一	竹村耳鼻咽喉科クリニック	茨木市真砂
茨木市	中 神	太	志	中神クリニック	茨木市水尾
茨木市	菅 野		亘	中菅野医院	茨木市南春日丘
茨木市	中 村	道	子	中村医院	茨木市太田
茨木市	中 尾		誠	中尾内科クリニック	茨木市春日
茨木市	朝 倉		勉	朝倉歯科医院	茨木市南春日丘
茨木市	朝 田	浩	司	朝田歯科	茨木市玉櫛
茨木市	長谷川		稔	長谷川内科	茨木市園田町
茨木市	釘 抜	正	明	釘抜医院	茨木市下穂積
茨木市	田 中	孝	二	田中胃腸科クリニック	茨木市稲葉町
茨木市	都 田	慶	一	都田泌尿器科医院	茨木市舟木町
茨木市	徳 永	博	正	徳永医院	茨木市総持寺駅前町
茨木市	内 海		隆	内海眼科医院	茨木市元町
茨木市	萩 野	眞奈美		萩野医院	茨木市新郡山
茨木市	八 木	英	晴	八木耳鼻咽喉科	茨木市鮎川
茨木市	濱 口	尚	重	浜口内科	茨木市舟木町
茨木市	平 山	公	三	平山皮フ科クリニック	茨木市沢良宜西
茨木市	平 田	哲	朗	平田整形外科クリニック	茨木市寺田町
茨木市	平 田	美	幸	平田整形外科クリニック	茨木市寺田町
茨木市	片 山	尚	典	片山メンタルクリニック	茨木市双葉町
茨木市	峯		尚 志	峯クリニック	茨木市春日
茨木市	柚 木	孝	仁	北摂クリニック	茨木市大池

所 属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	丸 山 栄 勲	北川クリニック	茨木市東中条町
茨木市	北 川 慶 幸	北川クリニック	茨木市東中条町
茨木市	北 野 貴 弘	北野外科内科	茨木市星見町
茨木市	北 野 福 男	北野外科内科	茨木市星見町
茨木市	堀 井 孝 容	堀井医院	茨木市舟木町
茨木市	名 越 充	名越歯科診療所	茨木市元町
茨木市	茂 松 茂 人	茂松整形外科	茨木市真砂
茨木市	担 当 医	立命館大学 茨木診療所	茨木市岩倉町
茨木市	鈴 木 良 紀	鈴木医院	茨木市駅前
茨木市	澤 雄 大	澤眼科医院	茨木市庄
茨木市	澤 明 子	澤眼科医院	茨木市庄
摂津市	稲 垣 一 道	いながきクリニック	摂津市南千里丘
摂津市	長 谷 一 郎	はせクリニック	摂津市香露園
摂津市	福 地 みさよ	みさよ内科クリニック	摂津市東一津屋
摂津市	村 田 卓 士	むらた小児科	摂津市南千里丘
摂津市	松 井 保 憲	温優会松井クリニック	摂津市三島
摂津市	岩 本 久 雄	岩本医院	摂津市千里丘
摂津市	近 藤 正 子	近藤診療所	摂津市鳥飼野々
摂津市	近 藤 桂 一	近藤診療所	摂津市鳥飼野々
摂津市	高 山 実	高山クリニック	摂津市千里丘東
摂津市	黒 本 成 人	黒本診療所	摂津市香露園
摂津市	細 川 眞 哉	細川医院	摂津市鳥飼上
摂津市	山 内 榮 樹	山内医院	摂津市千里丘東
摂津市	今 村 育 男	千里丘協立診療所	摂津市千里丘東
摂津市	川 西 秀 夫	川西内科循環器科	摂津市正雀本町
摂津市	清 川 裕 美	中嶋・清川とりかいクリニック	摂津市鳥飼八防
摂津市	中 嶋 直 子	中嶋・清川とりかいクリニック	摂津市鳥飼八防
摂津市	馬 場 義 親	馬場内科・循環器内科クリニック	摂津市千里丘東
摂津市	白 川 貴 浩	白川整形外科	摂津市千里丘
池田市	井 海 江利子	おおたクリニック	池田市満寿美町
池田市	角 岡 潔	つのおか循環器内科クリニック	池田市呉服町
池田市	山 田 祥 晴	やまだクリニック	池田市室町
池田市	天 野 利 男	天野内科循環器科	池田市上池田
吹田市	西 原 承 緒	あいぜん診療所	吹田市山田東
吹田市	木 村 眞 一	きむら訪問クリニック	吹田市五月が丘東
吹田市	野 崎 元 子	のぞきクリニック	吹田市千里丘下
吹田市	謝 新	ひかりクリニック	吹田市春日
吹田市	山 村 憲 幸	やまむらクリニック	吹田市片山町
吹田市	中 村 嘉 宏	医療法人ウエルビー なかむらレディースクリニック	吹田市豊津町

所 属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
吹田市	徳 田 光 章	医療法人とくだクリニック	吹田市五月が丘東
吹田市	井 上 了 豪	井上クリニック	吹田市上山手町
吹田市	糠 谷 伝 一	糠谷医院	吹田市片山町
吹田市	占 部 健	占部内科クリニック	吹田市山田西
吹田市	野 中 親 哉	野中内科クリニック	吹田市津雲台
豊中市	永 谷 憲 歳	ながや内科 循環器内科・呼吸器内科	豊中市新千里西町
豊中市	野 井 理	野井耳鼻咽喉科	豊中市新千里南町
箕面市	大日向 由 光	おおひなた耳鼻咽喉科クリニック	箕面市箕面
箕面市	澄 川 司	すみかわ整形外科	箕面市桜ヶ丘
守口市	東 功	アイル在宅医療クリニック	守口市寺内町
枚方市	梅 本 真三夫	うめもとクリニック	枚方市杉
枚方市	奥 田 信 昭	奥田クリニック	枚方市新町
枚方市	亀 岡 慶 一	亀岡内科	枚方市西禁野
枚方市	上 田 新	上田クリニック	枚方市宮之阪
枚方市	森 川 浩 志	森川クリニック	枚方市伊加賀東町
枚方市	岡 崎 英 俊	田中泌尿器医院 人工透析センターひらかた	枚方市津田元町
大阪市	森 本 義 晴	HORAC グランフロント大阪クリニック	大阪市北区大深町
大阪市	山 下 能 毅	うめだファティリティークリニック	大阪市北区豊崎
大阪市	小 嵩 美恵子	こじま眼科クリニック	大阪市阿倍野区松崎町
大阪市	塘 義 明	ツツミ内科循環器科	大阪市天王寺区生玉町
大阪市	廣 實 俊 郎	ひろざね内科・循環器科	大阪市東淀川区豊里
大阪市	横 田 和 男	横田クリニック	大阪市東淀川区井高野
大阪市	岡 部 真	岡部内科	大阪市東住吉区東田辺
大阪市	光 井 英 昭	光井診療所	大阪市東淀川区豊里
大阪市	黒 川 彰 夫	黒川梅田診療所	大阪市北区梅田
大阪市	小 出 泰 道	小出内科神経科	大阪市天王寺区生玉寺町
大阪市	石 村 孝 夫	石村内科循環器科	大阪市北区天神橋
大阪市	吉 野 貴 文	藤本医院	大阪市淀川区三津屋南
大阪市	古 林 光 一	梅田血管外科クリニック（旧古林内科医院）	大阪市北区曽根崎
大阪市	飯 田 紀 彦	飯田クリニック	大阪市淀川区十三東
大阪市	木 戸 友 幸	木戸医院	大阪市東淀川区井高野
八尾市	栗 岡 宏 彰	しろばとクリニック	八尾市光町
尼崎市	西 口 完 二	内科外科にしぐち医院	尼崎市南塚口町
尼崎市	浜 本 順 博	浜本クリニック	尼崎市尾浜町
京田辺市	新 田 昌 稔	新田クリニック	京田辺市山手東
京都市	野 原 丈 裕	のはらクリニック	京都市西京区桂南巽町
西宮市	徐 東 舜	徐クリニック	西宮市松籟荘
奈良市	松 尾 隆 広	まつお内科	奈良市中登美ヶ丘

5. 職員構成

		2024 年 4 月 1 日		備 考 () 内は再掲	
診 療 部	医師	43.0	47.0	常勤数	47.0
	臨床研修医	4.0		非常勤常勤換算数	10.8
				非常勤実人数	88
看護部 計			293.00		
	看護部	看護師	3.00		
	退院支援担当	看護師	1.00		
	救急推進担当	看護師	1.00		
		救急救命士	5.00		
	入院支援担当	看護師	2.00		
	医療安全対策担当	看護師	1.00		
	感染予防対策担当	看護師	1.00		
	がん診療推進担当	看護師	1.00		
	褥瘡予防対策担当	看護師	1.00		
	認知症ケア担当	看護師	1.00		
	教育担当	看護師	1.00		
	中央手術センター	看護師	16.00		
		准看護師	2.00		
		看護補助	9.00		
	外来フロア	看護師	29.00		
		准看護師	7.00		
		看護補助	1.00		
	I C U ・救急フロア	看護師	33.00		
	レディースフロア	看護師	18.00		
	整形・小児フロア	看護師	27.00		
		准看護師	2.00		
		看護補助	7.00		
		准看学生	3.00		
	消化器センター	看護師	33.00		
		准看護師			
		看護補助	6.00		
		准看学生	5.00		
	呼吸器センター	看護師	28.00		
		看護補助	6.00		
		准看学生	4.00		
	循環器センター	看護師	29.00		
		准看護師	1.00		
		看護補助	5.00		
		准看学生	4.00		
診療技術部 計			105.22		
	薬剤科		16.03	薬剤師	16.03
	放射線科		14.81	診療放射線技師	14.81
	臨床検査科		25.75	臨床検査技師	23.00
	臨床工学科		10.88	視能訓練士・眼科検査士	2.75
	リハビリテーション科		14.84	臨床工学技士	10.88
	栄養科		6.00	理学療法士	9.84
	栄養調理科		16.91	作業療法士	5.00
				管理栄養士	6.00
				調理師	10.00
事務局 計			111.74		
	事務局		3.14		
	経営企画室		2.00		
	病院サービス課		56.05		
	医療情報課		5.00	診療情報管理士	12.00
	地域医療連携室		12.00	MSW	9.00
	資材器財課		3.00	保育士	7.00
	経理課		4.00		
	総務課		10.05		
	人事課		7.00		
	保育所		9.50		
訪問看護ステーション			9.00	看護師	8.00
ケアプランセンター			9.00	ケアマネジャー	9.00
合 計			574.96		

6. 医療環境

病院長 小林 一郎

はじめに

2024 年度は、当院にとって未曾有の挑戦と変革の年となりました。診療報酬のマイナス改定、物価高騰、医師の働き方改革といった厳しい外部環境に加え、院内の慢性的な人員不足が重なり、年度上半期には過去最大の経営赤字を計上する事態に直面しました。

しかし、この危機的状況に対し、全職員が一丸となって戦略的な転換を断行した結果、年度下半期には予想以上の回復を遂げ、将来への確かな礎を築くことができました。本総括は、この激動の一年を振り返り、当院の取り組みと成果、そして未来への展望を報告するものです。

経営概況：逆境から回復へ

当院の 2024 年度の経営は、まさに「逆境との戦い」でした。年度上半期は、診療報酬改定や物価高騰といった外部からの強い逆風に加え、院内の人員不足が稼働病床の制限に直結するという、コスト増と収益減の二重苦に苛まれました。これにより医業収益は大きく落ち込み、過去に例を見ない深刻な赤字を記録しました。

しかし、この危機的状況から、後述する地域包括医療病棟への転換や患者サポートセンター設立といった戦略的施策を病院全体で断行した結果、大きな成果が得られました。特に 11 月以降、収支は劇的に改善し、病床稼働率は安定的に 90% を超える高水準まで回復、下半期は力強い黒字へと転換しました。この目覚ましい回復は、当院が持つ組織としての底力と、困難に立ち向かう変革への強い意志を示すものです。

ただし、上半期に生じた莫大な損失を年度内に完全に補填するには至らず、通期では依然として赤字の見込みであり、課題の残る厳しい財務状況となりました。

主要な成果と戦略的転換

経営危機を打開するため、当院は大胆な意思決定と迅速な実行に踏み切りました。特に以下の二つの取り組みが、下半期の回復を牽引しました。

1. 地域包括医療病棟への転換

三島医療圏の急速な高齢化という地域ニーズと、厳格化された診療報酬制度に対応するため、1 病棟を新たに創設された「地域包括医療病棟」へ転換しました。これにより、高齢の救急患者に対して急性期治療から在宅復帰までを包括的に支援する体制を構築し、地域の医療ニーズに応えつつ、病院全体の収益構造を安定させることが可能になりました。

2. 患者サポートセンターの設立

経営改善の要として、部門間の壁を越えた迅速な意思決定と強力な実行力を確保するため、病院長直轄の組織として「患者サポートセンター（PSC）」を新設しました。センター長には病院長補佐兼消化器内科主任部長を、副センター長には病院長補佐兼看護部長を任命しました。

次いで、従来は各部署に分散していた病床管理、入退院支援、地域連携の機能を PSC に一元的に集約しました。これは、看護師、ソーシャルワーカー、診療技術者、事務職員などが専門性を持ち寄り協働す

る多職種チームが、一人の患者さんの入院前から退院後の生活までを見据え、切れ目のない一貫した支援を提供する体制（PFM: Patient Flow Management）の確立を目的としたものです。

このPSCは、センター長の強力なリーダーシップのもと、開設当初から精力的に活動しました。毎週の会議開催に加え、現場への随時フィードバックを徹底することで、入院待機や退院調整の遅れに起因する患者フローの非効率性が解消され、最適化が実現しました。この計画的な入退院管理は病床回転率の向上に繋がり、その結果、病床稼働率は目標である90%超を安定的に達成することができました。空床期間の短縮と入院患者数の増加は、病院全体の収益基盤を直接的に押し上げ、下半期の黒字転換を牽引する最大の原動力となりました。

PSCの成果

- 病床稼働率：11月以降、90%超を安定的に維持し、計画的なベッドコントロールにより収益機会の損失を最小化しました。
- 患者フローの最適化：入院待ちの解消と円滑な退院支援を実現しました。在院日数の適正化にも繋がり、医療資源の効率的活用を促進しました。
- 収益改善：下半期の黒字転換における最大の推進力となりました。PSCによる運営効率化が、直接的な増収効果を生み出しました。

3. 地域ニーズへの新たな貢献

長年の地域医療連携に加え、本年度は新たに認知症認定看護師による「認知症カフェ」を開設・運営しました。増加する地域の認知症ケアニーズに応え、予防や早期相談の場を提供するこの活動は、当院が地域包括ケアシステムの中でより積極的な役割を担っていく姿勢の表れです。

克服すべき課題と2025年度への展望

下半期の成果は大きな一歩ですが、当院の持続的な発展のためには、依然として重要な課題が残されています。

最重要課題

1. 持続可能な財務体質の確立

上半期の赤字を乗り越え、通期での黒字化を達成することは絶対的な目標です。さらにその先の、将来的な医療環境の変化にも耐えうる強固で安定した経営基盤の再構築が急務です。病院の拡充計画も進めていることから、安定した財務は、最新の医療機器への投資や人材確保を可能にし、医療の質そのものを支える生命線となります。

2. 人材の確保と定着

人材、特に看護師と医師の確保・定着は、当院の最重要課題です。看護師確保については、病院長主導による2023年度後半に採用チームを発足させ活動を展開した結果、一定数の採用には至りました。しかし同時に離職者も多く、2024年度の離職率は依然と高い状態が続いており、大阪府の平均（2023年4月1日発表：14.3%）を上回る厳しい状況が続いています。高い離職率は、採用・教育コストの増大や既存職

員の疲弊を招き、患者ケアの質の低下や医療安全リスクの増大という悪循環に陥りかねません。

この状況を打開するため、2024年7月より、看護管理に豊富な知見と実績を持つ大阪府看護協会の前理事を招聘しました。現在、看護部の組織改革に着手し、採用戦略の強化と離職防止策を推進しており、今後の成果が期待されます。

また、常勤の麻酔科医・消化器外科医といった専門医の不在は、提供可能な医療の範囲を狭め、地域中核病院としての役割遂行を困難にしているため、早急な確保が求められます。

2025年度への展望：成果を文化へ

2024年度下半期の成功は、全職員が共有した危機感と、部署の垣根を越えた協力体制、そして何よりも「患者中心」という原点への回帰から生まれました。2025年度は、この危機対応の中で生まれた成功体験を一過性のものとせず、当院のDNAとなる組織文化へと昇華させていく、極めて重要な一年となります。危機対応型の「点」の改善から、持続的な「面」の改革へと移行させなければならないと考えています。

- **患者サポートセンター機能の深化**：PFM（Patient Flow Management）を全病院的に展開・定着させることが目標になります。PSCに蓄積される入退院データを分析・活用し、予測に基づいた効率的なベッドコントロールと人員配置を実現することで、運営の精度をさらに高めることが求められます。
- **「選ばれる職場」への改革**：看護部の組織改革を継続することが求められています。客観的指標に基づく公正な評価制度の導入、キャリアアップ支援、ワークライフバランスのさらなる推進を通じて、職員一人ひとりが誇りとやりがいを持って長期的に働き続けられる魅力的な環境を構築していかなければなりません。また、各専門職がもつ専門性を最大限に活かしながらチーム医療を展開する意識改革も必要です。特に役職者の各々が、「自責の念」をもちながら、組織人としての自覚と行動をさらに高めることを目標にして取り組むことが重要であると考えます。
- **地域連携のさらなる強化**：北摂総合病院は、地域包括ケアシステムの中核を担う病院として、地域の医療・介護施設との機能分担と連携を一層深化させるべきです。その実現には、急性期治療を終えた患者さんの円滑な在宅療養移行を支える、法人内の訪問看護ステーションおよびケアプランセンターの機能向上が不可欠であると考えます。また、地域医療支援病院の立場からは、紹介・逆紹介の推進に加えて、地域の医療機関との共同研修や症例検討を積極的に行い、地域全体の医療の質向上へ主体的に貢献することが求められます。

結び

2024年度の厳しい道のを乗り越えられましたのは、ひとえに、いかなる状況でも質の高い医療を提供し続けようと尽力した全ての職員と、当院を信頼し、支えてくださった患者さん、ご家族、地域住民の皆様、そして登録医の先生方や関係施設、行政など、多くの方々のおかげです。心より深く感謝申し上げます。

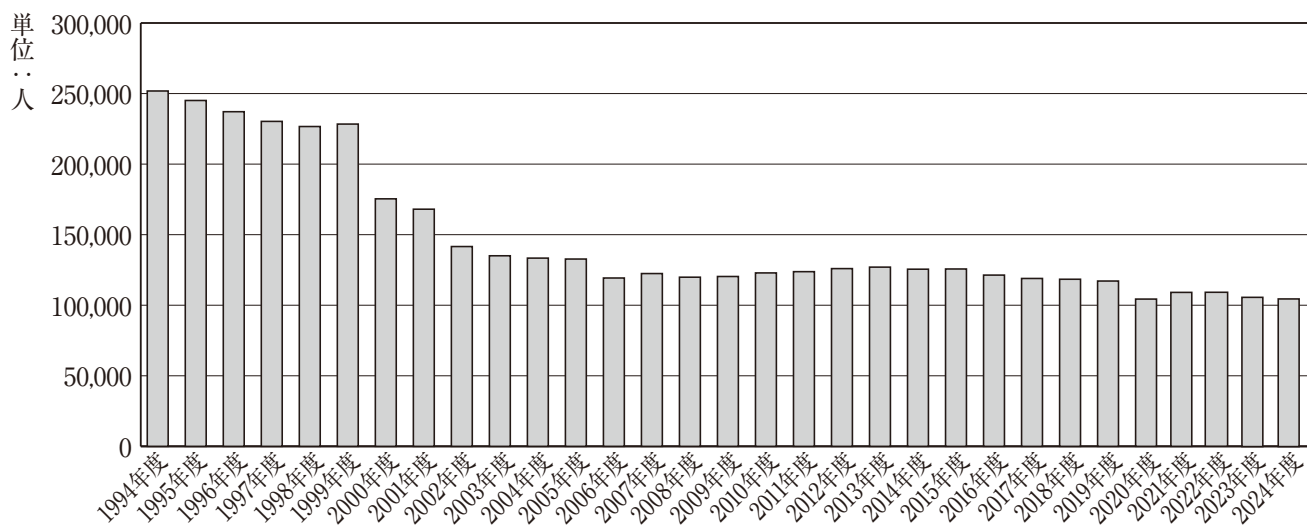
2025年度、当院は創立60周年を迎えます。それと共に私は退任し、新しい病院長が就任します。2025年度からは執行部の機能と役割がさらに明確になり、充実することが見込まれます。新病院長のもとで、より強固で、地域から一層信頼される病院へと進化を遂げるべく、たゆまぬ努力を続けていくものと確信しております。

今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

Ⅱ. 患者の状況

1. 外来

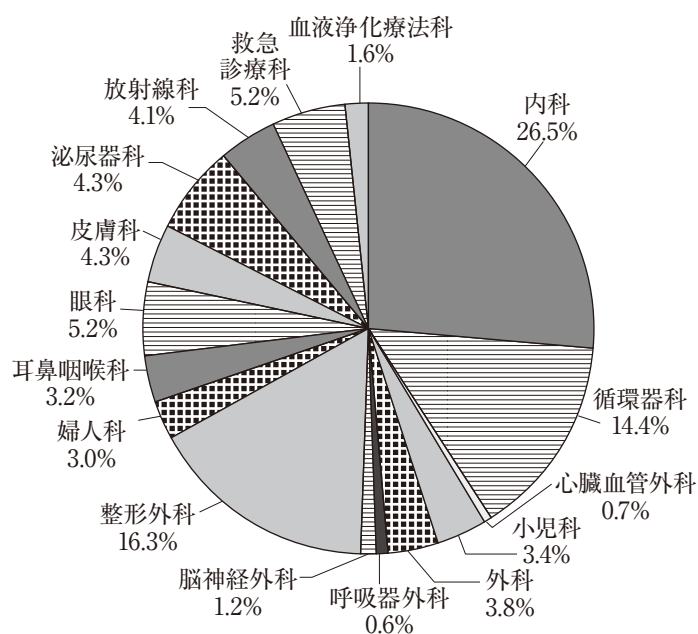
(1) 外来延べ患者数の推移



外来延べ患者数

1994年度	251,820	2000年度	175,395	2006年度	119,293	2012年度	125,951	2018年度	118,410	2024年度	104,636
1995年度	245,087	2001年度	168,053	2007年度	122,441	2013年度	127,002	2019年度	117,147		
1996年度	237,138	2002年度	141,586	2008年度	119,865	2014年度	125,534	2020年度	104,355		
1997年度	230,273	2003年度	135,045	2009年度	120,363	2015年度	125,685	2021年度	109,098		
1998年度	226,636	2004年度	133,385	2010年度	122,899	2016年度	121,354	2022年度	109,312		
1999年度	228,376	2005年度	132,729	2011年度	123,785	2017年度	118,964	2023年度	105,762		

(2) 科別 外来患者構成比の推移



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
内 科	29.4%	28.3%	26.3%	26.5%
循環器科	15.7%	15.1%	14.7%	14.4%
心臓血管外科	0.8%	1.1%	1.0%	0.7%
小 児 科	1.5%	2.5%	3.1%	3.4%
外 科	4.7%	4.4%	4.1%	3.8%
呼吸器外科	0.6%	0.6%	0.5%	0.6%
脳神経外科	1.3%	1.4%	1.3%	1.2%
整形外科	14.7%	14.8%	16.3%	16.3%
婦 人 科	2.8%	2.8%	2.8%	3.0%
耳鼻咽喉科	2.1%	2.5%	3.2%	3.2%
眼 科	5.6%	5.4%	5.3%	5.2%
皮 膚 科	4.9%	4.7%	4.7%	4.3%
泌尿器科	6.0%	6.6%	6.5%	4.3%
放射線科	3.5%	3.7%	4.0%	4.1%
救急診療科	5.2%	4.9%	4.7%	5.2%
血液浄化療法科	1.2%	1.4%	1.5%	1.6%

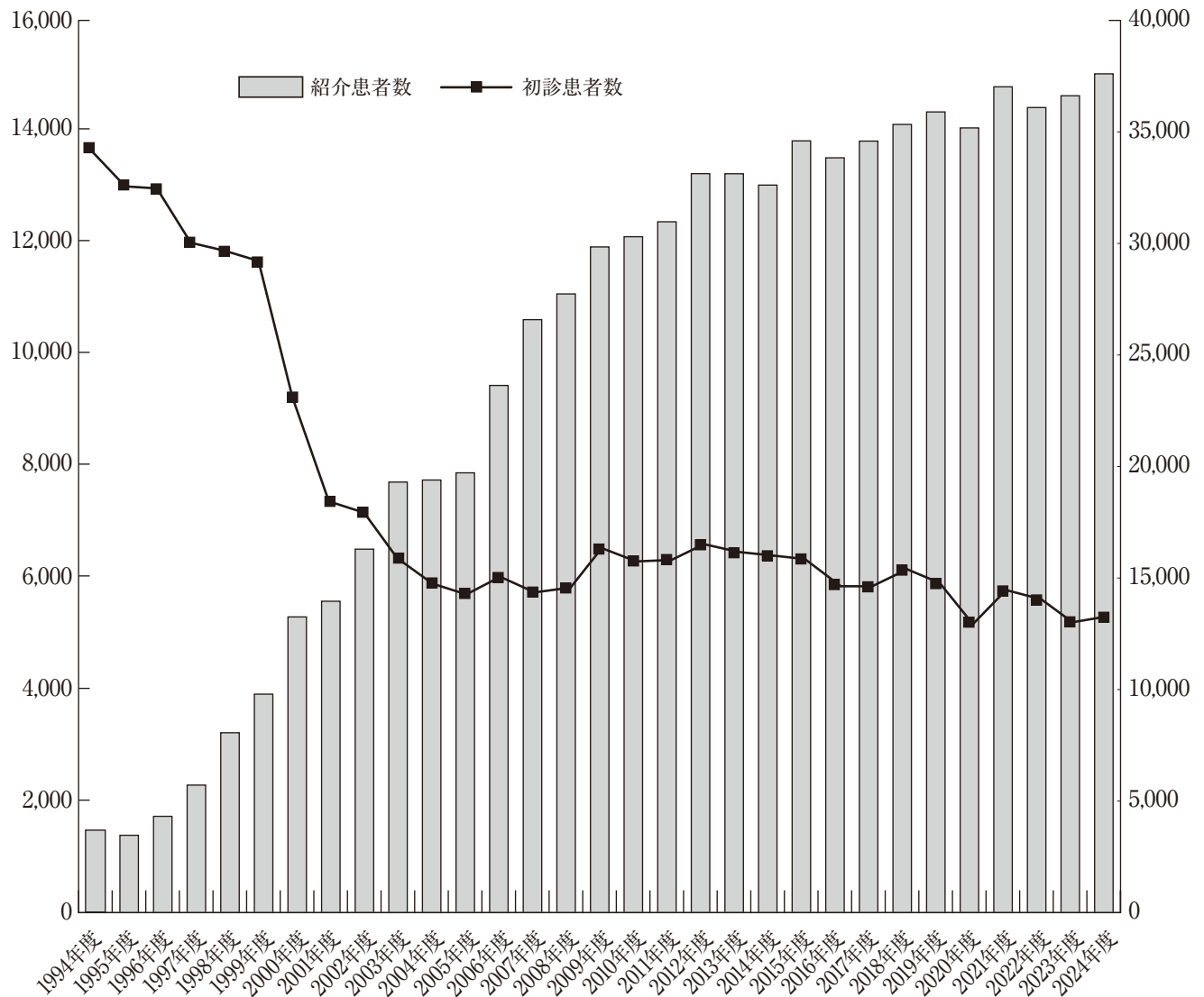
(3) 新来患者数・紹介患者数の推移

	紹介患者数	初診患者数	(再掲) 病院新来数		紹介患者数	初診患者数	(再掲) 病院新来数
1994年度	1,470	34,475	7,602	2010年度	12,112	15,958	8,175
1995年度	1,378	32,875	6,981	2011年度	12,380	16,024	8,016
1996年度	1,718	32,776	6,822	2012年度	13,243	16,732	8,020
1997年度	2,278	30,342	6,763	2013年度	13,241	16,381	7,714
1998年度	3,217	29,982	6,674	2014年度	13,038	16,217	7,736
1999年度	3,909	29,525	6,720	2015年度	13,831	16,064	7,907
2000年度	5,294	23,420	6,818	2016年度	13,527	14,846	7,642
2001年度	5,575	18,745	6,468	2017年度	13,827	14,841	7,665
2002年度	6,509	18,268	6,332	2018年度	14,126	15,603	7,815
2003年度	7,712	16,101	7,250	2019年度	14,350	14,991	7,713
2004年度	7,749	14,963	7,232	2020年度	14,063	13,148	7,516
2005年度	7,878	14,479	5,622	2021年度	14,801	14,674	7,361
2006年度	9,445	15,270	8,279	2022年度	14,429	14,258	8,318
2007年度	10,625	14,569	8,132	2023年度	14,640	13,231	8,210
2008年度	11,086	14,786	7,918	2024年度	15,033	13,565	8,403
2009年度	11,929	16,555	8,830				

単位(人)

紹介患者数(人)

初診患者数(人)



(4)月別 診療科別平均通院回数

月別 / 診療科別	2024.4			2024.5			2024.6			2024.7			2024.8			2024.9			2024.10		
	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院
全科	8,784	7,449	1.2	8,720	7,407	1.2	8,482	7,213	1.2	9,369	7,845	1.2	8,784	7,445	1.2	8,541	7,296	1.2	9,207	7,856	1.2
消化器内科	878	771	1.1	847	746	1.1	847	725	1.2	863	750	1.2	824	721	1.1	849	723	1.2	948	803	1.2
消化器内科 肝臓内科	809	704	1.1	778	681	1.1	781	663	1.2	794	684	1.2	754	654	1.2	770	650	1.2	850	717	1.2
	69	67	1.0	69	65	1.1	66	62	1.1	69	66	1.0	70	67	1.0	79	73	1.1	98	86	1.1
循環器科	1,326	1,216	1.1	1,289	1,196	1.1	1,193	1,108	1.1	1,308	1,210	1.1	1,245	1,163	1.1	1,223	1,137	1.1	1,317	1,235	1.1
心臓血管外科	103	90	1.1	117	100	1.2	101	86	1.2	94	87	1.1	90	82	1.1	40	40	1.0	55	52	1.1
呼吸器内科	341	285	1.2	371	307	1.2	314	275	1.1	385	318	1.2	336	274	1.2	377	323	1.2	390	315	1.2
総合内科	477	429	1.1	486	433	1.1	432	376	1.1	600	512	1.2	579	521	1.1	504	446	1.1	494	427	1.2
糖尿病・内分泌内科	380	371	1.0	400	394	1.0	344	332	1.0	392	378	1.0	370	364	1.0	309	304	1.0	440	425	1.0
血液内科	111	91	1.2	91	79	1.2	89	80	1.1	116	102	1.1	100	84	1.2	110	92	1.2	111	93	1.2
神経内科	105	104	1.0	121	117	1.0	104	100	1.0	103	99	1.0	117	112	1.0	112	107	1.0	131	128	1.0
小児科	273	218	1.3	274	222	1.2	293	234	1.3	290	245	1.2	290	225	1.3	342	259	1.3	294	227	1.3
外科	308	246	1.3	293	231	1.3	345	265	1.3	378	237	1.6	356	249	1.4	345	257	1.3	368	272	1.4
一般消化器外科	243	188	1.3	237	177	1.3	272	195	1.4	318	181	1.8	301	197	1.5	282	196	1.4	281	194	1.4
乳腺外科	65	58	1.1	56	54	1.0	73	70	1.0	60	56	1.1	55	52	1.1	63	61	1.0	87	78	1.1
呼吸器外科	51	39	1.3	43	34	1.3	52	45	1.2	55	47	1.2	50	43	1.2	57	50	1.1	63	51	1.2
脳神経外科	99	93	1.1	126	122	1.0	108	97	1.1	106	99	1.1	103	102	1.0	120	108	1.1	120	111	1.1
整形外科	1,347	1,085	1.2	1,359	1,109	1.2	1,402	1,133	1.2	1,479	1,166	1.3	1,479	1,151	1.3	1,396	1,143	1.2	1,462	1,190	1.2
整形外科 形成外科	1,347	1,085	1.2	1,359	1,109	1.2	1,402	1,133	1.2	1,479	1,166	1.3	1,479	1,151	1.3	1,396	1,143	1.2	1,462	1,190	1.2
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	280	232	1.2	236	202	1.2	246	221	1.1	294	251	1.2	212	194	1.1	243	228	1.1	307	268	1.1
耳鼻咽喉科	304	212	1.4	310	189	1.6	246	177	1.4	309	196	1.6	275	197	1.4	253	181	1.4	303	227	1.3
眼科	503	375	1.3	497	390	1.3	488	384	1.3	517	401	1.3	402	347	1.2	449	360	1.2	474	392	1.2
皮膚科	405	299	1.4	435	314	1.4	426	321	1.3	429	324	1.3	370	290	1.3	370	291	1.3	405	320	1.3
泌尿器科	589	516	1.1	484	452	1.1	546	493	1.1	594	519	1.1	602	508	1.2	581	516	1.1	565	509	1.1
放射線科	400	399	1.0	381	373	1.0	338	336	1.0	378	376	1.0	348	347	1.0	354	346	1.0	391	388	1.0
救急診療科	376	366	1.0	409	383	1.1	430	412	1.0	543	516	1.1	485	459	1.1	389	373	1.0	436	412	1.1
救急科内科	217	214	1.0	236	225	1.0	248	234	1.1	347	333	1.0	327	305	1.1	236	224	1.1	261	244	1.1
救急科小児科	10	10	1.0	11	9	1.2	13	13	1.0	10	10	1.0	11	11	1.0	7	7	1.0	8	8	1.0
救急科外科系	148	141	1.0	162	149	1.1	169	165	1.0	186	173	1.1	147	143	1.0	146	142	1.0	166	159	1.0
救急科産婦人科	1	1	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.0
血液浄化療法科	128	12	10.7	151	14	10.8	138	13	10.6	136	12	11.3	151	12	12.6	118	120	9.8	133	11	12.1

月別 / 診療科別	2024.11			2024.12			2025.1			2025.2			2025.3			平均		
	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院	延べ 患者数	実 患者数	平均 通院
全科	8,411	7,257	1.2	9,115	7,836	1.2	8,451	7,387	1.1	7,880	6,798	1.2	8,892	7,603	1.2	104,636	89,392	1.2
消化器内科	871	758	1.1	871	734	1.2	850	740	1.1	818	713	1.1	926	783	1.2	10,392	8,967	1.2
消化器内科 肝臓内科	779	670	1.2	784	653	1.2	762	657	1.2	748	647	1.2	840	702	1.2	9,449	8,082	1.2
	92	88	1.0	87	81	1.1	88	83	1.1	70	66	1.1	86	81	1.1	943	885	1.1
循環器科	1,246	1,157	1.1	1,326	1,211	1.1	1,227	1,159	1.1	1,094	1,028	1.1	1,255	1,171	1.1	15,049	13,991	1.1
心臓血管外科	33	32	1.0	38	38	1.0	37	37	1.0	33	33	1.0	43	43	1.0	784	720	1.1
呼吸器内科	324	281	1.2	355	302	1.2	332	286	1.2	329	279	1.2	330	279	1.2	4,184	3,524	1.2
総合内科	488	441	1.1	550	499	1.1	587	527	1.1	458	412	1.1	463	412	1.1	6,118	5,435	1.1
糖尿病・内分泌内科	359	350	1.0	377	369	1.0	379	373	1.0	328	324	1.0	337	332	1.0	4,415	4,316	1.0
血液内科	125	98	1.3	100	83	1.2	102	86	1.2	90	72	1.3	118	99	1.2	1,263	1,059	1.2
神経内科	88	86	1.0	129	127	1.0	98	94	1.0	103	98	1.1	115	111	1.0	1,326	1,283	1.0
小児科	307	241	1.3	270	232	1.2	287	245	1.2	267	219	1.2	338	283	1.2	3,525	2,850	1.2
外科	322	266	1.2	326	249	1.3	288	218	1.3	306	220	1.4	369	264	1.4	4,004	2,974	1.3
一般消化器外科	254	200	1.3	258	182	1.4	232	165	1.4	258	174	1.5	305	203	1.5	3,241	2,252	1.4
乳腺外科	68	66	1.0	68	67	1.0	56	53	1.1	48	46	1.0	64	61	1.0	763	722	1.1
呼吸器外科	62	46	1.3	74	59	1.3	58	46	1.3	48	40	1.2	52.0	49.0	1.1	665	549	1.2
脳神経外科	94	89	1.1	112	105	1.1	85	80	1.1	95	87	1.1	108	103	1.0	1,276	1,196	1.1
整形外科	1,371	1,119	1.2	1,526	1,230	1.2	1,385	1,152	1.2	1,294	1,058	1.2	1,581	1,271	1.2	17,081	13,807	1.2
整形外科	1,371	1,119	1.2	1,526	1,230	1.2	1,385	1,152	1.2	1,294	1,058	1.2	1,581	1,271	1.2	17,081	13,807	1.2
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	252	231	1.1	276	247	1.1	226	212	1.1	236	216	1.1	292	256	1.1	3,100	2,758	1.1
耳鼻咽喉科	265	192	1.4	316	213	1.5	249	191	1.3	251	193	1.3	312	210	1.5	3,393	2,378	1.4
眼科	417	350	1.2	428	351	1.2	438	372	1.2	412	344	1.2	365	306	1.2	5,390	4,372	1.2
皮膚科	323	264	1.2	365	316	1.2	309	244	1.3	366	291	1.3	341	267	1.3	4,544	3,541	1.3
泌尿器科	533	468	1.1	602	540	1.1	545	508	1.1	490	441	1.1	614	571	1.1	6,745	6,041	1.1
放射線科	367	363	1.0	356	352	1.0	307	305	1.0	338	333	1.0	349	346	1.0	4,307	4,264	1.0
救急診療科	432	414	1.0	587	567	1.0	519	499	1.0	392	384	1.0	455	435	1.0	5,453	5,220	1.0
救急科内科	253	241	1.0	372	363	1.0	365	352	1.0	249	245	1.0	297	280	1.1	3,408	3,260	1.0
救急科小児科	7	7	1.0	24	24	1.0	10	10	1.0	8	7	1.1	7	6	1.2	126	122	1.0
救急科外科系	171	165	1.0	191	180	1.1	144	137	1.1	132	130	1.0	151	149	1.0	1,913	1,833	1.0
救急科産婦人科	1	1	1.0	0	0	0	0	0	0	3	2	1.5	0	0	0	6	5	1.2
血液浄化療法科	132	11	12.0	131	12	10.9	143	13	11.0	132	13	10.2	129	12	10.8	1,622	147	11.0

(5)地域別 外来患者構成比

距離	市名	町名	患者数		構成比	
			2024年度	2023年度	2024年度	2023年度
1 km 圏 内	高槻市	北柳川町	2,187	2,157	19.8%	20.1%
		栄町	5,443	5,505		
		昭和台町	1,459	1,484		
		富田町	5,183	5,814		
		西町	2,731	2,955		
		南総持寺町	2,750	2,393		
		柳川町	2,199	2,194		
		北昭和台町	1,045	1,213		
	茨木市	鮎川	3,123	3,416	13.2%	13.3%
		庄	2,531	2,475		
		総持寺	1,415	1,620		
		総持寺駅前	481	575		
		総持寺台	808	869		
		中総持寺町	775	790		
		橋の内	4,362	4,465		
		中村町	551	433		
	学園町	1,289	1,116			
小計			38,332	39,474		

距離	市名	町名	患者数		構成比	
			2024年度	2023年度	2024年度	2023年度
1 km （ 2 km 圏 内	高槻市	唐崎	1	0	29.6%	29.7%
		唐崎北	23	21		
		唐崎中	494	512		
		唐崎西	415	387		
		唐崎南	29	46		
		川添	2,481	2,422		
		寿町	4,358	4,383		
		桜ヶ丘北町	422	527		
		桜ヶ丘南町	375	509		
		玉川	1,246	1,140		
		津之江町	3,515	3,380		
		津之江北町	360	392		
		西五百住町	339	344		
		東五百住町	2,091	2,261		
		如是町	1,239	1,227		
		牧田町	4,969	5,260		
		登町	387	460		
		芝生町	5,748	5,885		
		登美の里町	571	456		
		柱本	750	784		
		柱本新町	990	1,176		
		富田丘町	1,222	1,278		
		大畑町	868	795		
		幸町	26	13		
		赤大路町	886	903		
		宮田町	647	567		
小計			34,452	35,128		

距離	市名	町名	患者数		構成比	
			2024年度	2023年度	2024年度	2023年度
1 km 圏 内	茨木市	白川	1,822	1,778	13.7%	13.8%
		西河原	835	989		
		東太田	1,802	1,978		
		三島丘	1,738	1,791		
		三島町	531	471		
		学園南町	399	380		
		新堂	997	1,130		
		五十鈴町	619	656		
		桑田町	166	125		
		寺田町	546	476		
		中津町	490	527		
		園田町	454	538		
		別院町	113	106		
		末広町	197	205		
		太田	456	538		
		上野町	400	261		
		奈良町	84	113		
		双葉町	135	129		
		舟木町	358	361		
		戸伏町	250	262		
		大住町	140	86		
		竹橋町	161	183		
		星見町	587	769		
		大同町	198	159		
		大池	953	902		
		稲葉町	212	196		
		大手町	107	88		
		元町	127	138		
		本町	110	59		
		片桐町	165	127		
		宮元町	142	127		
		東宮町	90	86		
上泉町	131	151				
田中町	164	230				
西田中	166	140				
上中条	101	111				
永代町	39	8				
小計			15,985	16,374		

距離	患者数		構成比	
	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度
2km圏内	88,769	90,976	79.3%	79.9%
2km圏外 高槻市	10,099	9,876	9.0%	8.7%
2km圏外 茨木市	10,969	10,985	9.8%	9.7%
摂津市	2,106	1,983	1.9%	1.7%
①合計(2次保健診療圏)	111,943	113,820	100.0%	100.0%
吹田市	509	410	11.8%	9.3%
その他 大阪府内	2,512	2,724	58.2%	61.5%
京都府	528	637	12.2%	14.4%
兵庫県	475	398	11.0%	9.0%
奈良県	54	22	1.3%	0.5%
その他 都道府県	239	238	5.5%	5.4%
②合計(2次保健診療圏)	4,317	4,429	100.0%	100.0%
総合計(①+②)	116,260	118,249		

(6)年齡別・男女別 外来患者構成比

診療科		内科	循環器 内科	小児科	一般 消化外	乳腺 外科	呼吸器 外科	心臓 血管外	脳神経 外科	整形 外科	婦人科	耳鼻 咽喉科	眼科	皮膚科	泌尿器 科	放射線 科	血液 浄化療	合計
年齢	性別	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比
0 ～ 3 歳	男	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
	女	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
4 ～ 6 歳	男	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
	女	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
7 ～ 15 歳	男	0.0%	0.0%	0.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	1.8%
	女	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%
16 ～ 19 歳	男	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
	女	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
20 歳代	男	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	1.5%
	女	0.5%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	1.2%
30 歳代	男	0.5%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	1.7%
	女	0.4%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	1.7%
40 歳代	男	0.9%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	3.2%
	女	1.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.8%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	3.7%
50 歳代	男	1.9%	0.9%	0.0%	0.3%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.0%	6.1%
	女	1.8%	0.5%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	2.3%	0.6%	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%	0.4%	0.1%	6.9%
60 歳代	男	2.4%	1.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	1.5%	0.0%	0.2%	0.5%	0.3%	0.5%	0.2%	0.3%	7.7%
	女	2.0%	0.7%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	2.2%	0.1%	0.3%	0.3%	0.2%	0.1%	0.3%	0.4%	6.9%
70 歳 以上	男	7.6%	5.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.3%	3.5%	0.0%	0.7%	1.6%	1.4%	3.9%	0.6%	0.3%	26.5%
	女	7.2%	4.3%	0.0%	1.1%	0.3%	0.1%	0.4%	0.4%	7.0%	0.6%	0.7%	1.6%	1.3%	0.9%	0.9%	0.2%	26.9%
科 男女 比	男	51.9%	57.0%	57.2%	56.2%	3.3%	60.4%	41.6%	46.8%	43.8%	0.0%	46.0%	52.7%	53.4%	79.4%	41.5%	53.3%	50.4%
	女	48.1%	43.0%	42.8%	43.8%	96.7%	39.6%	58.4%	53.2%	56.2%	100.0%	54.0%	47.3%	46.6%	20.6%	58.5%	46.7%	49.6%
総 男女 比	男	14.0%	7.6%	1.8%	2.5%	0.0%	0.3%	0.3%	0.5%	10.5%	0.0%	1.3%	2.5%	2.1%	4.6%	1.5%	0.7%	50.4%
	女	13.0%	5.7%	1.3%	1.9%	0.6%	0.2%	0.4%	0.6%	13.5%	2.7%	1.6%	2.2%	1.8%	1.2%	2.2%	0.7%	49.6%
総数比		26.9%	13.3%	3.1%	4.5%	0.7%	0.6%	0.7%	1.1%	24.0%	2.7%	2.9%	4.7%	3.9%	5.8%	3.7%	1.4%	100.0%
総合計 (人)		31,300	15,464	3,654	5,179	763	669	788	1,279	27,947	3,108	3,407	5,409	4,572	6,792	4,305	1,624	116,260

(7) コールセンター実績

■月別・時間帯別 交換電話件数

交換	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1ヵ月平均	1日平均	時間帯別 構成率
9:00	525	521	491	571	538	419	450	413	504	511	483	524	5,950	496	20.3	17.3%
10:00	416	378	386	457	409	351	417	377	402	394	366	424	4,777	398	16.3	13.9%
11:00	431	398	353	431	376	326	363	386	401	381	371	371	4,588	382	15.7	13.3%
12:00	279	239	285	318	291	266	275	243	302	305	273	276	3,352	279	11.4	9.7%
13:00	332	325	336	367	325	257	322	319	320	367	327	367	3,964	330	13.5	11.5%
14:00	340	342	341	366	341	343	365	296	324	365	328	380	4,131	344	14.1	12.0%
15:00	393	355	344	415	337	335	384	322	357	369	339	410	4,360	363	14.9	12.7%
16:00	271	296	269	321	247	247	303	267	277	281	256	296	3,331	278	11.4	9.7%
合計	2,987	2,854	2,805	3,246	2,864	2,544	2,879	2,623	2,887	2,973	2,743	3,048	34,453	2,871	117.6	100.0%

■月別・時間帯別 コールセンター件数

コール センター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1ヵ月平均	1日平均	時間帯別 構成率
9:00	561	534	536	600	594	467	543	429	471	506	480	568	6,289	524	21.5	28.4%
10:00	360	295	294	392	339	341	343	285	301	326	297	325	3,898	325	13.3	17.6%
11:00	216	275	249	271	262	260	273	246	266	249	237	237	3,041	253	10.4	13.7%
12:00	152	214	162	187	188	151	168	164	161	172	151	160	2,030	169	6.9	9.2%
13:00	191	211	190	209	191	198	208	181	177	199	182	195	2,332	194	8.0	10.5%
14:00	175	222	174	202	192	184	208	189	153	185	179	188	2,251	188	7.7	10.2%
15:00	200	214	196	223	187	185	181	175	195	205	162	187	2,310	193	7.9	10.4%
合計	1,855	1,965	1,801	2,084	1,953	1,786	1,924	1,669	1,724	1,842	1,688	1,860	22,151	1,846	75.6	100.0%

■曜日別・時間帯別 交換電話件数

交換	計							曜日別平均					
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:00	1,003	1,077	996	972	1,030	872	5,950	23.9	21.5	19.5	19.4	20.6	17.4
10:00	795	875	789	810	936	572	4,777	18.9	17.5	15.5	16.2	18.7	11.4
11:00	693	853	902	767	820	553	4,588	16.5	17.1	17.7	15.3	16.4	11.1
12:00	523	656	598	564	633	378	3,352	12.5	13.1	11.7	11.3	12.7	7.6
13:00	667	719	738	753	699	388	3,964	15.9	14.4	14.5	15.1	14.0	7.8
14:00	648	818	780	768	759	358	4,131	15.4	16.4	15.3	15.4	15.2	7.2
15:00	661	849	839	839	813	359	4,360	15.7	17.0	16.5	16.8	16.3	7.2
16:00	551	691	673	634	568	214	3,331	13.1	13.8	13.2	12.7	11.4	4.3
合計	5,541	6,538	6,315	6,107	6,258	3,694	34,453	131.9	130.8	123.8	122.1	125.2	73.9

■曜日別・時間帯別 コールセンター件数

コール センター	計							曜日別平均					
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:00	1,057	1,148	1,146	984	954	1,000	6,289	25.2	23.0	22.5	19.7	19.1	20.0
10:00	756	712	671	615	637	507	3,898	18.0	14.2	13.2	12.3	12.7	10.1
11:00	553	580	562	498	494	354	3,041	13.2	11.6	11.0	10.0	9.9	7.1
12:00	358	399	369	352	357	195	2,030	8.5	8.0	7.2	7.0	7.1	3.9
13:00	430	449	440	383	435	195	2,332	10.2	9.0	8.6	7.7	8.7	3.9
14:00	434	441	450	425	417	84	2,251	10.3	8.8	8.8	8.5	8.3	1.7
15:00	465	485	458	417	409	76	2,310	11.1	9.7	9.0	8.3	8.2	1.5
合計	4,053	4,214	4,096	3,674	3,703	2,411	22,151	96.5	84.3	80.3	73.5	74.1	48.2

(8)外来診療予約率

月別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度			
	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率		
循環器科	97.6%	98.4%	97.1%	97.8%	97.5%	97.8%	98.0%	97.9%	98.0%	96.0%	96.6%	98.6%	98.5%	95.9%	98.6%	99.7%	97.4%	97.8%	99.5%	98.5%	98.3%	98.8%	98.4%	99.2%	98.0%	98.0%	98.0%	
消化器内科	96.3%	97.7%	95.9%	94.8%	97.1%	94.7%	97.0%	96.1%	96.9%	97.4%	96.6%	96.6%	96.8%	97.5%	97.8%	95.6%	96.2%	92.6%	97.9%	96.7%	96.9%	96.9%	98.4%	99.0%	97.0%	96.3%	96.8%	
呼吸器内科	97.0%	100.0%	97.1%	100.0%	96.9%	100.0%	98.4%	—	97.6%	—	95.9%	—	95.8%	—	97.6%	—	98.4%	—	96.1%	—	97.5%	—	96.7%	—	97.1%	100.0%	97.1%	
糖尿病内科	98.4%	98.8%	98.1%	100.0%	98.9%	100.0%	99.7%	98.9%	98.9%	100.0%	99.1%	96.0%	98.9%	100.0%	99.1%	98.7%	99.3%	98.2%	99.3%	97.9%	99.6%	100.0%	99.6%	100.0%	99.1%	99.0%	99.1%	
総合内科	69.6%	—	73.7%	—	70.3%	—	72.0%	—	69.1%	—	74.0%	—	75.1%	—	69.8%	—	69.5%	—	68.8%	—	74.2%	—	76.7%	—	71.8%	—	71.8%	
神経内科	—	97.3%	—	96.8%	—	97.2%	—	94.2%	—	97.6%	—	98.1%	—	98.5%	—	98.3%	—	98.5%	—	98.2%	—	—	99.2%	—	97.5%	97.5%		
血液内科	92.3%	95.9%	100.0%	96.6%	94.7%	100.0%	96.4%	100.0%	96.9%	100.0%	98.5%	97.6%	96.1%	96.4%	97.1%	96.4%	95.1%	92.2%	95.0%	96.5%	97.4%	96.0%	100.0%	98.5%	96.9%	97.0%	97.0%	
肝臓内科	100.0%	85.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.4%	100.0%	100.0%	97.0%	100.0%	98.2%	100.0%	100.0%	94.7%	96.0%	97.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	99.2%	98.0%	98.0%	
小児科	71.6%	100.0%	71.8%	100.0%	65.7%	100.0%	66.8%	100.0%	100.0%	64.3%	100.0%	65.5%	100.0%	60.1%	100.0%	63.4%	100.0%	59.8%	98.7%	72.8%	100.0%	63.3%	95.5%	73.6%	100.0%	66.8%	99.4%	73.9%
一般消化器外科	83.9%	100.0%	87.3%	100.0%	89.9%	100.0%	92.6%	100.0%	88.2%	100.0%	86.3%	100.0%	85.9%	85.7%	83.4%	100.0%	86.6%	75.0%	86.2%	100.0%	94.8%	85.7%	88.2%	100.0%	100.0%	88.0%	95.4%	88.2%
乳腺外科	97.8%	93.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.3%	100.0%	96.7%	96.3%	100.0%	100.0%	94.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.2%	100.0%	96.2%	100.0%	100.0%	99.4%	97.9%	98.8%	
心臓血管外科	—	95.8%	—	95.2%	100.0%	96.7%	—	98.6%	100.0%	95.2%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	—	100.0%	100.0%	100.0%	92.9%	100.0%	100.0%	96.8%	100.0%	100.0%	96.6%	97.1%	97.0%	
呼吸器外科	95.7%	—	100.0%	—	97.9%	—	98.1%	—	98.0%	—	96.1%	—	90.6%	—	100.0%	—	97.1%	—	94.1%	—	97.7%	—	100.0%	—	97.0%	—	97.0%	
脳神経外科	86.7%	64.3%	89.6%	87.0%	87.2%	77.8%	84.6%	95.2%	85.6%	85.7%	82.0%	80.0%	79.1%	78.6%	78.1%	88.9%	74.5%	78.6%	81.1%	61.5%	82.4%	57.1%	83.7%	60.9%	83.0%	77.2%	82.2%	
整形外科	91.8%	97.1%	90.5%	98.4%	91.4%	98.8%	93.0%	94.5%	93.0%	98.2%	93.2%	98.3%	92.7%	96.4%	92.9%	98.1%	92.2%	99.3%	90.7%	98.9%	89.9%	96.9%	90.9%	97.3%	91.8%	97.8%	92.3%	
形成外科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
婦人科	96.8%	100.0%	98.6%	—	99.0%	—	99.6%	—	98.4%	—	99.2%	100.0%	99.1%	—	98.3%	—	99.3%	—	98.1%	—	98.2%	—	98.6%	—	98.6%	100.0%	98.6%	
眼科	95.5%	98.7%	91.6%	96.2%	96.1%	98.3%	91.7%	97.9%	93.1%	96.4%	92.3%	98.5%	94.9%	93.9%	94.1%	100.0%	94.3%	94.6%	90.8%	95.3%	93.3%	98.7%	94.0%	100.0%	93.4%	97.4%	94.0%	
耳鼻咽喉科	77.2%	100.0%	79.4%	97.5%	73.1%	100.0%	75.4%	100.0%	72.1%	100.0%	74.6%	97.1%	77.6%	100.0%	75.6%	100.0%	72.5%	98.5%	70.9%	98.2%	74.9%	100.0%	71.5%	100.0%	74.6%	99.4%	79.0%	
皮膚科	83.8%	—	80.6%	—	82.0%	—	81.0%	—	78.4%	—	81.7%	—	80.8%	—	79.6%	—	82.9%	—	85.0%	—	80.7%	—	83.4%	—	81.6%	—	81.6%	
泌尿器科	90.5%	98.9%	93.4%	93.8%	91.2%	87.9%	90.2%	94.4%	88.6%	88.0%	91.3%	100.0%	90.5%	96.2%	89.5%	92.3%	92.2%	97.0%	90.6%	98.2%	91.4%	100.0%	92.3%	97.1%	90.9%	95.2%	91.3%	
公的検診・ 特定健診・ 予防接種	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	90.9%	100.0%	100.0%	100.0%	84.6%	100.0%	100.0%	99.4%	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	97.2%	100.0%	88.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%	95.6%	99.2%	
精神科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
予約率	90.4%	97.6%	90.4%	96.9%	90.5%	97.0%	90.5%	97.3%	89.4%	96.7%	90.2%	98.0%	90.9%	96.8%	90.3%	98.3%	90.2%	96.7%	89.7%	97.5%	90.4%	97.4%	91.2%	97.9%	90.3%	97.3%	91.5%	

曜日別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度		
	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	午前診 予約率	午後診 予約率	
月曜日	89.8%	96.0%	90.5%	97.0%	88.1%	96.0%	89.7%	94.6%	87.7%	97.4%	87.7%	96.1%	89.1%	96.7%	87.1%	97.6%	89.5%	97.2%	91.6%	98.4%	90.7%	92.6%	90.6%	97.2%	89.5%	96.4%	90.6%
火曜日	89.9%	98.4%	89.3%	94.2%	91.7%	97.7%	91.5%	99.0%	89.8%	96.0%	89.4%	97.8%	91.4%	96.0%	89.6%	99.5%	91.6%	96.9%	88.6%	96.4%	90.6%	90.7%	92.6%	93.1%	99.3%	90.5%	91.8%
水曜日	90.8%	97.9%	90.7%	96.7%	90.9%	95.2%	90.3%	97.0%	90.3%	95.1%	91.4%	98.1%	91.6%	97.5%	90.8%	97.4%	89.5%	94.8%	90.7%	95.0%	90.5%	98.6%	91.5%	95.4%	90.7%	96.6%	91.5%
木曜日	91.8%	97.8%	90.0%	98.5%	91.6%	98.1%	89.8%	97.7%	89.5%	97.7%	90.9%	99.0%	91.4%	97.0%	92.5%	99.3%	90.5%	99.2%	91.0%	98.6%	91.2%	98.4%	91.8%	97.3%	90.9%	98.2%	92.7%
金曜日	88.8%	97.8%	91.0%	97.1%	92.0%	96.8%	91.9%	97.6%	88.1%	96.4%	91.5%	98.1%	90.1%	96.7%	90.2%	97.4%	90.0%	94.3%	90.1%	97.9%	90.1%	97.4%	89.6%	99.1%	90.3%	97.2%	92.1%
土曜日	91.0%	100.0%	91.6%	—	90.1%	100.0%	90.0%	—	90.7%	100.0%	89.9%	100.0%	91.9%	100.0%	90.8%	—	89.9%	—	86.2%	100.0%	89.2%	100.0%	90.2%	100.0%	90.1%	100.0%	90.1%
合 計	90.4%	97.6%	90.4%	96.9%	90.5%	97.0%	90.5%	97.3%	89.4%	96.7%	90.2%	98.0%	90.9%	96.8%	90.3%	98.3%	90.2%	96.7%	89.7%	97.5%	90.4%	97.4%	91.2%	97.9%	90.3%	97.3%	91.5%

(9) 外来診療待ち時間調査結果

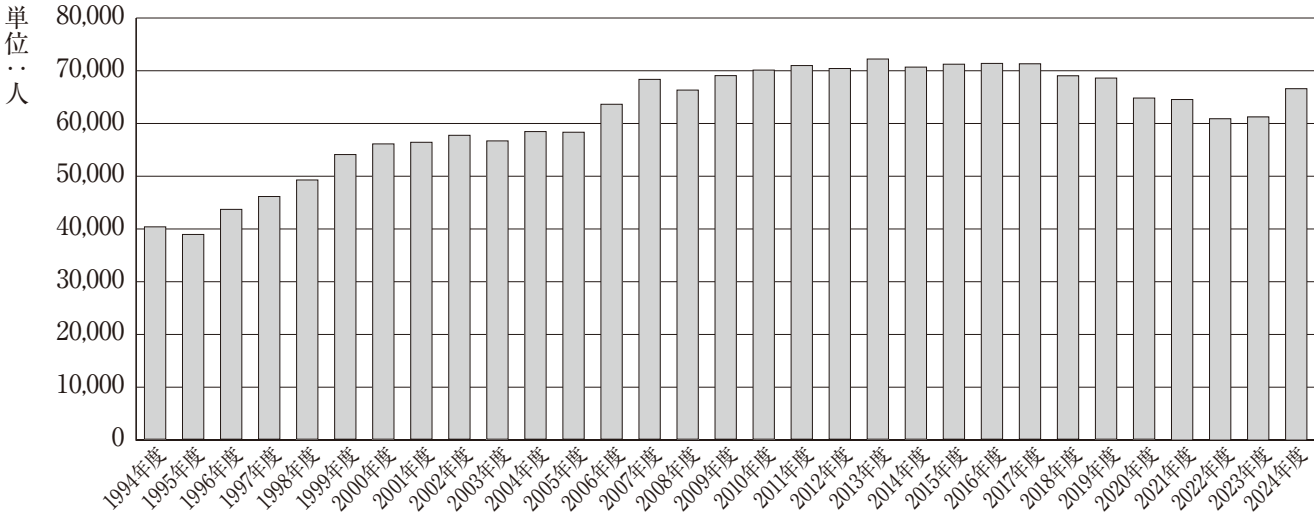
科別/曜日別	月	火	水	木	金	土	平均
循環器科	0:24	0:31	0:12	0:42	0:38	0:26	0:32
消化器内科	0:38		0:29	0:36	0:12	0:32	0:33
呼吸器内科	0:36	0:31	0:33	0:23	0:50		0:35
糖尿病内科		0:55	0:57	0:35	0:37		0:51
総合内科	0:29	0:39	0:23	0:25	1:24	1:08	0:38
神経内科	0:09			0:12			0:11
血液内科		0:39			0:24		0:30
肝臓内科				0:45	0:10		0:34
小児科	0:26	0:06	0:12	0:30	0:25	0:20	0:20
一般消化器外科	0:51	0:38	0:17	0:33	0:31	0:30	0:32
乳腺外科							
呼吸器外科		0:35		1:03			0:36
心臓血管外科				0:31		0:39	0:37
脳神経外科	0:15		0:06			0:15	0:12
整形外科	0:29	0:59	0:39	0:32	0:37	0:50	0:41
形成外科							
婦人科	0:45	0:47	0:59		0:18		0:49
眼科	0:35	0:19	0:19	0:26	0:23	0:10	0:24
耳鼻咽喉科	0:15	0:20	0:26	0:16	0:23	0:12	0:18
皮膚科	0:17	0:17	0:13	0:18		0:25	0:19
泌尿器科	0:26	0:24	0:30	0:44	0:19	0:22	0:28
平均	0:30	0:39	0:34	0:33	0:35	0:34	0:34

■単位：分 ■待ち時間 = 診療呼び出し時間 - 予約時間(当日直来予約を含む)

※予約時間前呼出者は除く

2. 入院

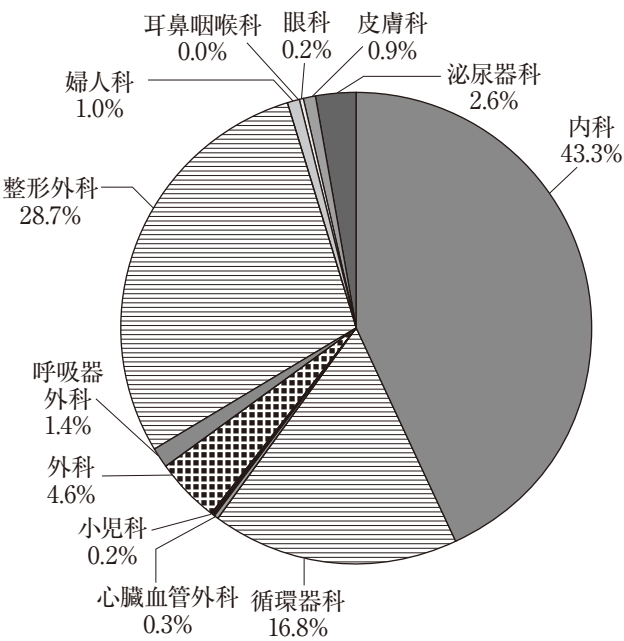
(1) 在院患者延べ数の推移



在院延べ患者数

1994年度	40,260	2000年度	55,985	2006年度	63,499	2012年度	70,280	2018年度	68,900	2024年度	66,623
1995年度	38,815	2001年度	56,291	2007年度	68,217	2013年度	72,078	2019年度	68,468		
1996年度	43,570	2002年度	57,615	2008年度	66,189	2014年度	70,546	2020年度	64,679		
1997年度	46,010	2003年度	56,554	2009年度	68,930	2015年度	71,095	2021年度	64,572		
1998年度	49,146	2004年度	58,321	2010年度	69,978	2016年度	71,245	2022年度	60,926		
1999年度	53,965	2005年度	58,197	2011年度	70,838	2017年度	71,172	2023年度	61,273		

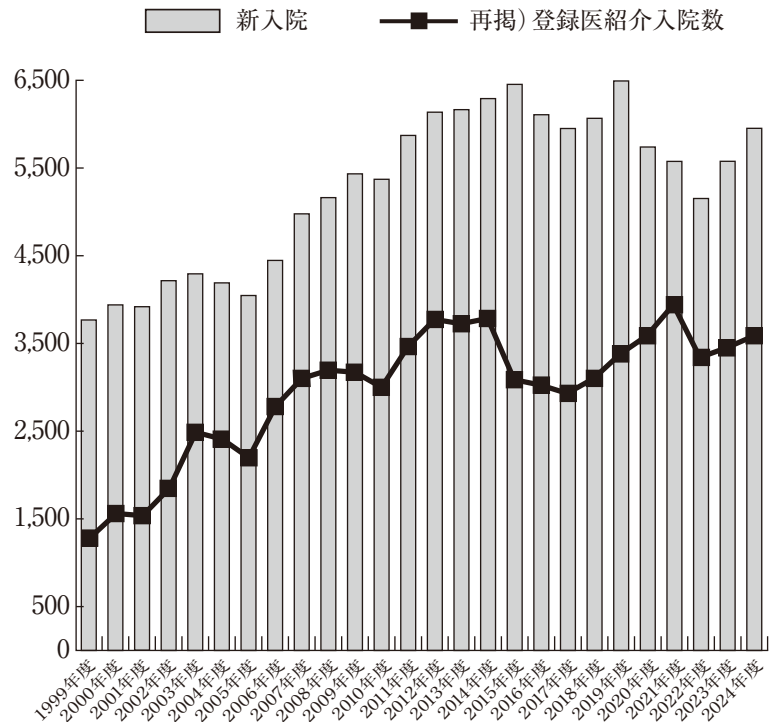
(2) 科別 入院患者構成比の推移



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
内 科	42.2%	41.3%	40.8%	43.3%
循 環 器 科	19.6%	17.6%	19.2%	16.8%
心臓血管外科	0.3%	0.5%	0.7%	0.3%
小 児 科	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%
外 科	7.4%	7.5%	5.8%	4.6%
呼吸器外科	0.9%	1.4%	0.8%	1.4%
整 形 外 科	25.6%	26.7%	27.4%	28.7%
婦 人 科	0.9%	1.2%	0.9%	1.0%
耳 鼻 咽 喉 科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
眼 科	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%
皮 膚 科	0.9%	0.7%	0.9%	0.9%
泌 尿 器 科	1.9%	1.9%	3.0%	2.6%

(3) 新入院患者数・紹介患者数の推移

年度	新入院	(再掲)登録医 紹介入院数	退院数	分娩数
1999年度	3,768	1,273	3,751	324
2000年度	3,940	1,553	3,928	275
2001年度	3,916	1,529	3,923	236
2002年度	4,216	1,840	4,210	186
2003年度	4,294	2,479	4,294	131
2004年度	4,191	2,401	4,188	87
2005年度	4,047	2,189	4,056	77
2006年度	4,447	2,773	4,421	82
2007年度	4,978	3,094	4,978	90
2008年度	5,163	3,187	5,153	83
2009年度	5,434	3,164	5,436	105
2010年度	5,372	2,992	5,378	85
2011年度	5,872	3,457	5,880	78
2012年度	6,137	3,766	6,130	87
2013年度	6,166	3,717	6,159	92
2014年度	6,292	3,777	6,299	71
2015年度	6,454	3,079	6,451	101
2016年度	6,108	3,017	6,113	32
2017年度	5,951	2,923	5,946	0
2018年度	6,067	3,094	6,070	0
2019年度	6,493	3,373	6,504	0
2020年度	5,740	3,580	5,758	0
2021年度	5,576	3,934	5,571	0
2022年度	5,153	3,333	5,168	0
2023年度	5,577	3,442	5,574	0
2024年度	5,969	3,534	5,953	0

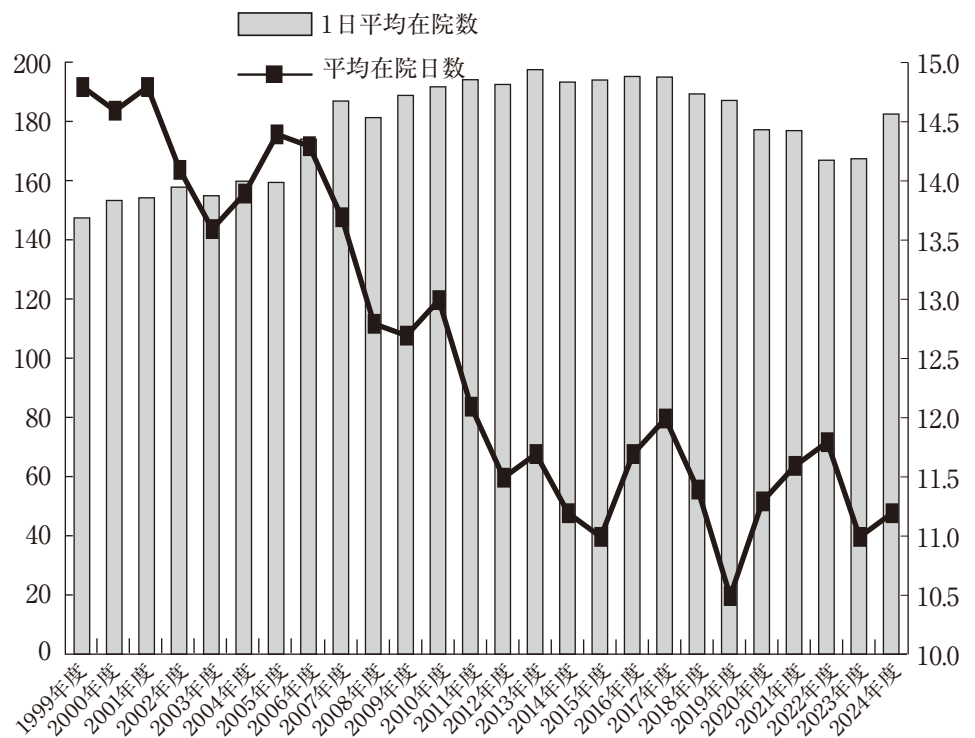


(4) 1日平均在院数・平均在院日数の推移

	1日平均 在院数	平均 在院日数
1999年度	147.4	14.8
2000年度	153.3	14.6
2001年度	154.2	14.8
2002年度	157.8	14.1
2003年度	154.9	13.6
2004年度	159.8	13.9
2005年度	159.4	14.4
2006年度	174.0	14.3
2007年度	186.9	13.7
2008年度	181.3	12.8
2009年度	188.8	12.7
2010年度	191.7	13.0
2011年度	194.1	12.1
2012年度	192.5	11.5
2013年度	197.5	11.7
2014年度	193.3	11.2
2015年度	194.0	11.0
2016年度	195.2	11.7
2017年度	195.0	12.0
2018年度	189.3	11.4
2019年度	187.1	10.5
2020年度	177.2	11.3
2021年度	176.9	11.6
2022年度	166.9	11.8
2023年度	167.4	11.0
2024年度	182.5	11.2

1日平均在院数(棒グラフ)

平均在院日数(折れ線グラフ)



(5)地域別 入院患者構成比

距離	市名	町名	構成比
1 km 圏 内	高槻市	北柳川町	18.0% (16.4%)
		栄町	
		昭和台町	
		富田町	
		西町	
		南総持寺町	
		柳川町	
		北昭和台町	
	茨木市	鮎川	12.1% (12.7%)
		庄	
		総持寺	
		総持寺駅前	
		総持寺台	
		中総持寺町	
		橋の内	
		中村町	
		学園町	
	小　　計		

距離	市名	町名	構成比
1 km 圏 内	高槻市	唐崎	26.4% (25.7%)
		唐崎北	
		唐崎中	
		唐崎西	
		唐崎南	
		川添	
		寿町	
		桜ヶ丘北町	
		桜ヶ丘南町	
		玉川	
		津之江町	
		津之江北町	
		西五百住町	
		東五百住町	
		如是町	
		牧田町	
		登町	
		芝生町	
		登美の里町	
		柱本	
		柱本新町	
		富田丘町	
		大畑町	
		幸町	
		赤大路町	
		宮田町	

※構成比:2024年度、()は2023年度

距離	市名	町名	構成比
1 km (2 km 圏 内	茨 木 市	白川	17.1% (16.9%)
		西河原	
		東太田	
		三島丘	
		三島町	
		学園南町	
		新堂	
		五十鈴町	
		桑田町	
		寺田町	
		中津町	
		園田町	
		別院町	
		末広町	
		太田	
		上野町	
		奈良町	
		双葉町	
		舟木町	
		戸伏町	
		大住町	
		竹橋町	
		星見町	
		大同町	
		大池	
		稲葉町	
		大手町	
		元町	
		本町	
		片桐町	
		宮元町	
		東宮町	
		上泉町	
田中町			
西田中			
上中条			
永代町			
小計			43.5%(42.6%)

距 離	構成比	距 離	構成比
2km圏内	73.6%(71.7%)	吹田市	0.4%(0.5%)
2km圏外 高槻市	7.6%(8.7%)	その他 大阪府内	2.3%(2.2%)
2km圏外 茨木市	13.8%(13.9%)	京都府	0.2%(0.4%)
摂津市	1.5%(1.7%)	兵庫県	0.2%(0.4%)
合計(2次保健診療圏)	96.6%(96.0%)	奈良県	0.0%(0.1%)
		その他 都道府県	0.3%(0.4%)
		合計(2次保健診療圏外)	3.4%(4.0%)

(6)年齢別・男女別 入院患者構成比

診療科		総合内科	循環器内科	消化器内科	呼吸器内科	血液内科	糖尿病内科	小児科	一般消化外	呼吸器外科	心臓血管外	整形外科	産婦人科	眼科	皮膚科	泌尿器科	合計
年齢	性別	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比
0 ～ 3歳	男	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
	女	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
4 ～ 6歳	男	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
	女	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
7 ～ 15歳	男	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
	女	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
16 ～ 19歳	男	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
	女	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
20歳代	男	0.1%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
	女	0.2%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%
30歳代	男	0.1%	0.1%	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
	女	0.2%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
40歳代	男	0.0%	0.3%	0.8%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
	女	0.1%	0.1%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%
50歳代	男	0.4%	0.9%	2.0%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.4%	0.2%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	5.9%
	女	0.1%	0.2%	0.9%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	1.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%	3.6%
60歳代	男	0.2%	0.9%	2.4%	0.6%	0.0%	0.2%	0.0%	0.4%	0.1%	0.0%	1.1%	0.0%	0.3%	0.1%	0.2%	6.4%
	女	0.2%	0.3%	1.5%	0.3%	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	1.8%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	4.7%
70歳以上	男	2.5%	5.9%	9.8%	3.3%	0.0%	0.5%	0.0%	1.7%	0.7%	0.1%	3.6%	0.0%	0.9%	0.2%	1.5%	30.7%
	女	3.2%	5.6%	10.1%	1.5%	0.0%	0.5%	0.0%	1.3%	0.2%	0.5%	9.5%	0.6%	1.2%	0.4%	1.0%	35.5%
科内男女比	男	45.5%	56.2%	53.7%	66.2%	0.0%	60.6%	51.1%	56.4%	83.0%	23.1%	40.9%	0.0%	48.1%	44.7%	59.9%	50.4%
	女	54.5%	43.8%	46.3%	33.8%	0.0%	39.4%	48.9%	43.6%	17.0%	76.9%	59.1%	100.0%	51.9%	55.3%	40.1%	49.6%
総数男女比	男	3.4%	8.0%	15.6%	4.6%	0.0%	1.0%	0.4%	2.9%	1.2%	0.2%	9.8%	0.0%	1.2%	0.4%	1.8%	50.4%
	女	4.0%	6.2%	13.4%	2.3%	0.0%	0.6%	0.4%	2.2%	0.3%	0.5%	14.2%	2.4%	1.3%	0.4%	1.2%	49.6%
総数比		7.4%	14.2%	29.0%	6.9%	0.0%	1.6%	0.8%	5.1%	1.5%	0.7%	24.0%	2.4%	2.6%	0.8%	3.0%	100.0%
総合計(人)		442	850	1,731	414	0	94	45	307	88	39	1,435	141	154	47	182	5,969

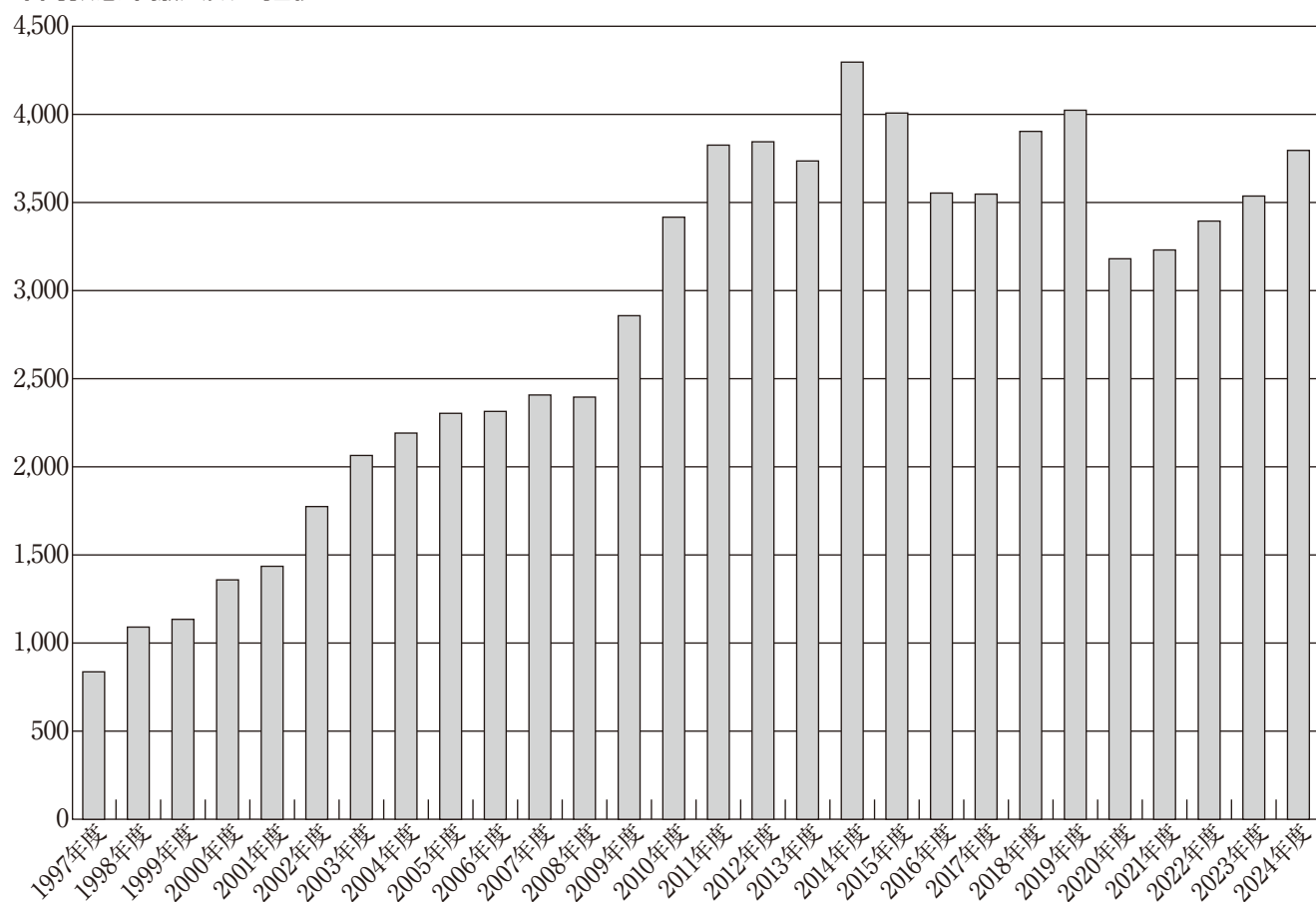
3. 時間外・救急 (1)時間外・救急患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 科	190	252	253	343	335	226	255	242	367	366	226	286	3,341
外 科	97	125	121	133	113	118	139	144	163	129	120	122	1,524
婦 人 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 児 科	8	5	3	7	8	5	3	2	17	10	5	3	76
計	295	382	377	483	456	349	397	388	547	505	351	411	4,941

(2)月別・科別・入外別 救急車搬入数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	入院	64	82	91	155	136	73	89	87	82	76	74	74	1,083
	外来	87	82	108	169	145	94	88	101	121	111	105	139	1,350
循環器科	入院	17	11	14	14	9	14	8	16	21	20	19	13	176
	外来	7	11	11	10	5	9	3	7	9	9	9	13	103
小児科	入院	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3
	外来	4	2	1	2	4	4	1	1	4	2	3	3	31
外 科	入院	1	1	1	0	2	1	1	0	0	2	0	2	11
	外来	5	8	16	16	17	22	16	12	13	11	12	5	153
呼吸器外科	入院	0	2	3	4	5	2	0	0	0	0	0	0	16
	外来	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
心臓血管外科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳外科	入院	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	4
	外来	0	0	0	3	1	1	2	0	1	1	3	0	12
整形外科	入院	18	27	23	16	28	23	31	29	34	25	31	30	315
	外来	34	25	30	40	29	25	27	36	51	36	37	35	405
婦人科	入院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
眼 科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	入院	1	3	1	3	3	1	4	5	1	4	1	1	28
	外来	3	8	8	16	14	8	11	5	9	4	4	10	100
合 計	入院	101	127	133	192	186	114	133	137	138	128	128	120	1,637
	外来	141	137	174	257	216	163	149	162	208	174	173	205	2,159
総 計		242	264	307	449	402	277	282	299	346	302	301	325	3,796

年間救急車搬入数の推移



年間救急車搬入数	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	837	1,091	1,135	1,359	1,436	1,775	2,065	2,192	2,304	2,315	2,408	2,396	2,858	3,417	3,826	3,845	3,736	4,297	4,008	3,554	3,548	3,904	4,024	3,181	3,231	3,395	3,537	3,796

(3)消防署別・入外別 救急車搬入数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高槻消防	入院	42	58	58	99	106	42	66	69	70	68	61	60	799
	外来	75	67	88	139	116	84	76	78	101	73	73	99	1,069
茨木消防	入院	57	66	72	84	72	66	64	66	63	52	61	56	779
	外来	64	68	81	109	91	79	72	81	104	93	93	101	1,036
その他	入院	2	3	3	9	8	6	3	2	5	8	6	4	59
	外来	2	2	5	9	9	1	3	3	8	7	5	5	59
合 計	入院	101	127	133	192	186	114	133	137	138	128	128	120	1,637
	外来	141	137	174	257	216	164	151	162	213	173	171	205	2,164
総 計		242	264	307	449	402	278	284	299	351	301	299	325	3,801

4. 病歴統計 (1)死亡患者数【ICD-10大分類 科別】

大分類名	性別	消化器内科	循環器内科	総合内科	糖尿病・内分泌内科	呼吸器内科	一般・消化器外科	呼吸器外科	整形外科	泌尿器科	心臓血管外科	婦人科	総計
01. 感染症及び寄生虫症	女	2			1								3
	男	2	3	1		1							7
02. 新生物	女	11	1			4				1		2	19
	男	33	1			7	1			2			44
03. 血液及び造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	女	2											2
	男			1									1
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	女	2	1	1									4
	男	2		3		1							6
06. 神経系の疾患	女	1											1
	男		1										1
09. 循環器の疾患	女	8	22	1							1		32
	男	4	27			1		1					33
10. 呼吸器の疾患	女	4	2	2		10							18
	男	8	8	4		13		3					36
11. 消化器の疾患	女	4	1										5
	男	10							1				11
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	女			1									1
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	女						1						1
14. 尿路性器系の疾患	女	4	3							1			8
	男	1	5							1			7
18. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの	男	1											1
19. 損傷、中毒及び その他の外因の影響	女		1						8				9
	男		1	1		1			3				6
22. 原因不明の新たな疾患の 暫定分類	女	3	4			1							8
	男		2										2
総 計		102	83	15	1	39	2	4	12	5	1	2	266

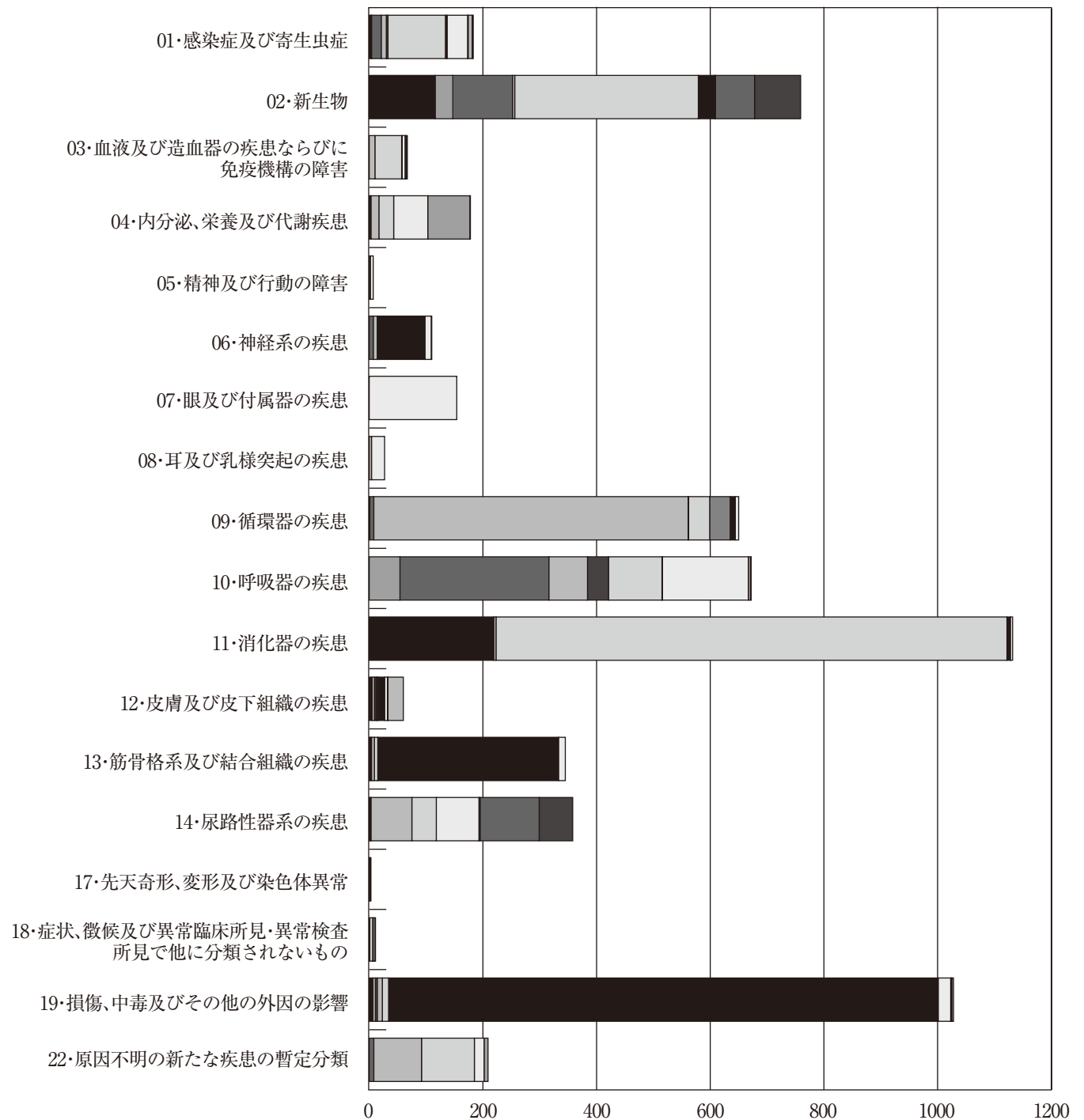
(人)

(2)退院患者ICD-10大分類統計【科別】

大分類名	一般・消化器外科	眼科	呼吸器外科	呼吸器内科	循環器内科	小児科	消化器内科	心臓血管外科	整形外科	総合内科	糖尿病・内分泌内科	泌尿器科	皮膚科	婦人科	総計
01. 感染症及び寄生虫症	3		1	17	9	3	101		3	36	1		7	2	183
02. 新生物	116		31	105	4		323		29	1		69		81	759
03. 血液及び造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害					10		47		1	5	2			2	67
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1			2	14		26			60	74	1			178
05. 精神及び行動の障害							2			5					7
06. 神経系の疾患				7	7		1		83	11	1				110
07. 眼及び付属器の疾患		154													154
08. 耳及び乳様突起の疾患					4					23					27
09. 循環器の疾患			1	7	553	1	37	36	9	6					650
10. 呼吸器の疾患			54	262	68	37	94	1		151	4		1		672
11. 消化器の疾患	219				4		899		6	4					1132
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	5				4	3	2	2	11	5		1	27		60
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2			2	5		6		318	12					345
14. 尿路性器系の疾患	2			1	72		43			75	2	104		59	358
17. 先天奇形、変形及び 染色体異常							1		2						3
18. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの				1			5		1	3		1			11
19. 損傷、中毒及び その他の外因の影響	6		5	3	9		11		967	22	1	1	3		1028
22. 原因不明の新たな疾患の 暫定分類				8	84		93			17	7				209
総 計	354	154	92	415	847	44	1,691	39	1,430	436	92	177	38	144	5,953

(人)

退院患者ICD-10大分類統計【科別】



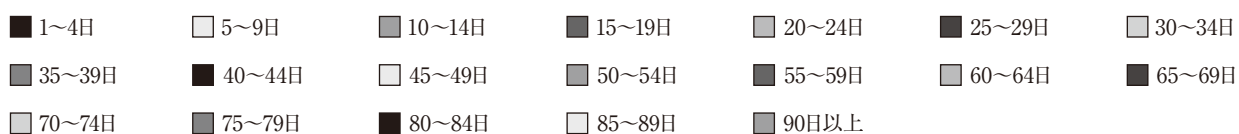
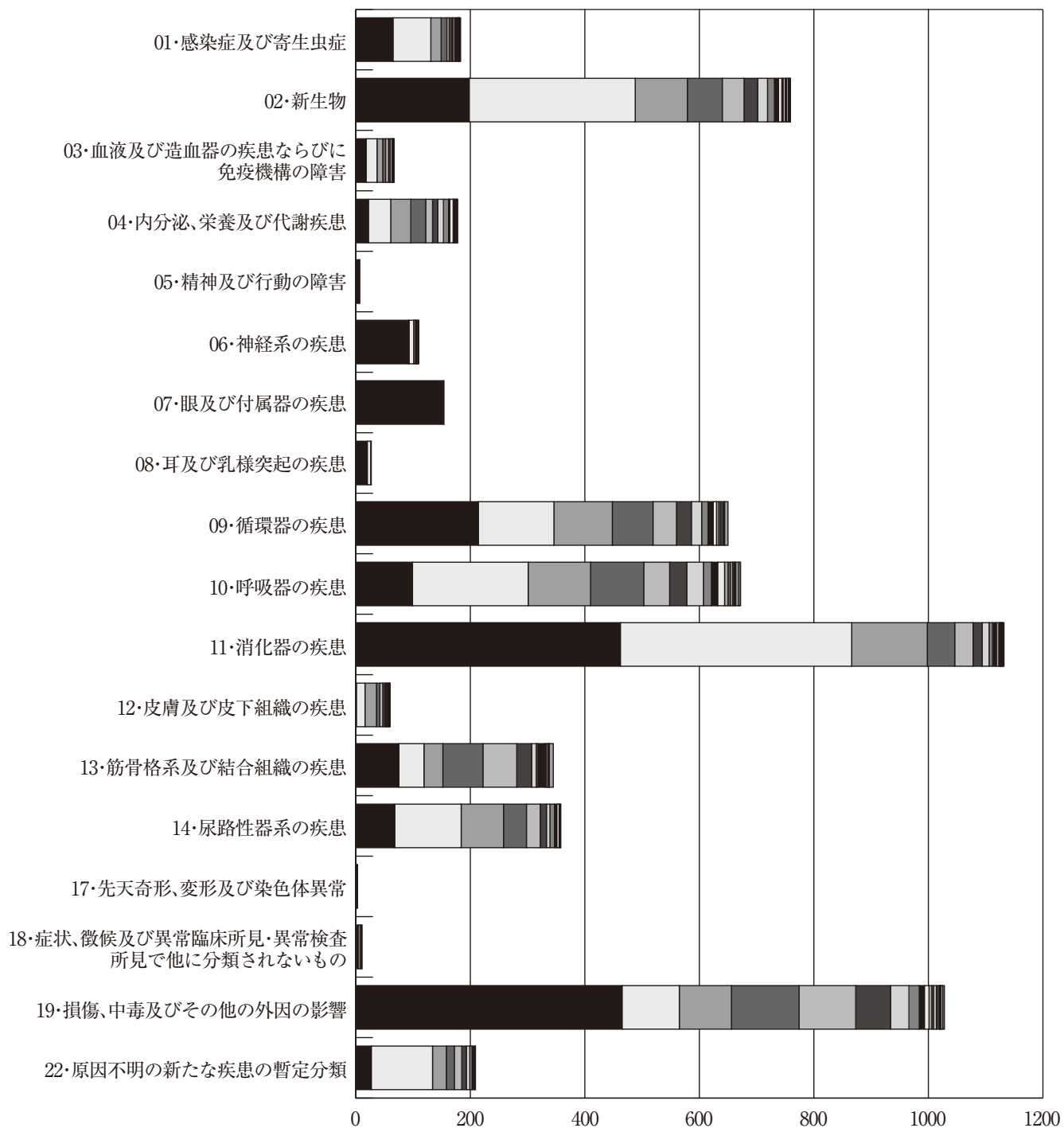
■ 一般・消化器外科 □ 眼科 ■ 呼吸器外科 ■ 呼吸器内科 ■ 循環器内科 ■ 小児科
 ■ 消化器内科 ■ 心臓血管外科 ■ 整形外科 □ 総合内科 ■ 糖尿病・内分泌内科 ■ 泌尿器科
 ■ 皮膚科 □ 婦人科

(3)退院患者ICD-10大分類統計【在院日数別】

大分類名	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 14 日	15 ～ 19 日	20 ～ 24 日	25 ～ 29 日	30 ～ 34 日	35 ～ 39 日	40 ～ 44 日	45 ～ 49 日	50 ～ 54 日	55 ～ 59 日	60 ～ 64 日	65 ～ 69 日	70 ～ 74 日	75 ～ 79 日	80 ～ 84 日	85 ～ 89 日	90 日 以上	総 計
01. 感染症及び寄生虫症	65	66	18	10	4	5	1	4	3	1		1	1			1	1		2	183
02. 新生物	198	290	91	61	38	24	17	12	7	6	2		4	2	3	2		1	1	759
03. 血液及び造血器の 疾患ならびに免疫機 構の障害	18	19	10	5	5	3	3	1	1			1						1		67
04. 内分泌、栄養及び 代謝疾患	22	39	35	26	12	9	10	9	2	6	1	2	2			1			2	178
05. 精神及び行動の障害	5	2																		7
06. 神経系の疾患	93	8	3		1				1	2		2								110
07. 眼及び付属器の疾患	153	1																		154
08. 耳及び 乳様突起の疾患	20	6	1																	27
09. 循環器の疾患	214	132	102	71	41	26	18	11	9	6	4	3		5	2				6	650
10. 呼吸器の疾患	99	202	109	93	45	30	29	14	11	12	6	4	4	3	2	6			3	672
11. 消化器の疾患	462	404	132	48	32	16	12	6	5	2	4	2	1	1	2	1			2	1132
12. 皮膚及び 皮下組織の疾患	1	15	20	6	5	4	2	1	2		1	1		1					1	60
13. 筋骨格系及び 結合組織の疾患	75	44	33	70	59	26	8	3	12	2	3			1	1	1			7	345
14. 尿路性器系の疾患	68	116	74	40	24	11	6	8	4	4	1	1			1					358
17. 先天奇形、変形及び 染色体異常	2		1																	3
18. 症状、徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見で他に 分類されないもの	4	3	2	1		1														11
19. 損傷、中毒及び その他の外因の影響	465	100	91	118	99	61	32	18	9	8	5	3	5	5	1	1	1	3	3	1028
22. 原因不明の新たな疾患の 暫定分類	27	107	24	14	13	8	6	4	5										1	209
総 計	1,991	1,554	746	563	378	224	144	91	71	49	27	20	17	18	12	13	2	5	28	5,953

(人)

退院患者ICD-10大分類統計【在院日数別】

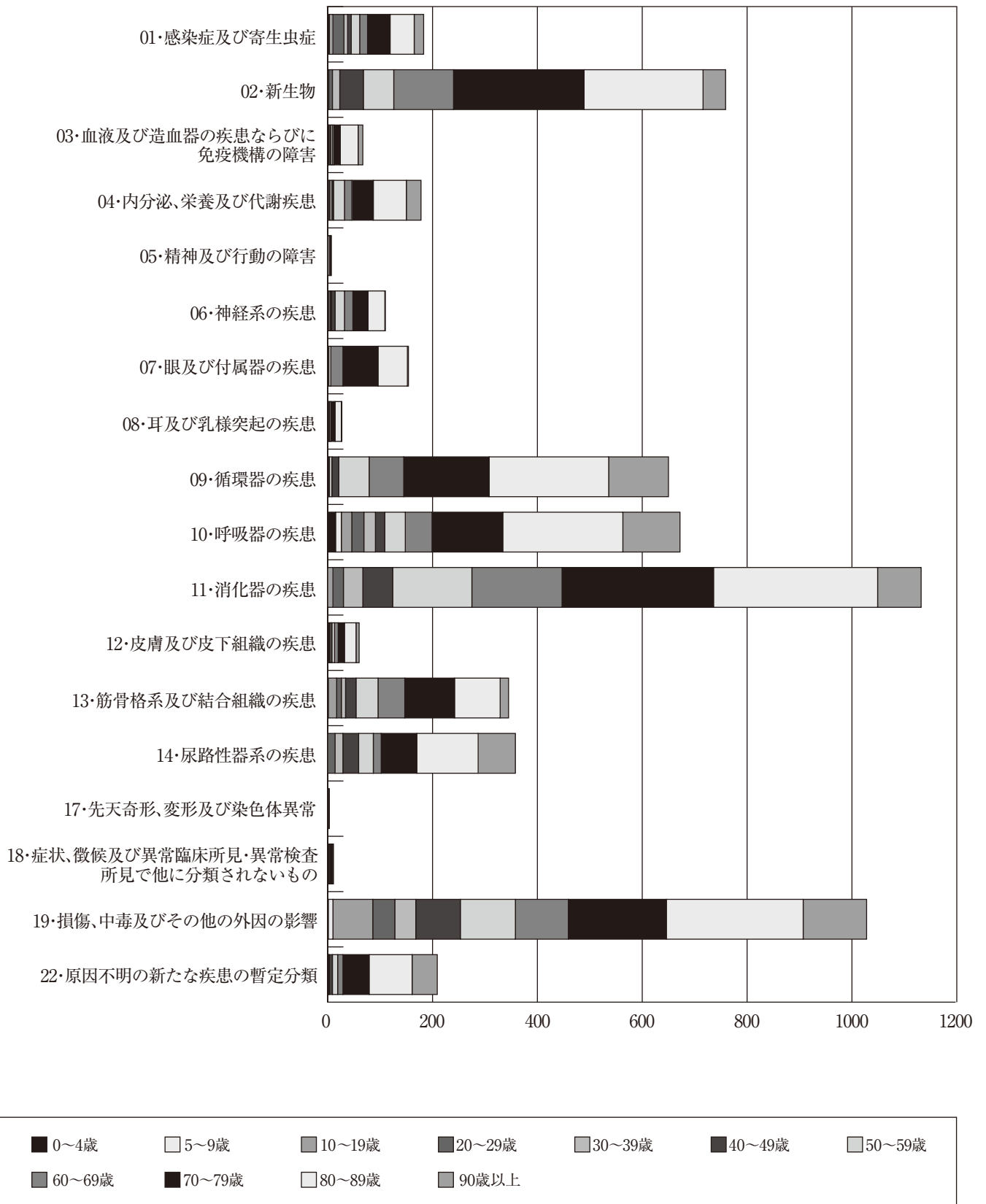


(4)退院患者ICD-10大分類統計【年齢別】

大分類名	0 ～ 4 歳	5 ～ 9 歳	10 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 ～ 89 歳	90 歳 以上	総 計
01. 感染症及び寄生虫症	2	1	7	21	7	7	16	15	43	46	18	183
02. 新生物			2	7	14	45	58	114	249	227	43	759
03. 血液及び造血器の疾患ならびに 免疫機構の障害				1	1	4	3	3	12	34	9	67
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患			1	3	4	3	21	14	41	63	28	178
05. 精神及び行動の障害					3	1			2	1		7
06. 神経系の疾患			1	4	2	7	18	16	29	32	1	110
07. 眼及び付属器の疾患						2	4	23	67	56	2	154
08. 耳及び乳様突起の疾患					1		2	3	8	12	1	27
09. 循環器の疾患			1	2	5	13	58	66	163	228	114	650
10. 呼吸器の疾患	15	11	20	23	22	18	39	51	135	229	109	672
11. 消化器の疾患			10	20	37	57	151	172	289	313	83	1132
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	3			1	3	1	5	7	12	22	6	60
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		1	16	9	8	20	42	51	95	87	16	345
14. 尿路性器系の疾患				14	15	30	28	15	68	117	71	358
17. 先天奇形、変形及び染色体異常			2						1			3
18. 症状、徴候及び異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されないもの				1		1	2	1	3	2	1	11
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1	9	76	42	40	85	105	101	187	261	121	1028
22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類			1	1	1	6	10	10	50	82	48	209
総 計	21	22	137	149	163	300	562	662	1,454	1,812	671	5,953

(人)

退院患者ICD-10大分類統計【年齢別】



(5)退院患者ICD-10大分類・中分類統計【科別】

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
一般・消化器外科			354

01. 感染症及び寄生虫症		3
01. 腸管感染症		1
04. その他の細菌性疾患		1
05. 主として性的伝播様式をとる感染症		1
02. 新生物		116
02. 消化器		80
03. 呼吸器および胸腔内臓器		1
07. 乳房		20
08. 女性性器		1
13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物		3
14. 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物		3
16. 上皮内新生物		1
18. 性状不詳または不明の新生物		7
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		1
08. 代謝障害		1
11. 消化器の疾患		219
03. 虫垂の疾患		37
04. ヘルニア		69
05. 非感染性腸炎および非感染性大腸炎		1
06. 腸のその他の疾患		38
07. 腹膜の疾患		6
09. 胆嚢、胆管および膵の障害		65
10. 消化器系のその他の疾患		3
12. 皮膚及び皮下組織の疾患		5
01. 皮膚および皮下組織の感染症		4
08. 皮膚および皮下組織のその他の障害		1
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		2
11. その他軟部組織障害		2
14. 尿路性器系の疾患		2
08. 乳房の障害		1
09. 女性骨盤臓器の炎症性疾患		1
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		6
01. 頭部損傷		1
04. 腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷		2
08. 股関節部および大腿の損傷		1
10. 足首および足の損傷		1
21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの		1

眼科	154
----	-----

07. 眼及び付属器の疾患	154
03. 強膜、角膜、虹彩および毛様体の障害	1
04. 水晶体の障害	153

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
呼吸器外			92

01. 感染症及び寄生虫症	1
15. 真菌症	1
02. 新生物	31
03. 呼吸器および胸腔内臓器	17
06. 中皮および軟部組織	7
13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	2
17. 良性新生物	2
18. 性状不詳または不明の新生物	3
09. 循環器の疾患	1
06. その他の型の心疾患	1
10. 呼吸器の疾患	54
02. インフルエンザおよび肺炎	1
05. 慢性下気道疾患	2
06. 外的因子による肺疾患	1
08. 下気道の化膿性および壊死性病態	13
09. 胸膜のその他の疾患	37
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	5
03. 胸部＜郭＞損傷	5

呼吸器内科			415
-------	--	--	-----

01. 感染症及び寄生虫症	17
02. 結核	5
04. その他の細菌性疾患	8
19. 感染症および寄生虫症の続発、後遺症	4
02. 新生物	105
03. 呼吸器および胸腔内臓器	92
06. 中皮および軟部組織	6
13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	5
18. 性状不詳または不明の新生物	2
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	2
05. 栄養失調(症)	1
08. 代謝障害	1
06. 神経系の疾患	7
06. 挿入性および発作性障害	7
09. 循環器の疾患	7
04. 虚血性心疾患	1
05. 肺性心疾患および肺循環疾患	3
06. その他の型の心疾患	2
07. 脳血管疾患	1
10. 呼吸器の疾患	262
02. インフルエンザおよび肺炎	108
03. その他の急性下気道感染症	2
05. 慢性下気道疾患	63
06. 外的因子による肺疾患	44
07. 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	21

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		08. 下気道の化膿性および壊死性病態	8
		09. 胸膜のその他の疾患	8
		10. 呼吸器系のその他の疾患	8
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		2
		02. 炎症性多発関節障害	1
		05. 全身性結合組織障害	1
	14. 尿路性器系の疾患		1
		06. 尿路系のその他の障害	1
	18. 症状、徴候及び異常臨床所見、異常検査所見で他に分類されないもの		1
		01. 循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		3
		04. 腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	1
		08. 股関節部および大腿の損傷	1
		13. 自然開口部からの異物侵入の作用	1
	22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類		8
		01. コロナウイルス感染症	8

循環器内科

847

01. 感染症及び寄生虫症	9
04. その他の細菌性疾患	9
02. 新生物	4
02. 消化器	1
10. 尿路	1
14. 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	1
18. 性状不詳または不明の新生物	1
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	10
01. 栄養性貧血	4
03. 無形性貧血およびその他の貧血	3
04. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	3
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	14
01. 甲状腺障害	2
02. 糖尿病	2
04. その他の内分泌腺障害	1
08. 代謝障害	9
06. 神経系の疾患	7
03. 錐体路障害および異常行動	1
06. 挿問性および発作性障害	2
11. 神経系その他の障害	4
08. 耳及び乳様突起の疾患	4
03. 内耳疾患	4
09. 循環器の疾患	553
03. 高血圧性心疾患	6
04. 虚血性心疾患	162
05. 肺性心疾患および肺循環疾患	7
06. その他の型の心疾患	353
07. 脳血管疾患	7

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	15
		09. 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	3
	10. 呼吸器の疾患		68
		02. インフルエンザおよび肺炎	29
		05. 慢性下気道疾患	4
		06. 外的因子による肺疾患	23
		07. 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	7
		08. 下気道の化膿性および壊死性病態	1
		09. 胸膜のその他の疾患	3
		10. 呼吸器系のその他の疾患	1
	11. 消化器の疾患		4
		05. 非感染性腸炎および非感染性大腸炎	1
		06. 腸のその他の疾患	2
		09. 胆嚢、胆管および膵の障害	1
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		4
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	1
		08. 皮膚および皮下組織のその他の障害	3
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		5
		02. 炎症性多発関節障害	1
		07. 脊椎障害	1
		09. 筋障害	3
	14. 尿路性器系の疾患		72
		01. 糸球体疾患	6
		03. 腎不全	57
		05. 腎および尿管のその他の障害	1
		06. 尿路系のその他の障害	8
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		9
		01. 頭部損傷	1
		03. 胸部＜郭＞損傷	1
		08. 股関節部および大腿の損傷	2
		11. 多部位の損傷	1
		18. 薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	1
		20. 外因その他および詳細不明の作用	2
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	1
	22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類		84
		01. コロナウイルス感染症	84

小児科

44

01. 感染症及び寄生虫症	3
01. 腸管感染症	1
04. その他の細菌性疾患	1
14. その他のウイルス疾患	1
09. 循環器の疾患	1
10. 循環器系のその他および詳細不明の障害	1
10. 呼吸器の疾患	37
01. 急性上気道感染症	2
02. インフルエンザおよび肺炎	29

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		03. その他の急性下気道感染症	6
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		3
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	3

消化器内科

1,691

01. 感染症及び寄生虫症	101
01. 腸管感染症	82
04. その他の細菌性疾患	11
12. ウイルス肝炎	2
14. その他のウイルス疾患	4
17. ぜん虫症	2
02. 新生物	323
01. 口唇、口腔及び咽頭	2
02. 消化器	232
03. 呼吸器および胸腔内臓器	4
06. 中皮および軟部組織	5
07. 乳房	2
08. 女性性器	1
09. 男性性器	1
10. 尿路	3
12. 甲状腺およびその他の内分泌腺	1
13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	16
14. 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	24
17. 良性新生物	12
18. 性状不詳または不明の新生物	20
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	47
01. 栄養性貧血	25
03. 無形性貧血およびその他の貧血	17
04. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	4
05. 血液および造血器のその他の疾患	1
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	26
02. 糖尿病	2
03. その他のグルコース調節および膵内分泌障害	1
06. その他の栄養欠乏症	4
08. 代謝障害	19
05. 精神及び行動の障害	2
02. 精神作用物質使用による精神および行動の障害	2
06. 神経系の疾患	1
03. 錐体路障害および異常行動	1
09. 循環器の疾患	37
04. 虚血性心疾患	1
06. その他の型の心疾患	16
07. 脳血管疾患	5
08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	2
09. 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	12
10. 循環器系のその他および詳細不明の障害	1

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
	10. 呼吸器の疾患		94
		01. 急性上気道感染症	2
		02. インフルエンザおよび肺炎	35
		03. その他の急性下気道感染症	4
		05. 慢性下気道疾患	3
		06. 外的因子による肺疾患	44
		07. 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	2
		09. 胸膜のその他の疾患	2
		10. 呼吸器系のその他の疾患	2
	11. 消化器の疾患		899
		01. 口腔、唾液腺および顎の疾患	1
		02. 食道、胃および十二指腸の疾患	82
		03. 虫垂の疾患	9
		04. ヘルニア	15
		05. 非感染性腸炎および非感染性大腸炎	15
		06. 腸のその他の疾患	456
		07. 腹膜の疾患	6
		08. 肝疾患	73
		09. 胆嚢、胆管および膵の障害	187
		10. 消化器系のその他の疾患	55
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		2
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	2
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		6
		02. 炎症性多発関節障害	2
		05. 全身性結合組織障害	1
		07. 脊椎障害	1
		09. 筋障害	2
	14. 尿路性器系の疾患		43
		01. 糸球体疾患	2
		02. 腎尿細管間質性疾患	1
		03. 腎不全	5
		04. 尿路結石症	1
		05. 腎および尿管のその他の障害	2
		06. 尿路系のその他の障害	32
	17. 先天奇形、変形及び染色体異常		1
		06. 消化器系その他の先天奇形	1
	18. 症状、徴候及び異常臨床所見. 異常検査所見で他に分類されないもの		5
		02. 消化器系および腹部に関する症状および徴候	2
		08. 全身症状および徴候	3
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		11
		03. 胸部＜郭＞損傷	1
		04. 腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	1
		13. 自然開口部からの異物侵入の作用	4
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	5
	22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類		93
		01. コロナウイルス感染症	93

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
心臓血管外科			39

09. 循環器の疾患	36
06. その他の型の心疾患	2
08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	2
09. 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	32
10. 呼吸器の疾患	1
02. インフルエンザおよび肺炎	1
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	2
01. 皮膚および皮下組織の感染症	2

整形外科	1,430
------	-------

01. 感染症及び寄生虫症	3
04. その他の細菌性疾患	3
02. 新生物	29
02. 消化器	1
06. 中皮および軟部組織	1
13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	1
17. 良性新生物	4
18. 性状不詳または不明の新生物	22
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	1
05. 血液および造血器のその他の疾患	1
06. 神経系の疾患	83
01. 中枢神経系の炎症性疾患	1
07. 神経、神経根および神経そう<叢>の障害	81
11. 神経系その他の障害	1
09. 循環器の疾患	9
06. その他の型の心疾患	1
07. 脳血管疾患	2
08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	6
11. 消化器の疾患	6
01. 口腔、唾液腺および顎の疾患	1
02. 食道、胃および十二指腸の疾患	1
07. 腹膜の疾患	3
10. 消化器系のその他の疾患	1
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	11
01. 皮膚および皮下組織の感染症	5
08. 皮膚および皮下組織のその他の障害	6
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	318
01. 感染性関節障害	7
02. 炎症性多発関節障害	11
03. 関節障害	118
04. その他の関節障害	22
06. 変形性脊柱障害	3
07. 脊椎障害	66
08. その他脊柱障害	33
09. 筋障害	2

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		10. 滑膜および腱の障害	17
		11. その他軟部組織障害	5
		12. 骨の密度および構造の障害	18
		13. その他の骨の障害	8
		14. 軟骨障害	2
		15. 筋骨格系および結合組織のその他の障害	6
	17. 先天奇形、変形及び染色体異常		2
		09. 筋骨格系の先天奇形および変形	2
	18. 症状、徴候及び異常臨床所見. 異常検査所見で他に分類されないもの		1
		01. 循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		967
		01. 頭部損傷	5
		03. 胸部<郭>損傷	40
		04. 腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	115
		05. 肩および上腕の損傷	109
		06. 肘および前腕の損傷	196
		07. 手首および手の損傷	89
		08. 股関節部および大腿の損傷	222
		09. 膝および下腿の損傷	139
		10. 足首および足の損傷	41
		11. 多部位の損傷	2
		12. 部位不明の大幹もしくは四肢の損傷または部位不明の損傷	3
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	3
		22. 損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発. 後遺症	3

総合内科

436

01. 感染症及び寄生虫症	36
01. 腸管感染症	1
04. その他の細菌性疾患	28
09. 中枢神経系のウイルス感染症	1
11. 皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	2
14. その他のウイルス疾患	4
02. 新生物	1
07. 乳房	1
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	5
02. 溶血性貧血	1
03. 無形性貧血およびその他の貧血	1
04. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	1
05. 血液および造血器のその他の疾患	1
06. 免疫機構の障害	1
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	60
01. 甲状腺障害	1
05. 栄養失調(症)	4
06. その他の栄養欠乏症	2
08. 代謝障害	53

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
	05. 精神及び行動の障害		5
		02. 精神作用物質使用による精神および行動の障害	3
		05. 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	2
	06. 神経系の疾患		11
		01. 中枢神経系の炎症性疾患	6
		06. 挿間性および発作性障害	3
		11. 神経系その他の障害	2
	08. 耳及び乳様突起の疾患		23
		03. 内耳疾患	22
		04. 耳その他の障害	1
	09. 循環器の疾患		6
		06. その他の型の心疾患	2
		07. 脳血管疾患	3
		08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	1
	10. 呼吸器の疾患		151
		01. 急性上気道感染症	11
		02. インフルエンザおよび肺炎	75
		03. その他の急性下気道感染症	1
		05. 慢性下気道疾患	8
		06. 外的因子による肺疾患	54
		07. 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	2
	11. 消化器の疾患		4
		02. 食道、胃および十二指腸の疾患	1
		08. 肝疾患	1
		09. 胆嚢、胆管および膵の障害	2
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		5
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	4
		08. 皮膚および皮下組織のその他の障害	1
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		12
		02. 炎症性多発関節障害	5
		05. 全身性結合組織障害	1
		07. 脊椎障害	1
		09. 筋障害	5
	14. 尿路性器系の疾患		75
		02. 腎尿細管間質性疾患	10
		03. 腎不全	2
		04. 尿路結石症	3
		05. 腎および尿管のその他の障害	1
		06. 尿路系のその他の障害	59
	18. 症状、徴候及び異常臨床所見、異常検査所見で他に分類されないもの		3
		01. 循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	1
		08. 全身症状および徴候	1
		09. 血液検査の異常所見、診断名の記載がないもの	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		22
		03. 胸部＜郭＞損傷	1
		13. 自然開口部からの異物侵入の作用	1
		18. 薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	4
		19. 薬用を主としない物質の毒作用	1

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		20. 外因その他および詳細不明の作用	14
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	1
	22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類		17
		01. コロナウイルス感染症	17

糖尿病・内分泌内科

92

01. 感染症及び寄生虫症	1
04. その他の細菌性疾患	1
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	2
01. 栄養性貧血	2
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	74
01. 甲状腺障害	1
02. 糖尿病	65
03. その他のグルコース調節および膵内分泌障害	5
04. その他の内分泌腺障害	1
05. 栄養失調(症)	1
08. 代謝障害	1
06. 神経系の疾患	1
06. 挿間性および発作性障害	1
10. 呼吸器の疾患	4
02. インフルエンザおよび肺炎	3
06. 外的因子による肺疾患	1
14. 尿路性器系の疾患	2
06. 尿路系のその他の障害	2
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1
20. 外因その他および詳細不明の作用	1
22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類	7
01. コロナウイルス感染症	7

泌尿器科

177

02. 新生物	69
09. 男性性器	14
10. 尿路	54
18. 性状不詳または不明の新生物	1
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1
08. 代謝障害	1
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	1
01. 皮膚および皮下組織の感染症	1
14. 尿路性器系の疾患	104
01. 糸球体疾患	4
02. 腎尿細管間質性疾患	9
03. 腎不全	5
04. 尿路結石症	7
05. 腎および尿管のその他の障害	1
06. 尿路系のその他の障害	59
07. 男性性器の疾患	19

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
	18. 症状、徴候及び異常臨床所見. 異常検査所見で他に分類されないもの		1
		05. 尿路系に関する症状および徴候	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		1
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	1

皮膚科

38

01. 感染症及び寄生虫症	7
04. その他の細菌性疾患	3
11. 皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	4
10. 呼吸器の疾患	1
02. インフルエンザおよび肺炎	1
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	27
01. 皮膚および皮下組織の感染症	18
02. 水疱症	2
03. 皮膚炎および湿疹	4
08. 皮膚および皮下組織のその他の障害	3
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	3
14. 体表面の熱傷および腐食、明示された部位	3

婦人科

144

01. 感染症及び寄生虫症	2
05. 主として性的伝播様式をとる感染症	2
02. 新生物	81
08. 女性性器	27
13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	2
16. 上皮内新生物	1
17. 良性新生物	40
18. 性状不詳または不明の新生物	11
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	2
01. 栄養性貧血	2
14. 尿路性器系の疾患	59
09. 女性骨盤臓器の炎症性疾患	7
10. 女性性器の非炎症性障害	52

総計

5,953

(6)DPC診断群分類別 退院患者入院期間構成比

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間Ⅰ	入院期間Ⅱ	入院期間Ⅲ	入院期間Ⅲ超
神経系疾患						
非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	3	14.3	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
脳梗塞	6	34.8	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%
脳卒中の続発症	5	13.8	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
脳血管障害	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
脳脊髄の感染を伴う炎症	7	14.1	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%
パーキンソン病	1	59.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
基底核等の変性疾患	1	48.0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
水頭症	1	1.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
てんかん	3	6.3	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
片頭痛、頭痛症候群(その他)	2	6.5	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
ウェルニッケ脳症	3	34.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
自律神経系の障害	2	6.0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
脳の障害(その他)	1	48.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
計	36	20.1	19.4%	27.8%	47.2%	5.6%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間Ⅰ	入院期間Ⅱ	入院期間Ⅲ	入院期間Ⅲ超
眼科系疾患						
白内障、水晶体の疾患	145	2.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
角膜の障害	1	6.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
計	146	2.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
耳鼻咽喉科系疾患						
頭頸部悪性腫瘍	1	79.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
口内炎、口腔疾患	1	4.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
唾液腺炎、唾液腺膿瘍	1	11.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	7	5.4	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%
伝染性単核球症	5	5.4	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
睡眠時無呼吸	6	2.3	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%
上気道炎	7	7.1	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%
前庭機能障害	24	3.5	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%
突発性難聴	1	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	53	5.8	22.6%	49.1%	26.4%	0.0%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間Ⅰ	入院期間Ⅱ	入院期間Ⅲ	入院期間Ⅲ超
呼吸器系疾患						
縦隔の良性腫瘍	1	4.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
呼吸器系の良性腫瘍	3	7.0	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
肺の悪性腫瘍	80	9.5	16.3%	43.8%	30.0%	0.0%
胸壁腫瘍、胸膜腫瘍	7	11.1	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%
インフルエンザ、ウイルス性肺炎	18	6.9	5.6%	27.8%	66.7%	0.0%
肺炎等	218	12.7	29.8%	41.3%	25.7%	2.3%
誤嚥性肺炎	152	24.0	13.2%	42.1%	42.8%	2.0%
急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症 (その他)	18	7.0	0.0%	72.2%	27.8%	0.0%
喘息	10	9.8	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
間質性肺炎	29	21.0	24.1%	27.6%	44.8%	3.4%
慢性閉塞性肺疾患	42	18.9	28.6%	38.1%	23.8%	9.5%
呼吸不全(その他)	8	35.9	0.0%	37.5%	37.5%	25.0%
気道出血(その他)	1	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
肺・縦隔の感染、膿瘍形成	18	21.7	33.3%	38.9%	22.2%	5.6%
呼吸器のアスペルギルス症	1	58.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
呼吸器の結核	4	12.3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
抗酸菌関連疾患(肺結核以外)	7	8.0	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%
胸水、胸膜の疾患(その他)	13	13.8	61.5%	15.4%	23.1%	0.0%
気胸	27	10.6	14.8%	48.1%	37.0%	0.0%
気管支拡張症	5	11.4	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
横隔膜腫瘍・横隔膜疾患(新生児を含む。)	9	9.9	22.2%	44.4%	22.2%	11.1%
肺循環疾患	2	5.0	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
急性呼吸窮<促>迫症候群	3	31.0	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
肺高血圧性疾患	1	32.0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
計	677	15.7	21.7%	40.5%	32.9%	2.7%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
循環器系疾患						
急性心筋梗塞(続発性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞	70	11.9	14.3%	54.3%	31.4%	0.0%
狭心症、慢性虚血性心疾患	85	5.0	5.9%	63.5%	30.6%	0.0%
頻脈性不整脈	44	8.4	11.4%	50.0%	38.6%	0.0%
弁膜症(連合弁膜症を含む。)	6	16.5	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%
心内膜炎	1	41.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
心筋炎	2	6.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
急性心膜炎	1	19.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
心不全	217	20.6	19.4%	38.7%	38.2%	3.7%
高血圧性疾患	5	12.8	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
大動脈解離	2	2.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	4	3.0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
閉塞性動脈疾患	20	23.2	15.0%	50.0%	30.0%	5.0%
静脈・リンパ管疾患	34	4.4	38.2%	35.3%	23.5%	2.9%
肺塞栓症	9	14.1	11.1%	44.4%	33.3%	11.1%

循環器疾患(その他)	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
徐脈性不整脈	32	12.3	43.8%	28.1%	21.9%	3.1%
その他の循環器の障害	6	7.5	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
計	539	14.0	19.1%	45.1%	33.2%	2.4%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間Ⅰ	入院期間Ⅱ	入院期間Ⅲ	入院期間Ⅲ超
消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患						
食道の悪性腫瘍(頸部を含む。)	10	13.3	50.0%	30.0%	10.0%	10.0%
胃の悪性腫瘍	76	15.9	11.8%	40.8%	35.5%	7.9%
小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍	1	36.0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍	80	13.8	5.0%	42.5%	46.3%	6.3%
直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍	57	14.3	10.5%	43.9%	38.6%	7.0%
肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	20	11.6	20.0%	40.0%	30.0%	10.0%
胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	10	11.7	30.0%	30.0%	40.0%	0.0%
膵臓、脾臓の腫瘍	46	11.8	15.2%	28.3%	52.2%	4.3%
胃の良性腫瘍	12	8.1	33.3%	41.7%	16.7%	8.3%
小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)	236	2.5	0.8%	76.7%	22.5%	0.0%
穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	70	6.9	14.3%	58.6%	27.1%	0.0%
食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)	83	6.4	32.5%	36.1%	31.3%	0.0%
胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄 (穿孔を伴わないもの)	36	9.9	19.4%	47.2%	30.6%	2.8%
胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄 (穿孔を伴うもの)	3	12.3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
虫垂炎	40	6.5	15.0%	65.0%	20.0%	0.0%
鼠径ヘルニア	59	4.4	0.0%	79.7%	20.3%	0.0%
閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア	8	6.4	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
クローン病等	4	14.0	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
潰瘍性大腸炎	9	17.7	22.2%	22.2%	44.4%	0.0%
虚血性腸炎	44	6.9	18.2%	68.2%	11.4%	2.3%
ヘルニアの記載のない腸閉塞	88	12.9	13.6%	40.9%	42.0%	3.4%
肛門周囲膿瘍	1	5.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
痔瘻	2	11.0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
痔核	5	3.6	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
尖圭コンジローム	3	2.7	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
裂肛、肛門狭窄	1	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎	4	9.8	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
アルコール性肝障害	21	11.7	42.9%	19.0%	38.1%	0.0%
慢性肝炎(慢性C型肝炎を除く。)	2	18.5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。)	44	15.4	25.0%	36.4%	34.1%	4.5%
肝膿瘍(細菌性・寄生虫性疾患を含む。)	4	22.5	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%
肝嚢胞	1	12.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
胆嚢疾患(胆嚢結石など)	32	6.2	6.3%	59.4%	34.4%	0.0%
胆嚢炎等	48	10.9	10.4%	41.7%	41.7%	6.3%
胆管(肝内外)結石、胆管炎	121	10.0	17.4%	34.7%	45.5%	2.5%
急性膵炎、被包化壊死	29	8.6	27.6%	44.8%	27.6%	0.0%
慢性膵炎(膵嚢胞を含む。)、自己免疫性膵炎、膵 石症	9	7.0	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%

腹膜炎、腹腔内膿瘍（女性器臓器を除く。）	27	14.4	40.7%	37.0%	18.5%	3.7%
ウイルス性腸炎	57	6.8	12.3%	49.1%	35.1%	3.5%
細菌性腸炎	16	5.7	18.8%	62.5%	18.8%	0.0%
偽膜性腸炎	1	73.0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他の消化器等の障害	27	5.5	44.4%	25.9%	29.6%	0.0%
計	1,447	9.0	14.9%	49.8%	32.2%	2.7%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間Ⅰ	入院期間Ⅱ	入院期間Ⅲ	入院期間Ⅲ超
筋骨格系疾患						
骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。）	18	2.9	22.2%	72.2%	5.6%	0.0%
神経の良性腫瘍	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
脊椎・脊髄腫瘍	2	23.0	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
骨の悪性腫瘍（脊椎を除く。）	3	43.3	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%
軟部の悪性腫瘍（脊髄を除く。）	5	4.8	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
肩関節炎、肩の障害（その他）	3	17.0	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
手肘の関節炎	2	6.5	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
骨髄炎（上肢以外）	3	42.7	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢）	4	2.5	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢以外）	6	17.7	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
化膿性関節炎（下肢）	14	61.2	14.3%	35.7%	14.3%	35.7%
上肢末梢神経麻痺	73	2.1	94.5%	5.5%	0.0%	0.0%
上肢・手の変形（偽関節を除く。）	2	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
手関節症（変形性を含む。）	15	4.1	40.0%	53.3%	6.7%	0.0%
下肢の変形	2	22.5	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
膝関節症（変形性を含む。）	71	18.3	11.3%	52.1%	35.2%	0.0%
動揺関節症	2	3.5	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
関節内障、関節内遊離体	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
膝蓋骨の障害	4	8.8	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
骨端症、骨軟骨障害・骨壊死、発育期の膝関節障害	2	14.0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
上肢関節拘縮・強直	7	5.9	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%
筋拘縮・萎縮（その他）	3	11.3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
脊椎感染	10	53.6	20.0%	10.0%	60.0%	10.0%
脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 頸部	8	19.6	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%
脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎	53	22.1	1.9%	28.3%	64.2%	3.8%
脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）	2	5.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
椎間板変性、ヘルニア	15	12.4	6.7%	53.3%	40.0%	0.0%
骨粗鬆症	2	22.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
ガングリオン	6	4.2	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
線維芽細胞性障害	3	4.7	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
壊死性筋膜炎	2	25.5	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。）	22	21.8	0.0%	45.5%	40.9%	13.6%
大腿骨頭すべり症	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
関節リウマチ	3	65.7	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%
脊椎関節炎	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
痛風、関節の障害（その他）	3	11.0	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
リンパ節、リンパ管の疾患	1	5.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	4	8.5	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%

血管腫、リンパ管腫	1	3.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
骨折変形癒合、癒合不全などによる変形 (上肢、骨盤部・大腿以外)	4	35.3	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%
骨折変形癒合、癒合不全などによる変形(上肢)	5	8.2	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%
骨折変形癒合、癒合不全などによる変形 (骨盤部・大腿)	1	19.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
その他の筋骨格系・結合組織の疾患	28	16.1	28.6%	25.0%	35.7%	10.7%
計	418	16.1	32.5%	34.0%	28.5%	4.3%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
皮膚・皮下組織の疾患						
膿皮症	36	12.7	11.1%	47.2%	41.7%	0.0%
带状疱疹	3	10.7	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
疱疹(带状疱疹を除く。)、その類症	1	10.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
湿疹、皮膚炎群	2	15.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
薬疹、中毒疹	2	11.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
水疱症	2	23.5	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
褥瘡潰瘍	8	30.8	50.0%	12.5%	37.5%	0.0%
計	54	15.6	18.5%	37.0%	44.4%	0.0%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
乳房の疾患						
乳房の悪性腫瘍	23	6.5	26.1%	65.2%	8.7%	0.0%
乳房の炎症性障害	1	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	24	6.3	29.2%	62.5%	8.3%	0.0%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間Ⅰ	入院期間Ⅱ	入院期間Ⅲ	入院期間Ⅲ超
内分泌・栄養・代謝に関する疾患						
甲状腺の悪性腫瘍	1	38.0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	19	21.2	10.5%	21.1%	36.8%	31.6%
1型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	4	13.0	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	37	18.8	13.5%	24.3%	43.2%	18.9%
その他の糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	2	55.0	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
糖尿病足病変	6	44.3	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%
慢性甲状腺炎	1	6.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
甲状腺機能低下症	2	26.5	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
その他の副腎皮質機能低下症	1	64.0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
低血糖症	6	26.7	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%
栄養障害(その他)	10	24.1	30.0%	20.0%	50.0%	0.0%
代謝障害(その他)	2	25.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
体液量減少症	30	9.8	26.7%	30.0%	40.0%	3.3%
低カリウム血症	10	11.8	40.0%	30.0%	20.0%	10.0%
カルシウム代謝障害	2	12.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害	30	9.9	20.0%	43.3%	36.7%	0.0%
計	163	17.6	20.2%	25.8%	41.1%	12.9%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間Ⅰ	入院期間Ⅱ	入院期間Ⅲ	入院期間Ⅲ超
腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患						
腎腫瘍	4	7.5	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
尿道・性器の良性腫瘍	1	12.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
後腹膜疾患	10	22.8	10.0%	40.0%	30.0%	10.0%
腎盂・尿管の悪性腫瘍	4	6.5	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
膀胱腫瘍	39	5.5	0.0%	89.7%	7.7%	0.0%
前立腺の悪性腫瘍	10	11.6	10.0%	40.0%	40.0%	10.0%
精巣腫瘍	2	20.0	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
上部尿路疾患	13	8.2	23.1%	30.8%	38.5%	7.7%
下部尿路疾患	7	9.1	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%
前立腺肥大症等	15	5.8	6.7%	93.3%	0.0%	0.0%
男性生殖器疾患	2	7.5	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
ネフローゼ症候群	6	29.5	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%
慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	49	15.3	8.2%	44.9%	42.9%	4.1%
急性腎不全	19	21.0	21.1%	31.6%	36.8%	10.5%
腎臓又は尿路の感染症	141	13.8	12.8%	49.6%	33.3%	4.3%
腎、泌尿器の疾患(その他)	8	8.8	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%
計	330	13.0	11.5%	53.0%	30.6%	4.2%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間Ⅰ	入院期間Ⅱ	入院期間Ⅲ	入院期間Ⅲ超
女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩						
卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	14	7.6	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%
子宮頸・体部の悪性腫瘍	26	5.8	0.0%	80.8%	19.2%	0.0%
子宮の良性腫瘍	26	5.9	11.5%	76.9%	11.5%	0.0%
卵巣の良性腫瘍	26	5.9	7.7%	84.6%	7.7%	0.0%
子宮内膜症	5	7.4	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
子宮・子宮附属器の炎症性疾患	8	8.0	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%
卵巣・卵管・広間膜の非炎症性疾患	3	4.7	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
女性性器のポリープ	27	3.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
子宮の非炎症性障害	7	3.9	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%
計	142	5.5	4.9%	59.9%	35.2%	0.0%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
血液・造血器・免疫臓器の疾患						
ホジキン病	2	5.5	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
非ホジキンリンパ腫	17	10.5	5.9%	52.9%	41.2%	0.0%
多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	7	8.1	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
骨髄増殖性腫瘍	1	7.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
骨髄異形成症候群	6	37.8	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%
白血球疾患(その他)	2	8.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
再生不良性貧血	4	23.0	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
貧血(その他)	42	10.3	35.7%	23.8%	38.1%	2.4%
播種性血管内凝固症候群	10	29.7	20.0%	10.0%	70.0%	0.0%
出血性疾患(その他)	3	5.7	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%

アレルギー性紫斑病	1	8.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
血液疾患(その他)	1	6.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
凝固異常(その他)	2	6.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	98	13.9	27.6%	33.7%	35.7%	2.0%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
新生児疾患、先天性奇形						
股関節先天性疾患、大腿骨先天性疾患	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間Ⅰ	入院期間Ⅱ	入院期間Ⅲ	入院期間Ⅲ超
外傷・熱傷・中毒						
顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。）	1	4.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
喉頭・頸部気管損傷	2	5.5	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
胸郭・横隔膜損傷	7	5.1	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%
肺・胸部気管・気管支損傷	4	9.3	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
食道・胃損傷	1	2.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
肝・胆道・膵・脾損傷	2	6.0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
腹壁損傷	4	17.5	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
四肢神経損傷	7	3.0	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%
四肢血管損傷	1	5.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
四肢筋腱損傷	33	4.8	54.5%	42.4%	3.0%	0.0%
肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。）	18	6.8	44.4%	38.9%	16.7%	0.0%
コンパートメント症候群	1	26.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創	11	5.0	72.7%	0.0%	27.3%	0.0%
胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	85	19.6	8.2%	43.5%	45.9%	2.4%
鎖骨の骨折	41	4.8	4.9%	80.5%	14.6%	0.0%
鎖骨の開放骨折	2	6.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
肩関節周辺の骨折・脱臼	30	7.3	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
肘関節周辺の骨折・脱臼	32	4.2	56.3%	28.1%	15.6%	0.0%
前腕の骨折	104	3.2	63.5%	27.9%	5.8%	0.0%
前腕の開放骨折	1	2.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
手関節周辺の骨折・脱臼	64	3.0	46.9%	51.6%	0.0%	1.6%
手関節周辺の開放骨折	1	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
股関節・大腿近位の骨折	196	23.1	5.1%	57.1%	36.7%	1.0%
膝関節周辺の骨折・脱臼	32	17.4	25.0%	46.9%	25.0%	3.1%
下腿足関節周辺の骨折	16	13.9	50.0%	12.5%	31.3%	0.0%
下腿足関節周辺の開放骨折	1	26.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
足関節・足部の骨折・脱臼	62	12.8	46.8%	24.2%	25.8%	3.2%
足関節・足部の開放骨折・開放脱臼	1	13.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
頸椎頸髄損傷	5	31.2	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%
骨盤損傷	30	18.5	20.0%	33.3%	43.3%	3.3%
多部位外傷	3	16.7	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷	3	11.3	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
体温異常	10	4.1	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%
詳細不明の損傷等	4	3.0	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%

薬物中毒(その他の中毒)	5	3.0	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
計	820	12.6	31.1%	42.8%	24.0%	1.1%

名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
精神疾患						
アルコール依存症候群	1	8.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	4	1.3	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
神経症性障害,ストレス関連障害及び身体表現性障害	1	1.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	6	2.3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%

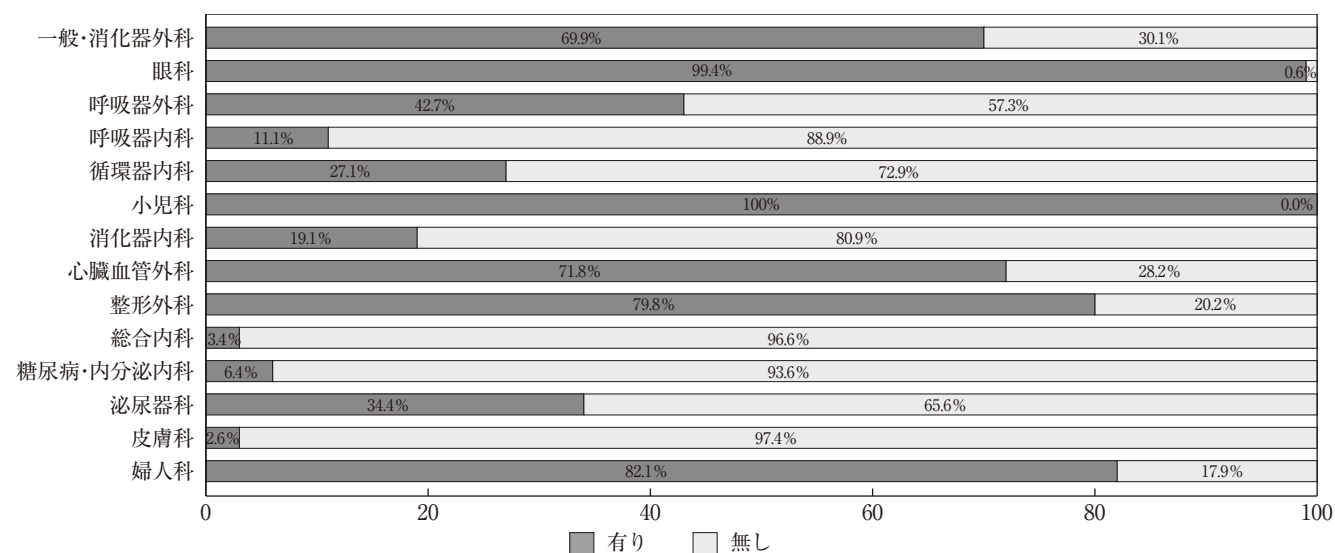
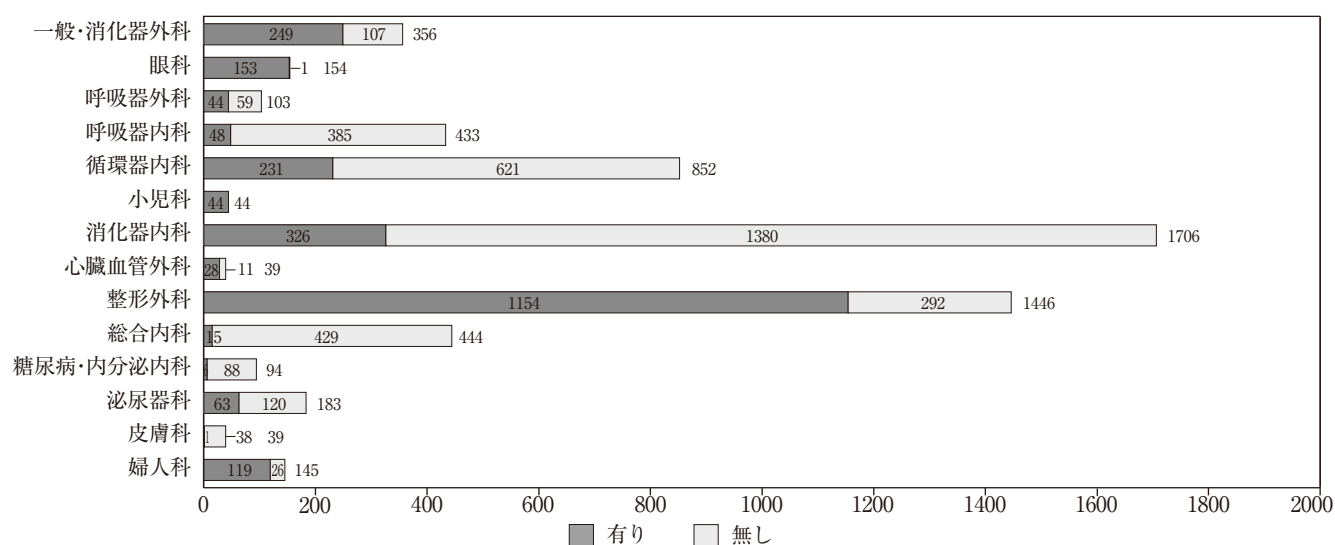
名 称	件数	平均在院 日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
その他						
敗血症	48	28.3	16.7%	35.4%	43.8%	4.2%
その他の感染症（真菌を除く。）	247	13.0	8.1%	2.0%	3.6%	1.2%
手術・処置等の合併症	11	13.4	18.2%	36.4%	18.2%	0.0%
その他の悪性腫瘍	1	37.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
その他の新生物	4	3.0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
計	311	15.3	10.3%	9.0%	10.6%	1.6%

総 計	5,265	12.3	19.7%	43.9%	29.0%	2.7%
-----	-------	------	-------	-------	-------	------

※注釈1：入院期間構成比とは退院患者がその症例件数に対してどの期間に退院したかを比率で示したものである。

※注釈2：入院時より出来高算定のDPCの場合は、入院期間III超の割合を100%とする。

(7)退院患者クリニカルパス(電子パス)使用件数



退院診療科	パス使用の有無		総計
	有リ	無し	
一般・消化器外科	249	107	356
眼科	153	1	154
呼吸器外科	44	59	103
呼吸器内科	48	385	433
循環器内科	231	621	852
小児科	44		44
消化器内科	326	1380	1,706
心臓血管外科	28	11	39
整形外科	1,154	292	1,446
総合内科	15	429	444
糖尿病・内分泌内科	6	88	94
泌尿器科	63	120	183
皮膚科	1	38	39
婦人科	119	26	145
総計	2,481	3,557	6,038

退院診療科	パス使用の有無	
	有リ	無し
一般・消化器外科	69.9%	30.1%
眼科	99.4%	0.6%
呼吸器外科	42.7%	57.3%
呼吸器内科	11.1%	88.9%
循環器内科	27.1%	72.9%
小児科	100.0%	0.0%
消化器内科	19.1%	80.9%
心臓血管外科	71.8%	28.2%
整形外科	79.8%	20.2%
総合内科	3.4%	96.6%
糖尿病・内分泌内科	6.4%	93.6%
泌尿器科	34.4%	65.6%
皮膚科	2.6%	97.4%
婦人科	82.1%	17.9%
総計	41.1%	58.9%

(8) 臨床評価指標

1. 基本的な臨床指標

項 目	設定した臨床評価項目と説明		臨床指標	
			2023年度	2024年度
症例数/ 死亡率	全疾患	全入院症例 死亡率 【全入院症例のうち、同一入院期間内で死亡した割合】	2.97%	3.44%
		救急搬送症例 死亡率 【救急搬送された症例のうち、同一入院期間内で死亡した症例の割合】	6.07%	6.90%
診療 プロセス	血液培養検査実施率 【敗血症症例に対する、血液培養検査の実施率】		95.33%	90.91%
	凝固系検査実施率 【DIC症例に対する、凝固系検査の実施率】		96.55%	100.00%
	肺血栓塞栓症予防管理料 【全身麻酔実施症例に対する、PTE予防措置の実施率】		91.16%	89.76%
感染症	院内感染	1) 中心静脈注射から敗血症	7.38%	12.67%
		2) 人工呼吸器から肺炎	1.00%	4.46%
		3) 膀胱留置カテーテルから尿路感染	3.62%	2.50%
	手術創感染	1) 膝関節形成術実施症例	0.00%	3.85%
		2) 腹式子宮摘出術実施症例	0.00%	0.00%
再入院	再入院率 (30日以内の 再入院)	1) 全症例	3.08%	3.46%
		2) 慢性閉塞性肺疾患症例	4.76%	4.44%
		3) 肺炎(15歳以上)	0.48%	1.65%
		4) 心不全	0.38%	3.38%
		5) 狭心症	2.68%	2.20%
		6) 急性心筋梗塞	0.00%	0.00%

2. 薬剤に関する臨床指標

項 目	薬剤名と評価指標	臨床指標	
		2023年度	2024年度
高額薬剤	血液製剤 1) アルブミン 使用率・使用日数	1.85%・2.94日	1.54%・3.07日
	血液製剤 2) グロブリン 使用率・使用日数	0.24%・2.77日	0.23%・3.00日
	アンチトロンビンⅢ 使用率	0.04%	0.00%
	MRSA用製剤 使用率・使用日数	0.77%・9.64日	0.91%・10.73日
	脳梗塞 オザグレルナトリウム 使用率・使用日数	0.00%・0.00日	0.00%・0.00日
	脳梗塞 エダラボン 使用率・使用日数	66.67%・6.25日	33.33%・11.00日
	心不全 ハンプ(カルベリチド) 使用率・使用日数	23.63%・2.41日	16.59%・3.42日

3. 手術に関連する指標

項 目	設定した臨床評価項目と説明	臨床指標	
		2023年度	2024年度
全手術	手術実施率	48.32%	47.35%
	予定入院手術割合	73.35%	73.97%
	緊急入院手術割合	26.65%	26.03%
初回手術	手術在院日数	10.86日	11.25日
	術前検査・画像の入院実施率	66.41%	65.30%
	術後創傷ケア実施率・実施日数	26.77%・2.55日	29.28%・2.68日
	術後ドレーン実施率・実施日数	13.90%・4.95日	14.04%・5.13日
	術後膀胱留置カテーテル実施率	36.81%	36.82%
	術後中心静脈注射実施率・実施日数	2.21%・9.53日	1.72%・9.23日
	術後リハビリ実施率・開始日数	40.59%・1.73日	43.32%・1.70日

5. アンケート調査結果 (1) 外来患者満足度

2024 年度 未実施

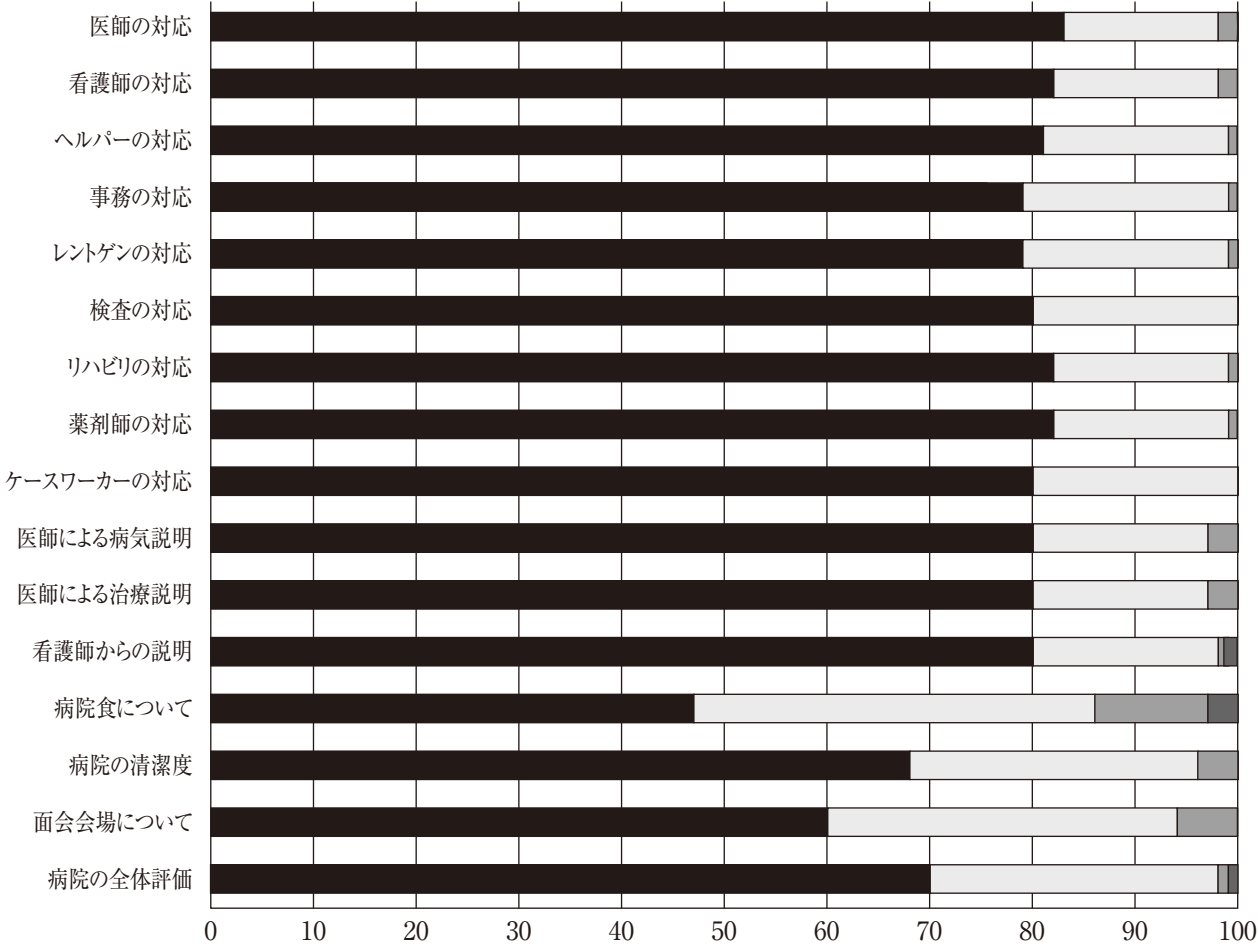
(2)入院患者満足度

入院 2024年度 上期		医師の対応	看護師の対応	ヘルパーの対応	事務の対応	レントゲンの対応	検査の対応	リハビリの対応	薬剤師の対応	ケースワーカーの対応	医師による病気説明	医師による治療説明	看護師からの説明	病院食について	病院の清潔度	面会会場について	病院の全体評価
2024年度 (2024.4 ～2024.9)	満 足	83%	82%	81%	79%	79%	80%	82%	82%	80%	80%	81%	80%	47%	68%	60%	70%
	一応満足	15%	16%	18%	20%	20%	20%	17%	17%	20%	17%	17%	18%	39%	28%	34%	28%
	やや不満	2%	2%	1%	1%	1%	0%	1%	1%	0%	3%	2%	1%	11%	4%	6%	1%
	不 満	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	3%	0%	0%	1%

入院患者満足度調査結果

2024年度 (2024.4～2024.9)

■ 満足 □ 一応満足 ▨ やや不満 ■ 不満

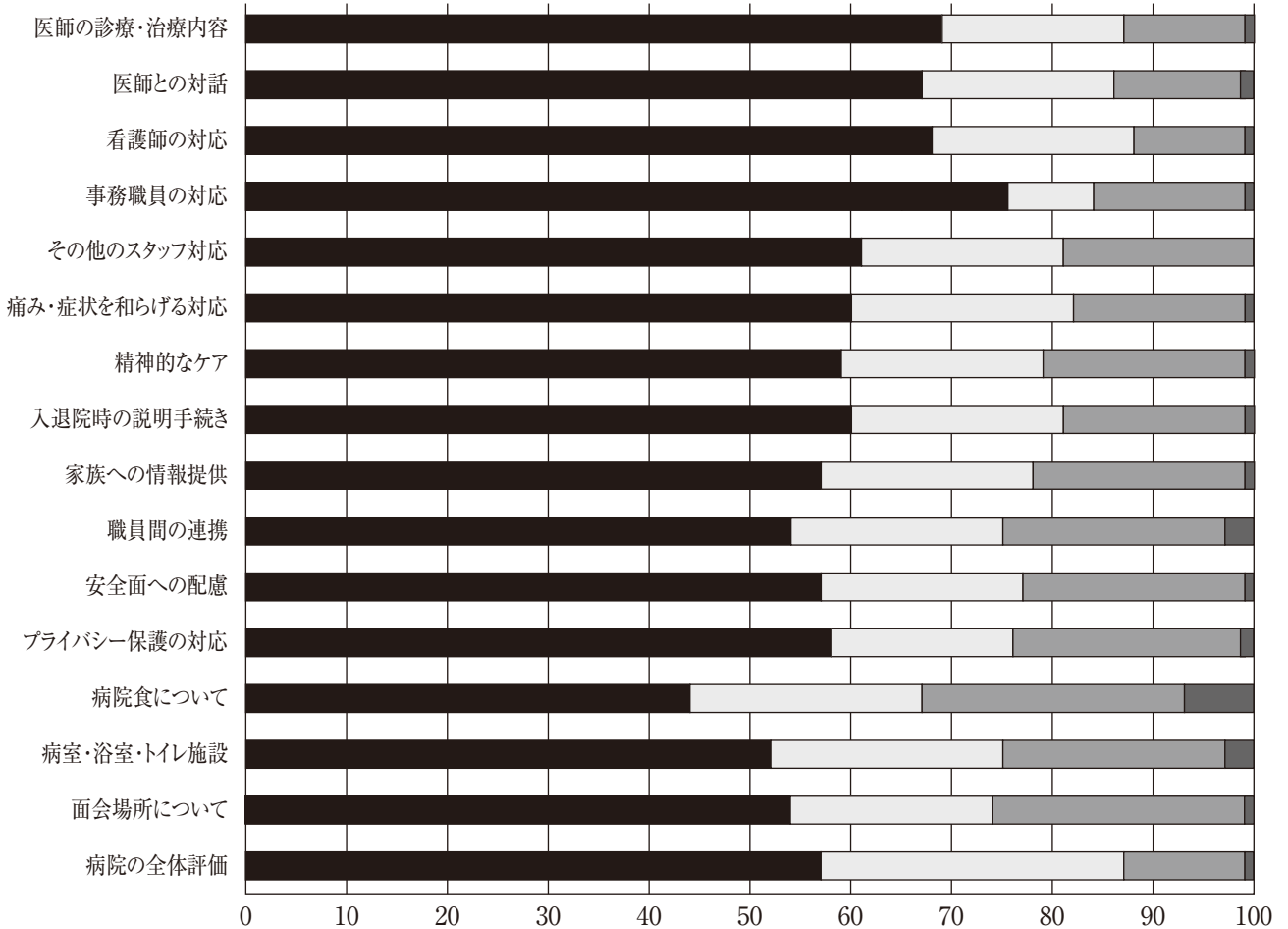


入院 2024年度 下期		医師の診療・治療内容	医師との対話	看護師の対応	事務職員の対応	その他のスタッフ対応	痛み・症状を和らげる対応	精神的なケア	入退院時の説明手続き	家族への情報提供	職員間の連携	安全面への配慮	プライバシー保護の対応	病院食について	病室・浴室・トイレ施設	面会場所について	病院の全体評価
2024年度 (2024.10 ～2025.3)	とても満足	69%	67%	68%	65%	61%	60%	59%	60%	57%	54%	57%	58%	44%	52%	54%	57%
	やや満足	18%	19%	20%	19%	20%	22%	20%	21%	21%	21%	20%	18%	23%	23%	20%	30%
	ふ つ う	12%	13%	11%	15%	19%	17%	20%	18%	21%	22%	22%	23%	26%	22%	25%	12%
	不満傾向	1%	1%	1%	1%	0%	1%	1%	1%	1%	3%	1%	1%	7%	3%	1%	1%

入院患者満足度調査結果

2024年度 (2024.10～2025.3)

■とても満足 □やや満足 ▨ふつう ■不満傾向



Ⅲ. 診療活動等の状況

1-1. 2024年度 理事長活動報告

理事長発表論文、主な講演その他

1. 今岡 真義、木野 昌也、新井 基弘、生野 弘道、大里 浩樹、加納 繁照、亀山 雅男、河崎 敦、小林 寿治、多根 一之、馬場 武彦、本多 義治、森本 義彦、李 利彦：
大阪府医師会病院委員会、会長諮問委員会答申書「将来を見据えた外来医療に係る医療提供体制のあり方について～『外来医療計画』を踏まえて」、令和6年4月19日
2. 木野 昌也：
激変する医療環境に如何に対応するか—2040年への課題と解決—、日本病院会雑誌、2024, vol71, No 6, p8～32
3. 木野 昌也：
銷夏随筆、岐路に立つ、途中困難最後必勝、日本病院会雑誌 2024, vol71, No 7, p33
4. 木野 昌也、生野 弘道：
一般社団法人大阪府病院協会創立70周年、一般社団法人大阪府私立病院協会創立50周年 合同記念式典・祝賀会、Doctor's Attention 7月号、p6、2024年
5. 中尾 正俊、木野 昌也、加納 繁照：
ドクターズアテンション インタビュー、大阪府民の医療を守るために「オール大阪」で取り組むべき課題、Doctor's Attention 9月号、p1～3、2024年
6. 木野 昌也、酒井 武之、大野 宗一郎：
安全で快適な入院環境を実現するトイレと床材、ニューライフ、2024年12月号、通巻740号、vol 71 No12 ;16-19
7. 木野 昌也：
医療事情のウラオモテ (130)、我が国の医療制度と病院が抱える課題 (4)、地域医療構想について (3)、ニューライフ、2024年12月号、通巻740号、vol 71、No12; 47-52
8. 木野 昌也：
年頭所感、病院経営管理「通教月報」、第555号、2025年1月号、p1
9. 木野 昌也：
中尾正俊先生が目指されたもの、大阪府医ニュース、2025年（令和7年）1月1日、第3095号、p7
10. 木野 昌也：
厳しい病院経営環境と日本の医療のあり方の過渡期に、Doctor's Attention 1月号、p2, 2025
11. 木野 昌也：
日本医療秘書学会第22回学術大会特別講演「光り輝く医療秘書を目指して」、エル・おおさか・シアター、2025年2月16日
12. 木野 昌也：
メディカルジャパン講演「2025年問題に突入した今、2040年に向けて医療・介護関係者がすべきこと、病院&クリニック EXPO、インテックス大阪
13. 木野 昌也：
医療事情のウラオモテ (131)、病院医療を支える医療専門職 (1)、医療秘書と電子カルテ、ニューライフ、2025年3月号、通巻741号、vol 72, No3 ;46-52
14. 加納 繁照、永田 昌敬、飯尾 雅彦、木野 昌也、多根 一之、長尾 喜一郎、西川 覚、柏井 朗、橘 克英、焦 昇、松本 智子、山川 智之、幸原 晴彦、樋口 洋子：
大阪府医師会医療保険委員会、会長諮問委員会答申書「診療報酬改定（令和6年6月）の評価について」、令和7年3月31日

理事長資格・加盟学会（令和 7 年 7 月現在）

- 医学博士 ● 日本内科学会認定総合内科専門医 ● 日本内科学会指導医
- 日本循環器学会認定循環器専門医 ● 人間ドック指定医
- Best Doctors in Japan（2024 - 2025）
- 米国心臓病学会フェロー（Fellow of the American College of Cardiology）
- 米国心臓協会フェロー（Fellow of the American Heart Association）
- 米国内科学会フェロー（Fellow of the American College of Physicians）
- 日本心臓病学会会員 他

主な公職（令和 7 年 7 月現在）

- 大阪府病院協会会長 ● 大阪府私立病院協会常任理事
 - 日本病院会大阪府支部長 ● 日本病院会事業全国病院経営管理学会副会長
 - 臨床心臓病学教育研究会（JECCS）理事長・会長 ● VHJ 機構理事
 - 大阪府医療法人協会理事 ● 大阪府私立病院協同組合理事
 - 日本診療情報管理学会評議員 ● 大阪旭こども病院理事
 - 新阿武山病院評議員 ● 高槻市医師会顧問、裁定委員
-
- 地域医療構想アドバイザー（厚生労働省）
 - 大阪府医療審議会委員（大阪府）
 - 大阪府医療審議会「医療法人部会」委員（大阪府）
 - 大阪府医療審議会「在宅医療部会」委員（大阪府）
 - 大阪府医療審議会「病院新增設委員会」委員（大阪府）
 - 大阪府医療審議会「働き方改革部会」委員（大阪府）
 - 大阪府医療対策協議会委員（大阪府）
 - 大阪府感染対策審議会委員（大阪府）
 - 大阪府感染対策審議会エイズ対策及び医療連携推進部会委員（大阪府）
 - 大阪府薬事審議会 医療機器安全対策推進部会委員（大阪府）
 - 大阪府後発医薬品安心使用促進のための協議会委員長（大阪府）
 - 大阪府消防広域化推進審議会委員（大阪府）
 - 大阪府医療勤務環境改善支援センター運営協議会委員（大阪府）
 - 大阪府病院協会看護専門学校運営検討委員会委員
 - 大阪府医師会病院委員会委員長
 - 大阪府医師会医療保険委員会委員

1-2. 2024年度 病院長 院外活動報告

2024年

4月 12日	金	大阪医科薬科大学麻酔科学教室教授訪問 整形外科学教室教授訪問
4月 15日	月	北摂血液がん連携セミナー
4月 16日	火	大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
4月 19日	金	大阪医科薬科大学学長室訪問 大阪医科薬科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室教授訪問
4月 22日	月	大阪医科薬科大学病院(講演)
5月 9日	木	大阪医科薬科大学理事長室訪問
5月 11日	土	SQUE研修会(講演)
5月 21日	火	大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
5月 23日	木	大阪急性期・総合医療センター(講演)
6月 10日	月	大阪医科薬科大学病院 医療安全業務外部監査委員会
6月 15日	土	仁泉会高槻支部総会
6月 22日	土	大阪医科薬科大学整形外科学教室教授就任祝賀会
6月 28日	金	大阪医科薬科大学脳神経外科学教室教授訪問
7月 1日	月	令和6年度第1回三島地域メディカルコントロール協議会
7月 6日	土	高槻医師会勤務医会研修
7月 10日	水	大阪医科薬科大学麻酔科学教室教授訪問
7月 12日	金	高槻市広報番組「情報BOXワイドたかつき」「健康医療先進都市たかつき 北摂総合病院」 撮影
7月 16日	火	大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
7月 19日	金	北摂医療安全ネットワーク コア会議
7月 26日	金	大阪医科薬科大学病院 医療安全研修会
8月 3日	土	大阪医科薬科大学学長室訪問
8月 20日	火	大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
9月 8日	日	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室教授・専門教授就任祝賀会
9月 11日	水	大阪医科薬科大学理事長室訪問
9月 17日	火	大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
9月 21日	土	大阪医科薬科大学病院連携強化のつどい
9月 27日	金	世界患者安全の日研修会
10月 3日	木	大阪医科薬科大学学長室訪問
10月 7日	月	大阪医科薬科大学麻酔科学教室教授訪問
10月 8日	火	大阪医科薬科大学一般・消化器外科学教室教授訪問
10月 11日	金	大阪医科薬科大学腫瘍内科学教室教授訪問
10月 15日	火	大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
10月 25日	金	VHJ職員研修交流会
10月 26日	土	VHJ職員研修交流会(飯塚病院 病院見学会)
10月 30日	水	大阪医科薬科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室教授・専門教授訪問
11月 7日	木	大阪医科薬科大学三島南病院訪問

11月 13日 水 大阪医科薬科大学病院 医療安全業務外部監査委員会
 11月 16日 土 高槻市医師会秋季臨時総会
 11月 19日 火 大阪医科薬科大学学長室訪問
 大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
 11月 21日 木 大阪医科薬科大学病院連携病院長会総会・懇親会
 11月 26日 火 2024年度特定機能病院管理者研修(講師)
 11月 29日 金 大阪医科薬科大学麻酔科学教室教授訪問
 12月 2日 月 大阪医科薬科大学神経精神医学教室教授、内科学Ⅱ教室教授、小児科学教室訪問
 12月 3日 火 日本看護協会神戸研修センター 管理者研修サードレベル講師
 12月 4日 水 医師の働き方改革トップマネジメント研修
 12月 5日 木 大阪医科薬科大学病院 病院機能評価研修(講師)
 12月 6日 金 大阪医科薬科大学病理学教室教授訪問
 12月 9日 月 2024年度特定機能病院管理者研修(講師)
 12月 10日 火 大阪医科薬科大学病院長(胸部外科学教室教授)、産婦人科学教室教授訪問
 12月 12日 木 2024年度特定機能病院管理者研修(講師)
 12月 13日 金 乳腺・内分泌外科学寄附講座教授訪問
 12月 17日 火 大阪医科薬科大学救急医学教室教授訪問
 大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
 12月 18日 水 大阪医科薬科大学一般・消化器外科学教室教授、内科学Ⅲ教室教授訪問
 12月 19日 木 医師の働き方改革トップマネジメント特別講演研修
 12月 20日 金 大阪医科薬科大学理事長室訪問
 大阪医科薬科大学放射線診断学教室教授、泌尿器科学教室教授訪問
 12月 23日 月 大阪医科薬科大学脳神経外科学教室教授、眼科学教室教授訪問
 12月 26日 木 大阪医科薬科大学内科学Ⅰ教室教授訪問
 12月 27日 金 大阪医科薬科大学整形外科科学教室教授訪問

2025 年

1月 17日 金 2024年度特定機能病院管理者研修(講師)
 1月 21日 火 大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
 1月 24日 金 大阪医科薬科大学一般・消化器外科学教室教授
 2月 3日 月 2024年度特定機能病院管理者研修(講師)
 2月 6日 木 高槻市医師会勤務医総会
 2月 14日 金 2024年度特定機能病院管理者研修(講師)
 2月 18日 火 大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
 3月 12日 水 大阪医科薬科大学麻酔科学教室教授訪問
 3月 18日 火 大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会
 3月 21日 金 藍野短期大学部竣工式

2-1. 循環器科

スタッフ

部 長：永松 航（カテーテル治療センター長兼任）

循環器センター長：森井 功（副院長・救急診療科部長兼任）

医 長：山口 茂（血液浄化療法科部長兼任）

伊吹宗晃医員、廣部真由美医員、芳川史嗣医員、梅村孟司医員、小川智哉医員

上記に加え、木野昌也理事長、斎藤隆晴部長、諏訪道博部長、西村綾医員の体制で診療にあたっております。

理念

北摂総合病院循環器科は患者様に対する全人的な医療提供を使命とし、地域医療の発展に貢献してまいります。

診療内容と特色

2025 年度からの診療体制について

2025 年度より新たに 4 名の医師に当院循環器科に加わっていただき、診療内容が一層充実いたしました。従来の冠動脈疾病や心不全疾病のみならず、不整脈診療や下肢動脈疾病治療の拡充が得られています。ポイントとしては以下の通りです。

- 迅速かつ専門性のある不整脈診療：不整脈専門医による不整脈評価、カテーテルアブレーション治療、ペースメーカー関連手術が可能となりました。
- 下肢動脈治療：下肢動脈カテーテル治療専門医による専門性の高いカテーテル治療が可能となりました。
- 医師拡充による診療体制強化により、迅速かつ、より多くの患者様の受け入れが可能となりました。

1. 循環器救急体制

北摂総合病院循環器科は、地域の救急医療の一翼を担うために、24 時間体制で急性心不全や緊急冠動脈カテーテル治療を含む救急診療を提供しています。夜間や休日を問わず、迅速かつ適切な医療サービスを患者様に提供することをお約束いたします。

2. カテーテル検査・治療

当科では多岐にわたる病変に対応した治療を行っています。急性冠症候群のみならず、慢性閉塞冠動脈病変や石灰化病変（IVL およびロータブレードの導入を行いました）にも積極的に取り組んでおります。また、CoroFlow 検査を導入により、胸痛の原因として診断が難しくあった冠微小循環障害の評価を行っています。2025 年度より、医師拡充による下肢動脈治療の専門性が高まりました。

3. 不整脈診療

不整脈診療専門医師の拡充により、迅速かつ専門性のある不整脈診療：不整脈専門医による不整脈評価、カテーテルアブレーション治療、ペースメーカー関連手術が可能となりました。

4. その他疾患

心不全や心筋症、弁膜疾患においても、当院は最新の治療ガイドラインに基づき、経皮的治療（TAVI などのカテーテル治療）を含む手術適応の評価を行っています。さらに、透析シャント血管治療や不整脈治療にも積極的に取り組み、患者様の生活の質（QOL）向上に貢献しています。

5. 診療技術の向上

森井功医師による高精度な CT 画像評価は、当院の診療の一翼を担っています。画像診断の精度向上を図り、迅速で正確な診断を患者様に提供することに尽力しています。

6. チーム医療と地域連携

看護部、診療技術部門、地域医療連携室との緊密な連携を通じて、多職種による総合的な医療サービスを提供しています。また、個々の医療ニーズに応じた柔軟なフォローアップ方針策定と実施に努めています。

来年度目標

1. 地域支援の強化

開業医の皆様と協力し、地域の患者様に対して最適な医療を提供するためのネットワークを更に強化していきます。症状が安定した患者様に対しては、逆紹介システムを通じて地域医療機関への引き継ぎを行います。

2. 救急隊との協力強化

救急患者様の迅速な受け入れと適切な初期治療の実施を目指し、救急隊との連携を一層強化していきます。いかなる緊急事態にもフットワーク軽く対応し、「断らない」をモットーにします。

3. 医療の質的向上

国内外の学会活動や最新の研究成果を積極的に導入し、医療の質を向上させるための取り組みを推進してまいります。患者様にとって安全で効果的な医療を提供するため、常に技術の革新と研鑽を積んでいます。

4. 患者中心の医療

患者様のニーズに合わせた個別化された医療サービスの提供を徹底し、患者様とご家族の方々に安心と信頼をお届けします。また、地域社会との緊密な連携を通じて、地域全体の健康増進に貢献してまいります。

2024 年度 診療実績

- ・入院患者数：850 名（平均在院日数 13.2 日）
- ・外来延べ患者数：15,049 名（初診患者数 472 名）

■過去のカテーテルインターベンション等実績

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
PCI	187	159	112	86	100
アブレーション	21	33	30	20	21
下肢 PTA	57	36	20	16	10
冠動脈 3D-CT	370	400	397	360	334

5. 循環器科学会活動報告

■永松 航

論文

Wu EB, Kalyanasundaram A, Brilakis ES, Mashayekhi K, Tsuchikane E; CTO Global Consensus Group. Global Consensus Recommendations on Improving the Safety of Chronic Total Occlusion Interventions. Heart Lung Circ. 2024;33:915-31.

Sasaki S, Ota K, Sanomura M, Mori Y, Tanaka H, Hakoda A, Sugawara N, Iwatsubo T, Hirata Y, Kakimoto K, Morita H, Nagamatsu W, Hoshiga M, Takeuchi T, Higuchi K, Nishikawa H. Widespread use of proton pump inhibitors or potassium-competitive acid blocker has changed the status of gastrointestinal bleeding in patients with ischemic heart disease: real-world data from high volume centers. BMC Gastroenterol. 2024;24:177.

Wu EB, Nagamatsu W, Okamura A. Ten tips and tricks for successful distal true lumen wiring from three-dimensional wiring experts. J Invasive Cardiol. 2024;36.

Wu EB, Matsuno S, Nagamatsu W, Kalyanasundaram A, Harding SA, Lo S, Lim ST, Ge L, Chen JY, Luo HJF, Quan J, Lee SW, Kao HL, Tsuchikane E. New Frontiers in Antegrade Wiring From the Asia Pacific Chronic Total Occlusion Club. JACC Asia. 2025;5:219-230.

■ 諏訪 道博

論文

Efficacy and Safety of Rivaroxaban, Apixaban, and Edoxaban for Nonvalvular Atrial Fibrillation Based on Blood Coagulation Activity and Drug Plasma Concentration: SETtsu and North Osaka Multicenter Direct Oral AntiCoagulant (SET DOAC) Registry

学会発表

カテーテルアブレーション関連秋季大会 2024 「薬剤血中濃度および抗凝固活性より評価した FXa 阻害薬 3 剤の有効性・安全性の対比：SET DOAC registry」

CVIT2024：シンポジウム 15：脳卒中インターベンション “The distinction of the safety in DOAC dosing with plasma concentration monitoring in patients with atrial fibrillation” “心房細動における DOAC 治療を安全面から再考する”

学会活動

- 4/11-13 KCJL、大阪、Faculty
- 4/25-27 TCTAP, Seoul, International faculty
- 5/11 K-CTO, Seoul, International faculty
- 6/7-9 Indo Japanese CTO club, Mumbai, International course director, Live operator, lecture
- 6/21-22 Japan CTO club、名古屋、Course director
- 6/28-29 OCC, Shanghai, International faculty
- 7/12-13 TOPIC、東京、faculty
- 7/25-27 CVIT、札幌、座長、Lectures
- 8/3-4 ASEAN CTO Academy Conference, Bangkok, International faculty, Live operator, Lectures
- 8/23-25 India CTO, Chennai, International faculty, Live operator, Lectures
- 9/6-7 Guangzhou CTO summit. Guangzhou, International faculty, Live operator, Lectures
- 7/28 CCT Coronary Web live 2023 Yokohama, CTO PCI Live Course, Live operator
- 9/20-21 7th HKCTO live, 1st HKCHIP live by HKSTENT & 3rd APCTO cinema by APCTO Club & 16th

	Experts “live” CTO by EuroCTO Club 2024. (HKCTO/CHIPSlive/APCTO CINEMA 2024), International faculty
9/17	Sri Lanka college of cardiology annual academic session, Colombo, International faculty
10/19	CVIT 近畿地方会、大阪、座長
10/24-26	CCT、神戸、Course director
11/1-2	仙台 PTCA ネットワークライブ、仙台、Faculty、Live operator
11/8-9	CTOCC, Shanghai, International faculty, Live operator, Lecture
11/22-23	QICC, Hangzhou, International faculty
11/30	関西 YES クラブ、director,
12/5-6	岩手リアルワールドライブ、盛岡、Faculty、Live operator
1/21-22	CU 3D CTO Live with APCTO CLUB 2025, Hongkong, International faculty, Lectures
3/13-15	KCJL、京都、Faculty、Lecture
3/20-22	India Live, New Delhi, International faculty, Lectures

2-2. 消化器内科・血液内科

<消化器内科>

I 消化器内科スタッフ（2025年7月1日現在）

【常勤医師】 佐野村 誠（副院長・主任部長）、西谷 仁（化学療法センター長・主任医長）、
碓山 直邦（内視鏡センター長・主任医長）、辻本 裕之（医長）、西庵 克俊（医員）、
宮 智成（医員）、上野 あおい（医員）、山田 恭子（医員）

【非常勤医師】 佐々木 有一、西岡 伸、由上 博喜、福田 彰、朝井 章、西川 知宏、山田 真規、金谷 崇史

II 消化器内科・血液内科の現状と目標

当院の消化器内科は内視鏡部門として内視鏡センターを有しており、消化器内視鏡検査の積極的な運用を行っている。外来では消化器内科外来の他に、肝臓内科外来、化学療法外来、緩和ケア外来を設置しており、消化器に関連する幅広い疾患・病態に対応している。入院では消化器疾患の患者の他、他臓器がんの緩和医療も担っている。また血液内科の入院患者の主治医・担当医として、血液内科診療をサポートしている。

1. 消化器がん診療の充実

大阪府がん診療拠点病院・日本がん治療認定医機構認定研修施設・日本消化器病学会認定施設・日本消化器内視鏡学会指導施設として、消化器がんの診断・内視鏡治療・抗がん剤治療・緩和医療の充実を図り、消化器がん診療の更なる発展を目指す。がん化学療法においては、外来化学療法センターを中心に大阪医科大学薬科大学化学療法センターと連携して更なる充実を図る。

2. 新規入院患者数の増加

登録医への営業活動、研究会などを通じて登録医との連携を更に強化する。また消化器内科患者の入院数増加を図り、退院支援を行う。

3. 外来診療の強化

登録医との連携を通じて消化器内科外来診療を効率的に行う。大阪医科大学第2内科からの派遣医師による肝臓内科外来・化学療法外来の専門外来を更に充実させる。

4. 消化器内科診療の質的向上

消化器内科スタッフの拡充・充実を目指し、専攻医・臨床研修医への指導体制を強化して、消化器内科診療の質的向上を図る。また内科専門医制度にも対応した専攻医の研修体制を確立し、魅力ある診療科を目指す。

5. 登録医との密な連携

紹介状での診療情報提供だけでなく、登録医との“顔の見える”連携により地域医療に貢献し、登録医との更なる連携強化を図る。

6. 消化器内視鏡検査件数の増加

検査・治療施行医の充足を目標に、内視鏡・周辺機器などの新規導入・更新により消化器内科検査件数の増加を目指すとともに、安全で質の高い消化器内科検査・治療を行う。またオープン検査の広報を行うことによる紹介検査件数の増加を目指す。

7. 学術活動の推進

学会・研究会・論文などの学術的な発表を更に推進し、消化器内科全体のレベルアップを図り、北摂総合病院のブランド力の強化に繋げる。

8. 血液内科の入院患者の担当

当院の消化器内科は血液内科の入院患者も担当しており、京都大学血液・腫瘍内科、高槻赤十字病院血液内科、大阪医科大学血液内科と連携して診療を行う。

Ⅲ 消化器内科 患者数実績

【外来】	初診患者数	再診患者数	外来延べ患者数	1日平均患者数
2015年度	1,350	10,847	12,197	41
2016年度	1,235	10,211	11,446	39
2017年度	1,181	10,803	11,984	41
2018年度	1,062	11,019	12,081	41
2019年度	1,014	11,359	12,373	42
2020年度	999	10,909	11,908	41
2021年度	1,133	11,540	12,673	39
2022年度	1,030	10,665	11,695	40
2023年度	998	9,876	10,874	37
2024年度	988	9,404	10,392	35

【入院】	新入院数	退院数	在院延べ患者数	1日平均在院数	平均在院日数
2015年度	1,760	1,677	17,219	47.0	10.0
2016年度	1,902	1,825	18,775	51.4	10.1
2017年度	1,821	1,764	20,720	56.8	11.6
2018年度	1,655	1,617	18,083	49.7	11.1
2019年度	1,772	1,750	17,086	46.7	9.7
2020年度	1,823	1,748	16,786	46.0	9.4
2021年度	1,801	1,750	16,862	46.2	9.5
2022年度	1,542	1,497	14,814	40.6	9.7
2023年度	1,590	1,539	13,402	36.6	8.6
2024年度	1,731	1,691	15,619	42.8	9.1

Ⅳ 消化器専門外来（2025年7月1日現在）

	月	火	水	木	金	土
午前	佐野村		碓山	佐野村	朝井*	西川
	由上**		西谷**	西谷**		西谷**
午後	佐野村		佐野村	辻本	西庵	
				福田*		

*：肝臓内科

**：がん化学療法外来・緩和ケア外来

Ⅴ 各種消化器検査（2025年7月1日現在）

	月	火	水	木	金	土
消化管透視	放射線科	放射線科	放射線科	○	放射線科	放射線科
上部消化管内視鏡検査	○	○*	○	○*	○	○*
逆行性膵胆管造影、 胆道処置、肝生検		○* △*				
大腸内視鏡検査	△*	△*	△*	△*	△*	△
腹部エコー	△		○		○	
腹部血管造影		△	△			

○：午前 △：午後 *：大阪医大2内科より派遣

Ⅵ 過去 5 年間における各種消化器検査及び処置件数（2020.4.1 ～ 2025.3.31）

項 目	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
○上部消化管内視鏡 経口	1,615	1,568	1,442	1,451	1,524
経鼻	1,069	1,354	1,250	1,194	1,277
緊急止血術	123	92	86	127	60
食道静脈瘤硬化療法（EIS）	0	3	5	0	0
食道静脈瘤結紮術（EVL）	24	20	9	19	11
異物除去	10	16	12	9	12
胃瘻造設術（PEG）	17	12	12	8	17
PEG 交換	31	37	33	32	34
粘膜切除術（EMR）・粘膜下層剥離術（ESD）	30	36	32	36	23
超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）	13	10	5	5	19
超音波内視鏡（EUS）	49	68	64	39	75
カプセル内視鏡	18	3	3	2	3
○下部消化管内視鏡（CF）	1,816	1,887	1,727	1,625	1,724
粘膜切除術（EMR）・粘膜下層剥離術（ESD）	633	676	620	460	514
緊急内視鏡（止血等）	39	43	34	37	39
○逆行性膵胆管造影（ERCP）	199	207	175	138	172
経鼻胆管ドレナージ（ENBD）	1	2	0	0	0
乳頭括約筋切開術（EST）	67	91	52	59	54
胆管ドレナージ（ステント挿入）	117	137	121	83	102
結石除去	94	101	57	57	76
○経皮的胆管ドレナージ（PTCD）	2	9	0	0	1
経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）	0	0	2	2	4
○経皮的エタノール注入療法（PEIT）	2	0	0	0	0
腹部エコー	1,099	1,021	1,108	940	1,026
腹部血管造影	10	5	4	0	0
肝生検	22	12	21	7	12
○イレウス管挿入術	46	47	53	40	62
小腸造影	18	3	9	0	1
上部消化管透視	245	133	171	160	191
注腸	33	50	36	11	37
CV ポート挿入術	29	45	31	19	14

<血液内科>

【非常勤医師】 長谷川 稔、越智 陽太郎

Ⅶ 血液内科 患者数実績

血液内科疾患の入院患者は、京都大学血液・腫瘍内科のサポートを受けながら、消化器内科医が担当している。

血液内科 2024年度退院患者数(大分類別・主病名別)

大分類名	主病名	計
02・新生物	びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫	6
	悪性リンパ腫	6
	結節硬化型古典的ホジキンリンパ腫	2
	骨髄異形成症候群	6
	多発性骨髄腫	6
	非ホジキンリンパ腫	1
	慢性リンパ性白血病	1
	慢性骨髄性白血病	1
	濾胞性リンパ腫	1
03・血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	出血性貧血	2
	小球性貧血	8
	正球性貧血	2
	大球性貧血	3
	鉄欠乏性貧血	11
	播種性血管内凝固	1
	貧血	13
	慢性貧血	1
総計		71

Ⅷ 血液内科専門外来（2025年7月1日現在）

	月	火	水	木	金	土
午前 予約		越智				
午後 予約					長谷川	

IX 2024 年度 学会・研究会・論文発表

〈学会発表・研究会発表・講演・座長・司会など〉

■第 249 回 大腸疾患研究会 2024.4.5 大阪 /Web 開催

読影者：佐野村 誠

■第 488 回 大阪胃研究会 2024.4.10 大阪 /Web

コメンテーター：佐野村 誠

■消化器疾患を考える会 in 三島 2024.4.11 高槻

慢性便秘症と大腸癌～エロピキシバットの特性と便通異常症ガイドラインを踏まえて～

○佐野村 誠

■北摂血液連携セミナー 2024.4.15 高槻

総合司会：佐野村 誠

■第 250 回 大腸疾患研究会 2024.6.14 大阪 /Web 開催

肛門管癌の 1 例

○佐野村 誠

■高槻市医師会 Web 学術講演会 2024.6.20 高槻 /Web 開催

座長：佐野村 誠

■第 112 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会 2024.6.29 大阪

Young Endoscopist Session

漢方薬休薬により潰瘍が癒痕化した腸間膜静脈硬化症の 1 例

○奥井 寛太、佐野村 誠、疋田 千晶、門坂 里菜、山田 達明、碓山 直邦、西谷 仁、植田 初江、
西川 浩樹

■第 112 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会 2024.6.29 大阪

ラズベリー型腺窩上皮型胃腫瘍の 1 例～胃過形成性ポリープ、一般型腺窩上皮型胃腫瘍との鑑別

○碓山 直邦、佐野村 誠、疋田 千晶、門坂 里菜、奥井 寛太、山田 達明、西谷 仁、植田 初江、
西川 浩樹

■第 112 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会 2024.6.29 大阪

ビデオシンポジウム

止血に難渋した内視鏡処置後出血に縫縮法とピュアスタットを併用し止血を得た症例～ Gyoza method
の有用性

○門坂 里菜、菅原 徳瑛、箱田 明俊、岩坪 太郎、西川 浩樹

■第 244 回 日本内科学会近畿地方会 2024.6.29 京都

Is+IIa 型早期肛門管癌の 1 例

○佐野村 誠、疋田 千晶、門坂 里菜、奥井 寛太、山田 達明、碓山 直邦、西谷 仁、豊田 昌夫、植田 初江、
西川 浩樹

■第 244 回 日本内科学会近畿地方会 2024.6.29 京都

一般演題座長：佐野村 誠

■第 489 回 大阪胃研究会 2024.7.10 大阪 /Web

十二指腸球部に発生した多発 NET と異所性腭の 1 例

○佐野村 誠

■第 132 回 日本消化器内視鏡学会中国支部例会 2024.7.15 広島

経過を追えた単純性潰瘍の 1 例

○佐野村 誠、疋田 千晶、門坂 里菜、奥井 寛太、山田 達明、碓山 直邦、西谷 仁、豊田 昌夫、植田 初江、
西川浩樹

■Colonoscopy Update Seminar in 兵庫 2024.7.25 神戸 /Web

大腸がん検診と大腸内視鏡検査～硫酸塩製剤による前処置法～

○佐野村 誠

■早期胃癌研究会 8 月度例会 2024.8.2 Web

盲腸顆粒細胞腫の 1 例

○佐野村 誠

■第 53 回 日本消化器がん検診学会近畿地方会 2024.8.3 神戸

一般演題座長：佐野村 誠

■第 53 回 日本消化器がん検診学会近畿地方会 2024.8.3 神戸

大腸がん検診の検診受診率・精検受診率向上への取り組み

○疋田 千晶、佐野村 誠、本郷 仁志

■UC Web Seminar TNF 阻害療法を再考する 2024.8.7 Web

TNF 阻害剤の TDM による治療戦略について

○碓山 直邦

■Colonoscopy Update Seminar in 北摂 2024.8.27 Web

大腸がん検診と大腸内視鏡検査～硫酸塩製剤による前処置法～

○佐野村 誠

■第 33 回 三島圏域がん研究会 2024. 9. 12 Web

一般演題座長：佐野村 誠

■第 251 回 大腸疾患研究会 2024.9.13 大阪 /Web

司会：佐野村 誠

■第 251 回 大腸疾患研究会 2024.9.13 大阪 /Web

関節リウマチに合併した重症虚血性腸炎の 1 例

○佐野村 誠

■カログラ錠 Case Reports Internet Live Seminar 2024.9.19 Web

潰瘍性大腸炎診療におけるカログラ錠の位置付け

○佐野村 誠

■第 121 回 日本消化器病学会近畿支部例会 2024.9.28 京都

Young Investigator Session

肛門管 SM 癌の 2 例

○門坂 里菜、佐野村 誠、疋田 千晶、奥井 寛太、山田 達明、碓山 直邦、西谷 仁、豊田 昌夫、植田 初江、
西川 浩樹

■10 月香川県消化器談話会 2024.10.10 高松

大腸癌と慢性便秘症～大腸腫瘍の内視鏡診断とルビプロストンの特性を含めて～

○佐野村 誠

■第 55 回 日本消化器がん検診学会中国四国地方会 2024.11.11 広島

症例検討会（放射線技師研修会）コメンテーター

佐野村 誠

■第 55 回 日本消化器がん検診学会中国四国地方会 2024.11.11 広島

ランチョンセミナー

大腸癌と慢性便秘症～大腸腫瘍の内視鏡診断とルビプロストンの特性を含めて

佐野村 誠

■第 18 回 Tea Time Conference in Hokusetsu 2024.11.14 Web

大腸がん検診の現況

○佐野村 誠

■第4回 三島医療圏がん診療拠点病院合同市民公開セミナー 2024.11.16 高槻
司会：佐野村 誠

■第4回 三島医療圏がん診療拠点病院合同市民公開セミナー 2024.11.16 高槻
大腸がん検診 便潜血陽性といわれたら
○佐野村 誠

■早期胃癌研究会 11 月度例会 2024.11.20 Web
横行結腸 PEComa の 1 例 ～大腸粘膜下腫瘍様病変の内視鏡診断
○佐野村 誠

■第 45 回 日本肝臓学会東部会 2024.12.6-7 仙台
怠薬により肝不全に至り、血漿交換にて救命を得られた Wilson 病の一例
○門坂 里菜、朝井 章、後 昂佑、西川 知宏、西川 浩樹

■第 113 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会 2024.12.7 大阪
Fresh Endoscopist Session
盲腸顆粒細胞腫の 1 例
○中村 俊太郎、佐野村 誠、疋田 千晶、門坂 里菜、奥井 寛太、山田 達明、碓山 直邦、西谷 仁、豊田 昌夫、
植田 初江、西川 浩樹

■第 113 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会 2024.12.7 大阪
Young Endoscopist Session
十二指腸球部に多発十二指腸 NET と異所性腺を合併した 1 例
○山田 達明、佐野村 誠、疋田 千晶、門坂 里菜、奥井 寛太、碓山 直邦、西谷 仁、豊田 昌夫、植田 初江、
西川 浩樹

■第 83 回 関西早期大腸癌勉強会 2024.12.10 Web
特別講演 司会：佐野村 誠

■IBD Young Academy 2024 2024.12.12 京都
UC 難治例に対する Infliximab 追加療法の有用性に関する臨床的検討
○碓山 直邦

■第 34 回 日本大腸肛門病学会教育セミナー Web 配信
炎症性腸疾患（IBD）診療の最前線
司会：佐野村 誠

■第 253 回 大腸疾患研究会 2025.2.14 大阪

粘液結節を伴った大腸癌の 1 例

○佐野村 誠

■第 122 回 日本消化器病学会近畿支部例会 2025.2.15 京都

Young Investigator Session

関節リウマチ患者に発症した重症虚血性大腸炎の 1 例

○奥井 寛太、佐野村 誠、疋田 千晶、門坂 里菜、山田 達明、碓山 直邦、西谷 仁、植田 初江、
西川 浩樹

■第 16 回 消化器内視鏡勉強会 in Itami 2025.2.27 伊丹

大腸腫瘍の内視鏡診断と治療

○佐野村 誠

■茨木市 市民公開講座 2025.3.8 茨木

大腸がん検診の実際～便潜血検査と大腸内視鏡検査～

○佐野村 誠

■第 3 回 大阪肝疾患 WEB カンファレンス 2025.3.27 Web

当院における肝性脳症の診断・治療 ～改訂ガイドラインを踏まえた治療戦略～

○門坂 里奈

■第 37 回 高槻消化器疾患談話会 2025.3.29 高槻 /Web

慢性便秘症と大腸癌 ～エロピキシバットの特性と便通異常症診療ガイドラインを踏まえて～

○佐野村 誠

＜論文・著書・その他＞

- 富永 真央、佐野村 誠、山田 達明、辻 沙也佳、松尾 奈々子、碓山 直邦、西谷 仁、佐々木 有一、川崎 浩資、
豊田 昌夫、植田 初江、森川 浩志、柿本 一城、中村 志郎、西川 浩樹. 腸閉塞を来した巨大肛門ポリー
プの 1 例.

日本大腸検査学会雑誌 40: 84-89, 2024

- 佐野村 誠、疋田 千晶、山田 達明、辻 沙也佳、富永 真央、松尾 奈々子、碓山 直邦、西谷 仁、植田 初江、
廣瀬 善信、西川 浩樹. 漢方薬休薬により潰瘍が癒痕化した腸間膜静脈硬化症の 1 例.

胃と腸 59: 987-993, 2024

- 佐野村 誠、廣瀬 善信、能田 貞治、中沢 啓、川上 研、柿本 一城、中村 志郎、疋田 千晶、門坂 里菜、
奥井 寛太、山田 達明、碓山 直邦、西谷 仁、植田 初江、西川 浩樹. 臨床医の考える臨床画像と病理所
見の対比 - 小腸.

胃と腸 59: 1139-1151, 2024

■佐野村 誠、永田 信二. 消化管間質腫瘍 (GIST).

田中 信治 (監): 美しい画像で見る内視鏡アトラス 下部消化管. p44-47, 2024, 羊土社、東京

■佐野村 誠、永田 信二. 悪性黒色腫.

田中 信治 (監): 美しい画像で見る内視鏡アトラス 下部消化管. p48-50, 2024, 羊土社、東京

■佐野村 誠、川上 研. 転移性腫瘍.

田中 信治 (監): 美しい画像で見る内視鏡アトラス 下部消化管. p51-53, 2024, 羊土社、東京

■佐野村 誠. 進行大腸癌①.

田中 信治 (監): 消化管画像強調内視鏡 (IEE) アトラス. p262-263, 2024, 文光堂、東京

■佐野村 誠、安藤 徳晃、上堂 文也. 特殊型の癌 (粘液癌、印環細胞癌).

田中 信治 (監): 消化管画像強調内視鏡 (IEE) アトラス. p266-267, 2024, 文光堂、東京

■佐野村 誠. 悪性リンパ腫 (DLBCL).

田中 信治 (監): 消化管画像強調内視鏡 (IEE) アトラス. p272-273, 2024, 文光堂、東京

■佐野村 誠. 悪性黒色腫.

田中 信治 (監): 消化管画像強調内視鏡 (IEE) アトラス. p280-281, 2024, 文光堂、東京

■佐野村 誠、疋田 千晶、門坂 里菜、奥井 寛太、山田 達明、碓山 直邦、西谷 仁、豊田 昌夫、中沢 啓、川上 研、柿本 一城、植田 初江、廣瀬 善信、中村 志郎、西川 浩樹. 回盲部・虫垂病変の内視鏡診断.

胃と腸 59: 1741-1753, 2024

2-3. 呼吸器内科

スタッフ

部長：貴島 源一
非常勤医師：田村 洋輔（2016 年 10 月～毎週金曜午前外来）
辻 博行（2018 年 4 月から月曜気管支鏡検査）
鶴岡 健二郎（2020 年 4 月から木曜午前及び午後外来）
船本 智哉（2021 年 4 月から火曜午前外来）
由良 成（2024 年 4 月から 2025 年 3 月まで水曜入院患者、2025 年 4 月から山口 隆太郎）

2024 年度も貴島と上記非常勤医師及び呼吸器外科の越智の協力で呼吸器内科の診療を行った。非常勤医師も昨年度同様に月曜から金曜まで大阪医科薬科大学第一内科からの非常勤医師の協力を得た。特に肺癌症例に関しては、気管支鏡認定医の辻とがん薬物療法専門医の鶴岡、田村との十分な症例検討を行い診断および治療の選択を行った。

〈外来患者〉

外来は貴島が月曜と水曜に呼吸器内科外来を、非常勤医師は船本が火曜の外来、鶴岡が木曜の外来、田村が金曜の外来を担当した。尚、肺癌症例の診療は主に田村と鶴岡が担当した。

外来の月平均患者数は、2022 年度 320 名、2023 年度 317 名、2024 年度 348 名とほぼ横ばいに推移し、年間紹介患者は 2023 年度 646 名から 2024 年度は 718 名と増加傾向であった。

〈年度別疾患別入院患者数〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
COPD・喘息	34	32	19	48	42
誤嚥性肺炎	45	37	38	34	41
睡眠時無呼吸症候群	22	28	14	15	7
間質性肺炎	36	42	21	20	16
肺炎・気管支炎	76	61	79	80	114
肺癌	121	107	111	95	92
胸膜炎・気胸	9	6	2	18	4
膿胸	6	4	4	10	3
その他	40	62	37	46	96
計	389	379	325	366	415

入院患者は上記の表に示したように 2020 年度以降は 300 人台で経過していたが、2024 年度は 415 症例とコロナ禍の影響で減少した入院患者数の回復を認めた。しかし、常勤医一人体制のため呼吸器疾患患者の全例を呼吸器内科だけで受け持つことはできず、市中肺炎や高齢の誤嚥性肺炎などの症例は呼吸器内科以外の診療科で入院治療を協力して頂いた。又、胸水貯留や膿胸などでドレナージ等外科的な処置が必要な症例は主に呼吸器外科に担当して頂いた。

2017 年度からは呼吸器内科と外科が共同して行う新たな気管支鏡検査の体制が整い肺癌手術症例、抗癌

剤治療症例も一定数を維持している。(肺癌化学療法レジメン件数参照)

2014 年 10 月より定期接種となった肺炎球菌ワクチンは呼吸器内科外来で接種を続けており、毎年秋に行っているインフルエンザワクチン接種や希望者に対する新型コロナワクチン接種も継続中である。

〈肺癌化学療法レジメン件数〉

がん薬物療法専門医である大阪医科薬科大学の田村、鶴岡の協力の下、積極的に入院及び外来での肺癌化学療法の導入を推進し、肺癌化学療法のレジメン件数は下記に示すよう 2021 年以降年間 200 件前後で推移している。

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
肺癌化学療法レジメン件数	120	190	212	191	192

〈気管支鏡検査〉

2016 年 11 月までは呼吸器外科が中心で気管支鏡検査を行っていたが、呼吸器外科医の退職で一時検査は中断し 2017 年度から再開。2019 年度からは呼吸器外科越智と非常勤医辻による毎週月曜の気管支鏡検査の体制を整え、他病院からの紹介症例にも対応している。

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
気管支鏡検査	54	57	43	35	38

〈外来の在宅酸素療法症例数、CPAP 治療症例数〉

慢性呼吸不全症例に対する在宅酸素療法と、睡眠時無呼吸症候群に対する CPAP 治療の夫々の月平均の外来での管理患者数は以下の通りで、在宅酸素療法に関しては登録医での管理を依頼することもあり、やや減少傾向であったが概ね月平均 20 人前後で推移している。2005 年より開始した CPAP 治療はここ数年月平均 80 人台で推移している。

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
在宅酸素療法	21.1	23.4	13.2	22.0	17.6
CPAP 治療	82.7	85	82.3	80.4	83.4

〈呼気一酸化窒素測定〉

2024 年 1 月より、気道の好酸球炎症の程度を数値化できる呼気一酸化窒素測定機器 (NO breath) を導入し、慢性・遷延性咳嗽の診断や COPD、気管支喘息治療の効果判定を行っている。2024 年 1～3 月の検査件数は 67 件であったが 2024 年度は 270 件の呼気 NO 検査 (月平均 22.5 件) を行った。

〈学会・研究会発表など〉

2024 年 7 月 20 日 第 103 回日本呼吸器学会近畿地方会

「胸膜中皮腫疑いで試行した胸膜生検を機にアスペルギルス胸膜炎が発覚した 1 例」

○中瀬 亜子、越智 薫、貴島 源一 於:大阪国際交流センター

2024 年 11 月 9 日 令和 6 年度 北摂四医師会三島感染症研究会

基調講演 座長 貴島 源一 於:高槻城北公園芸術文化会館

2-4. 糖尿病・内分泌内科

スタッフ

部 長：竹内 徹
非常勤医師：王 衣里子

〈外来総括〉

昨年までの外来業務同様、現在まで週3回の糖尿病内分泌内科枠（火午前・水午前・木午後・予約制）並びに週2回の総合内科枠（月午前・木午前）を中心に診療継続を行なった。病院全体として外来患者数の減少傾向が認められるが、当科においても若干ながら同様の傾向を認めている。ここ1年の傾向としてはCOVID-19による受診控えよりも従来有していた糖尿病合併症の進行や悪化に伴う随伴疾患発症、治療のため他科や他院への転科転院が増加傾向にある様に見受けられた。他院において治療を受けられた患者については当院へ戻られる事が多いため、スムーズな受け入れ体制を継続したい。

また外来枠拡大を目的に非常勤医師による外来枠を水曜日午前枠に設定し2診制を継続中である。内分泌疾患を含め新規ならびに紹介患者の対応をお願いしており、入外の患者数増加に協力頂いた。

診療体制として昨年より水曜日午前外来に糖尿病療養指導士1名が診療補助に加わっているが、本年もこれを継続したが診療内容の質向上に貢献したと考える。糖尿病外来においては患者の病状や合併症評価・治療のみならず生活環境因子が大きく影響する事が多く、特に高齢化した糖尿病患者に対しては医師の指導のみでは病状改善に至らない事が多い。昨年より現体制による診療を継続する事で栄養指導の件数増加、動脈硬化を中心とした合併症検査の件数増加、さらには糖尿病患者の生活環境整備に介入する機会が増えており、より包括的な糖尿病治療・療養指導が行えている。これらは更に再診患者の確保に有効と考えるため継続していく。なお、今回糖尿病療養指導の出来るスタッフの増加が診療レベルの底上げや診療単価の上昇に寄与する事が判明し、従来通り当院コメディカルスタッフへの糖尿病療養指導士の資格取得に向けた案内、指導を行っていたが、近日有資格者の増加が見込まれた。引き続き療養指導の強化にあたる予定である。

＞初診・紹介患者について

数年来登録医からの紹介例としての多くが血糖コントロール不安定となった症例に対する精査依頼であるが、その多くが清涼飲料水ケトosisを伴うものであり、日常生活における療養指導が重要である事が伺えた。また救急外来受診や入院依頼については夏場における高血糖高浸透圧症候群が主であり、現在の季節環境を考慮すると減少傾向には至らないと思われる。加えて従来糖尿病治療が行われている患者においては糖尿病以外の疾患（内分泌疾患や悪性腫瘍等）が血糖コントロール不安定となる原因となる事があり、初診・紹介患者においては可能な限り入院精査を勧めた。その中で高齢者の中には軽度認知機能障害を含む認知症を発症していると思われる患者も多く、糖尿病内科のみでは対応困難な症例が散見された。糖尿病患者を受け入れる体制に認知機能評価を加える必要性を強く感じる1年であった。

>再診患者について

近年のクリニカルエビデンスに基づく治療方針は血糖コントロール改善に寄与しており、当方再診外来においても実感出来る所であった。特に SGLT2 阻害薬やインクレチン関連薬の普及は血糖管理改善に大きく影響しており、当科専門外来以外に通院頂いている患者に対しても有効な治療となっている模様である。

当科再診においては血糖コントロールのみならず、それら治療が安全かつ効果的に認められる様環境整備を行う事も外来業務としているが、本年は合併症の進行・悪化に伴い再診患者数はやや低下傾向にあった。特に当院では脳虚血疾患に対する迅速な対応が困難なため、患者数の減少はやむを得ない状況であった。また当方外来を開始し 10 数年が経過し、当初より通院頂いていた再診患者についてはその合併症の悪化から他科へ診療・治療介入をお願いする症例が増えてきた事も患者数減少の一因と思われた。さらに腎症進行に伴う人工透析導入の患者が散見されており、維持透析となった場合他院へ透析継続をお願いする場面も多く、今後当院での対応が出来れば糖尿病治療・管理継続も当科で対応出来るものと考ええる。

〈入院総括〉

血糖コントロール悪化症例に対する精査目的入院数に大きな変動は認めなかった。これらはここ 10 年前後に上梓された薬剤の影響が大きいものと考えられ、登録医からの入院依頼からもこれら薬剤を使用している患者の入院依頼が少ない印象である。また、糖尿病性ケトアシドーシス症例は減少傾向にあり、他方高齢者に多い高血糖高浸透圧症候群や清涼飲料水ケトosisと思われる高血糖緊急症による入院は横ばいと思われる。なお、これら緊急症による入院患者の中には例年同様一定数の成人発症 1 型糖尿病（緩徐進行型含む）が認められており、これら発症の見落としが無い様引き続き入外関わらず慎重な対応を取りたい。

一般的な教育入院は近年減少傾向にあるが、入院中の糖尿病教育・指導については従来通りビデオ等の資料や院内作成のパンフレットを使用し療養指導とした。DVD 等一部古い資料については改訂を行い糖尿病療養指導の資料とした。また手薄であった運動療法についてはリハビリ科協力のもとエルゴ使用等指導介入を行った。

■ 2024 年度 外来・入院患者数

外来初診患者数：49

外来延べ患者数：4,415

新 入 院 数：94

在院延べ患者数：2,002

総合内科外来患者数（当方担当患者）：659

■ 2024 年度 糖尿病・内分泌内科退院患者数（大分類別・主病名別）

大分類名	主病名	計
01・感染症及び寄生虫症	敗血症性ショック	1
03・血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	出血性貧血	1
	小球性貧血	1
04・内分泌、栄養及び代謝疾患	1型糖尿病性ケトアシドーシス	2
	1型糖尿病性壊疽	1
	1型糖尿病性高血糖高浸透圧症候群	1
	2型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	2
	2型糖尿病・神経学的合併症あり	4
	2型糖尿病・腎合併症あり	7
	2型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	5
	2型糖尿病・糖尿病性合併症あり	5
	2型糖尿病・糖尿病性合併症なし	11
	2型糖尿病・末梢循環合併症あり	1
	2型糖尿病合併慢性腎臓病	1
	2型糖尿病性アシドーシス	1
	2型糖尿病性ケトアシドーシス	6
	2型糖尿病性ケトーシス	5
	2型糖尿病性高血糖高浸透圧症候群	6
	ステロイド糖尿病・糖尿病性合併症なし	1
	亜急性甲状腺炎	1
	緩徐進行1型糖尿病・神経学的合併症あり	2
	緩徐進行1型糖尿病・糖尿病性合併症なし	1
	高血糖高浸透圧症候群	2
	続発性副腎皮質機能低下症	1
	低栄養	1
	低血糖昏睡	1
	低血糖発作	4
	糖尿病性ケトアシドーシス	1
	乳酸アシドーシス	1
06・神経系の疾患	欠神発作重積状態	1
10・呼吸器の疾患	気管支肺炎	3
	誤嚥性肺炎	1
14・尿路性器系の疾患	尿路感染症	1
	慢性尿路感染症	1
19・損傷、中毒及びその他の外因の影響	熱中症	1
22・原因不明の新たな疾患の暫定分類	COVID-19	4
	COVID-19肺炎	3
総 計		92

2-5. 総合内科

スタッフ

部 長：玄 武司

医 長：黄俊 貴文（2025 年 5 月退職）

非常勤医師：西村 綾

総合内科外来診療、入院診療は下記の通りであった。

1. 外来診療

外来は月曜から土曜まで毎日午前診療が行われており西村先生、黄俊先生、玄が担当した。該当患者は専門科以外の紹介患者、直来の初診患者、専門外来以外の症状の専門外来通院患者と健康診断である。初診患者で専門医の診察が必要と判断されれば専門医と連絡をとり専門医の診察を受けて頂いた。簡易問診で可及的迅速に状態把握が必要とされる患者は看護部で詳細な問診聴取や診察前バイタルサインのチェックをしていただき大いに助けて頂いた。バイタルサイン不良患者は ER で対応して頂いた。紹介患者は初診当日にある程度の結論を出すべく放射線科の多大な御協力で至急画像所見を記載して頂き対応できた。発熱患者は問診時点で発熱状況を把握、先にコロナ検査を優先していただき、陽性ならリモート診察対応としたがその数は激減した。

総合内科 1 日平均外来患者数は、総合内科／全内科 = $21 / 145 = 0.14$ （14％）であった。

2. 入院診療

総合内科は玄が入院患者振り分けを行い各専門医協力の下、各内科専門外の入院患者の診療に当たった。入院診療は総合内科入院患者診療と他科入院中患者のコンサルテーション（対診依頼）である。

① 総合内科入院患者診療

常勤医師のいる専門領域（消化器内科、循環器科、糖尿病内科、呼吸器内科、血液内科）以外の入院患者は黄俊先生が主に主治医、玄が担当医となり一患者二医師制で対応した。この間、ローテート中の臨床研修医の先生方が入院患者診療に加わり研修された。いわゆる不明熱、尿路感染症や皮膚軟部組織感染、それに伴う敗血症／敗血症性ショック、市中肺炎、誤嚥性肺炎、低 Na 血症、低 K 血症を中心とする電解質異常、脱水症、熱中症、帰宅困難の耳鼻科関連の末梢性眩暈、急性アルコール中毒、薬物中毒、体動困難、老衰で経口摂取不良となった患者まで実に多彩で機動力を発揮して対応した。総合内科入院の内訳は下記に記す。

② 他科入院中患者のコンサルテーション（対診依頼）

特に整形外科系入院中の発熱患者、原因がはっきりしない炎症反応高値患者、電解質異常、尿路感染症、薬疹を含む皮疹患者、薬剤によると思われる血球減少患者である。入院患者で focus がはっきりしない発熱、炎症反応高値で CPPD 沈着症の素地（恥骨結合部石灰化等）がある患者では治療的診断で NSAIDs 使用で軽快、結論として偽痛風と診断した例が散見された。

2024 年度 総合内科 入院患者数 (ICD-10 大分類)

大分類名	計	大分類名	計
01・感染症及び寄生虫症	36	10・呼吸器の疾患	151
02・新生物	1	11・消化器の疾患	4
03・血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	5	12・皮膚及び皮下組織の疾患	5
04・内分泌、栄養及び代謝疾患	60	13・筋骨格系及び結合組織の疾患	12
05・精神及び行動の障害	5	14・尿路性器系の疾患	75
06・神経系の疾患	11	18・症状、徴候及び異常臨床所見異常検査所見で他に分類されないもの	3
08・耳及び乳様突起の疾患	23	19・損傷、中毒及びその他の外因の影響	22
09・循環器の疾患	6	22・原因不明の新たな疾患の暫定分類	17
総 計			436

2-6. 内科症例検討会

2024 年度は、症例検討会未実施です。

3. 小児科

スタッフ

部 長：八上 隆行
医 員：水谷 翠
非常勤医師：黒柳 裕一

2022 年 2 月より八上が小児科部長着任しています。小児科常勤医師 2 名（八上、水谷）、非常勤医師 1 名（黒柳：小児内分泌）体制での診療を行っています。なお、小児循環器を担当していただいた清水医師は昨年度末で退職となっております。一般診療は常勤医 2 名で行い、感染症の流行状況に合わせ、マイコプラズマ PCR 検査、百日咳抗原キットも導入しています。専門外来は八上がアレルギー疾患を担当。食物経口負荷試験、舌下免疫療法（スギ・ダニ）も行っています。水谷は心身症を担当。初診枠を木曜日午後 1 枠設けています。心理士による発達検査も週 2 回行っています。患者数は緩やかに増加傾向にありますが、新規紹介患者受け入れにはまだゆとりがありますので、それぞれの専門診療に加え、精査及び入院紹介を登録医先生からお願いしたい状況です。信頼関係を大切に、責任をもって対応いたします。今後とも引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

〈外来診療〉

一般外来診療は八上が月・火・水曜日午前、水谷が木・金・土曜日午前を担当。ただし土曜日は患者側受診希望も多く、水谷／八上の 2 診体制です。なお多忙時は診療枠にとらわれず、八上・水谷が臨機応変に協力して診療を行っています。専門外来は、水谷が心身症外来（初診：木曜日午後予約制、再診：水・金曜日午後予約制）、黒柳が小児内分泌外来（金曜日午後予約制）を継続して行っています。なお八上のアレルギー診療は現状一般外来枠で診療。ただ、食物経口負荷試験は木曜日午前予約制で行っています。なお毎週火曜日は三島地域広域小児救急の二次輪番救急病院として、夜間小児救急診療を行っています。火曜日以外の時間外診療も日勤帯であれば積極的に受け入れていきますので、必要な場合はぜひご連絡ください。

〈入院診療〉

入院患者の内訳は表のとおりで、急性気管支炎・肺炎、感染性胃腸炎、頸部リンパ節炎が主となります。当院で対応できる疾患については責任を持って対応いたしますので、登録医の先生方からのご紹介をぜひよろしくお願いいたします。

【八上 隆行】

資 格

- 日本小児科学会認定小児科専門医
- 日本小児アレルギー学会認定アレルギー専門医（小児科）
- 社団法人日本病院会 臨床研修指導医養成講習会終了（臨床研修指導医）

【水谷 翠】

資 格

- 日本小児科学会認定小児科専門医
- 日本小児心身症学会認定小児心身症専門医
- こどものこころ専門医

2024 年度

新入院数：45 (前年：43)

平均在院日数：3.5 日 (前年：3.7 日)

初診患者数：300 名 (前年：300 名)

外来述べ患者数：3,525 名 (前年：3,308 名)

【アレルギー疾患】 八上

食物経口負荷試験：38 名

【心身症】 水谷

心身症初診：62 名

【小児内分泌】 黒柳

小児内分泌外来述べ患者数：126 名

■ 2024 年度 小児科退院患者数 (大分類別・主病名別)

大分類名	主病名	計
01・感染症及び寄生虫症	アデノウイルス腸炎	1
	ロタウイルス性腸炎	1
	溶連菌感染症	1
09・循環器の疾患	起立性調節障害	1
10・呼吸器の疾患	RS ウイルス気管支炎	1
	RS ウイルス肺炎	1
	アデノウイルス扁桃炎	1
	ヒトメタニューモウイルス気管支炎	1
	ヒトメタニューモウイルス肺炎	1
	マイコプラズマ肺炎	7
	気管支肺炎	5
	急性気管支炎	4
	急性肺炎	14
	肺炎	1
	レンサ球菌性咽頭炎	1
12・皮膚及び皮下組織の疾患	頸部リンパ節炎	1
	頸部膿瘍	2
総 計		44

4. 一般・消化器外科

スタッフ

主任部長：豊田 昌夫

部長：川崎 浩資（9月末で異動退職）

医 長：なし

医 員：西内 善彦（7月末で退職）、園村 純（8月入職、3月末で退職）、濱口 拓哉

非常勤医師：一般消化器外科（土曜日）：鈴木 悠介

乳腺外科：田中 亨明（火）、碓 絢葉（木）

外科メンバーの人事について報告いたします。2024年3月31日をもって大阪医科大学：一般・消化器外科から当院に派遣されていた阿部信貴 Dr が、医局人事で市立枚方病院に異動になり、交代で4月3日より同学年の濱口拓哉 Dr が大阪医科大学より当院に派遣され、今年も4人体制での幕開けとなりました。2022年度の5人体制から一人減の4人体制は前年度の2023年度に引き続き2年目となりました。主任部長の豊田、部長の川崎、医員の西内と4人中の3人は前年度から変わらず、また新たに加わった濱口も交代した阿部と同学年で臨床経験もありましたので、年度初めからこの4人で従来と変わらずしっかりと診療を行ってまいりました。

新型コロナ感染は5年目に入り、前年5月に5類移行され、流行しても以前ほどの大きな感染状況にはなりませんでしたが、いずれも感染対策を徹底させることにより、入院／手術に大きな支障を来すこともなく日常業務を遂行できた一年でした。一方で、アフターコロナで入院患者数が減少して今年度も全国の病院が四苦八苦している状況が継続しました。われわれ外科でも何とか入院患者数／手術件数を確保することを最大の目標として日々の診療に邁進いたしましたが、前半は目標達成には程遠い成績となりました。

外科では2023年度より外科医が一人減の4人体制になったことと、アフターコロナで診療控えの傾向が継続していたことも、入院患者数／手術件数の減少傾向が持続した要因でありました。2023年度にはさらに大きな要因として、麻酔科部長の退職に伴い麻酔科常勤医が不在となったことと、複数の手術室看護師の退職があったことがありました。このため平日や日曜・祝日の緊急手術を制限せざるを得なくなり、患者数／手術症例数の減少を助長させたものと判断しております。これらを踏まえて2024年度の行動目標は手術症例数を前年より50減の年間350例（2023年度は目標400例）、悪性腫瘍の手術症例数は前年と同じ100例を目標に掲げて、昨年と同様に《患者さんを逃がさない、救急を断らない》を合言葉に日常診療を行いました。しかし外科手術でも緊急疾患が占める割合が多い当科では、なかなか30例／月の目標を達成できませでした。2024年度は322例とこの数年間で最も減少いたしました。ただし予定手術が多い悪性腫瘍の手術は、手術症例数が減少する中でも98例あり、目標数にほぼ匹敵する数を確保出来ました。

悪性腫瘍切除手術症例数98症例のうち、最も多い大腸癌は57例（2023年度81例、2022年度55例）と昨年よりは減少しましたが、一昨年より増加しました。一方で、2番目に多い胃癌は20例と前年度の14例からかなり増加いたしました。今年度は膵臓癌の手術はありませんでしたが、久しぶりに胸部食道癌の手術が1例あり、胸腔鏡／腹腔鏡下に行いました。前年度から行っております乳腺専門医療機関：りょうクリニックと協力しての乳癌手術も年間で19例行うことができました。乳癌手術に必要なセンチネルリンパ節生検施行時にはジアグノグリーン注入しての蛍光観察を用いて的確なリンパ節同定を行っております。また術中迅速病理診断も当院病理診断科：植田初枝先生のご尽力で併用しております。アフターコ

コロナで入院患者数が減り、手術室での緊急手術が制限される中でも、悪性腫瘍手術症例数でこれだけ善戦できたのも、地域の開業医先生方や患者様から、当院をお選びしていただけているものと深く感謝しております。今後もこの信頼をさらに向上していきたいと考えます。良性疾患では胆石 67 例、虫垂炎 32 例は、ほぼ全例を腹腔鏡手術で行いました。悪性腫瘍でも大腸癌手術症例、胃癌手術症例も高度の進行例以外は腹腔鏡手術で行うことができました。

2024 年 10 月で部長の川崎医師が異動になり、これに代わる外科医師の補充は大学からではなく、やむなく外科は 3 人体制となってしまいました。一人一人の外科医の負担は増えて大変な重労働となりましたが、一同、初診から診断、診断から外科治療へと、出来るだけ速やかに手術治療ができるように、内科・救急科 / 外科が垣根なく診療にあたることを心がけて対応しております。消化器内科の化学療法チームとも連携し、胃癌や大腸癌の再発症例にも積極的に対応し、緩和医療としての外科手術にも引き続き対応しております。2024 年度は大腸癌術後の巨大卵巣転移の切除も行いました。また地域の基幹病院として高齢者や心血管障害・脳血管障害・腎不全での透析導入などの基礎合併疾患を有する手術症例も多く、院内の循環器内科や内分泌内科などの関連他科とも協力し合って予定および緊急手術にも迅速に対応しております。2024 年度は透析患者の上行結腸癌症例や放射線照射後の小腸膀胱陰瘻の症例など、他院では手術不能と言われた 2 症例も当院で手術を施行いたしました。2024 年度の秋以降、さらに医師一人減の 3 人体制となり、一人一人の負担は増えてきましたが、症例ごとの最適な外科治療を目指して診療してまいりました。

(2024 年度学会発表 / 論文)

2024 年度の学会発表・論文はございません。

■ 2024 年 4 月～ 2025 年 3 月 一般・消化器外科 手術件数

手 術	全件数	がん件数（再掲）
胃・十二指腸	20（腹腔鏡 13）	20（腹腔鏡 12）
小腸・大腸	80（腹腔鏡 66）	57（腹腔鏡 47）
肝臓	1	1
膵臓	0	0
食道	1	1
乳腺	20（腹腔鏡 0）	19（腹腔鏡 0）
血管	0	
ヘルニア	71（腹腔鏡 24）	
胆嚢・総胆管結石	67（腹腔鏡 66）	
虫垂炎	32（腹腔鏡 32）	
消化管穿孔・腹膜炎	7（腹腔鏡 6）	
イレウス	5（腹腔鏡 4）	
肛門	6（腹腔鏡 0）	0（腹腔鏡 0）
その他	12（腹腔鏡 0）	
合 計	322	

5. 呼吸器外科

スタッフ

医 長：越智 薫

2024 年度総評

2017 年 4 月より常勤 1 名、非常勤 1 名での診療を行なっています。2024 年には手術は計 53 例行い、肺葉切除 12 例、肺部分切除 9 例、自然気胸 20 例でした。

2024 年度は 2023 年の気胸 9 例と比べ 11 例増加いたしました。当直帯で胸腔ドレナージが可能な日が増えたことから、受けられる人数が増えたためと考えます。引き続き気胸を紹介いただけるよう、今後、登録医の先生がたとの連携をさらに強めていきたいと考えております。

6. 心臓血管外科

スタッフ

医 長：禹 英喜

2024 年 8 月より、常勤医が産前後および育児休暇を取得させて頂いております。この間は大阪医科薬科大学病院より派遣頂きました非常勤医師による外来診療（第 2, 4 土曜日午前診察）のみでした。2025 年 10 月頃より、常勤医が復職する予定です。

7. 整形外科

スタッフ

病院長代理・主任部長・手外科センター長：植田 直樹

病院長補佐・部長：劉 長勸

リハビリテーション科部長：福井 浩一

医長：池田 邦明（2024 年 12 月 31 日異動）

医員：木野 圭一郎、浅井 重博（2024 年 10 月 1 日着任）

医員（ローテーター）：伊藤 英智、安田 果歩（ともに 2025 年 3 月 31 日異動）

2024 年度は、高島、新保 医師が 2024 年 3 月 31 日に大学人事による異動のため退職し、4 月 1 日から伊藤英智、安田果歩医師が常勤医師（ローテーター）として着任され、スタッフ増員として木野圭一郎医師も着任した。植田、劉整形外科部長、福井リハビリテーション科部長、池田整形外科医長は継続で、合計 7 名（ローテーターの伊藤医師も専門医であり、整形外科専門医は 5 名）体制でのスタートであった。池田医師の 2025 年 1 月からの大学病院への異動が決まり、10 月からは浅井重博医師も着任した。

非常勤医師としては、毎週火曜日には高島雅俊医師と新保高志郎医師が週ごとに交代で勤務することになった。水曜日には洛西シミズ病院の廣藤真司医師、大阪医科薬科大学の藤野圭太郎医師が引き続き勤務し、二人とも専門である手外科症例の手術などを中心に診療している。木曜日には大阪医科薬科大学三島南病院整形外科の中野敦之医師も引き続き勤務し、脊椎外来と脊椎手術を行っている。また大阪医科薬科大学から大学院生の三宅克広医師が、整形外科レジデントの枠として上田拓司医師が非常勤として診療をしている。2024 年度の手術件数は昨年度の 1,355 件をさらに上回り、過去最多の 1,383 件であった。

学会研究発表

- 1 両側同時受傷の ACL 損傷に対して一期的に両側 ACL 再建術を施行した 1 例

池田 邦明

日本スポーツ整形外科学会 2024 2024/9/12-14

2. 高度外反膝変形を伴う膝蓋骨不安定症に対して内側閉鎖式楔状遠位大腿骨骨切り術を施行した 1 例

池田 邦明

第 2 回膝関節学会 2024/12/6-7

3. 膝関節の痛みの原因とその治療法

池田 邦明

北摂総合病院 市民公開講座 2024/10/5

4. 日常診療で見逃しやすい膝関節疾患～膝関節温存を目指して～

池田 邦明

痛み診療 Skill Up Seminar ～整形外科編～ 2024/11/13

5. 非定型大腿骨骨折の初回手術時に chipping を行った経験

安田 果歩、劉 長勸、植田 直樹、福井 浩一、木野 圭一朗、池田 邦明、伊藤 英智

第 67 回大阪整形外科セミナー 2024/8/3

6. 外反陥入型大腿骨頸部骨折は整復が必要か？（第 2 報）

劉 長勸、植田 直樹、福井 浩一、池田 邦明、高島 雅俊、新保 高志郎

第 87 回大阪医科薬科大学整形外科関連病院談話会 2024/3/9

7. 小児の橈骨遠位骨幹部骨折に対する橈骨遠位掌側ロッキングプレート固定の小経験

植田 直樹、劉 長萬、高島 雅俊、新保 高志郎

第 50 回日本骨折治療学会学術集会 2024/6/28-29

8. 橈骨遠位端骨折術後の日常生活動作の困難感の定量テキスト分析による検討

植田 直樹、蓬萊谷 耕士、田村 裕子、遠近 太郎、小栗山 絵美、新保 高志郎

第 67 回日本手外科学会学術集会 2024/4/25-26

9. 外反陥入型大腿骨頸部骨折は整復が必要か？

劉 長勸、植田 直樹、池田 邦明、新保 高志郎、高島 雅俊

第 50 回日本骨折治療学会学術集会 2024/6/28-29

10. 小児肘関節分散脱臼の治療経験

安田 果歩、植田 直樹、福井 浩一、劉 長勸、木野 圭一朗、池田 邦明、伊藤 英智

第 88 回大阪医科薬科大学整形外科関連病院談話会 2024/9/28

2024年4月～2025年3月の手術件数

2024年4月～2025年3月の手術件数				件数			
脊椎手術	頤胸椎		骨折、外傷の手術		4		
			直視下手術		9		
			鏡視下手術、低侵襲手術		0		
	腰仙椎		骨折、外傷の手術		7		
			直視下手術		61		
			鏡視下手術、低侵襲手術		5		
	その他		側弯症手術		0		
			腫瘍手術		1		
骨盤			骨折、外傷の手術		5		
上肢手術	肩関節		骨折、外傷の手術（鎖骨、肩甲骨を含む）		57		
			直視下手術	腱板断裂	0		
				肩関節不安定症	0		
				その他	5		
			鏡視下手術	腱板断裂	1		
				肩関節不安定症	2		
				その他	1		
			肘関節		骨折、外傷の手術		42
					直視下手術	肘部管症候群	16
	人工関節置換術	0					
	靱帯再建術	0					
	その他	3					
	鏡視下手術				3		
	手部、手関節		骨折、外傷の手術		246		
			直視下手術	末梢神経手術	6		
				関節形成術（固定術を含む）	16		
				腱・靱帯再建術	8		
				顕微鏡下手術	5		
				その他	84		
			鏡視下手術	手根管症候群	64		
				その他	0		
			骨幹部	上腕	骨折、外傷の手術		4
	前腕	4					
下肢手術	股関節		骨折、外傷の手術	人工骨頭挿入術	71		
				骨接合術	128		
				その他	0		
			直視下手術	人工関節置換術	20		
				関節形成術（骨切り術）	0		
				その他	2		
			鏡視下手術		0		
	膝関節		骨折、外傷の手術		28		
			直視下手術	人工関節置換術	57		
				関節形成術（骨切り術）	19		
				その他	6		

下肢手術	膝関節		鏡視下手術	靱帯再建術	5	
				その他	21	
	足部、足関節		骨折、外傷の手術		87	
			直視下手術	矯正術	1	
				関節形成術(固定術を含む)		5
				腱・靱帯再建術		3
				その他		3
			鏡視下手術		3	
	骨幹部	大腿	骨折、外傷の手術		6	
		下腿			5	
腫瘍の手術(脊椎を除く)			良性軟部腫瘍手術		48	
			悪性軟部腫瘍手術		1	
			良性骨腫瘍手術		5	
			悪性骨腫瘍手術		0	
内固定材料抜去術					156	
その他の手術(上段のいずれにも分類困難な手術)					44	
外傷手術合計(各部位の骨折、外傷の手術の合計)					694	
疾病手術合計(外傷以外の手術、ただし内固定材料抜去術は除く)					489	
総件数(内固定材料抜去術+その他の手術+外傷手術合計+疾病手術合計)					1,383	

(2013年1月12日同門会総会承認)

8. 婦人科

スタッフ

部 長：田中 理恵（2016 年 4 月より現在まで）

非常勤：橋田 宗祐（2024 年 4 月より 2025 年 3 月まで）

非常勤：田中 良道（2021 年 4 月より現在まで）

2024 年度は常勤医師田中に加えて、非常勤医師として大阪医科薬科大学病院産婦人科より橋田宗祐医師と田中良道医師に出向いただき、3 人体制で診療を行いました。

当科では 2020 年度より卵巣癌・卵管癌などの婦人科悪性腫瘍に対する診療を開始しており、従来の良性疾患に対する腹腔鏡手術を中心とした診療に加えて、婦人科悪性腫瘍に対する診療および遺伝カウンセリング、HBOC（遺伝性乳がん卵巣がん症候群）に対する BRCA1/2 遺伝子検査、進行卵巣癌に対する HRD 検査も行っております。また、HBOC に関しては乳がん患者さんを対象とした遺伝カウンセリングおよび遺伝学的検査の紹介もいただいております。

1. 外来診療：

2024 年度の外来延べ患者数は 213 人で、うち紹介患者数は 151 人であり、近隣の先生方からは以前より引き続き多くのご紹介をいただいております、心より感謝申し上げます。

外来での特殊検査としては、子宮内腔病変を精査する「子宮鏡検査」と、子宮がん検診などで頸部細胞診異常を指摘された方に対して行う「腔拡大鏡検査（コルポスコピー）」を行っております。子宮鏡検査には直径 3mm の非常に細い軟性鏡を使用しており、ほぼ痛みを感じることなく患者さんに検査を受けていただいております。また、子宮頸部細胞診異常を指摘された方に対する腔拡大鏡検査（コルポスコピー）での精査および加療も積極的に行っております。

2. 入院診療：

- a) 手術：2024 年度の手術は 121 件であり、そのうち腹腔鏡手術は 63 件で、前年度（46 件）より 17 件の増加でした。腹腔鏡手術のおもな内訳は、子宮全摘術 26 件、付属器切除術 15 件、筋腫核出術 4 件でした。また、子宮鏡手術は 29 件でした。
- b) 悪性腫瘍に対する診療：悪性腫瘍に対する手術は、2024 年度は子宮体癌 4 件、子宮頸癌 2 件、卵巣・卵管癌は 3 件でした。

術式	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
腹腔鏡下腔式子宮全摘術	13	10	12	19	22
腹腔鏡下子宮筋腫核出術	5	5	4	4	4
腹腔鏡下付属器摘出術	12	11	12	11	15
腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術	9	4	3	1	4
腹腔鏡下卵巣腫瘍切除術	6	6	5	8	11
腹腔鏡下卵管切除術	3	1	2	3	1
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	0	1	2	0	4
腹腔鏡下腫瘍生検	0	0	2	0	1
その他（膿瘍ドレナージ等）	0	1	2	1	1
腹腔鏡下手術の合計	48	39	44	46	63
腹式子宮全摘術	12	11	5	1	3
腹式子宮筋腫核出術	2	0	1	1	0
腹式卵巣嚢腫摘出術	0	1	1	0	0
子宮悪性腫瘍手術（開腹）	2	0	0	1	0
子宮付属器悪性腫瘍手術	2	3	2	0	2
開腹手術の合計	18 (0)	15	9	3	5
子宮鏡下内膜ポリープ切除術	38	31	26	25	26
子宮鏡下筋腫切除術など	6	3	0	1	3
子宮鏡下手術の合計	44	34	26	26	29
子宮頸部円錐切除術	5	2	3	4	11
その他（内膜搔爬、バルトリン腺嚢胞手術等）	9	13	11	7	13
手術総件数	124	103	93	88	121

本年度も良性疾患はもちろんのこと、婦人科悪性腫瘍に対する診療も積極的に行ってまいりたいと存じます。精査の結果で当院での治療が困難と思われる患者さんは、大阪医科薬科大学をはじめとする高次医療機関へ早々にご紹介し早期の治療開始に繋げさせていただいておりますので、婦人科疾患を疑われた場合まずはお気軽に当科へご紹介くださいませ。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

9. 眼科

スタッフ

部 長：田端 珠美
医 長：丸山 会里（～ 2025 年 3 月）
医 員：延藤 綾香、小林 栞綸（2025 年 4 月～）

1. 北摂総合病院の病診連携と最近の動静

当院の特色は近隣の先生方と密に連携していることです。最近では白内障手術・抗 VEGF 硝子体注射を開業医先生自身でも実施する傾向にあり、近隣の新規開業が増えるとともに、紹介件数は減ってきています。

2. 外来診療

2021 年 4 月 1 日からは延藤医師が大阪医科薬科大学より、2023 年 4 月 1 日より田端が非常勤医として赴任しました。2025 年 3 月末丸山医師が転勤、4 月から小林栞綸医師が大阪医科薬科大学から赴任し、田端は常勤医となりました。2025 年 5 月現在の診療担当表は下記のようになっています。

外来の設備機器としてはレーザー装置としてニデック社製パターンスキャンレーザー、ヤグレーザーと SLT（選択的線維柱帯形成術）に対応したルミナス社製 Selecta Duet を保有しており、糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症をはじめとする網膜疾患の光凝固やレーザー虹彩切開術、選択的線維柱帯形成術などの緑内障疾患に活躍しています。

診断機器としてはニデック社製ミランテが導入されており、加算可能な OCT-angio も撮影可能です。角膜形状解析装置付きのオートレフはトーリックレンズの選択に重宝しています。眼底カメラとしてトプコン社製眼底カメラ DRC-50DS、視野計として、ゴールドマン型視野計とハンフリー視野計が導入されています。ハンフリー視野計では新しい緑内障用プログラムとして 24-2C が導入され、測定時間が片眼 3 ～ 6 分程度とかなり短縮され、患者の疲労も少なくなっており、了解を得た患者様を順次新しいプログラムに切り替えています。眼軸長測定装置としてツァイス社製 IOL マスター、超音波診断装置として UBM も測定可能な A モード、B モードとトーマー社製 UD-8000 を保有しています。

診療担当表（2025年5月1日現在）

	月	火	水	木	金	土
午前	田端 延藤	延藤 (2,4) 小林 (3)	延藤 小林	田端 小林	延藤 (1,3) 小林 (2,4)	田端 (2,4,5) 延藤 (1,3,5) 小林 (1,2,3,4)
午後 特外	延藤	予約外来 検査	小林	小林	予約外来 検査	休診

3. スタッフ（医師以外）

ORT としては現在、森は常勤、石飛は短時間常勤、石田は月水木に勤務。奥村は育休中です。ORT は視力・視野・眼位検査だけでなく蛍光眼底撮影などを施行してくれています。OMA として名越が視力や OCT などを担当してくれています。看護師として松山 Ns、田中 Ns、御手洗 Ns、高添 Ns、三代 Ns、廣澤 Ns、に内科と眼科をかけもちで担当してもらっており、大変助かっています。

4. 診療

	外来受診患者	外来新患数	入院患者数	平均在院日数
2015年度	8,285	466	289	2
2016年度	7,662	416	180	1.6
2017年度	6,273	402	120	1.6
2018年度	6,200	372	110	1.7
2019年度	6,551	332	166	1.2
2020年度	6,069	244	153	1.5
2021年度	6,095	267	110	1.5
2022年度	5,945	261	118	1.1
2023年度	5,553	181	127	1.0
2024年度	5,390	203	154	1.0

5. 手術

顕微鏡はカールツァイス社製顕微鏡 OPM1 Lumera T を使用し、白内障手術装置としてはアルコン社のセンチュリオンが導入されています。

またアイリーアやルセンチスなどの硝子体注射も手術室で施行しその数は徐々に増加しています。

1) 手術室手術

年 度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
白内障手術	623	516	433	345	373	284	285	306	249	273
白内障・緑内障 同時手術	6	2	3	1	0	5	2	2	0	0
緑内障手術	13	16	14	12	6	13	9	5	1	1
眼瞼下垂手術	16	6	13	11	6	16	0	0	0	0
内反症手術	6	4	4	1	0	0	1	2	0	0
翼状片手術	1	5	1	2	3	2	2	2	2	0
霰粒腫切除	6	0	2	2	0	3	2	1	0	4
結膜腫瘍摘出	5	0	3	5	0	3	0	1	0	1
斜視手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
硝子体内注射 その他	49	80	96	152	210	203	211	250	216	224
合 計	725	629	569	531	598	529	512	569	468	503

2) 外来手術

年 度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
霰粒腫手術	4	0	1	3	0	2	0	1	0	2
麦粒腫手術	4	1	1	0	0	1	0	1	1	0
結膜結石除去	6	8	3	3	3	6	0	4	0	0
合 計	14	9	5	6	3	9	0	6	1	2

3) レーザー手術(外来)

年 度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
網膜光凝固術(特殊)	22	19	19	20	20	23	7	15	11	28
網膜光凝固術(通常)	32	39	31	36	36	40	21	12	17	7
ヤグ後発白内障切開術	79	64	95	82	89	52	44	51	31	21
虹彩光凝固	9	3	4	1	6	5	2	2	1	0
隅角光凝固術	4	4	15	5	2	4	8	3	2	8

10. 皮膚科

スタッフ

部長：芳川 た江子

非常勤医師：逢坂 萌（水曜日 午前診）

～ 2024 年度 1 年間の診療を振り返って～

この1年間の外来延べ患者数は、4,579名で、前年度と比べて447名減少しています。

新患は778名で、そのうち紹介患者数は137名でした。まだまだ紹介患者数を増やしていきたいと思っておりますので、地域の先生方、よろしく御紹介（外来・入院とも）の程、お願いいたします。入院の方は、皮膚科単独の入院は少ないのですが、他科入院の皮膚科依頼は多く、1年間で1,770名ありました。皮膚科単独の入院も増やしていきたいと思っておりますので、ぜひ入院紹介よろしくお願いいたします。

又、院内で褥瘡対策チームをつくって、全病棟の患者様の管理やケアを行っております。詳細については、別記しています。

院外活動としては、高槻市医師会の委員（女医会・勤務医会・看護学校）、大阪府女医会の理事、大阪府医師会医学会総会評議員、大阪医科薬科大学皮膚科同門会の会計監査などを行っています。2018年6月からは、日本女医会の理事になり、月に1回リモートでの理事会に出席しています。又、時間をみつけて、学会や研修会などにも積極的に参加していきたいと思っております。院外活動の詳細は後記しています。

今後とも、地域の先生方との診療連携を上手に活かして、患者様主体の診療を続けていきたいと思っておりますので、よろしくご指導の程お願いいたします。

〈2024 年度 院外活動〉

※毎月第3火曜日午後	大阪府女医会理事会	（大阪府医師協同組合）
※毎月第4木曜日午後	高槻市医師会看護学校運営委員会	（看護学校）
※毎月第3土曜日午後	日本女医会理事会	（リモート会議）
・2024年 4月 6日（土）	大阪府女医会評議委員会・春の勉強会	（グランフロント大阪）
・2024年 4月21日（日）	日本女医会大阪支部総会	（ホテルグランヴィア大阪）
・2024年 4月26日（金）	大阪府医師会 政治連盟委員会	（大阪府医師会館）
・2024年 5月18日（土）午後～19日（日）	日本女医会総会	（司会）（東京）
・2024年 5月25日（土）午後	日本皮膚科学会大阪地方会	
・2024年 6月 8日（土）17時～	当院理事会	
・2024年 6月16日（日）	大阪府女医会総会	（ブリーゼブリーゼ）
・2024年 9月28日（土）	登録医懇親会	（ホテルグランヴィア大阪）
・2024年 10月26日（土）	大阪府女医会 秋の学術講演会	
・2024年 11月 4日（月）	大阪府医師会医学会総会＋評議員会	
・2024年 12月 1日（日）	大阪府女医会忘年会	
・2024年 12月12日（木）	健康教室講演（富田すこやかテラス）～かゆみについて	

-
- ・ 2025 年 1 月 31 日（金） 大阪医大皮膚科同門会・会計監査
 - ・ 2025 年 2 月 10 日（月） 健康教室講演（芝生すこやかテラス）～かゆみについて
 - ・ 2025 年 3 月 1 日（土） 西風会（大阪医大皮膚科同門会）
 - ・ 2025 年 3 月 29 日（土） 当院理事会

11. 泌尿器科

スタッフ

泌尿器科医長：濱田 修史

医 員：宮崎 稜介

非常 勤：東 治人、大阪医科薬科大学泌尿器科教室医員

常勤医師一人体制で非常勤医師の応援を得て診療を行ってきましたが、2022年4月より常勤医2人態勢となりました。泌尿器科の手術加療は、前立腺癌、腎癌、膀胱癌を中心にロボット支援下手術が中心となっており常勤医が少ない病院での手術件数の増加は難しい環境ではありますが、引き続き排尿障害、複雑性尿路感染症、性器感染症、尿路停滞、尿路結石、尿路性器悪性腫瘍に対し大阪医科薬科大学泌尿器科および関連病院と連携をとりつつ診療を行ってまいります。引き続き、地域診療も正しい知識をもって励んでいきますのでよろしくお願い致します。

■過去3年間の患者数推移

	外来患者数			入院患者数		
	初診患者数	再診患者数	外来延患者数	新入院数	退院数	延べ患者数
2022年度	327	6,875	7,202	176	175	1,642
2023年度	270	6,605	6,875	181	187	1,823
2024年度	284	6,461	6,745	182	177	1,705

■過去3年間の手術数推移

手術名	2022年度	2023年度	2024年度
TUR-Bt	72	67	46
TUR-P	9	19	17
膀胱腫瘍切除術	2	4	0
経尿道的止血術	2	1	0
シャント造設術	9	9	4
陰嚢水腫根治術	2	4	1
高位精巣摘除術	3	2	1
腎瘻造設術	6	1	3
前立腺切除術	0	0	1
腎尿管全摘術	3	0	0
透析シャント作成	2	0	0
腹腔鏡下腎尿管摘出術	0	0	4
腹腔鏡下腎摘出術	1	2	3
合計	111	109	80

12. 救急診療科

スタッフ

部長：森井 功

医員：各診療科 救急当番医 初期研修医 後期研修医 非常勤救急医

新型コロナウイルス感染症は2023年5月に5類感染症に変更され、インフルエンザと同等の感染症として扱われることとなったが、依然として高齢者を中心に多くの同感染症患者が救急搬送されており、本院においても2024年の救急搬送件数は同感染症を含む感染症が増加した夏と年末年始に大きく増加した。

2024年度の年間救急搬送件数は3,796件で、徐々に回復傾向にあるが、依然過去に到達したレベルには至っていない。その要因はER収容ベッド数や要請件数の減少を含め多岐に渡ると考えており、救急・集中治療認定看護師並びに病院救急救命士との連携によりその改善に向けた取り組みを継続的に行っている。

救急診療体制の維持充実は地域医療支援病院の重要な役割であり、本院はこれまで地域で連携頂いている登録医を中心とした先生並びに三島二次医療圏救急隊と良好な関係を維持しつつ、求められる救急診療の維持に努めてきた。また医師働き方改革に応じ、常勤医師の勤務負担軽減が求められる中、2023年度より大阪医科薬科大学救急医学教室から救急医の派遣を受けており、2024年度は平日のほぼ全てを救急専従の派遣医師が担うこととなった。今後、同院との連携をさらに強化し役割を分担しながら、本医療圏における救急診療体制の維持・向上に努めてゆく所存である。

診療体制

- ★地域医療支援病院
- ★基幹型臨床研修指定病院
- ★大阪府がん診療拠点病院
- ★大阪府三島二次医療圏災害協力病院
- ★大阪府三島地区メディカルコントロール参加病院
- ★24時間365日 常時救急対応病院

院外活動

- 1) 高槻・島本災害医療会議
- 2) 三島地域メディカルコントロール協議会（検証会議を含む）
- 3) 大阪府ICLSコースへの参加（インストラクターを含め、看護部）

院内活動

- 1) 救急委員会（年12回）
- 2) 院内メディカルコントロール委員会（年12回）
- 3) 院内ICLSコースの開催（年12回、看護部）

2024 年度 統計資料

診療科	救急診療科患者数	救急車搬入件数	入院件数
内 科 系	2,249	2,771	1,286
循環器科	441	275	299
外 科 系	1,337	983	348
整形外科	1,269	715	449
小 児 科	96	41	2
婦 人 科	1	1	1
総数	3,683	3,796	1,637

13. 放射線科

スタッフ

部長：結城 雅子

非常勤医師：田中 康敬、土井 健司、新保 大樹、堀 章裕、沖野 佳、戸田 壮、藤谷 知宏

常勤医 1 名体制のため、非常勤医師の協力を得て診療を行った。

診療放射線技師へのタスクシフト推進により、ガイドラインに基づき、STAT 画像報告を 2023 年 9 月より実践的に施行している。月 20 ～ 40 件程度の医師への報告と、10 ～ 20 件程度の技師へのフィードバックがあった。

技師の静脈確保の実践により、造影時のルート確保、造影剤注入、抜針まで、技師のみで施行できるようになった。

- ・ CT 検査件数は過去最高件数の 2019 年とほぼ同等、1 日平均 52 件、紹介率 12%。股関節と脊椎骨折、尿路結石診断においてはほぼ全例 dual energy CT による撮像を行っている。造影剤減量を推進し、積極的に低電圧撮像によりコントラスト向上を行っている。入院患者の頻回の検査は積極的に低線量撮像を行っている。
- ・ MR 件数はほぼ同等、MR1 日平均 18 件、紹介率 46%。特殊撮像である腰椎分離症評価のための CT 様撮像、内耳遅延造影を積極的に実施。乳腺造影 MR 検査増により全体的な件数の制限があった。
- ・ 骨折患者症例の骨塩定量検査が飛躍的に増加している。
- ・ マンモグラフィは施設認定再審査による中止の影響でやや減少した。
- ・ 専用アプリ 'JOIN' による院外専門科医への緊急画像配信を実施した。
- ・ 医療安全管理委員会のもと、画像報告に関する確実な既読と重要所見報告の追跡を実施し、重要所見例はほぼ確実に医師確認とカルテ記載が実施されている。
- ・ 放射線医療従事者のための教育訓練を e-learning で開催
- ・ 医師、技師、看護師による放射線科ミーティングを毎月開催
- ・ 院内では消化器科、呼吸器科との毎週のカンファレンスに参加。
- ・ 高槻市医師会 乳癌読影会に出向。乳がん精度管理委員。

論文

- ・ 対側型遅発性内リンパ水腫との鑑別に内耳造影 MRI が有用であった良聴耳急性前庭蝸牛障害例。森山 興、乾 崇樹、白井 丈雄、栗山 達朗、綾人 悠介、稲中 優子、萩森 伸一、河田 了、結城 雅子 Equilibrium Research 83-2, 2024.4.

発表

- ・ 放射線科医が推奨する肺がん転移評価造影 CT の撮像と再構成。結城雅子 YKK 2024.4.4
- ・ より質の高い検査を目指して 胆道系疾患を中心に。結城雅子 第 71 回関西 MAGNETOM 研究会（大阪） 2024.7.6

14. 麻酔科

スタッフ

非常勤麻酔科医：辰巳 真一、中野 祥子、上野 健史、北埜 学、愛甲 一樹、今川 憲太郎、野田 祐一、山崎 智巳、彦坂 祥子、亀井 智弘（2024 年 4 月 1 日現在）

麻酔手技別件数 過去 5 年間の推移

麻酔種別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全身麻酔(吸入)	1,157	1,137	1,166	1,230	1,241
全身麻酔(TIVA)	96	103	113	147	133
全身麻酔(吸入)+硬・脊・伝麻	302	286	267	240	237
全身麻酔(TIVA)+硬・脊・伝麻	4	7	7	8	21
硬膜外麻酔	0	0	0	0	0
脊髄くも膜下麻酔	46	46	50	87	73
伝達麻酔	0	0	0	0	0
その他(局所麻酔等)	816	808	951	811	792
総計	2,421	2,387	2,554	2,523	2,497
緊急手術	323	329	256	290	313
麻酔科管理症例	1,605	1,579	1,603	1,712	1,705

2024 年度 科別麻酔手技別件数

	一般消化外	眼科	呼吸器外科	循環器内科	心臓血管外	整形外科	泌尿器科	婦人科	総計
全身麻酔(吸入)	264		43	1		846	29	58	1,241
全身麻酔(TIVA)	25		2			88		18	133
全身麻酔(吸入)+硬・脊・伝麻	30		7			188	8	4	237
全身麻酔(TIVA)+硬・脊・伝麻			1			17	1	2	21
脊髄くも膜下麻酔						2	34	37	73
その他(局所麻酔等)	3	503	1	22	30	224	7	2	792
総計	322	503	54	23	30	1,365	79	121	2,497

15. 病理診断科

スタッフ

常 勤：植田 初江 日本病理学会 病理専門医・指導医

非常勤：服部 公亮（大阪医科薬科大病理学教室） 病理専門医、細胞診専門医

波多野 裕一郎（大阪医科薬科大病理学教室） 病理専門医、細胞診専門医

松本 学（国立循環器病研究センター病理部医員 病理専門医 2023 年度取得、循環器内科専門医）

雨宮 妃（国立循環器病研究センター病理部非常勤医師 病理専門医 2024 年度取得、循環器内科専門医、日本内科学会専門医、細胞診専門医 2024 年度取得）

病理業務は 1 名の常勤部長と 4 名の非常勤病理専門医によって担当。

臨床検査技師・細胞検査士保有（中間 愛、松本 仁）2 名 1 名は病理認定技師の資格保有

業務実績

組織診断：2,485 件（昨年 2,591 件）

細胞診：2,025 件（昨年 1,617 件）

（婦人科 1,405 件、その他（尿、体腔液）602 件（昨年婦人科 1,112、その他（尿、体腔液）505）

術中迅速診断：組織診断 119（昨年 64 件）

細胞診 83（昨年 57 件）

遺伝子コンパニオン診断 245 件（約 30%は入院中で DPC 内で処理された）

リンパ腫 READ 7 件

病理解剖（大阪医科薬科大学附属病院にて実施）：2 件

剖検番号 H-127 CPC（臨床病理検討会）

第 142 回 2024 年 2 月 25 日開催

検討症例：慢性心不全の経過中に COVID-19 肺炎が疑われた一例（A-127）

心臓、肺、腎の剖検

剖検番号 H-128

①死亡日 2025/3/13 ②剖検日 2025/3/13

臨床診断名：癌性胸膜炎 肺の局所解剖

病理診断名：主病変：肺癌、胸膜浸潤

本年 8 月に CPC 予定

学術研究業績

I. 学会活動：

- 第 113 回日本病理学会（2024 年 3 月 28 ～ 30 日・名古屋国際会議場 一般演題 植田 初江発表 胆嚢摘出術 200 例の病理学的解析
- 第 70 回日本病理学会秋期特別総会 2024 年 11 月 7 ～ 8 日（雨宮 妃、植田 初江発表）
- 第 29 回血管病理学会 2024 年 11 月 23 ～ 24 日福岡 座長 2 演題三重大学

4. 第 46 回心筋生検研究会 2024 年 12 月 6 ～ 7 日 昭和大学病院、座長
5. 第 89 回日本循環器学会 2025 年 3 月 28 ～ 30 日 パシフィコ横浜（雨宮 妃、植田 初江）
6. AMED 研究「慢性心筋炎の診断基準策定のための実態調査」班
研究協力者 三重大学 今中 恭子先生班長 課題管理番号 20ek0109476h0001

Ⅱ. 学術論文：

1. Amemiya K, Matsuyama T, Ishibashi-Ueda H, Matsumoto M, et al. Can right ventricular endomyocardial biopsy predict left ventricular fibrosis beforehand in dilated cardiomyopathy? ESC Heart Failure 2024; 11: 1001-100.
2. Omori T, Maruyama K, Ohta-Ogo K, Hatakeyama K, Ishibashi-Ueda H, Onoue K, Nagai T, et al. Clinical and Histopathological Characteristics of Patients With Myocarditis After mRNA COVID-19 Vaccination. Circ J. 2024 Dec 25;89 (1) :120-129. doi: 10.1253.

16. 血液浄化療法科

スタッフ

血液浄化療法科部長：山口 茂

外来通院透析、入院透析を中心に下記のような血液浄化療法を実施した。高齢者の新規透析導入患者の割合が増加する傾向が見られる。心血管合併症を有する患者も多く、長期の良好な予後が見込めない場合もある。透析シャント管理やフットケアにも多職種で取り組んだ。

■ 2024 年度 血液浄化療法科実績

2024～25年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来透析回数	141	166	152	150	160	127	143	144	143	155	141	144	1,766
入院透析回数	63	76	72	69	47	64	48	74	55	65	48	73	754
透析導入患者数	2	2	2	2	1	0	1	0	1	4	1	2	18
持続的腎代替療法 (CRRT)実施件数	14	1	6	0	0	0	0	0	11	14	5	2	53
潰瘍性大腸炎に対する 自己免疫吸着療法 (G-CAP)実施件数	2	0	0	0	2	9	6	1	0	0	3	7	30
腹水濃縮灌流法 (CART)実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	7

17. 健診科

スタッフ

部 長：斎藤 隆晴（健康管理センター長、2018 年 1 月～）

内容については、「Ⅲ-31 健康事業室」を参照ください。

18. 診療部医薬品勉強会

開催年月日		主催メーカー	説明会対象薬品
第1回	2024年 4月 23日	株式会社ツムラ	がん支持療法と漢方薬
第2回	2024年 5月 10日	第一三共株式会社	神経障害性疼痛治療剤 タリージェOD錠について
第3回	2024年 6月 25日	エーザイ株式会社	不眠症治療薬「デエビゴ」、新しい認知症治療薬
第4回	2024年 7月 23日	久光製薬株式会社	ジクトルテープ75mgについて
第5回	2024年 9月 24日	あすか製薬株式会社	リオナ錠250mgについて
第6回	2024年 10月 8日	持田製薬株式会社	選択的尿酸再吸収阻害薬 適応:痛風・高尿酸血症 ユリス錠について
第7回	2024年 10月 29日	第一三共株式会社	不眠症治療薬 ベルソムラ
第8回	2024年 12月 10日	MSD株式会社	HPVワクチン「シルガード」 子宮頸がんとHPVワクチンの現状に関しまして
第9回	2024年 12月 24日	株式会社ツムラ	咳に関する漢方薬、高齢者の食欲不振に使用する漢方薬(麦門冬湯・大建冬湯)
第10回	2025年 1月 28日	久光製薬株式会社	ジクトルテープ75mgについて
第11回	2025年 2月 18日	ファイザー株式会社	心アミドーシス 早期診断・早期治療について
第12回	2025年 2月 25日	持田製薬株式会社	胆汁酸トランスポーター阻害剤 適応:慢性便秘症 グーフイス錠について
第13回	2025年 3月 18日	大正製薬株式会社	選択的SGLT2阻害薬 2型糖尿病治療薬「ルセフィ」

19. 地域研修実績

2023年度 地域医療従事者研修会

年月日	講演名	講演内容	講師名	参加者数	外部医療従事者	(再掲)外部一般	備考
2023年 4月12日	北摂血液連携セミナーWeb 講演(協和キリン)	総合司会 「日常診療でよくみられる血液疾患-ITP-」 「悪性リンパ腫診療 up-to-date」	北摂総合病院 病院長補佐 兼 消化器内科主任部長 佐野村 誠 先生 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 准教授 山下 浩平 先生 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 教授 高折 晃史 先生	24	12	0	ホール WEB 3階多目的
2024年 4月26日	北摂地域医療イメージング フォーラム	『災害時における放射線科の対応を考える』 『STAT画像報告体制構築』 『Dual Energy CT -当院における実績-』	北摂総合病院 放射線科 松本 良太 先生 北摂総合病院 放射線科 上山 賢司 先生	25	13	0	ホール 3階多目的
2024年 6月8日	多職種連携の会	<第1部> シンポジウム 14:05~14:35「高槻市で人生会議(ACP)を推進するには」 ①「北摂総合病院の高齢者救急患者について」 ②「高槻市緊急連絡キットの運用について」 ③「高齢者のACPについて」 <第2部> グループワーク 「高槻市で人生会議(ACP)を推進するために私たちができること」 ④話題提供「北摂総合病院のACPの取り組み ~ACPはCPへ~」 グループ発表	①北摂総合病院 救急救命士 主任 藤井 紳伍 先生 ②高槻市役所 長寿介護課 主査 大浦 康平 先生 ③高槻市 難波クリニック 院長 難波 繁伸 先生 ④野口 忍(在宅看護CNS) 先生	48	30	0	ホール 3階多目的
2024年 6月13日	TeaTimeConference (第一三共)	『データから編む糖尿病治療』	座長:津久田医院 院長 津久田 康成 先生 演者:北摂総合病院 糖尿病内分泌内科 部長 竹内 徹 先生	44		0	
2024年 6月22日	北摂地域医療従事者セミナー (NQM)	「結核を知る-ややこしい検査をひも解いてみよう-」	感染管理特定認定看護師 馬場 恵美 先生	11	7	0	ホール 3階多目的
2024年 8月3日	北摂地域医療従事者セミナー (NQM)	「がん薬物療法に伴う外見の変化に対するケア」	がん化学療法看護認定看護師 増井 香菜 先生	8	0	0	ホール 3階多目的
2024年 9月7日	北摂地域医療従事者セミナー (NQM)	「高齢者の心不全看護」 ~高齢者に多い心不全増悪因子と観察点~	慢性心不全看護認定看護師 三井 巳奈子 先生	7	4	0	ホール 3階多目的
2024年 9月21日	北摂地域医療従事者セミナー (NQM)	「せん妄研修」	がん性疼痛看護特定認定看護師 京林 裕美 先生	7		0	ホール 3階多目的
2024年 9月28日	登録医会議	①「当院におけるCTを活用した骨診断と術中ナビゲーションシステム」 ②「心房細動に対するカテーテル治療の適応と実際」 ③「Snap Diagnosis(直観的診断)」 ④「三島医療圏における本院救急診療の役割」	①整形外科 木野 圭一郎 先生 ②循環器科部長 永松 航 先生 ③総合内科部長 玄 武司 先生 ④副院長 兼 救急診療科 森井 功 先生	158	158	0	
2024年 10月5日	多職種連携の会	<第1部>講演 ①「在宅医療の現状や連携での問題点について」 ②「当院における在宅緩和ケアの取り組み」~18年間を振り返って~ <第2部>グループディスカッション 「在宅医療推進のためにできること」	①茨木市 やまもとホームケアクリニック 山本 誠士 院長 ②高槻市 つじクリニック 辻 宏明 院長	56	22	0	ホール 3階多目的
2024年 11月2日	北摂地域医療従事者セミナー (NQM)	「高齢者の身体の特徴 ~どんなトラブルが起こりやすいの?~」	集中ケア認定看護師 中口 愛 先生	9	6	0	ホール 3階多目的
2024年 12月7日	北摂地域医療従事者セミナー (NQM)	「高齢者のスキンケア-基本のキとスキンケアまで-」	皮膚・排泄ケア認定看護師 門戸 典子 先生	5	3	0	ホール 3階多目的
2025年 2月1日	多職種連携の会	<第1部>講演 「地域包括ケアシステムにおける多職種支援による自助機能の構築」 <第2部>交流会・事業所紹介	北摂総合病院 在宅看護専門看護師 野口 忍 先生	45	30	0	ホール 3階多目的
2025年 2月6日	第2回三島地域臨床検査研究会	「肝炎ウイルス検査陽性患者全員へ適切な対応を」 「満足度に影響する項目の調査~満足度向上に向けて~」	北摂総合病院 臨床検査科 山村 佳子 先生 北摂総合病院 臨床検査科 里 もみじ 先生	16	7	0	ホール 3階多目的
2025年 2月8日	北摂地域医療従事者セミナー (NQM)	「もっとポジティブにACP」	在宅看護専門看護師 野口 忍 先生	17	10	0	ホール、WEB 3階多目的

年月日	講演名	講演内容	講師名	参加者数	（再掲） 外部医 務者	（再掲） 外部 一般	備考
2025年 2月15日	北摂地域医療従事者研修会	リハビリテーションにおける地域連携の現状とこれから～クリニックの理学療法士の立場から～	なかじま整形外科循環器科クリニック 椎木 文枝 先生	13	3	0	WEB 特別会議室、
2025年 3月1日	第12回救急隊様向けセミナー	『その後、患者さんはどうなった？救急搬送から見える診療の実際』	北摂総合病院 救急科部長 森井 功 先生	46	46	0	WEB 特別会議室、
2025年 3月1日	北摂地域医療従事者セミナー (NQM)	「症例を通してみんなで考えよう！」	救急看護認定看護師 小西 ゆかり 先生 クリティカルケア認定看護師 床尾 羊翼 先生	11	3	0	ホール、WEB 3階多目的
2025年 3月17日	北摂地域医療イメージング フォーラム	『3D画像の運用、画像等手術支援加算のお話』 『診療放射線技師の業務拡大に伴うタスクシェア～静脈路確保の実践～』	北摂総合病院 放射線科 阪元 修平 先生 北摂総合病院 放射線科 庄司 桃子 先生	15	10	0	ホール 3階多目的
2025年 3月22日	第24回 北摂総合病院 薬業 連携研修会	①「当院のirAE対策と現状」 ②「大阪府がんトレーシングレポートについて トレーシングレポート返信に関しての話し合い」	北摂総合病院 看護部 増井 香菜 先生 北摂総合病院 薬剤科 岩村 恭子 先生	5	5	0	ホール 3階多目的
				合 計	473	314	86
				(昨年度)	629	355	10

20. 卒後臨床研修実績

■ 1 年目研修医（2024 年 4 月～）【プログラム番号：030840303】

中村 俊太郎、華岡 輝青

■ 2 年目研修医（2023 年 4 月～）【プログラム番号：030840303】

中瀬 亜子、三澤 風花

□ 北摂総合病院臨床研修プログラム【プログラム番号：030840303】

月	研修期間	研修分野	研修病院・施設
1	6ヶ月	内科研修	北摂総合病院
2			
3			
4			
5			
6			
7	3ヶ月	外科研修	北摂総合病院
8			
9			
10	4ヶ月	救急部門研修	北摂総合病院
11			
12			
13			
14	1ヶ月	地域医療研修	鄭クリニック
15	1ヶ月	精神科研修	新阿武山病院(精神)
16	1ヶ月	産婦人科研修	大阪医科薬科大(産婦人科)
17	1ヶ月	小児科研修	大阪医科薬科大(小児科)
18	1ヶ月	一般外来研修	北摂総合病院(総合内科)
19	6ヶ月	選択科目	北摂総合病院
20			
21			
22			
23			
24			

週間予定表（内科基礎研修の例）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:30	早朝報告*1 職員朝礼	早朝報告*1 職員朝礼	早朝報告*1 内科合同 カンファレンス 職員朝礼	早朝報告*1 職員朝礼	早朝報告*1 職員朝礼	
9:00	指導医回診	指導医回診	指導医回診	指導医回診	院長回診	
12:30	昼食・休憩	昼食・休憩 デスカンファレンス、 CPC(13時～)	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	
13:30	入院患者 診察等	入院患者 診察等	入院患者 診察等	入院患者 診察等	入院患者 診察等	
16:30						

内科基礎研修中は、担当医の下に 5 ～ 10 名前後の患者を受け持ち、副担当医として診療に従事する。
当院内科基礎研修では、消化器内科（3 ヶ月）、循環器内科（2 ヶ月）、呼吸器内科（1 ヶ月）をローテート

して研修する。さらに週1回程度、副宿直医として、宿直医とともに夜間、時間外における救急医療・時間外診療に従事する。他の研修期間においても、基本的に上記の内科基礎研修とおおむね同様のスケジュールにより実施する。

* 1 早朝報告 (Morning report) (7 : 30 ~ 8 : 00AM)

一日の診療の開始にあたり、前日までの入院患者の状況を、プログラム責任者である院長と佐野村主任指導医に報告する。それぞれの受け持ち患者や診療を担当した患者の状況を、重要な事項を漏れなく手短かにまとめて報告する能力を養成するとともに、他の研修医の診療状況及び病院活動の概要を理解する。

* 2 研修医学術発表会

■ 2024 年度 北摂総合病院研修医学術発表会

【開催日】：2025 年 3 月 6 日 (木)

「ER での対処療法で軽快しなかった高齢男性のめまい・嘔吐の一例」：中瀬 亜子 医師

「DualEnergy で明瞭になった大腿骨骨折の 1 例」：三澤 風花 医師

「ER で経験した 2 例の大動脈解離について～D ダイマーの有用性」：華岡 輝青 医師

「心不全を契機とした右胸水貯留の 1 例」：中村 俊太郎 医師

* 3 臨床研修管理委員会 (年 3 回)

■ 第 50 回臨床研修管理委員会 令和 6 年 7 月 20 日 (木) 14 時～15 時

議題：Ⅰ 令和 5 年・及び 6 年度 臨床研修医研修実施の状況について

Ⅱ EPOC2 における症例等の登録状況について

Ⅲ 令和 7 年度から研修を開始する研修医の募集定員について

Ⅳ 令和 6 年度臨床研修委員会開催について

Ⅴ その他

■ 第 51 回臨床研修管理委員会 令和 6 年 12 月 14 日 (木) 14 時～15 時

議題：Ⅰ 令和 5 年・6 年度臨床研修医研修実施の状況について

Ⅱ EPOC2 における症例等の登録状況について

Ⅲ 令和 6 年度マッチング結果 (令和 6 年度採用内定者) 発表について

Ⅳ 令和 6 年度 第 3 回臨床研修委員会開催について

Ⅴ その他

■ 第 52 回臨床研修管理委員会 令和 7 年 3 月 7 日 (木) 14 時～15 時

議題：Ⅰ 令和 5 年・6 年度臨床研修医研修実施の状況について

Ⅱ EPOC2 における症例等の登録状況について

Ⅲ 令和 7 年度研修医採用者について

Ⅳ 令和 5 年度臨床研修医の修了認定について

Ⅴ その他

21. 看護部

2024 年看護部の取り組み

看護部長：江口 博美

看護副部長：西村 直代

看護副部長：古川 美香

看護部のコンセプト『EGAO えがお』の北摂看護師

E	Experience 豊かな経験	G	Growing 育てる・人材育成
A	Activity 行動する	O	Observation 確かな観察力

2024 年度の病院の行動指針は「岐路に立つ、途中困難最後必勝」で診療報酬の改定は、病院経営にとって一層厳しくなった。2014 年から一般急性期病院として 7 対 1 の看護配置を維持してきたが、10 月からは 6 階病棟を地域包括医療病棟へ編成し看護部としても過渡期となった。また、2023 年度実施した職員満足度調査や役職者アンケートなど厳しい職場環境に対する意見を多く頂いた。

その結果も踏まえ、看護部として看護部目標を「①職場環境の改善②安全・安心な看護の提供③専門性を高め自立できる人財を育成する。」を掲げた。そして、自然に「あいさつ」ができる看護部でありたいと考え、一人一人が挨拶・コミュニケーションを意識して行動することを行動指針として取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症は、終息しておらず感染状況や看護職員（家族）の休みにより勤務変更、離職など日々の看護師数の減少もあり、前期（6 月末まで）は、病床制限を継続したことで、入院患者や稼働率に大きく影響を与えた。しかし、11 月からは患者サポートセンターの設置に伴い、日々、細かいベッドコントロールや応援体制を整え、救急患者の受け入れ、入院患者の増加、稼働率の上昇に取り組むことができたと評価する。これは、ひとり一人が自分のできることに取り組み、チーム力を発揮して責任を持って行動した結果と考えている。

急性期病院の機能と役割を維持するための人員確保はできておらず、離職防止や定着については、大きな課題と捉えている。

めまぐるしく変化する急性期医療の中で学習しながら成長を続ける看護部の体制の強化と、忙しさや厳しさのなかにも看護師としての「やりがい」と「楽しさ」を感じられる、看護職ひとり一人の成長支援や環境改善を行い、職員の満足度を上げる取り組みを継続していく。

(1)北摂ラダー・教育の実績

専門・認定看護師等で構成する「NQM」(Nursing Quality Management) の活動は看護部のみならず組織横断的に職員教育の充実と、実践力の強化に向けて活動できるコンサルテーションを確立してきた。また、2019 年 4 月に働き方法案が施行され、医療現場においてタスクシフト・シフティングの取り組みが求められるようになった。その中で、専門的な知識と技術を備えた専門看護師（1 名）・認定看護師（10 名）に加えて特定行為研修修了者（8 名）が実践や教育・指導の場面で組織横断的に活躍している。特定行為については、11 区分 23 分野の修了者 8 名が在籍しており、クリティカルケア領域、創傷管理領域を中心

に手順書に基づき特定行為を実施している。また、院外活動として各部門の専門・認定看護師により、大学や看護協会を中心とした講師・講演活動、地域の学校への啓蒙活動、認知症に対する院内デイケアや認知症カフェなど、活動の幅を広げることができた。

看護管理研修においても主任以上を対象にファーストレベル、セカンドレベル研修を計画的に進めている。加えて医療安全管理研修についても1～2人/年の受講計画を立て安全な職場環境の醸成に努めている。

2019年度に日本看護協会が公表した看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）に添って北摂ラダー院内認定制度の見直しと改定を行い、北摂ラダー制度を継続している。新人看護師の研修は、ナーシング・スキルなどeラーニングを活用しながら、コロナ前に実践していた集合研修も開催できた。加えて近隣大学病院の教育研修や学会等への参加も積極的に活動することができた。OJTやeラーニング研修を中心とした根拠に基づいた看護ケアの技術と知識の向上への取り組みを継続している。

ラダーレベル	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
認定者数	13名	25名	36名	19名	9名
新認定	13名	10名	13名	4名	4名

（２）認定看護師取得状況と活動実績

【資格取得】	認定看護管理者	2名
	認定看護管理（サードレベル）研修修了	2名
	認定看護管理者教育課程（セカンドレベル）	6名
	認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）	27名
	臨床実習指導者講習会等	9名
	専門看護師（在宅看護）	1名
	認定看護師	9名
	感染管理	2名（看護師特定行為研修修了 大阪府看護協会）
	がん性疼痛	1名（看護師特定行為研修修了 大阪府看護協会）
	がん化学療法	1名
	救急看護	1名
	クリティカルケア	1名（特定行為含む）
	皮膚排泄ケア	1名（看護師特定行為研修修了 大阪府看護協会）
	慢性心不全	1名
	集中ケア	1名
	認知症看護	1名（看護師特定行為研修修了 兵庫県看護協会）
	特定行為研修修了者	8名
	感染制御実践看護師	1名
	医療安全管理研修修了者	10名

実践

1. 入退院支援業務

1) 入退院支援加算	算定状況												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数 6,022件中	162	171	198	249	244	171	203	205	220	191	192	199	2,322
2) 入院時支援加算	算定状況												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数 2,322件中	8	0	6	8	5	5	5	7	6	12	8	6	115
3) 入退院支援加算は前年度より42件増加、入院時加算は前年度より46件減少。													
4) 介護支援連携加算 80件(規定数年間33件以上) 前年度より9件増加													
5) 退院困難ケース直接介入 156件													
6) 他の役割：多職種連携の会メンバー、患者サポートセンターメンバー、職員研修委員、地域医療従事者研修委員、看護部教育委員NQM担当、倫理コンサルタント、虐待防止チームメンバー、医療メディエーター													
7) 2023.8.1～ ACPの推進の取り組み													
目的：当院の患者に対し等しく人生会議(ACP)の啓発を行なうことで、もしもの時の意向を事前に話し合うきっかけをつくる。結果、患者の意向が尊重され、家族の心理的負担も軽減され、医療者もスムーズな意思決定支援が行える。													
方法：入院患者全員に人生会議のすすめのチラシを配布 外来にもチラシを設置。ケアプランセンターでもCMが全利用者に人生会議の説明と記録を促した。運用については、人生会議啓発資材の運用についてのマニュアル参照。													
今年度：資材の配布は5件 人生会議のすすめのチラシは入院患者に6,000枚、外来で300枚配布													

2. 地域活動（調整も含む）

北摂総合病院多職種連携の会運営 2023.6.24、10.28、2024.3.9

3. 教育活動（院内）

1) 退院支援、意思決定支援関連

2024.4.1-2025.3.31 退院支援研修 Step1-2 22名、Step3 21名、Step4 30名、Step5 32名

2024.4.10 高齢者ケア 新人看護師対象 11名

2025.2.8 ACP 研修（実践編）医療従事者オープンセミナー ハイブリット開催 14名

2) 虐待関連

2024.1.26-3.31 全職員対象 小児虐待について e-learning 335名

3) 北摂ラダー教育関連

2024.4.1-2025.1.18 看護研究指導 e-learning 14名

4. その他（相談、調整、倫理調整含む）

1) 倫理コンサルテーション：13件

- 2) 虐待予防チームメンバー：54 件
- 3) 医療メディエーター：2 件（うち 1 件に 12 回継続介入）
- 4) 精神科リエゾン代替の役割：自殺企図、抑うつ等の精神科相談：8 件
月～金の 9～17 時限定で、大阪医科薬科大学の精神神経科電話相談（他の対応者は特定行為区分、精神及び神経症状にかかる薬剤投与関連修了者認定看護師 2 名）

5. 院外活動（教育・研究）

1) 講義

2024.7.25	滋賀県立大学大学院 人間看護研究科 高度実践看護学部門（在宅看護分野）講義	13 名
2025.3.14	大阪医科薬科大学医学部看護学科 がん看護学講義	1 名

2) 学会発表・参加

第 17 回日本看護倫理学会年次大会 東京 示説 2024.6.22-23
カテゴリー 事例発表 「40 代人工透析患者の透析中止におけるコンサルテーション」

3) 外部資格

日本看護協会 在宅看護専門看護師
日本緩和医療学会 ELNEC-J コアカリキュラム指導者
日本健康科学学会 ELNEC-G 高齢者版プログラム指導者
東京大学大学院医療倫理学講座 研究倫理審査員コース、臨床倫理コンサルテーションコース修了
大阪大学 人間科学博士
日本メディエーター協会 早稲田大学アカデミックソリューション共催 医療メディエーター認定

【認定看護分野：皮膚・排泄ケア】 門戸 典子	活動年：2024 年 4 月～2025 年 3 月末日
------------------------	-----------------------------

1. 実践（件数はカウント可能であった延べ人数で表記、カッコ内は前年度の件数）

【Wound 分野】

創傷・瘻孔・スキン-テア等の皮膚障害を含む 555 件（413）、外来 309 件、入院 246 件
褥瘡ケア 285 件（267）、褥瘡回診 146 件（201）、褥瘡回診以外 139 件（66）
・ 年々創傷の介入件数が増加している。継続看護が行えるよう病棟での管理方法を部署のスタッフへの情報共有・指導を行った。また退院／転院時の情報共有が行えるような介入を心掛けた。
・ 褥瘡は入院よりも外来での関わりが多く、院内外が多職種と連携する機会が多かった。
持ち込み／院内発生に関わらず入院期間中に治癒又は軽快出来るように多職種と共同し特に部署の看護師の連携を密に行った。
フットケア 311 件（270）；入院 68 件（71）・外来 243 件（199）
・ 外来患者数は年々増加。創傷を有する場合は整形外科 劉医師と共に外来を行い、ハイリスクフット

ではあるが創傷がなく予防的な関わりの場合はフットケア外来で外来中道看護師長（フットケア指導士）と共に対応している。

- ・フットの治療には多数の診療科が携わることが多いため、常にコーディネーターとしての立ち位置を意識しシームレスな治療・ケアが行えるように関わった。

特定行為 2024 年 2 月特定行為研修終了

褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去；170 件

創傷に対する陰圧閉鎖療法；38 件

創部ドレーンの抜去；1 件

- ・院内でのデブリードマンは全て実施した。今までは外科系医師へのコンサルテーションによるタイムラグが発生していたが、タイムリーな関わりにより軟膏やドレッシング材の変更もスムーズに行えた。
- ・陰圧閉鎖療法は医師と共に創の確認を行った後に、徐々に単独で実施する機会が増えた。

【Ostomy 分野】

ストーマケア 267 (247) 件；入院 107 件 (88)・外来 160 件 (159)

ストーマサイトマーキング・術前ストーマオリエンテーション

造設に至った 18 件中 17 件マーキング実施（他 23 件はマーキング実施するが未造設となった）

- ・造設に至った患者のストーマサイトマーキング実施率は 94.4%であった。門戸が不在の緊急の手術でも実施できていた。マーキング未実施の際はストーマ造設位置不良によるセルフケア困難・管理困難を招き、オストメイトの Q.O.L を著しく低下させるため、引き続き研修も実施していく。
- ・また造設に至っていないストーマサイトマーキング実施数も昨年より増えており、日々医師と造設の可能性のある患者の情報共有が行えているといえる。
- ・入院期間の短縮に対し、外来看護師と情報共有を図り必要な患者へのオリエンテーションの実施や退院後は訪問看護の利用のない場合は外来受診頻度を上げるなどフォローを手厚くし、高齢患者の在宅でのストーマ管理が上手に行えるようにサポートした。
- ・ストーマ造設の主病棟の看護師教育
次年度は関西ストーマケア講習会に参加意欲のある看護師もおり、次世代のストーマケアを担う看護師の育成を視野に入れ、ストーマケアのスキルアップを図っていききたい。
- ・ストーマ外来の看護師教育
看護師は認定看護師のみで実施していたが、外来看護師のスキル向上と認定看護師不在時にもストーマ保有患者への対応が行えることを目標に外科担当の外来看護師と共に実施した。研修にも参加していただいているが、実際にケアをする中で O.J.T することで質の向上にも繋がっている。また、認定看護師のタスクシェアにもなっており、特定行為や認定看護師として対応が必要な患者への時間を確保することが可能となった。
- ・ストーマ造設患者の局所ケア、精神的ケア
勤務日は朝の外科回診に参加し医師と連携を取ることでストーマ造設予定患者への早期介入が行えた。担当のプライマリー看護師がいるが日々受け持ち看護師が異なるため、情報の共有や指導

が統一して行えるよう必要時介入した。

- ・患者に必要な情報を共有しよりよいケアが継続して提供できるように、訪問看護や入所施設、ケアマネージャーなど必要部署と TEL や必要時は書面で連携をとった。

【褥瘡対策委員会】

- ・褥瘡発生件数 18 件
(2016 年 74、2017 年 58、2018 年 47、2019 年 38、2020 年 26、2021 年 17、2022 年 12、2023 年 8)
- ・医療関連機器圧迫創傷褥瘡件数 10 件
(2016 年 35、2017 年 54、2018 年 44、2019 年 33、2020 年 18、2021 年 18、2022 年 7、2023 年 6)
- ・褥瘡発生率 0.37%
(2016 年 1.22、2017 年 0.98、2018 年 0.78、2019 年 0.58、2020 年 0.45、2021 年 0.31、2022 年 0.23、2023 年 0.15)
- ・褥瘡回診患者数 146 (201) 件
- ・褥瘡対策委員による院内研修を計 3 回開催。研修担当の褥瘡対策委員に指導を行い実施した。
(2. 指導の項参照)

褥瘡発生率は数年ぶりに上昇した。褥瘡対策における教育を受け現場で実践していたスタッフが退職し、中途採用や経験年数の浅い看護師が占めている現状にある。しかし、発生した際は部署でのカンファレンスを行い振り返り次に活かそうとする前向きな姿勢がみられ、次年度は褥瘡対策委員と役職者への介入の機会を増やし、現場に応じた具体的な対策を一緒に考えていきたい。

2. 指導（教育） ※研修以外での指導内容は実践の項目参照

- ・新人教育研修 全 3 回
 - 4/ 7 スキンケア、おむつの当て方
医療関連機器圧迫創傷～弾性ストッキング～
 - 4/10 褥瘡とは、体圧分散・ポジショニング
 - 10/ 2 DESIGN-R、スキン-ケア、褥瘡対策に関する記録について
- ・褥瘡対策委員会主催勉強会 全 4 回
 - 7/ 3 スキンケア、スキン-ケア、おむつの当て方 (20 名)
 - 9/ 4 DESIGN-R 2020 (27 名)
 - 1/15 栄養管理 (20 名)
 - 2/ 5 褥瘡ケアの実際 (14 名)
- ・ストーマケア 全 4 回
 - 6/17 解剖・生理、ストーマ造設、早期合併症（講師：一般消化器外科 豊田医師） (15 名)
 - 8/19 ストーマ造設患者の術前・術後の看護 (12 名)
 - 11/ 7 ストーマケア 実技 (22 名)
 - 1/16 ストーマに関する退院支援、ストーマサイトマーキング (11 名)

- ・褥瘡対策委員会内研修

12/ 6 褥瘡に関する栄養・薬剤

3. 相談

医師・看護師・他職種から3～4件/日程度コンサルテーションあり。コンサルテーションの内容は皮膚や創傷の状態のアセスメントとケア方法が多い。新人看護師からの依頼も多いが、依頼者それぞれのレディネスに応じて介入した。

4. 学会、研究会、研修

- ・ 9/6～9/7 第26回日本褥瘡学会学術集会（参加）
- ・ 11/10 2024年度第2回看護師特定行為研修指導者講習会
- ・ 2/7～2/8 第42回日本ストーマ排泄リハビリテーション学会総会（参加）

5. 修了研修

- ・ 2024年11月 看護師特定行為研修指導者講習会修了

【認定看護分野：認知症看護】 染田 敦子

活動年：2024年4月～2025年3月末日

実 践

1. 認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上（その他も介入あり）の患者へ認知症サポートチーム介入

（チーム構成：認知症サポート医・認知症看護認定看護師・社会福祉士・理学療法士・管理栄養士・薬剤師）

- ・ 当院における認知症者の入院割合：65歳以上の約31.6%

（65歳以上の総入院割合 約74%）

総入院数の約4.3人に1人は認知症のある患者であった

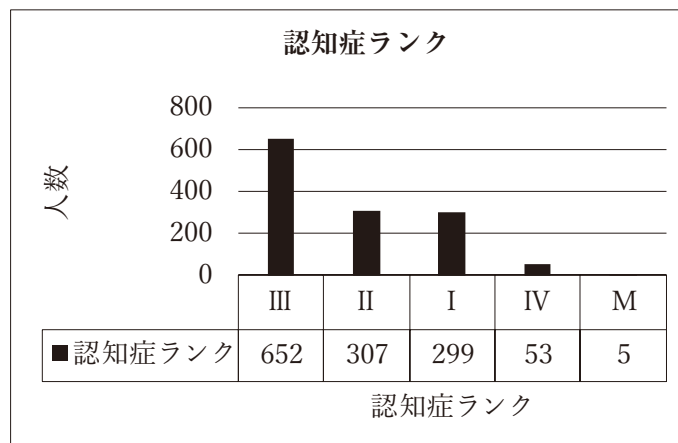
65歳以上の約3人に1人は認知症の患者であった

平均在院日数 11.2日であった

- ・ 認知症サポートチーム介入人数：2024年4月1日～2025年3月31日 720人

認知症サポートチームが介入した内容	1位 睡眠障害	2位 焦燥感	3位 活気低下	4位 幻視 妄想	5位 易怒性
認知症サポートチームが実践した内容	せん妄ケア 概リズム調整 眠剤検討	コミュニケーション方法 環境調整	リハビリ協力 家族協力依頼 せん妄ケア	否定はしないコミュニケーション方法 環境調整	コミュニケーション方法 環境調整 身体評価

- ・認知症サポートチーム介入後：55.8%解決 44.2%未解決



- ・認知症高齢者の日常生活自立度ランク別：グラフ参照

2. 認知症院内デイケア（2023年11月より開始）

認知症高齢者の日常生活自立度Ⅰ以上又せん妄がある患者へ病棟デイルーム等のスペースを使用とし院内デイケアの開催を行った

2023年度は4階病棟のみであったが、2024年度は5階病棟と4階病棟の各病棟で院内デイケアを開催
 デイケアの内容：体操・テレビ視聴・手浴・足浴・爪切り等

デイケア開催日時：週1回程度 4階病棟 毎週火曜日 5階病棟 毎週水曜日

目 的：1. 離床を図り概日リズム介入 2. 他者と会話し不安感等の緩和
 3. 心地よい環境作り 4. 業務改善 5. 認知症患者との関わりを学ぶ場

方 法：各病棟の認知症ケア看護師が主体となりケア内容等を決定

対 象 者：認知症ランクⅠ以上の患者、又はせん妄出現している患者

参 加 職 員：病棟看護師

現在の状況：急性期病院としての役割を果たすためにも、他病棟へも拡大を検討中

認知症の患者が病室ではあまり見ることが少ないリラックスした表情や姿を、デイケア通信で随時掲載（認知症の患者への偏見を緩和するため）



3. 認知症カフェの開催

共生社会の実現を国や地域が一体となって講じていく事がテーマである認知症基本法が2024年1月1日施行された。2024年1月より当院近隣地区で『かようカフェ』と名称し当院の地域支援事業とし開始。

目 的：認知症の人と家族等の居場所作り

年月	回数	主催団体名	会場	参加人数
2024 年	4	富田地区福祉委員会	昭和台自治会館	30
2024 年 2 月	1	北摂総合病院	富田・笹井屋	10
2024 年 4/5/7/8/10/11 月 2025 年 1 月	7	北摂総合病院	久次ビル	51
合計	12			91

参加された方の住まい地区：

昭和台 富田 津之江 登美の里 柳川 五領 上牧 高槻市出丸町 唐崎 茨木市

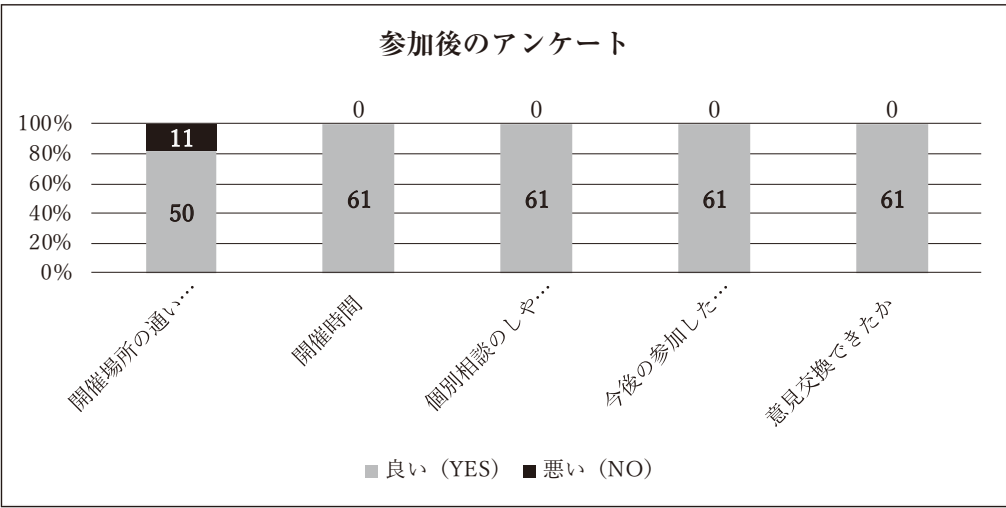
参加協力職員：経営企画室 総務課 ケアプラン 訪問看護 外来看護師（認知症ケア専門士取得）
放射線科 リハビリ科 栄養科 栄養調理科 検査科

開催場所：昭和台自治会 富田・笹井屋 久次ビル

開催日時：久次ビル開催 第二火曜日（年 7 回）13 時 30 分から 14 時 30 分

昭和台自治会 第二土曜日（年 4 回）14 時から 15 時ごろ

認知症にまつわる相談はもちろん、10 分程度のミニ講座を開催し、当院のあらゆる分野の専門職が市民へ健康にまつわるミニ講座をひらき、病院が行う強みとしての役割も提供とした。





認知症カフェでの様子



(久次ビル)

4. 認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の患者を対象とした病棟巡回

病棟巡回人数：696 人

巡 回 場 所：7 階病棟から ICU

巡 回 頻 度：各病棟へランダムに週 1 回は病室訪問し巡回

巡回優先順位：一般病棟へ入院直後

BOSD 出現のある患者

せん妄出現している患者

生命危機からある程度逸脱した患者

実践内容) 病室の環境調整 不安感が緩和できる声かけや会話 概日リズム調整

リアリティオリエンテーション 身体評価 離床

5. 物忘れ看護相談

2024 年 4 月～12 月までに物忘れがあり多部署等から相談連絡があった件数は 190 件であった

目的：認知症又は疑いのある方、更に介護される家族等に向け生活が継続できるための支援介入

2025 年 3 月より毎週火曜日（変更もあり）13 時より物忘れ看護相談を開設

2025 年 3 月より計 3 回物忘れ看護相談を開設し 12 名実施

実践内容) 生活背景の情報収集 認知機能評価（MMSE スクリーニング評価使用）地域支援事業との連携

認知症の症状によって引き起こされている生活障害をアセスメントし支援策を考察

【指導】

《院内》

2024年 7月 認知症看護 入院生活を継続できるためへのケア①
(ケアを拒否する方への関わり方)

10月 認知症看護 入院生活を継続できるためへのケア②
(点滴を自己抜去時の関わり方)

12月 認知症看護 入院生活を継続できるためへのケア③
(突然動き出す方への関わり方)

以上 集合研修 看護部職員対象

2024年10月 看護倫理研修 身体的拘束の最小化へ向けて ラダーレベルⅡ～Ⅳ対象

個別指導

各病棟を週3日程度巡回し、看護目標やケア介入方法についての視点や問題点を助言し、実践しながら指導を行った。

《院外》

2024年 8月 『認知症について+予防』 茨木市地域住民対象

2024年 9月 『認知症個別相談』 高槻市地域住民対象

2024年10月 『レビー小体型認知症 ケアの方法』 レビー小体型認知症家族会対象

【相談】

相談件数:160件

相談職種:医師 看護師 地域連携室 ケアマネ(当院/他院も含む) 訪問看護師 介護者(家族等)

相談内容:易怒性・低活動・関わり方・せん妄・排泄行動について等が上位を占めた

【認定看護分野：がん性疼痛看護】京林 裕美

活動年：2024年4月～2025年3月末日

1. 緩和ケアチーム介入件数：276件／年（患者重複あり）

緩和ケア回診・カンファレンス回数；48回／年

- ・医療用麻薬製剤の適正使用の提唱と評価
- ・疼痛コントロール・症状マネジメントの実践
- ・治療や療養場所の選択に対する患者の意思決定支援と家族ケア実践
- ・認知症がん患者の症状コントロールと意思決定支援
- ・治療抵抗性の苦痛に対する鎮静の妥当性の検証

2. 外来がん化学療法室・緩和ケア外来

- ・患者家族への抗がん剤副作用の症状マネジメントとセルフケア指導
- ・緊急受診対応、必要時入院依頼など医師にコンサルト
- ・家族サポート（個別面談等）と、治療・療養場所の選択での患者の意思決定支援
- ・苦痛症状のマネジメント、多職種連携で在宅療養支援
- ・在宅療養患者の緩和ケア依頼（PICC挿入・輸血・緊急対応など）

3. がん相談 89件／年（外来予約枠なし）（前年 85件）

- ・セカンドオピニオンを希望する患者家族の対応とMSWとの連携
- ・治療・緩和ケアを受ける患者へ未告知を希望する家族への介入

- ・病態悪化に伴う患者の苦痛・家族の不安に対する相談支援
- ・緩和ケア外来受診への調整
- ・在宅緩和ケア・ホスピスについて患者・家族へ情報提供と調整
- ・他院患者の家族の不安相談、治療内容や今後の見通しなど（電話・対面）
- ・他院患者の電話相談
- ・就労支援・経済的負担は社会福祉士と連携

4. 教育（院内・院外）

- ・専門研修
 - 緩和ケア研修
 - ①痛みのマネジメント（7/22 17名）
 - ②痛みの包括的評価の方法（8/26 6名）
 - ③症状マネジメント（9/30 15名）
 - ④苦痛緩和のための鎮静の妥当性と倫理的検討方法（10/28 12名）
 - せん妄研修
 - せん妄の基礎知識、薬物療法、非薬物療法、看護ケア（12/4 5名）
 - 看護倫理研修
 - 看護倫理研修①（7/22 17名）；認知症看護認定看護師と共催
 - 新人看護研修
 - がんの動向、がん対策基本法、緩和ケア、苦痛スクリーニング（9/11）
- ・院外講師・研修会
 - 地域医療従事者研修
 - せん妄予防からがんの終末期せん妄のケア（9/21）
 - 大阪府立三島高等学校1年生
 - 「がんについて - がんの予防」講演（5/30 250名）
 - 大阪府立茨木工科高等学校3年生
 - 「がんについて - がんと緩和ケア」講演（1/25 150名）
 - ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育研修
 - 講師・ファシリテーター（11/30～12/1 56名）

5. がん診療推進室

- がん治療・化学療法委員会／緩和ケア委員会／レジメン管理委員会 12回／年
 - ①医療用麻薬製剤適正使用の検討
 - ・オピオイド内服忘れ・持ち込み麻薬の処理不備インシデント等より、院内の医療用麻薬製剤の取り扱いを整備・周知
 - ②症例検討
 - ・せん妄を認知症と捉え未告知のまま手術準備に進んだがん患者の振り返り

- ・オピオイドのオーバードーズだった可能性の事例振り返り
- ・拒否が強かった患者の看護の振り返り

③苦痛スクリーニングの監査・質的評価

アセスメントの方法・記録・病棟カンファレンスの在り方など部署ごとの活動を全体で共有

④がん相談支援センターの活動報告

⑤北摂がんフォーラム開催

- ・「がん相談支援センターを知ってもらいたい」8/23 21名
がん相談支援センターの活動報告、医師・看護師・社会福祉士の視点から
- ・「がん看護 各部署の症例発表」3/7 41名
看護部各部署のがん看護症例発表

⑥多職種連携の会 10/5 48名

往診医の講演とディスカッション「在宅推進のためにできること」

⑦「がん患者の自殺対策手引き」作成、フロー運用開始

⑧「緩和ケア加算」・「がん性疼痛緩和指導管理」算定開始

○がん相談支援センター会議（12回／年）

- ・相談案件の共有
- ・ほくせつがんサロン企画運営（第6～8回）
5/25「栄養のお話」＋サロン／10/12「医師のお話」＋サロン／1/25サロン

6. 大阪府がん診療連携協議会のがん診療拠点病院訪問； 12/26

7. がん患者指導管理加算；全95件／年 500点（がん告知時の支援等）62件／年
200点（心身的不安などに対する支援）33件／年

8. 大阪府がん診療連携協議会活動

大阪府がん診療連携協議会緩和ケア部会総会（2回／年）

大阪府がん診療連携協議会がん看護部会（2回／年）

大阪府がん診療連携協議会希少がん部会（2回／年）

9. 三島圏域がん診療ネットワーク協議会活動

三島圏域がん研究会幹事会（3回／年）

三島圏域がん診療ネットワーク協議会・準備会（各2回／年）

三島圏域がん相談支援部会（2回／年）

三島医療圏合同がん患者サロン開催（1/18）

三島圏域緩和ケア部会（2回／年）

三島圏域がん看護部会（2回／年）

10. 研修・学会・研究会参加

- ・第32回・33回・34回 三島圏域がん研究会
- ・第27回五月山緩和ケア研究会 5/16
- ・がん患者の自殺予防対策講演会 1/24
- ・日本緩和医療学会教育セミナー 2/2

11. 特定行為

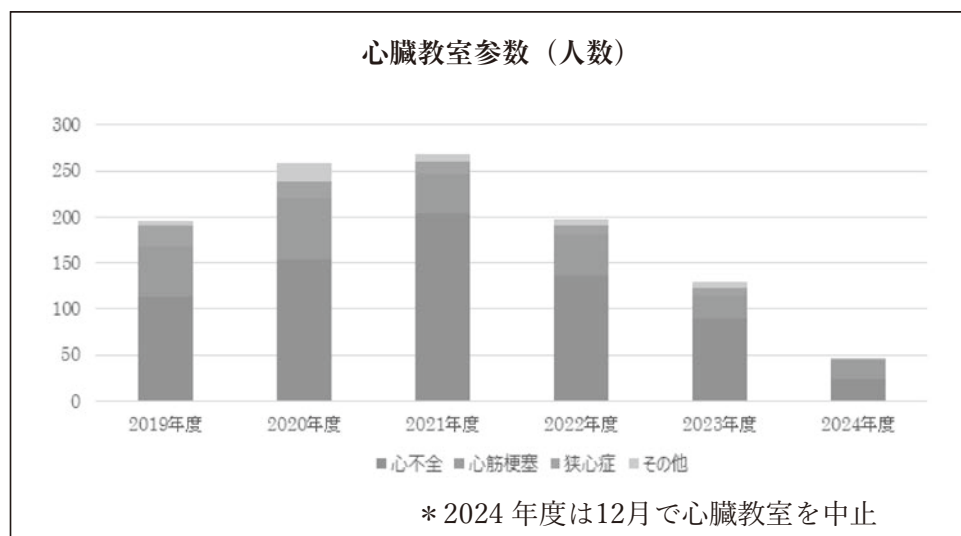
- ・精神科非常勤医師によるリエゾン介入；48回／年・169件／年（患者重複あり）
 - せん妄予防・せん妄悪化予防の薬物療法と看護ケア
 - 精神症状に対する支持療法
 - 精神科医師推奨薬剤の適正使用状況の確認と部署へのフィードバック
 - 薬物療法・非薬物療法について各部署よりコンサルト

【認定看護分野：慢性心不全看護】 三井 巳奈子

活動年：2024年4月～2025年3月末日

実 践

- 1) 多職種による患者教育の継続と、質の向上に取り組む
7階病棟以外への心疾患患者の入院も増加しており、理学療法士・管理栄養士・MSWと連携を図りながら介入をおこなった。外来1名 3階病棟1名 5階病棟1名 6階病棟8名
- 2) 心不全・狭心症・心筋梗塞パンフレット改訂および、心臓教室内容の見直しと再構築
7階病棟での心臓教室対象者の現状（心臓教室対象者：狭心症 心筋梗塞 心不全）



病棟別、心不全患者の入院の割合

	HCU	3 階病棟	4 階病棟	5 階病棟	6 階病棟	7 階病棟	合計
2019年度	2%	1%	0%	2%	5%	90%	254名
2020年度	2%	2%	0%	1%	6%	89%	260名
2021年度	3%	0%	0%	1%	6%	90%	270名
2022年度	2%	0%	1%	2%	4%	85%	234名
2023年度	6%	1%	0%	2%	7%	85%	240名
2024年度	2%	3%	2%	6%	18%	66%	214名

以上の結果から、心臓教室対象者が減少し、2024 年度は日々の心臓教室に参加している患者は 2 ～ 3 名であった。心臓教室は業務負担となり、かつ効率的でないこと、心臓リハビリテーション加算の減少になっていることから教育方法の見直しを行い、3 月より動画を作成し動画を用いた患者教育へ変換した。今後、動画教育についての評価が必要である。また、7 階病棟以外への心不全患者が増加しており、今後はどの部署でも統一した指導が可能となる患者教育の構築が必要である。

3) 心臓リハビリテーションでの患者教育

7 階病棟看護師による、外来心臓リハビリテーションでの指導を継続している。患者の療養支援に努め 2024 年度は新たに 1 名のスタッフが外来心臓リハビリテーションでの指導に携わった。

4) オーラルフレイルについて

オーラルフレイル取り組みについて管理栄養士・言語聴覚士と協働し聖隷式問診票に取り組んでいるところであり、来年度も継続して取り組みを行う予定である。

2. 指導

1) 北摂地域医療従事者セミナー 令和 6 年 9 月 7 日 テーマ「高齢者の心不全看護」

地域健康教室 令和 6 年 5 月 25 日 テーマ「高血圧」

2) 院内研修

集合研修 テーマ：「高齢者の心不全看護」 対象：ラダーⅡ 参加者：8 名

e-ラーニング（2024.5 ～ 2025.2.28 まで）心不全患者のパンフレット指導 視聴者：61 名

e-ラーニング（2025.2.28 まで）慢性心不全看護 視聴者：57 名

e-ラーニング視聴は夜勤帯や日勤中の時間帯が多く、個々の時間を有効活用した視聴となっていたと考え、集合研修より業務負担の軽減、視聴したいときに視聴できるなどメリットもあり、今後も e-ラーニングによる研修を継続していく。

3. 相談

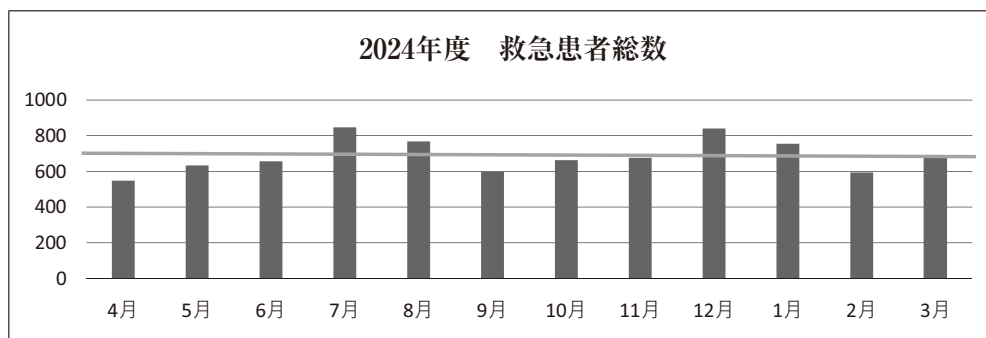
1) 心不全看護全般

4. 学会発表・参加

学会発表なし

1. 救急受診患者総数

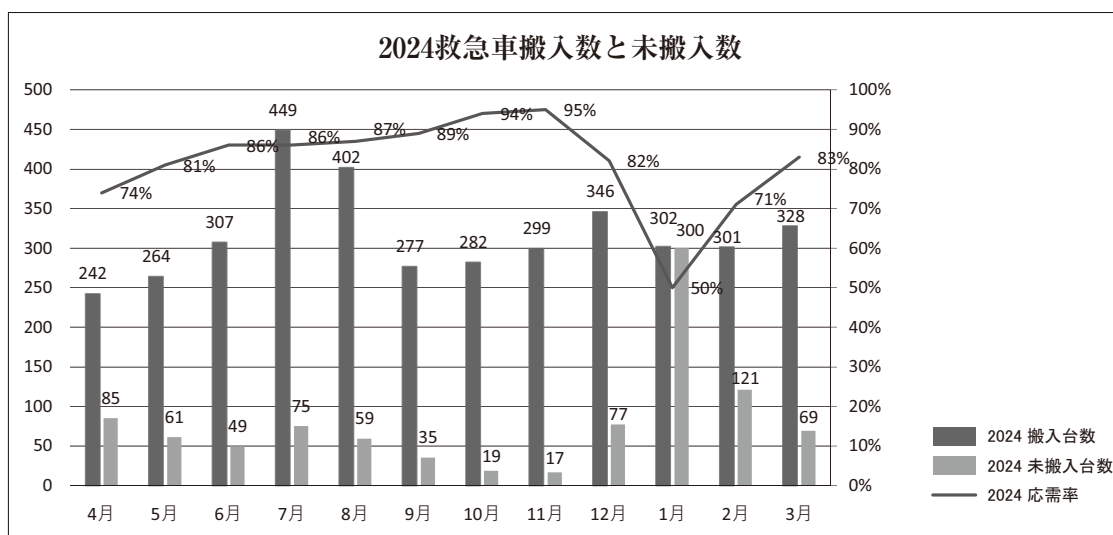
年間救急患者数において目標とした 8,000 人は到達したが、月に 700 人以上に到達した月は 4 ヶ月のみであった。年間 860 件程度の救急車お断りが生じており、今後 ER のスペースが拡充することで 2024 年度 ER スペースの問題で収容できなかった患者 70 件が受け入れられる可能性がある。



2. 市救急車搬入数と未搬入数

2024 年度年間救急車受け入れ件数は 3799 件で目標は達成できた。しかし、お断り件数が年間 860 件と多く、月によっては応需率が 50% という月があった。

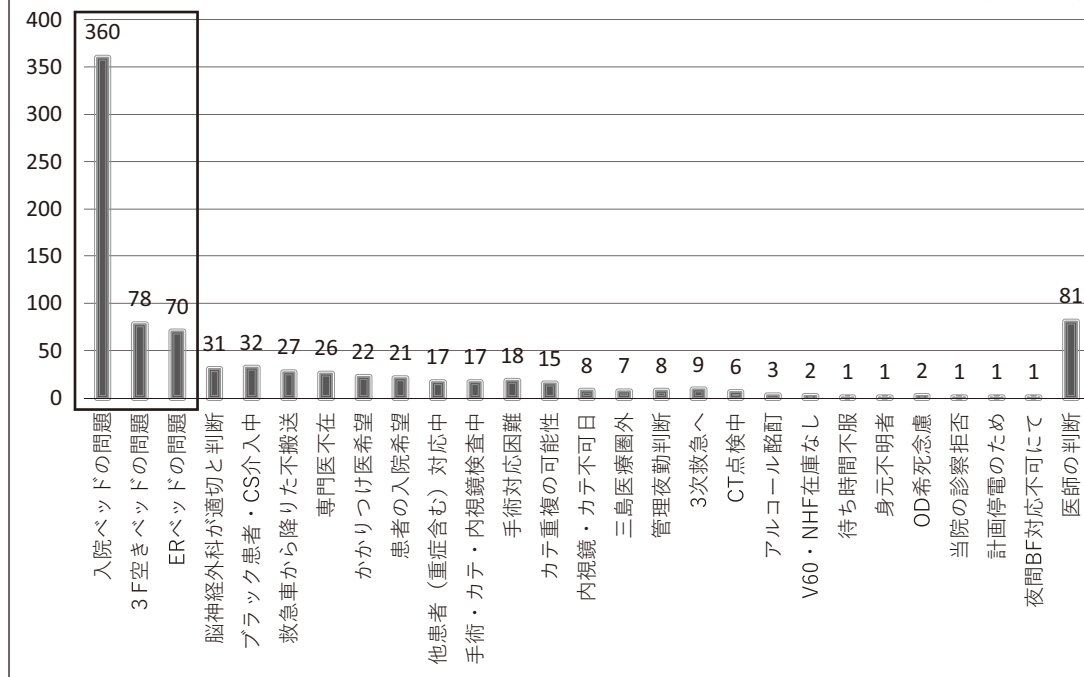
当院においては、救急車応需率が季節ごとに変動しており、その変動要因として入院病床の空床状況との相関が高いことが確認されている。そのため重症患者受け入れ判断において「入院病床の確保困難」という理由で応需を断らざるを得ないケースが増加する。



全体の50%以上を占める

2024年度 主な未搬入理由

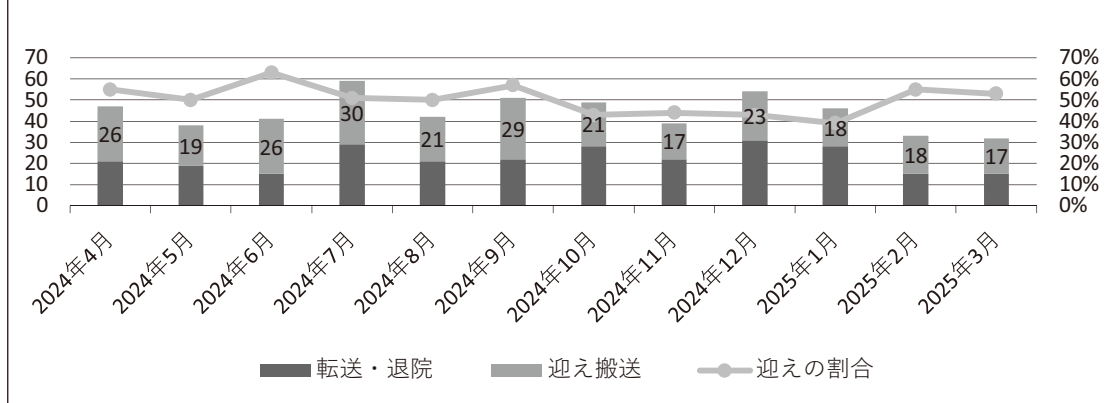
(n : 865件)



3. 病院救急救命士の活動

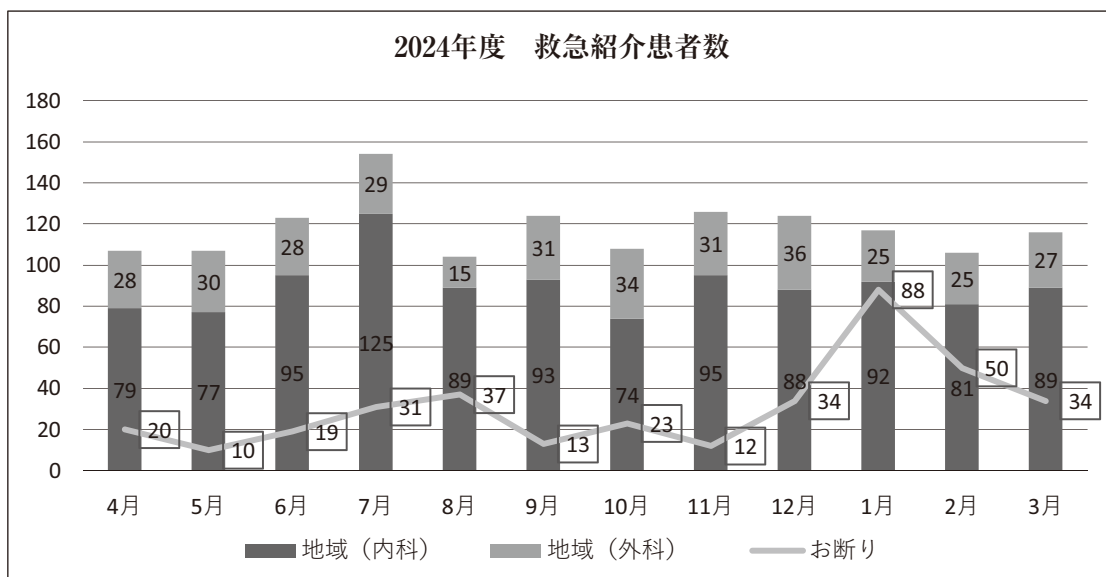
院内救急車利用件数:416 件 そのうち、迎え搬送が262 件と 63%を占めており、目標に到達している。
搬送調整担当も4名で調整を担当しているが、救命士によって調整スピードや症例に対する予測に差があり、今後も統一を図るための工夫が必要と思われる。

2024年度 救急救命士搬送活動



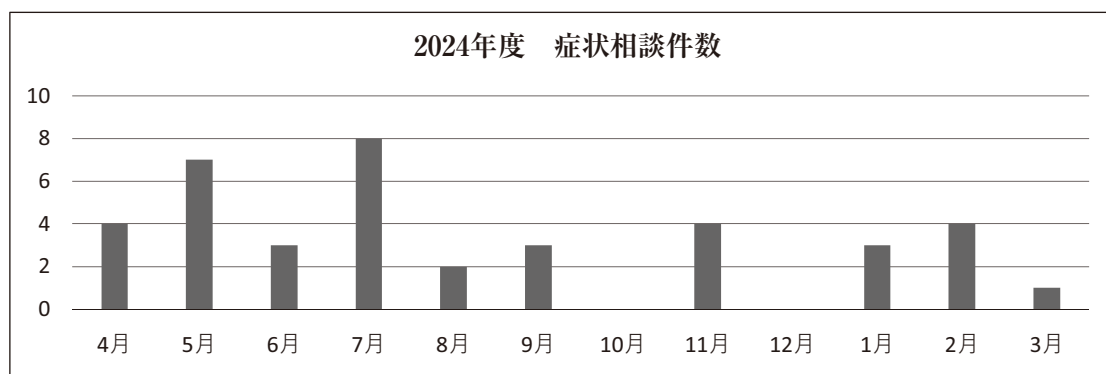
4. ER への紹介患者受診調整

登録医からの紹介は基本受諾する、と病院内のルールにはなっているものの、入院ベッドがない、手術ができない、医師の人手の問題などで断らざるを得ないことも年に 371 件程度はあり一部でも改善が必要だと感じている。



5. 症状に関する患者相談

大変少なく、年間で 39 件と目標には達成していない。そもそも、外来患者数も減少しており、相談件数を増やす取り組みが必須と考える。

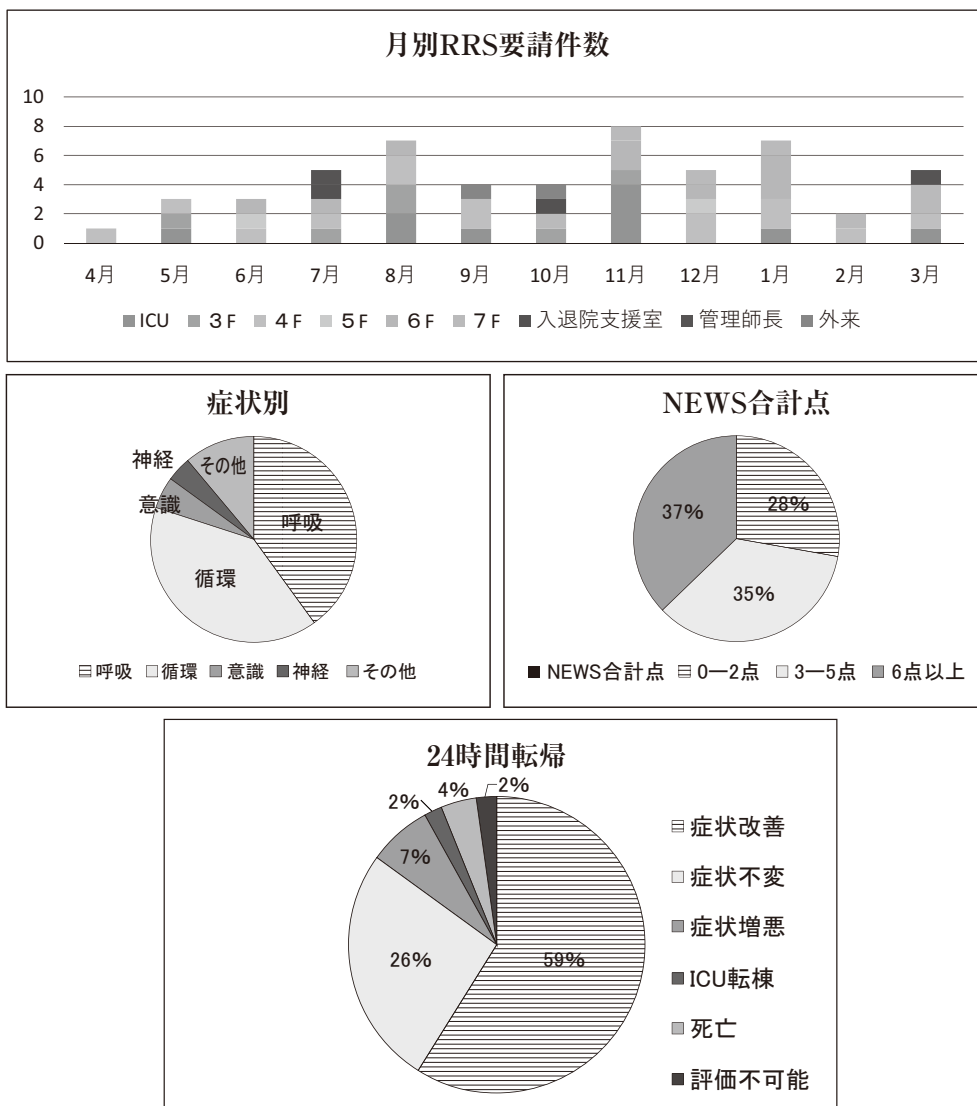


6. RRS 活動

毎月、勤務表が確定した段階で GW のカレンダーに担当者氏名を記載し各部署はそのカレンダーを確認して病棟の決められた白板に記載し共有している。

RRT のコールは年間 54 件、入院患者の CPR 実施件数は 20 件

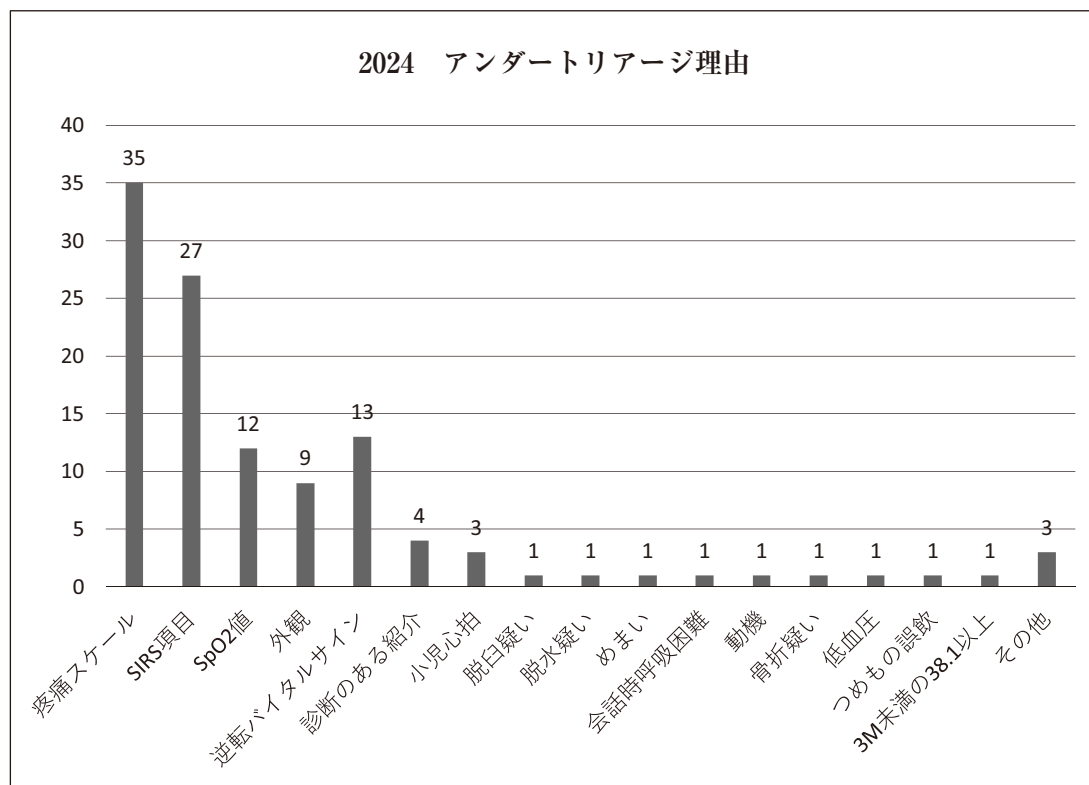
要請部署は 4F が多く、内容は NEWS 合計点は 6 点以上が 37% と一番多い。24 時間転帰は症状改善が約 60% という割合になっている。しかし、症状改善なく不変であったり、症状悪化、HCU 入室、死亡が 40% を占めるため、さらなる活動を強化できるよう検討したい。



7. 院内トリアージ検証

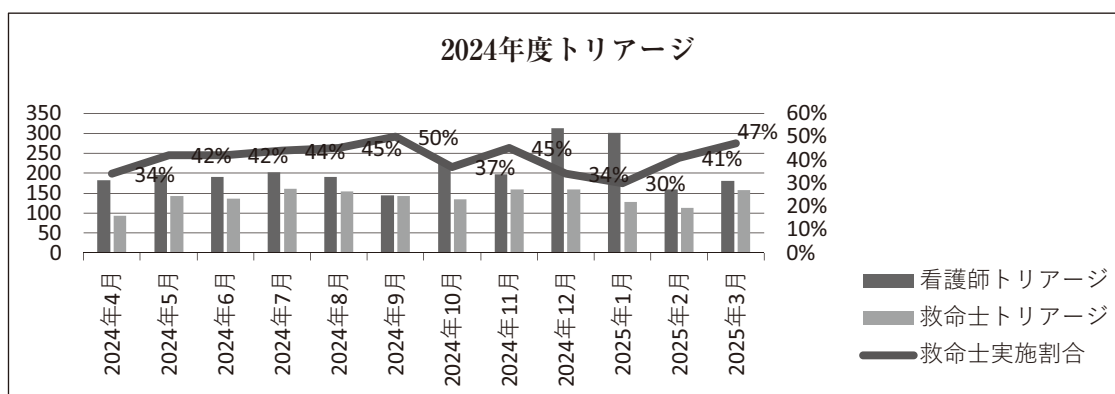
年間トリアージ検証件数は4,146件、アンダートリアージ率は2.8%であった。

正月に発熱患者が多数訪れ、日曜祝日・夜勤でのみトリアージを実施することになる外来看護師のトリアージ件数が多かったことが、ややアンダートリアージ率増加の原因と思われる。引き続き、検証時、気になる症例は外来看護師とも情報共有し改善に努めていくこととする。



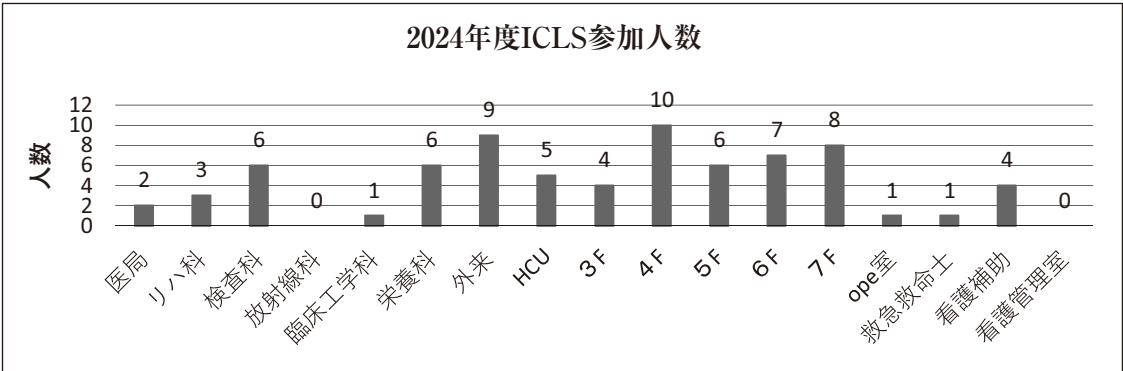
2024年度は救急救命士が5名となり、一人10%とし全体で50%と目標を立てた。

結果は41%であり、目標の50%には届かなかった。昨年は1名が新人救命士であり不慣れであったことも要因であったと思われ、2025年度は、トリアージ率 Up は可能と推測される。



8. 蘇生処置に関する研修の実施や調整

2024 年度は 10 回開催でき、5 ～ 9 名の看護師、診療技術部スタッフが参加した。
BLS は救急救命士を中心に看護補助、事務局対象に 5 回開催。看護補助は参加者数 25 名、一方事務局は参加人数 76 名となった。年に 1 回実施しているが、「昨年参加したから」という理由で不参加となってしまうように促していきたいと考えている。少なくとも 2 年に 1 回は参加していただきたい。そのための広報活動を強化していきたい。



9. 蘇生処置の記録のチェックと蘇生事例の共有・指導

救急委員会に於いて年間 8 件の蘇生処置実施の振り返りがなされた。
心停止の 4 つの波形やアルゴリズムが十分浸透しているとは言いがたく、たとえ理解していても心停止状態であるにもかかわらず吸引を優先したり、頸動脈触知に時間をかけ過ぎるなどの状況が浮き彫りになった。今年度は、CPR を施した院内心停止は 20 件であり、昨年から 1 件増加した。

2024 年度	院内 CPR	院内 ROSC	ER 搬入 CPA 数	ER の ROSC
4 月	0	0	2	1 件一時的
5 月	0	0	1	0
6 月	5	3	2	0
7 月	0	0	4	1 件一時的
8 月	1	1	4	1 件一時的
9 月	1	0	3	1 件一時的
10 月	1	0	2	0
11 月	1	1	2	0
12 月	3	1	3	0
1 月	4	2	3	0
2 月	1	1	5	0
3 月	3	0	7	1 (70 分間)

10. 地域医療支援における活動

- ・クリティカルケア認定看護師とともに登録医クリニックへ BLS 出前研修 3 回実施
- ・高槻祭りにおいて一般市民向け一次救命処置イベントを実施 参加数：83 組 180 名
- ・「古墳フェスはにコット 2024」において救護スタッフで参加

【実践・相談】

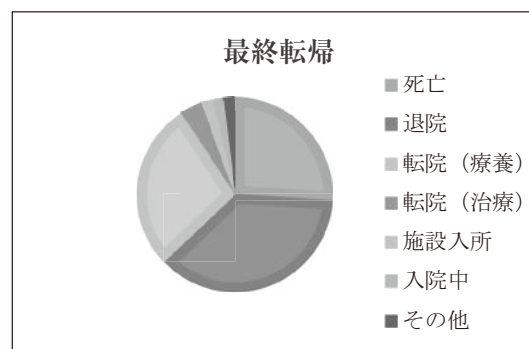
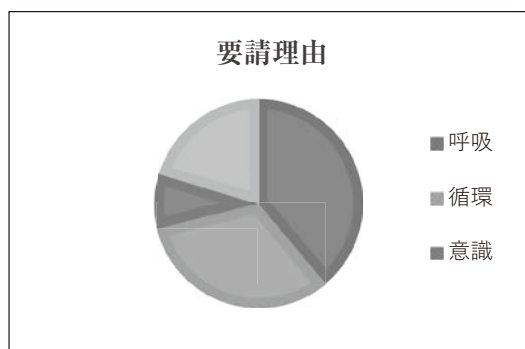
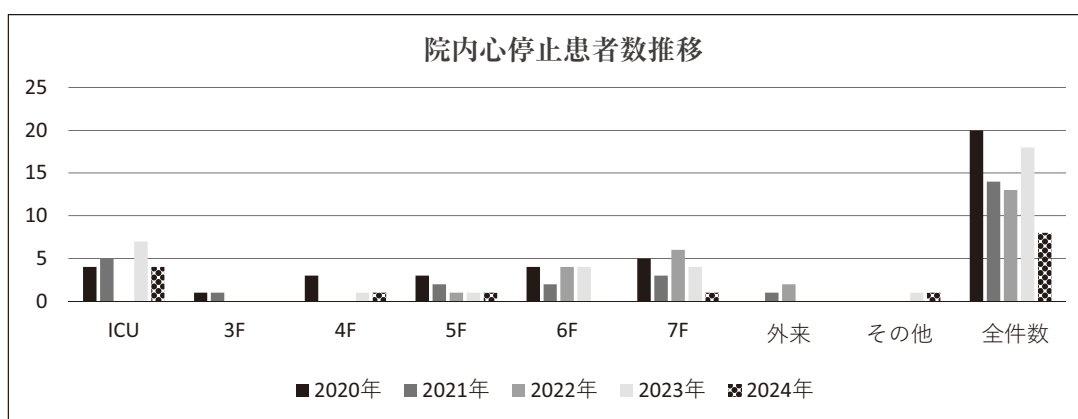
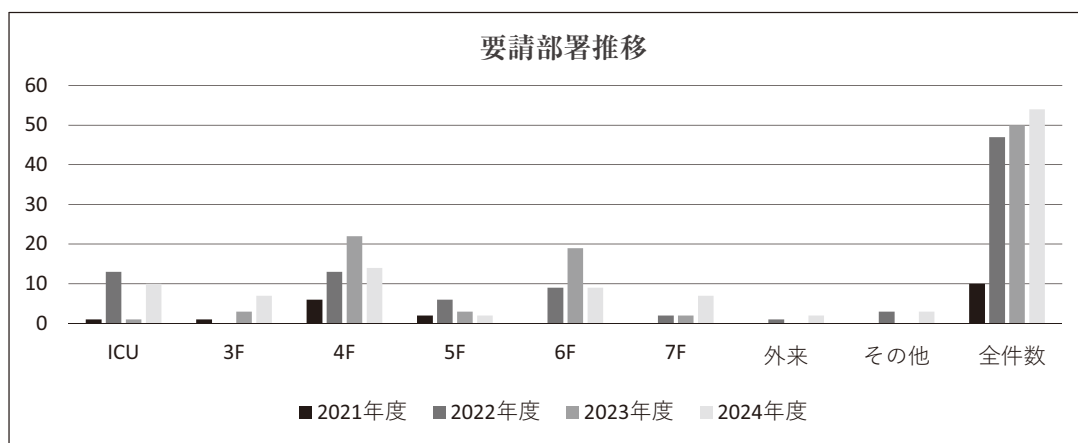
1. RRT（院内急変迅速対応）

施設内における予期せぬ死亡件数の減少や HCU 退室後の再入室率の減少を目的に、2021 年 7 月より RRT を運用し、コールに対応する他、院内ラウンドと e-ラーニング研修を実施している。

RRT コール件数及び要請部署、要請理由、転帰の内訳は以下のとおりである。

活動に伴い院内心停止患者数は減少しており、2024 年度においては全 8 件（一般病棟 3 件）と大きく減少している。当該患者のバイタルサインについて評価を行った結果、75%の患者がイベントの約 8 時間前には急変リスクが高リスクを示すスコアを示していた他、スコアを計算するためのバイタルサイン項目が不十分であった患者も複数名存在した。次年度の RRS 研修においては、

バイタルサインと急変リスクの関係性について十分に指導する必要がある。



2. 循環器カンファレンス

毎週火曜日に HCU 及び 7 階病棟にて循環器科医師・看護師・栄養士等で行われる多職種カンファレンスを開催している。多職種の医療専門職が相互理解を示し、患者のケアをスムーズに進めることができるよう、各職種間の連携調整を行っている。その際、自己の持つ専門的知識を基に、指導やアドバイスをっており、状況に応じて個別のケースカンファレンスを実施することもある。

3. 退室後訪問

手術後患者や予定外入室となった患者を中心に退室後訪問を実施している。患者の全身状態をアセスメントし、必要な看護ケアの実践について助言し、主治医やコメディカルと連携し、患者の早期回復と合併症予防に努めている。2024 年度の訪問患者数は 28 件である。

4. せん妄評価表の作成

HCU はせん妄発生リスクの高い部署である。そのため、入院時に評価する病院規定のせん妄リスク評価以外に、入院時及び勤務交替時・退室時に ICDSC 評価を定型文に沿って実施している。

しかし、記録量と比較して実際の看護ケアにつながる効果が低く、評価方法を再考する必要性を感じていた。そのため、記録内容を簡略化し、かつ経時的なせん妄の有無や程度の把握が可能な形式への変更を行い看護業務の効率化を図った。この評価表は現在試験運用期間を経て、2025 年 1 月より正式な運用を開始している。

5. 動脈ラインチェック表の作成

2024 年度の診療報酬改定に伴い、動脈ラインを留置する患者数が増えることが予想され、動脈ライン留置に関するインシデント事例の増加を懸念した。そのため、安全に動脈ラインの管理を行うことを目的に、専用のチェック表を作成し、せん妄評価表とともに使用することで、動脈ラインの予定外抜去の予防に努めた。その結果、動脈ラインの予定外抜去は 2 件（発生率 0.09%）にとどめることが出来た。

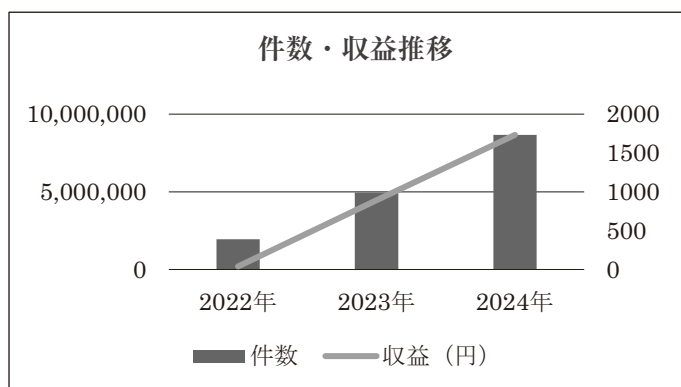
6. 早期離床・リハビリテーション

2022 年 7 月より HCU における早期リハビリテーションを開始している。理学療法士・HCU 室長とともに構成している専門チーム及び病棟看護師とともに毎朝カンファレンスを実施し、重症患者が安全かつ早期に離床できるよう助言と介入を行っている。また、HCU において早期離床やリハビリテーションに関する e-ラーニング研修を実施し、スタッフの認識や知識の向上に努めている。

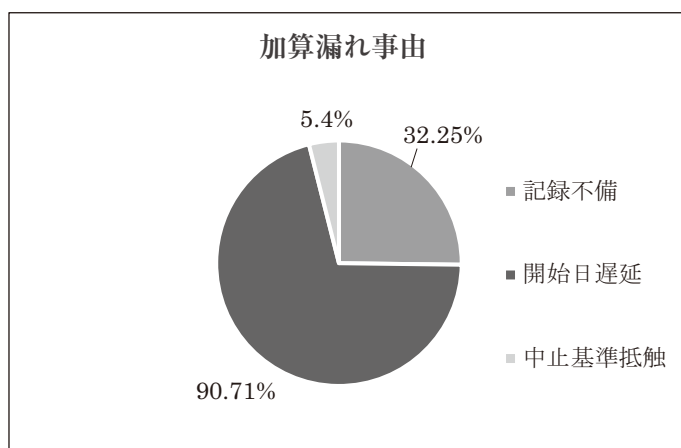
早期離床・リハビリテーションを開始し、3 年目となっているが、介入率・介入件数ともに年々上昇し、リハビリテーションを開始するタイミングも年々早くなっている。その成果は顕著であり、3 年間の収益の累計は 13,324,000 円となった。

しかし、算定ができなかった患者もあり、その事由は表の通りである。

「開始日遅延」については、HCU 入室 2 日目以降にリハビリテーションを開始した患者を該当者としているが、夜間の緊急入院や状態悪化に伴う緊急転入、緊急処置後の入院といった患者も少なからず存在しており、全ての例において改善を図ることは難しい。



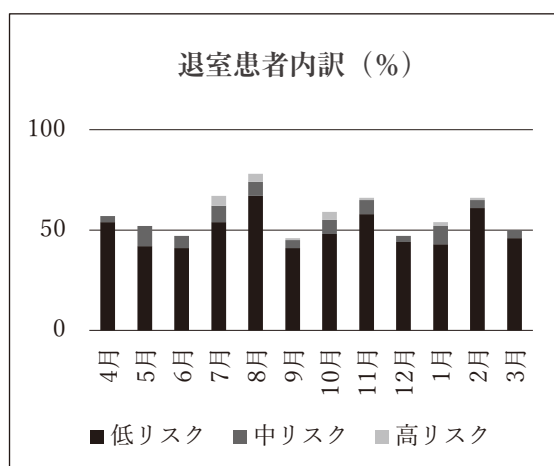
	開始日平均(日)	介入率(%)
2022年	2.2	34.7
2023年	1.4	59.4
2024年	1.2	78



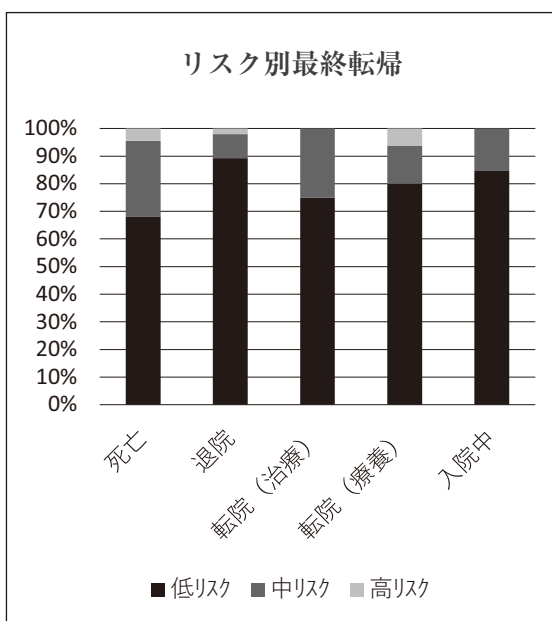
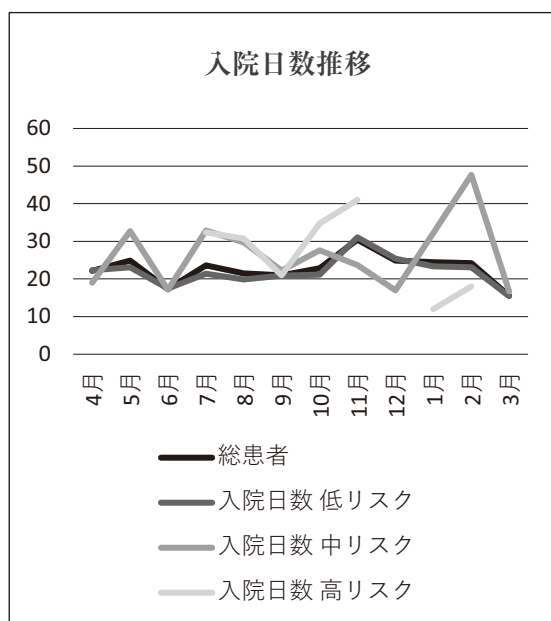
加算漏れ事由	
記録不備	32
開始日遅延	90
中止基準抵触	5
合計	127

7. NEWS を活用した HCU 退室評価

より安全な一般病棟への退室と有事の際の明確かつ客観的な指標を作ることを目的として、早期警告スコアである NEWS (National Early Warning Score) を HCU の退室基準として導入している。急変リスクが中リスク以上となった患者については、主治医より退室許可があっても、HCU 室長及び責任者とともに協議し、退室の可否を検討している。また、中リスク以上であっても退室となった患者に関しては、病棟看護師との情報共有と密な観察の継続を病棟看護師に依頼するとともに、退室後訪問の対象者としている。総退室患者に占める各リスク群の内訳は表の通りであり、中リスク群及び高リスク群では入院日数が長く、院内死亡率も高い結果となった。



	低リスク	中リスク	高リスク	総患者数
4月	54	3	0	57
5月	42	10	0	52
6月	41	6	0	47
7月	54	8	5	67
8月	67	7	4	78
9月	41	4	1	46
10月	48	7	4	59
11月	58	7	1	66
12月	44	3	0	47
1月	43	9	2	54
2月	61	4	1	66
3月	46	4	0	50
合計	599	72	18	689



【指 導】

病院内の業務改善の一環として、勤務時間内の研修開催及びe-ラーニング研修を主体とした。オープンセミナーについてはハイブリッド開催とした。

研修内容	対象者
フィジカルアセスメント	新人看護師
血液ガス	HCU 新人看護師・新人救命士
人工呼吸器の基礎知識 (servo・V60)	HCU 新人・2年目看護師・新人救命士
生体侵襲	3年目看護師
早期離床・リハビリテーション 3分野	HCU 看護師
RRS 研修	全職員
オープンセミナー	北摂地域の医療・福祉従事者
健康出前教室：熱中症と食中毒	市民対象
低体温症の基礎知識	HCU 看護師

【学会・研修参加】

- ・ 第52回集中治療医学会学術集会
- ・ 第20回クリティカルケア看護学会学術集会
- ・ 第46回呼吸療法医学会学術集会
- ・ 3学会合同呼吸療法認定士主催 認定更新のための講習会
- ・ 日本集中治療医学会主催 オンラインセミナー 10項目
- ・ 日本集中治療医学会 関西支部主催 ICUリハビリテーション ハンズオンセミナー

第75回 日本病院学会学術集会 演題登録 (2025年7月発表予定)

【評 価】

いずれの活動についても概ね予定通りに実践できており、予期せぬ院内心停止患者数の減少やリハビリテーションに関する収益増につながっている。また、予定していた入室前オリエンテーションについては、チーム活動として、HCU の看護師が実践している。認定看護師の役割の一つである教育については、2024 年度より業務改善の一環として集合研修の時間を削減し、e-ラーニングを活用した研修を導入して対応している。次年度も教育委員や関係各所と協同し、講師・受講者ともに負担が少なく、効果的な研修の方法を検討していく必要がある。2025 年度は特定行為研修を受講する予定である。更なる知識・技術を習得し、現場への還元を目標としている。

【認定看護分野：がん化学療法看護】 増井 香菜

活動年：2024 年 4 月～2025 年 3 月末日

【外来化学療法センター】

スタッフ

センター長：西谷医師

常置看護師：3～4 名（がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛認定看護師含む）

主に、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、婦人科がんに対して薬物療法を行っています。

外来化学療法センターでは、院内他職種以外に保険薬局との連携を図り患者サポートを行っています。

■外来化学療法患者数

556 名 / 年

内服抗がん剤患者数

61 名 / 年

■化学療法レジメン件数

	化学療法レジメン件数	化学療法患者数	内服抗がん剤患者数
4 月	68	53	34
5 月	64	54	29
6 月	57	45	33
7 月	56	46	32
8 月	63	51	24
9 月	64	55	22
10 月	78	56	23
11 月	58	52	28
12 月	66	50	30
1 月	58	47	25
2 月	48	39	28
3 月	45	37	24
延べ数	725	585	332

■連携充実加算件数

408 件 / 年（前年度比 - 68 件）

■がん患者指導管理料

47 件 / 年（うち イ（500 点）：35 件 / 年 ロ（200 点）：12 件 / 年）

【認定看護分野：クリティカルケア】床尾 羊翼 活動年：2024 年 4 月～2025 年 3 月末日

実 践

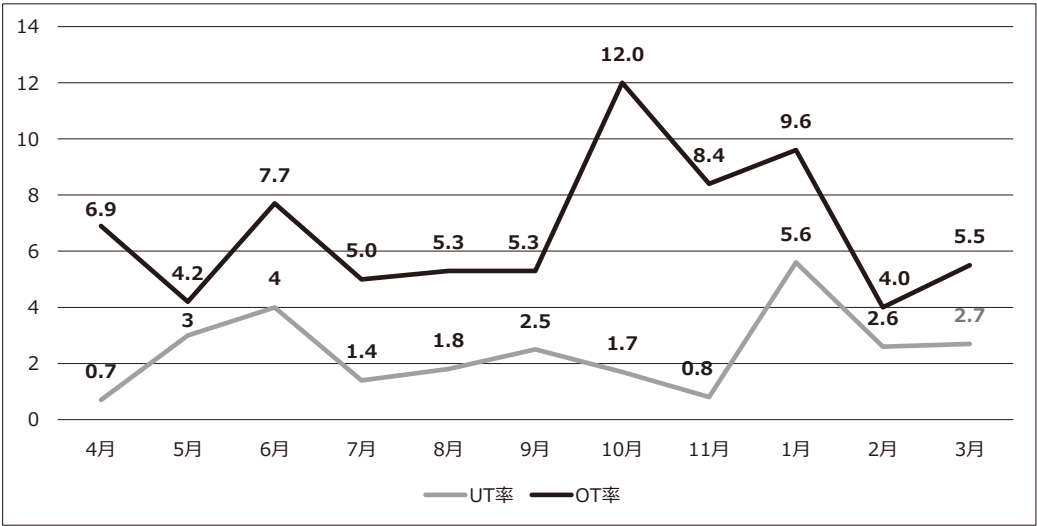
院内トリアージ事後検証、事後評価

2018 年 10 月より JTAS に基づいて院内トリアージを電子カルテ内へ導入。2024.4～2025.3 の 1 年間で 3 件の院内トリアージを実施。院内トリアージ総数のうち、全ての院内トリアージの事後評価を行った。記録不備、電子カルテに記載がない院内トリアージ等で評価ができないものは未トリアージと下記する。2 ヶ月毎（第 2 金曜日）の救急委員会内で事後検証会を開催し、妥当性の評価を行った。2023 年度のアンドートリアージ率は 3.3% あったが、研修会等を行うことで 2024 年度のアンドートリアージ率は 3% まで減少することができた。引き続き、院内トリアージにおける評価を継続し、改善に努める。

年間総数	2022 年度	2023 年度	2024 年度
全トリアージ数	3404	3446	4135
アンドートリアージ数	125（3.7%）	112（3.3%）	116（2.8%）
オーバートリアージ数	232（6.8%）	239（6.9%）	286（6.9%）
未トリアージ数	93	40	63

（ ）内は割合 小数第二位より四捨五入

2024 年度 月別 UT 率・OT 率



院内認定トリージナーズの育成

院内トリージの質の担保と共に統一性を維持させること、救急看護師のスキルアップにつなげることを目標に院内認定トリージナーズを育成するためのプログラムを作成。約2ヵ月間で第1クール（第1回緊急度判定の基本編、第2回補足因子編、第3回成人緊急度判定編、第4回小児緊急度判定編、第5回筆記試験）、第2クール（第6回シミュレーション前半編、第7回シミュレーション後半編、第8回模擬試験）と分け、各クールに筆記試験と模擬試験を設けて、すべてに合格したものを院内認定トリージナーズとした。

2023年度は、看護師1名、救急救命士1名の合計2名の院内認定トリージナーズが誕生。2024年度より19名の院内認定トリージナーズ(救急救命士含む)となった。今後も院内認定トリージナーズを育成し、さらなるアンダートリージ率の減少に努める。

特定行為

2023年6月より特定行為委員会を立ち上げ（6、8、10、12、2月に開催）

看護師が行う特定行為（厚生労働省令で定められた21区分38行為）が院内で円滑かつ安全に実施することができ、解決すべき諸問題を検討・実行するとともに、その質を維持・向上をはかることを目的とする。

2023年3月 特定行為指導者講習会修了

2024年度 特定行為別実施表

2024年度 特定行為	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 呼吸器（気道確保に係るもの）関連													
①経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整				1				1					2
2. 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連													
②侵襲的陽圧換気の設定の変更								4		1			5
③非侵襲的陽圧換気の設定の変更					1		1	2	2	1		4	11
④人工呼吸器管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整				1									1
⑤人工呼吸器からの離脱													0
13. 動脈血液ガス分析関連													
②② 直接動脈穿刺法による採血	17	9	13	13	33	21	14	24	18	35	18	25	240
②③ 橈骨動脈ラインの確保				2	1		2	2	3	3	1		14
15. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連													
②⑤ 脱水症状に対する輸液による補正									3	2			5
20. 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連													
②⑤ 抗けいれん剤の臨時的投与										1			1
合 計	17	9	13	17	35	21	17	33	26	43	19	29	279

院内実習 特定行為指導

2024年12月～2025年1月末まで院内実習として特定行為実習生に対する特定行為指導を行う。

指 導

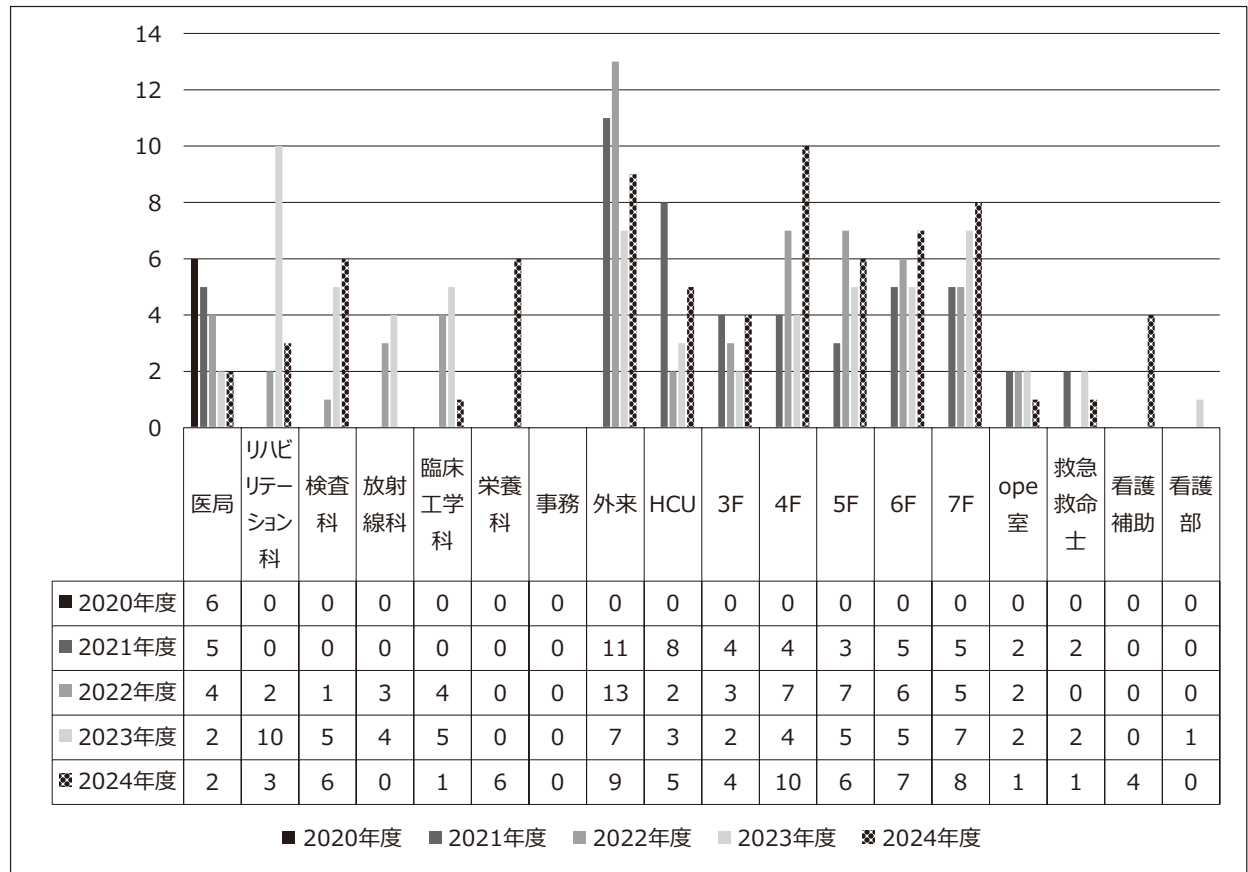
〈院内〉

院内における二次救命処置（ICLS）指導

院内での二次救命処置技術を向上、アルゴリズムの周知を目標に実施した。

2024年5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、2025年2月、3月の10回の院内ICLS研修会を開催した。これまでに248名が受講している。2024年度では、73名が受講している。

各部署、受講者数はグラフを参照してください。



院内における新卒看護師・看護助手に対する BLS 研修会開催

2024年5月 新卒看護師の必須研修として実施：20名受講

救命士が中心となり、院内での一次救命処置（BLS）技術を向上、アルゴリズムの周知を目標に実施した。

2024年6月13、24日 保育士対象：8名受講

2024年12月2、25日 看護補助対象：19名受講

2025年1月、2月12、26日、3月 事務局対象：52名受講

新卒看護師に対するフィジカルアセスメント・急変前対応研修会開催

2024 年 5 月 新卒看護師の必須研修として実施：20 名受講

院内看護師向け研修会開催

病棟看護師対象とした臨床推論（バリテス）1 名受講

ICLS 院内認定インストラクター対象 ワークショップ（バリテス）：1 名受講

挿管介助トレーニング（バリテス）：73 名受講

意識レベル評価（GCS 評価）：受講希望者なく、実施せず

ABCD（EF）アプローチ：受講希望者なく、実施せず

RRT（Rapid Response Team）

要請部署・件数

	ICU	3F	4F	5F	6F	7F	ER	外来	内視鏡	カテ室	その他	全件数
2021年度	1	1	6	2	0	0	0	0	0	0	0	10
2022年度	13	0	13	6	9	1	0	1	0	0	4	47
2023年度	1	3	22	3	19	2	0	0	0	0	0	50
2024年度	10	7	14	2	10	7	0	2	0	0	2	54

2024 年度は 54 件中 23 件対応を行った。

東洋医療専門学校の実習生の指導

2020 年より、救急救命士が ER 業務に参入し、共に救急医療を担っており、共に学生指導を協力して、救急救命士からの視点、病院内における医療、看護についてより多くの経験、知識、技術を得られるように指導を行っていく。

院内学会

2025 年 1 月 第 16 回北摂総合病院院内学会

HCU「救急外来を受診した患者への帰宅支援フローチャートの導入」：共同研究者（監修）

特定行為委員会「看護師が行う特定行為について」：発表

〈院外〉

外傷・災害コース（DTLS）インストラクター

2024 年度は、開催なく、参加なし。

二次救命処置（大阪 ACLS）インストラクター

2024 年 4 月 第 64 回箕面市立病院 ICLS コース

2024 年 10 月 第 41 回京都第一赤十字病院 ICLS コース

2024 年 10 月 第 66 回箕面市立病院 ICLS コース

2025 年 1 月 第 67 回箕面市立病院 ICLS コース

2025 年 3 月 第 42 回京都第一赤十字病院 ICLS コース

(3)院内研修一覧

一次救命処置（BLS）インストラクター

- 2024 年 11 月 中神 CL ① BLS 基礎
2025 年 1 月 ② BLS+BVM+ シミュレーション
2025 年 3 月 ③ シミュレーション + アナフィラキシー

狭隘空間における救助・救急・医療活動（CSRM）インストラクター

2025 年 2 月 第 9 回 京都 CSRM 訓練研究会

学会参加

- 2024 年 7 月 第 74 回日本病院学会
2024 年 11 月 第 26 回日本救急看護学会

院外講師

◎大阪府看護協会主催

「一般病棟において予兆をとらえて急変を防ぐ観察と看護のポイント」

対象者：保健師・看護師・助産師・准看護師

定 員：200 名

日 時：2024 年 10 月 24 日（木） 10：00～16：00 オンライン開催

研究

2024 年 11 月

「二次救急医療機関の救急外来における後期高齢患者に対する予後予測ツールを用いた検証」

Frailty and Clinical Outcomes of Older Patients Admitted to an Emergency Department in Japan | Cureus

Cureus（オープンアクセス医学誌）に Original Article として投稿し、publish される。

相 談

スタッフより救急領域におけるコンサルテーション

日常業務において、救急領域におけるコンサルテーション全般に対して相談を受け、解決に向けて協力を行った。現状として、病態変化における注意点、観察項目等の振り返りがメインであり、当事者であるスタッフと共に反省点などを検討した。

2024 年

月日	研修名(対象)	主 催	内 容	講 師
4/1	新採用者 オリエンテーション	職員教育研修委員会	• 当院の理念と概要 • 病院組織について • 北摂総合病院行動指針 • 医療安全管理・院内感染防止対策	理事長・病院長 各部門・部署担当者
4/2			• 当院の就業規則と労働時間管理 • 職員の安全及び衛生管理について • 病院における接遇とマナー • 当院の情報システムについて • 各部門紹介 (診療技術部・事務局・看護部) • 医療従事者として望まれること	各部門・部署担当者

看護部 新採用者オリエンテーション・新人教育研修・ラダーI研修

4/3	看護部 新採用者 オリエンテーション	看護部教育委員会	看護部の基本方針 看護部教育方針と体制 看護部のコンセプトEGAOについて 北摂ラダー制度について 年間プログラム	田尻看護部長 各委員会・担当者
		教育委員会	目標管理	西村看護副部長
			研修レポート / 今後の研修・ナースングス キルについて	実地指導者
			接遇・コミュニケーション	
4/4	感染管理 医療安全	教育委員会	感染防止対策について	感染管理認定看護師 馬場師長
			医療安全について	医療安全管理者 松江師長
4/5	高齢者看護	教育委員会	高齢者看護の概要	在宅看護専門看護師 野口師長
	認知症看護		認知症について	認知症看護認定看護師 染田主任
	新入職者研修		看護を考える	西村看護副部長
			新人教育体制について	西村看護副部長
4/8	スキンケア	教育委員会	スキンケア・おむつの当て方・陰部洗浄	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
	弾性ストッキング		弾性ストッキングの取り扱い	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任 松江師長
4/24	採血研修	教育委員会	・採血（検体取り扱い）・血糖測定 ・静脈注射	実地指導者委員会
5/2	フィジカルアセスメント		フィジカルアセスメント（基礎編）	集中ケア認定看護師 中口主任
5/13	フィジカルアセスメント	NQM	フィジカルアセスメント・急変前徴候・心 電図	救急看護認定看護師 小西師長 クリティカルケア 床尾主任
			BLS 研修	
5/16	医原性褥瘡	教育委員会	褥瘡とは、体圧分散・ポジショニング	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
6/7	医療機器安全管理 研修	教育委員会	輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い	臨床工学技士
7/31	エルダー会		新人とエルダーの交流	実地指導担当者

月日	研修名(対象)	主 催	内 容	講 師
6/3	シュミレーション研修	教育委員会	シュミレーション研修①	教育委員担当者 実地指導者
8/28			シュミレーション研修②（夜勤編）	
9/11	がん看護	NQM	疼痛スクリーニングなど	がん性疼痛看護認定看護師 京林係長
10/7	褥瘡について	褥瘡委員会	褥瘡とは /DESIGN/ 褥瘡記録の書き方	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
10/31	看護必要度研修	教育委員会	看護必要度について	看護必要度研修者
12/6	がん看護	NQM	がん化学療法看護	がん化学療法認定看護師 増井主任
3/12	成果発表会	新人教育担当者	1年の振り返り	教育委員担当者

教育委員会主催

4/1 ～ 3/31	バリテス研修	教育委員会 NQM	退院支援研修 STEP3- 5	在宅看護専門看護師 野口師長
5/8 ～ 1/31			慢性心不全看護	慢性心不全認定看護師 三井主任
7/1 ～ 10/31			中心・抹消静脈 カテーテルの管理 ①感染経路・効果的な消毒と輸液作成	感染管理認定看護師 馬場師長
7/8	ナラティブと看護の 接点	3 年目	自身の体験を語ることで得られた新たな意味づけを得ることで、経験学習を深めよう	教育担当者
6/5	リーダーシップ①	ラダーレベルⅡ リーダーを始めた人	チームナーシングにおけるリーダーの役割を知りチームワーク向上を目指しましょう	教育委員会 6 階病棟
9/18	リーダーシップ②	ラダーレベルⅡ	チームナーシングにおけるリーダーの役割を知りチームワーク向上を目指しましょう	
6/26	目標管理 (管理者向け)	主任以上	目標管理の概要、目標の立て方を理解しスタッフの目標を添削しましょう	西村看護副部長
7/31	スタッフ面談 目標管理・育成面談	主任以上	事例学習を通じて面談の基礎知識やコツを学びましょう	
3/17	目標管理（基礎編）	ラダーレベルⅡ以上	目標管理の概要、目標の立て方や目標管理に適切な表現方法を学びましょう	

専門領域コース別研修（NQM）

6/1 ～ 6/30	入院スクリーニング	全看護師	強度行動障害と意思決定支援事業について	在宅看護専門看護師 野口師長
11/20 ～ 1/20	検体採取と感染対策	ラダーレベルⅡ・Ⅲ	正しい検体採取と感染管理について学びましょう【オンデマンド】	感染管理認定看護師 馬場師長
8/15 ～ 9/12	流行性疾患・耐性菌出現時の感染管理と暴露対策	ラダーレベルⅡ・Ⅲ	感染拡大防止の推進のために、基本的な暴露対策について学びましょう【バリテス】	
9/13		ラダーレベルⅢ、バリテス研修受講者対象	感染拡大防止の推進のために、暴露対策について学びましょう【対面】	
10/23・ 30	ヒューマンエラー	ラダーレベルⅡ	ヒューマンエラーとは何か、エラーが起こる仕組みを学びましょう	医療安全管理者 松江師長
11/18・ 18	Team STEPS	ラダーレベルⅢ	チーム医療に不可欠な Team STEPS を学びましょう	
12/16・ 20	PmSHELL	ラダーレベルⅣ	インシデントの分析方法PmSHELLを学びましょう	

月日	研修名(対象)	主 催	内 容	講 師
毎月 第1 日曜日	救急看護	全看護師	ICLS コース	救急看護認定看護師 小西師長 クリティカルケア 床尾主任
8/3	看護倫理	ラダーレベルⅡ～Ⅳ	看護にかかわる倫理的問題について学びましょう	がん性疼痛看護認定看護師 京林係長
7/22	緩和ケア①	ラダーレベルⅡ以上	オピオイドの特徴について学びましょう	
8/26	緩和ケア②		痛みの包括的評価を理解し、痛みのアセスメントについて学びましょう	
9/30	緩和ケア③		痛み以外の症状の機序について学び看護ケアに活かしましょう	
10/28	緩和ケア④		苦痛緩和のための鎮静に対する気円筒方法について学びましょう	
12/4	せん妄研修	全看護師	せん妄と認知症の違いについて、せん妄の機序・発生要因・種類を学びましょう	
6/1 ～ 6/30	がん化学療法看護	全看護師	①薬剤の特徴・化学療法オリエンテーション【バリテス】	がん化学療法認定看護師 増井主任
7/29			②ドリップアイ・閉鎖式ルート取り扱いについて：安全・確実・安楽な投与管理方法を学びましょう	
8/1 ～ 8/31			③暴露対策・血管外漏出：早期発見・対応の必要性及び予防法について学びましょう【バリテス】	
10/21			④皮膚障害・脱毛：有害事象を理解し、適切な患者指導について学びましょう	
7/3	スキンケア	全職員	スキンケア オムツの当て方	褥瘡対策委員会 皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
9/4	褥瘡予防	全看護師	「DESIGN-R」の評価	
10/2	褥瘡予防	全看護職員	体圧分散・ポジショニング	
2/5	褥瘡ケアの実際	全看護師	褥瘡ケアに必要な基本的なケア技術	
6/17	ストマ ①解剖・理論	全看護師	ストマ造設要する消化器疾患、小腸・大腸の解剖整理、術後合併症について学びましょう	豊田消化器外科 主任部長
8/19	②術前・術後		ストマリハビリテーションの必要性を知り観察ポイントを学び実践に活かしましょう	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任 ストマ保有患者にかかわるスタッフ
11/7	③実技		基本的なストマケア方法を学びましょう	
1/16	④退院支援 ストマサ仆マーキング		ストマ造設患者に対する退院指導のポイントを学びましょう	
7/10	心不全看護基礎	ラダーⅡ以上	心不全の基礎を学ぼう	慢性心不全認定看護師 三井主任
10/16	心不全看護	ラダーⅡ以上	高齢者の心不全看護	
6/4 ～ 2/28	心不全	ラダーⅡ以上	慢性心不全看護	
6/4 ～ 2/28	バリテス研修	ラダーⅢ以上	心不全療養指導士（パンフレット指導）	
6/24 ～ 10/31	RRS	全看護師	RRS ～院内急変を減らそう～	集中ケア認定看護師 中口主任

月日	研修名(対象)	主 催	内 容	講 師
8/5	治療としてのポジショニング	ラダーⅢ・Ⅳ	体位ドレナージを目的としたポジショニングについて学びましょう	集中ケア認定看護師 中口主任
11/30	侵襲と生体反応	3 年目シミュレーション研修予定者	侵襲期にある患者の特徴を理解し、適切な看護について学びましょう	
11/2	高齢者のバイタルサイン	ラダーⅡ以上	高齢者のからだとバイタルサイン	
6/1 ～ 6/30	認知症の人へのかかわり方	全職員	認知症の方の言動を紐解き、本人のニーズからかかわり方を学びましょう【バリテス】	認知症看護認定看護師 染田主任
9/20	認知症患者への身体拘束	ラダーⅡ以上	認知症混乱期に可能な限り身体拘束以外の方法で、入院生活を継続できるよう、見つけ出す力を学びましょう	
7/19	認知症看護①生活を継続するために	ラダーⅡ以上	食事・排泄などテーマを選定し、症例を検討しながら認知症患者を生活者として予想を立てる視点を学びましょう	
10/18	認知症看護②生活を継続するために	ラダーⅡ以上		
12/5	認知症看護③生活を継続するために	ラダーⅡ以上		

看護補助者研修

11/1・ 8・15	認知症	看護部教育委員会 NQM	認知症の人への関わり方	認知症看護認定看護師 染田主任
12/2・ 25	救急看護		BLS	救急看護認定看護師 小西師長
7/3	褥瘡予防		スキンケア・スキンテア、おむつの当て方	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任 褥瘡委員会
10/2	ポジショニング		体圧分散とポジショニングの実際	
8/2・9	医療安全		危険予知トレーニング	医療安全管理者 松江師長
10/3・9	感染防止		個人防護具と手指衛生実施のタイミング	感染管理認定看護師 馬場師長

(4)院外研修出張一覧

項目	研 修 名	主 催	開催日	参加者
看護管理	認定看護管理教育課程セカンドレベル	大阪府看護協会	5/28～7/31	稲垣亜由美
	認定看護管理教育課程ファーストレベル	大阪府看護協会	5/8～6/5	木原未央
	認定看護管理教育課程ファーストレベル	藍野大学キャリア開発・研究センター	10/31～12/13	白石志津香
認定	呼吸器疾患看護分野認定看護師教育課程(特定行為含む)	福井大学	4/10～3/19	大森亜佑美
医療安全	e-ラーニング型医療安全管理研修講習会	大阪府看護協会	12/20	笹井文子
臨地実習	大阪府保健師助産師看護師実習指導者講習会	大阪府看護協会	5/24～7/5	登山美樹
	臨地実習指導者①	大阪府看護協会	6/5・12	西森 千穂、宗澤 桂
新人教育	スキルアップ「BLS」「グリーンケア」	大阪医科薬科大学附属病院看護部	5/1・8・9・10	中野陽菜美、南 沙希 水谷 宏、水野鈴香 梶田徳子、宇渡佑貴 下口花奈、稲葉由紀 川邊青空、竹内綾音 堀真奈美、東田悠記 田村彩乃、池本智恵美
	「いきいきナースを目指して」		6/11・12・13・19・25・6	
	医療安全のための基礎知識～安全な輸血療法～(zoom)		7/29・8/5	
	「ストレスとうまく付き合おう」		8/13・15・26 9/3・6	
	集まれ新人ナース	大阪府看護協会	8/8・20・30	中野陽菜美、南 沙希 水谷 宏、水野鈴香 宇渡佑貴、下口花奈 稲葉由紀、川邊青空 竹内綾音、堀真奈美 東田悠記、田村彩乃 池本智恵美
新人教育 担当者 研修	第1回ガイドラインの要点と新人教育担当者の役割	大阪医科薬科大学附属病院看護部	9/27	守谷奈々美、志野文香 寺村実沙子、下園佳甫 武本風沙
	第2回臨床におけるメンタルヘルス支援		10/28	
	第3回指導体制における調整役としての役割と問題解決方法		12/9	
	第4回実地指導者に対する効果的なリフレクション		1/24	
	第5回教育計画と評価		3/10	
実地指導 者研修①	第1回新人看護職員ガイドラインの概要と要点 新人看護職員の現状理解と実地指導者の役割	大阪医科薬科大学附属病院看護部	8/9・23・28	山下雄大、猪飼利恵子 福島有紀子、伊集院寛太 大塚万奈、門 千尋 斎藤加奈恵、上辻航平 納富優子、佐藤椰渚 藤原 彩
	第2回効果的な技術指導のあり方		10/7・11/11 12/2	
	第3回新人職員指導における共有コミュニケーション		12/25・26 1/13・27	
	第4回新人看護職員研修における評価のあり方		3/7・12・13	
実地指導 者研修②	第1回実地指導者自身のストレスマネジメントとアサーティブコミュニケーション	大阪医科薬科大学附属病院看護部	9/12・30 10/1	大谷和弘、森本圭以上 加世田久美子 岡香央里、竹下純平 三宅伶奈
	第2回実地指導者としての役割評価(リフレクション)		12/5・23 1/20	
	2024年度介護報酬改定について	大阪府私立病院協会看護部会	4/19	田尻愛子
	令和6年度診療報酬改定に関する説明会	大阪府私立病院協会	4/22	西村直代、古川美香
	「認知症看護」～カンフォータブル・ケアについて学ぶ	大阪府私立病院協会	5/14	田尻愛子、早河麻美

項目	研 修 名	主 催	開催日	参加者
実地指導者研修②	嚥下・摂食障害のある患者看護(オンライン)	大阪府看護協会	6/27	荒金美恵
	スタッフの自立と成長を促す対話～lonlの活用～	大阪府看護協会	6/27	三好尚美
	「災害看護とは・災害医療について」	大阪府私立病院協会	6/11	小西ゆかり、田尻愛子
	「看護の動向」①看護協会の立場から②看護行政の立場から③「大阪府における地域医療構想について」	大阪府看護部長会	7/9	田尻愛子
看護共通成人	看護補助者の活用促進のための看護管理者研修	全日本病院協会	7/22	園山真由美
	「どう書く?小論文・課題レポート」		6/29	稲守綾子、羽瀨千尋 田中理恵
	『フレームワークをどう使う?～“部署目標設定”に必要な事前準備の進め方～』	藍野大学キャリアセンター	6/29	稲守綾子、羽瀨千尋 田中理恵
	『看護師のためのSWOT分析 ～初めてでも分かりやすい考え方から目標の立て方～』		11/2	下垣内順子、大谷和弘
	コーチング・コミュニケーション①	大阪府看護協会	8/15	武本風沙
	悩んだらやってみよう!心をしなやかにして働く方法	大阪府看護協会	8/30	寺村実沙子、原野里香
	「准看護師さん、集まろう!日頃の思いを話してみよう」	大阪府看護協会	9/19	高添真弓
	「重症度、医療・看護必要度」評価者及び院内指導研修(WEB)	日本臨床看護マネジメント学会	e-ラーニング	鶴谷雅美、山中清香 中川美貴、廣瀬 遥、
	パワーハラスメントへの組織的対応 ―看護職が安心・安全で働き続けるために―	大阪府看護部長会	9/25	田尻愛子
	看護補助者標準研修(e-ラーニング)	大阪府看護協会	10/10～ 2/28	磯川浩美、松永博子 柏 明美
	病院防災～事業継続計画(BCP)について～	大阪府私立病院協会	11/12	田尻愛子、小西ゆかり
	高齢者の「食」を考える～誤嚥性肺炎を予防するための知識と実際(オンライン)	大阪府看護協会	9/29	山下 茜
	診療報酬改定・施設基準について理解して看護管理に活かす(オンライン)	大阪府看護協会	10/4	稲垣亜由美
	地域で育てる新卒訪問看護師 大阪府訪問看護師ステーション協会の取り組み	大阪府看護協会	10/30	笹井文子
	ファシリテーションの基本を学ぼう	大阪府看護協会	10/4	下垣内順子、岡香央里 森本圭以
	入退院支援強化研修	大阪府看護協会	11/11・22	稲守綾子、木原未央
	看護チームにおけるリーダーシップ	大阪府看護協会	12/11	大谷和弘
	ACPアプローチの実践から学ぶ看護の力・チーム力	大阪府看護協会	1/24	山田玖留実
	コーチング・コミュニケーション②	大阪府看護協会	11/2	太田由紀
	身体と心をリフレッシュ～元気が私を取り戻そう	大阪府看護協会	12/27～2/36	猪飼利恵子
	臨地実習におけるコーチング	梅花女子大学	2/7	笹井文子、小西菜美 大森亜佑美、西森千穂
	看護チームにおけるリーダーシップ②	大阪府看護協会	2/2	川端早也香、青山 楓
	患者の尊厳と安全を守る ―看護管理者として組織風土の変革への取り組み	大阪府看護部長会	2/12	田尻愛子、松江さつき 笹井文子
	認知症カフェモデレーター研修	大阪府看護部長会	3/8～3/9	染田敦子

項目	研 修 名	主 催	開催日	参加者
看護共通 成人	災害支援ナース育成研修	大阪府看護協会	8/20・26 11/5・6 1/28・29	西村圭子、荒金美恵 下垣内順子
	第5回エンド・オブ・ライフ・ケア 看護師教育プログラム(ELNEC-J)	大阪医科薬科大学附属病院	11/30～12/1	山下雄大、大塚万奈 岸本智美、門 千尋 菅友梨香、三宅伶奈 小林真有美 山下恵子、染田敦子

各種学会 等

学会	第25回認知症ケア学会大会	認知症ケア学会	6/15～6/16	染田敦子
	第21回日本看護倫理学会	日本看護倫理学会	6/21～6/23	野口 忍
	第74回日本病院学会	日本病院学会	7/4～5	床尾洋翼、濱畑綾乃 太田由紀、篠田美里 藤本真子
	第92回日本消化器内視鏡技師学会(オンライン)	日本消化器内視鏡学会	7/10	森本圭以、小川美佐、 守谷奈々美、川原あけみ
	第40回日本小児臨床アレルギー学会学術大会	日本小児臨床アレルギー学会	7/13～14	西森千穂
	第26回日本医療マネジメント学会学術総会	日本医療マネジメント学会	6/21～22	笹井文子
	第1回日本子ども虐待医学会(オンライン)	日本子ども虐待医学会	6/27	田中理恵
	第11回日本糖尿病協会年次学術集会	日本糖尿病学会	7/20～21	松山清美
	第39回日本環境感染学術総会学術集会	日本環境感染学会	7/25～27	馬場恵美、森あずみ
	第24回日本運動器看護学会学術集会(オンライン)	日本運動器看護学会	6/8～9	田中理恵
	第28回日本看護管理学会	日本看護協会	8/23～24	田尻愛子
	第55回日本看護学会学術集会	日本看護協会	9/27～29	笹井文子
	第28回日本心不全学会 学術集会	日本心不全学会	10/4～6	三井巳奈子
	第10回日本救急救命学会学術集会	日本救急救命学会	10/19～20	藤井紳伍
	第19回医療の質・安全学術集会	医療の質・安全学術学会	11/29～30	松江さつき
	第26回日本救急看護学会学術集会	日本救急学会	11/18～19	小西ゆかり
	第9回国際臨床医学会学術集会	国際臨床医学会	11/23	西岡香穂理
	第27回日本腎不全看護学会学術集会	日本腎不全看護学会	11/8～10	中道和歌子
	第5回日本フットケア・足病医学会学術集会	日本フットケア・足病医学会	11/29～30	中道和歌子
	第43回日本認知症学会学術集会	日本認知症学会	11/21～23	染田敦子
	第28回日本心療内科学会総会・学術集会	日本心療内科学会	12/5～8	野口 忍
	第12回大阪府看護学会	大阪府看護協会	12/7	田尻愛子、羽瀨千尋、 山下真弥
	第42回日本ストマ・排泄リハビリテーション学会総会	日本ストマ・排泄リハビリテーション学会	2/7～8	門戸典子
その他	施設(就職)説明会	高槻市医師会看護学校	9/28	田尻愛子、松江さつき
	東洋医療就職説明会		6/5	上松健司
	大手前看護大学(就職)説明会、ZOOM	大手前看護大学	10/12	西村直代、上松健司

(5)活動実績と看護学生臨床実習受け入れ実績

活動実績

【院外・地域活動】

高槻ハーフマラソン救護
地域イベントへの看護師派遣（救護班派遣）
プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦 救護（看護師派遣）

【看護学生等臨床実習】

高槻市医師会看護専門学校 准看護学科
藍野大学看護学部（成人看護学）
藍野大学短期大学部（小児看護学）
大阪保健福祉看護専門学校 通信課程
大阪病院協会看護専門学校 通信課程
東洋医療専門学校（救急救命士）

22. 中央手術センター (1)科別・術式別(手術室)手術件数

診療科	手術術式	件数
一般消化器外科	内視鏡的ヘルニア修復術 (TEP 法)	34
	腹腔鏡下ヘルニア修復術 TAPP	24
	腹腔鏡下ヘルニア修復術	5
	腹腔鏡下ヘルニア根治術	1
	ヘルニア修復術 (前方アプローチ)	1
	ヘルニア修復術 (前方アプローチ 単純縫合閉鎖)	1
	腹腔鏡下腹壁癭痕ヘルニア修復術、腹腔鏡下両側付属器切除術	1
	痔核根治術	4
	肛門ポリープ切除術	1
	審査腹腔鏡	5
	腹腔鏡下 S 状結腸切除術	3
	腹腔鏡下 S 状結腸人工肛門閉鎖	1
	腹腔鏡下切除術 S 状結腸切除 (前方切除)	1
	腹腔鏡下 S 状結腸切除術 (前方切除) 小腸部分切除術	1
	腹腔鏡下 S 状結腸切除術 + リンパ節郭清	1
	人工肛門閉鎖術 (腸切を伴う) + 癒着剥離	1
	人工肛門閉鎖術 (腸切を伴う) + 癒着剥離 + リンパ節郭清 + 胆嚢摘出術	1
	人工肛門修復術 (腸管切除を伴う)	1
	腹腔鏡下横行結腸人工肛門造設術	1
	腹腔鏡下横行結腸人工肛門造設術、癒着剥離術	1
	腹腔鏡下横行結腸切除	1
	腹腔鏡下横行結腸切除術・癒着剥離術	1
	腹腔鏡下人工肛門造設術 (横行結腸による双孔式)	1
	腹腔鏡下人工肛門造設術、腹腔鏡下 S 状結腸切除術	1
	腹腔鏡下前方切除術、癒着剥離術	1
	腹腔鏡下前方切除術 + 人工肛門造設術	1
	腹腔鏡下低位前方切除術、	
	子宮両側付属器合併切除術 (後方骨盤内全摘術)、人工肛門造設	1
	腹腔鏡下癒着剥離術、低位前方切除術、回腸人工肛門造設	1
	腹腔鏡下癒着剥離術、小腸部分切除、ヘルニア修復術	1
	腹腔鏡下低位前方切除術	6
	腹腔鏡下低位前方切除術、腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
	腹腔鏡下低位前方切除術 + 膀胱部分切除術	1
	皮下腫瘍摘出術	2
	腹腔鏡下虫垂切除術	12
	腹腔鏡下虫垂切除術 (膿瘍無し)	11
	腹腔鏡下虫垂切除術 (膿瘍あり)	8
	腹腔鏡下虫垂切除術、腹腔鏡下ヘルニア縫縮術	1
	腹腔鏡下虫垂切除術 + 腹腔ドレナージ (膿瘍を伴うもの)	1

腹腔鏡下回盲部切除術	3
腹腔鏡下回盲部切除術、リンパ節郭清	1
腹腔鏡下盲腸部分切除	1
腹腔鏡下イレウス解除術	2
腹腔鏡下イレウス解除術（腸管切除を伴う）	1
腹腔鏡下ハルトマン手術	4
開腹ハルトマン手術、ストマ造設	1
開腹ハルトマン手術、腹腔内ドレナージ	1
腹腔鏡下ハルトマン手術（直腸悪性腫瘍）	1
腹腔鏡下胆嚢摘出術	66
腹腔鏡下胆嚢摘出術 総胆管切石	1
腹腔鏡下胃局所切除術	1
腹腔鏡下胃全摘・胆嚢摘出	1
腹腔鏡下胃・空腸バイパス術	1
腹腔鏡下バイパス術	1
腹腔鏡下：胃全摘、リンパ節郭清 胆嚢摘出術	1
腹腔鏡下胃垂全摘除術＋回盲部切除、リンパ節郭清、腹腔鏡下胆嚢摘除術	1
腹腔鏡下幽門側胃切除術	2
腹腔鏡下幽門側胃切除術、リンパ節郭清	3
腹腔鏡下幽門側胃切除術（B-1 法）	1
腹腔鏡下幽門側胃切除術（R-Y 再建）、リンパ節郭清	1
IPOM+	1
腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア修復術 IPOM+	1
腹腔鏡下右半結腸切除術	14
腹腔鏡下右半結腸切除術、リンパ節郭清	1
腹腔鏡下右半結腸切除術（悪性）、リンパ節郭清	1
腹腔鏡下右半結腸切除、リンパ節郭清、胆嚢摘出術	1
腹腔鏡下右半結腸切除術、低位前方切除術、リンパ節郭清	1
腹腔鏡下左半結腸切除術	1
腹腔鏡下左半結腸切除術、リンパ節郭清術	1
腹腔鏡下高位前方切除術	8
腹腔鏡下高位前方結腸切除術・小腸部分切除	1
腹腔鏡下下行結腸切除術	2
腹腔鏡下急性汎発性腹膜炎手術	1
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	1
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術	1
腹腔鏡下試験切除術	1
瘻管開放術（シートン法）	2
コンジローマ切除術	1
アテローム切除術	1

腹腔鏡下小腸部分切除術	2
腹腔鏡下小腸切除術＋癒着剥離術	1
開腹：小腸切除術	1
開腹：小腸切除・膀胱小腸癒着閉鎖（大網充填法による）	1
右乳房部分切除＋センチネルリンパ節生検	3
右乳房部分切除＋センチネルリンパ節生検（IR 使用）	1
右乳房温存手術＋右腋窩センチネルリンパ節生検	1
右乳房部分切除（腋窩郭清を伴わない）	1
右乳房部分切除：マイクロドチェクトミー	1
左乳房温存乳房切除＋センチネルリンパ節生検	2
左乳房部分切除、左腋窩センチネルリンパ節生検	1
左乳房部分切除（腋窩リンパ節郭清を伴わないもの）、 左腋窩センチネルリンパ節生検	1
左乳房部分切除、左腋窩リンパ節郭清	1
左乳房部分切除術（乳頭も部分合併切除）	1
左乳房切除（全摘術）、左腋窩リンパ節郭清	1
左乳頭温存乳房切除＋センチネルリンパ節生検	1
左乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴うもの）	2
右乳輪温存乳房切除術 センチネルリンパ節生検（ジアグノグリーン使用）	1
右乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴うもの）	1
子宮・卵巣摘出術（右卵巣転移）子宮悪性手術	1
子宮悪性膿瘍手術	1
開腹子宮／両側付属器摘出術	1
止血術	1
開腹胃全摘術	1
開腹胃全摘術、胆嚢摘出術	1
開腹胃全摘術、リンパ節郭清、胆摘	1
開腹胃全摘、脾体尾部／脾臓合併切除、D3 リンパ節郭清、胆嚢摘出術	1
開腹幽門側胃全摘術、胆嚢摘出術、D2 リンパ節郭清	1
開腹幽門側胃切除、リンパ節郭清（横行結腸）、胆嚢摘出術	1
開腹右半結腸切除	1
開腹異物除去術・膿瘍切除	1
開腹絞扼解除術（腸切を伴わない）、上行結腸の固定術、 虫垂切除術（膿瘍なし）	1
左開胸／開腹による絞扼性イレウスの解除、横隔膜修復	1
腹腔鏡下異物除去、腹腔内ドレナージ	1
殿部腫瘍摘出術	1
乳腺腫瘍摘出術	1
鼠径部リンパ節生検	1
リンパ節生検（右鎖骨上）	1

	リンパ節摘出術×2	1
	皮膚悪性腫瘍切除術（単純）	1
	一般消化外科集計	322

眼科	PEA + IOL 挿入術（右）	79
	PEA + IOL 挿入術（左）	79
	ECCE + IOL 逢着術（左）前硝子体切除術	1
	アイリーア硝子体注射（右）	63
	アイリーア硝子体注射（左）	26
	アイリーア硝子体注射 2mg（右）	4
	アイリーア硝子体注射 2mg（左）	3
	アイリーア硝子体注射（右）眼帯無し	4
	バビースモ硝子体注射（右）	8
	バビースモ硝子体注射（左）	22
	両バビースモ硝子体内注射	1
	ラニビズマブ BS 硝子体注射（右）	32
	ラニビズマブ BS 硝子体注射（左）	37
	ラニビズマブ BS 硝子体注射	4
	両ラニビズマブ BS 硝子体内注射	2
	水晶体再建術（右）	55
	水晶体再建術（左）	57
	水晶体再建術（左）+ CTR 挿入	1
	水晶体再建術（右）ジアクノ使用	1
	ルセンテイス硝子体内注射（右）	16
	ルセンテイス硝子体内注射（左）	1
	霰粒腫摘出術（右）	2
	霰粒腫切開（右）	1
	霰粒腫切開（左）	1
	角膜・強膜異物除去術（左）	1
	結膜縫合術（左）	1
	治療用コンタクトレンズ取り替え	1
	眼科集計	503

呼吸器外科	右胸部創閉鎖	1
	開胸下 右肺下葉切除 + ND2a-2	1
	胸腔鏡下右肺下葉切除術 + NB2A1 リンパ節生検	1
	胸腔鏡下右肺下葉部分切除術	1
	後側方切開下右肺下葉切除 + 第 9、10 肋骨合併切除	1
	開胸下左肺下葉切除	1
	胸腔鏡下左肺下葉切除 + リンパ節郭清	1

	開胸下右肺上葉切除術	1
	胸腔鏡下右肺上葉部分切除術	1
	胸腔鏡下左肺上葉部分切除術	1
	胸腔鏡補助下左肺上葉切除術＋リンパ節郭清	1
	気管切開術	2
	胸腔鏡下右胸膜生検術	4
	胸腔鏡下左胸膜生検術	3
	胸腔鏡下右肺ブラ切除術	7
	胸腔鏡下左肺ブラ切除術	6
	胸腔鏡補助下右肺ブラ縫縮術	1
	胸腔鏡補助下右肺縫縮術	2
	胸腔鏡補助下右肺縫縮術、カバリング	1
	胸腔鏡下左肺縫縮術	1
	胸腔鏡下右搔爬術	1
	胸腔鏡下右膿胸腔搔爬術	4
	胸腔鏡下左膿胸腔搔爬術	2
	胸腔鏡補助下右肺巨大気腫性肺嚢胞切除術	1
	胸腔鏡補助下左肺巨大気腫性肺嚢胞切除術	1
	胸腔鏡下右肺 S6 区域切除術	1
	胸腔鏡下左肺底区区域切除	1
	開胸下中葉切除術＋リンパ節郭清	1
	胸腔鏡下右肺瘻修復術、胸膜生検	1
	胸腔鏡下左肺 S8 部分切除術	1
	開胸下（胸腔鏡補助下）左肺瘻修復術	1
	胸腔補助下左下葉切除術＋リンパ節郭清	1
	呼吸器外科集計	54
循環器内科	ジェネレータ交換術	15
	ペースメーカー植え込み術	4
	右シャント作成手術	1
	左シャント作成手術	3
	循環器内科集計	23
心臓血管外科	ストリッピング術	2
	右下腿部大伏在静脈拔去術	1
	右小伏在静脈血管内焼灼術	1
	右小伏在静脈拔去術	1
	右大伏在静脈血管内焼灼術	2
	右大伏在静脈血管内焼灼術＋静脈瘤切除術	3
	右大伏在静脈拔去術	1

血栓除去	1
硬化療法	1
左下腿部大伏在靜脈拔去術	1
左小伏在靜脈血管內燒灼術	2
左小伏在靜脈高位結紮術	1
左小伏在靜脈拔去術 + 靜脈瘤切除術	2
左大伏在靜脈下腿部穿通枝結紮術	1
左大伏在靜脈血管內燒灼術	8
左大伏在靜脈血管內燒灼術 + 高位結紮術	1
左大伏在靜脈血管內燒灼術 + 靜脈瘤切除術	1

心臟血管外科集計	30
-----------------	-----------

整形外科

BHA（右）	13
BHA（右股）	1
BHA（右股關節）	3
BHA（右大腿骨）	1
BHA（左）	15
BHA（左股）	1
BHA（左股關節）	4
BHA（左大腿）	1
BKP + 脊椎後方固定術	1
DIP 關節滑膜切除術（右小指）	1
DIP 關節滑膜切除術（右中指）	1
DIP 關節滑膜切除術（左示指）	2
DIP 關節滑膜切除術（左中指）	2
IP 關節滑膜切除術（左母指）	1
ECTRA（右）	1
ECTRA（左）	2
HTO（右）關節鏡視下滑膜切除術	3
HTO（右）關節鏡視下半月板切除術	2
HTO（右）關節鏡視下半月板制動術	1
HTO（右）關節鏡視下半月板縫合術	3
HTO（左）	1
HTO（左）關節鏡視下滑膜切除術	3
HTO（左）關節鏡視下半月板部分切除術	1
HTO（左）關節鏡視下滑膜切除術、右 HTO 拔釘	1
HTO（左）關節鏡視下滑膜切除術、 右 HTO 術後拔釘 右關節鏡視下半月切除	1
MED	1
MED（右 L4/5）	1

MEL	1
MPFL 再建術 右膝	2
MPFL 再建術 左膝	2
ORIF	2
ORIF × 2 関節脱臼制動 右肘	1
ORIF × 2 (右脛骨、腓骨)、靱帯修復術	1
ORIF デブリーマン (左足関節)	1
ORIF (インプラント周囲 右大腿)	1
ORIF (右)	3
ORIF (右下肢)	1
ORIF (右下腿)	1
ORIF (右下腿) × 2	1
ORIF (右肩)	1
ORIF (右股)	5
ORIF (右股関節)	4
ORIF (右鎖骨)	5
ORIF (右鎖骨遠位端)	1
ORIF (右手)	5
ORIF (右手) 自家骨移植	1
ORIF (右手関節)	2
ORIF (右手関節) × 2	1
ORIF (右手首)	8
ORIF (右上腕) BHA (右大腿)	1
ORIF (右上腕骨)	1
ORIF (右足)	3
ORIF (右足関節)	4
ORIF (右足首)	1
ORIF (右大腿)	6
ORIF (右大腿)、ORIF (右橈骨)	1
ORIF (右大腿骨頸部)	1
ORIF (右膝)	2
ORIF (右膝蓋骨 右上腕骨)	1
ORIF (右肘)	5
ORIF (右踵骨)	3
ORIF (下腿)・創傷処置 (5cm 未満) (筋肉・臓器に達する)	1
ORIF (関節内)	1
ORIF (鏡視下)・膝関節内側側副靱帯縫合術 (R 膝)	1
ORIF (左)	3
ORIF (左下肢)	2
ORIF (左下腿)	2

ORIF (左環指)	1
ORIF (左距骨)	1
ORIF (左肩)	1
ORIF (左股)	16
ORIF (左鎖骨)	6
ORIF (左手)	6
ORIF (左手関節)	1
ORIF (左手首)	5
ORIF (左足)	1
ORIF (左足関節)	2
ORIF (左足関節) × 2	2
ORIF (左足首)	1
ORIF (左大腿)	13
ORIF (左大腿骨 インプラント周囲)	1
ORIF (左大腿骨) 骨生検	1
ORIF (左第5中足)	1
ORIF (左膝)	5
ORIF (左膝) 関節内	1
ORIF (左肘)	2
ORIF (左橈骨)	2
ORIF、靱帯修復術 右足関節	1
ORIF × 2	5
ORIF × 2 ピンニング術 右足	1
ORIF × 2 (右手関節)	1
ORIF × 2 (右足)	1
ORIF × 2 (右膝 左手関節)	1
ORIF × 2 (左肩、左手関節)	1
ORIF × 2 (左手)	1
ORIF × 2 (左上腕 左前腕)	1
ORIF × 3 (右足首) + 関節鏡検査	1
ORIF × 2 (右下腿骨)	1
ORIF × 2 (左下腿骨)	1
ORIF × 2 (左足関節)	1
ORIF × 2 (脛骨 腓骨)	1
ORIF × 3 (右鎖骨 肩甲骨)	1
ORIF × 3、関節内 ORIF	1
PIP 関節人工関節置換術 (左環指)	1
PIP 関節人工関節置換術 (左環指)・DIP 関節授動術・伸筋腱剥離術	1
PIP 関節人工関節置換術 (左示指)	1
PPS (Th11-L5)	1

TFCC 修復術（左手関節）	1
THA（右股関節）	3
THA（右股関節）ナビ使用	3
THA（右大腿骨）ALS ナビ使用	1
THA（左）	2
THA（左股関節）	4
THA（左股関節）（ナビ使用）＋骨内異物（挿入物）除去術	1
THA（左）抜釘術、自家骨移植（骨頭より）	1
TKA（右）	9
TKA（右）自家骨移植	2
TKA（右）抜釘	1
TKA（右膝）	1
TKA（右膝）ナビ使用	1
TKA（右膝関節）	1
TKA（右膝関節）ナビ使用	1
TKA（左）	10
TKA（左）（ナビ使用）	3
TKA（左）自家骨髄移植	1
TKA（左膝）	4
TKA（左膝）ナビ使用	2
TLIF（L4/5/S）椎弓切除術（L2/3）	1
UKA（右）	5
UKA（右）ガングリオン摘出術 右膝	1
UKA（右）ナビ使用	6
UKA（右）ナビ使用、左 HTO 抜釘、関節鏡	1
UKA（右膝）	1
UKA（左）	4
UKA（左）ナビあり	3
ガングリオン摘出、腱滑膜切除術（右足）	1
ガングリオン摘出、腱滑膜切除術（右母趾）	1
ガングリオン摘出術（右手背部）	1
ガングリオン摘出術（右示指）	1
ガングリオン摘出術（右手関節）	4
ガングリオン摘出術（右中指）	1
ガングリオン摘出術（左環指）	2
ガングリオン摘出術（左手関節）	1
ガングリオン摘出術（左手掌）	1
デブリードマン 骨部分切除（右踵）	1
デブリードマン（100cm ² 以上 3000cm ² 未満）	1
デュプイトラン拘縮手術（右環 - 小指）	1

デュプイトラン拘縮手術（右中 - 小指）3 指・Z 形成	1
デュプイトラン拘縮手術（左手）	1
デュプイトラン拘縮手術（左小指）	1
デュプイトラン拘縮手術×2（右中指、右小指）	1
ナビゲーション使用下椎体生検術	1
ヘルニア摘出術	2
腰椎椎間板ヘルニア摘出術	2
リバー型人工肩関節置換術（左肩）	4
リバー型人工肩関節置換術（左肩）骨移植術（上腕骨より）抜釘術	1
異物肉芽腫切除術（異物切除術）、滑膜切除術（右環指）	1
一時的創外固定骨折治療術（右手関節）	1
一時的創外固定骨折治療術（左足関節）	1
一時的創外固定骨折治療術（左上肢）関節内骨折観血の手術（右上肢） 観血の脱臼整復固定術 + 骨折観血の手術 + 自家骨移植（右手）	1
一時的創外固定骨折治療術（右側関節）	1
遠位橈尺関節制動術（左手関節）	3
脱臼制動術（右足関節）	1
肘関節制動術（左肘）	2
滑膜切除術（右手関節）	1
滑膜切除術（右中指）	1
滑膜切除術（左遠位橈尺関節）	1
滑膜切除術（左手関節）	1
関節滑膜切除術（左2趾）	1
関節滑膜切除術（左環指）	1
関節滑膜切除術（左示指）	1
関節内滑膜切除術	3
右手掌部異物摘出術（右手掌部）	2
右手掌部異物摘出術 + 右示指屈筋腱腱鞘滑膜切除術	1
右手背部異物切除（右手背部）腱鞘滑膜切除術	1
化膿性関節炎手術（左股関節）	1
化膿性関節炎手術（左膝）・骨内異物除去術（3皮切）	1
化膿性関節炎搔爬術（右膝）	1
観血の関節制動術（左肘関節）	1
観血の骨接合術	1
観血の骨接合術（右大腿骨）	1
観血の骨折手術（右上腕）	1
観血の骨折手術（右手関節）	2
観血の骨折手術（右大腿）	1
観血の骨折手術（右橈骨）	1
観血の骨折手術（左膝蓋骨）	2

観血的骨折手術（左脛骨）	1
観血的脱臼整復固定＋骨折観血の手術	1
観血的脱臼整復固定術（右中指）	1
観血的脱臼整復固定術＋骨折観血の手術 4皮切	1
観血的脱臼整復術 経皮ピンニング×3 右足	1
観血的脱臼整復術 骨折観血の手術（右第4中足骨）	1
観血的脱臼整復術 骨折観血の手術（左足）	1
観血的脱臼整復術（右足）	1
観血的脱臼整復術（左足）	1
観血的脱臼整復術（左足）ORIF（左足関節）、 第3,4中足骨ピンニング術、第2中足骨ORIF	1
観血的脱臼整復術、経皮的網線刺入固定術（右足）	1
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）	1
関節鏡下滑膜切除（左膝）	1
関節鏡下滑膜切除術 ドリリング術（あるいは骨片固定術）（L 距骨）	1
関節鏡下滑膜切除術（CLAP 留置）（L 膝）	1
関節鏡下関節授動術 尺骨神経移行術（右肘）	1
関節鏡下関節授動術・尺骨神経移行術（L 肘）K-0762-2	1
関節鏡下手根管開放手術（右手根管）	7
関節鏡視下手根管開放術（左手根管）	2
関節鏡下手根管開放手術（右手）	26
関節鏡下手根管開放手術（左手）	26
直視下手根管開放術	1
関節鏡下半月板切除術（右膝）	2
関節鏡下半月板切除術（左膝）	1
関節鏡下半月板縫合術（右膝）	2
関節鏡視下外側半月板切除術 左膝	1
関節鏡視下外側半月板縫合術 左膝	1
関節鏡下遊離体摘出・骨部分切除術（左足関節）	1
関節鏡下遊離体摘出術 ORIF	1
関節鏡視下 ACL 再建術 右膝	1
関節鏡視下 ACL 再建術 左膝	2
関節鏡視下 ACL 再建術、半月板縫合術 左膝	1
関節鏡視下 ACL 再建術・半月板縫合術 右膝	1
関節鏡下靱帯再建術（左足関節）	1
関節鏡視下滑膜切除、関節固定術（左足関節）骨移植術（腸骨・人工骨）	1
関節鏡視下滑膜切除術 右膝	1
関節鏡視下滑膜切除術 左膝	2
関節鏡視下滑膜切除術 搔爬洗浄 左膝	1
関節鏡視下滑膜切除術、抜釘術 右膝	1

関節鏡視下滑膜切除術＋局所陰圧閉鎖療法 CLAP（左膝）	1
関節鏡視下関節授動術 左膝	1
関節鏡視下半月板切除術 右膝	2
関節鏡視下半月板切除術 左膝	2
関節鏡視下半月板切除術 抜釘術 左膝	1
関節鏡視下半月板切除術＋骨内異物除去術（左膝）	1
関節鏡視下半月板縫合術 右膝	2
関節鏡視下半月板縫合術 左膝	1
関節鏡視下骨接合、腓骨骨折 ORIF × 1、 リスフラン関節脱臼骨折観血的脱臼整復術	1
関節鏡視下腱板修復術（右肩）	1
関節鏡下 化膿性関節炎手術（左膝）	1
関節鏡下関節唇修復術（左肩）	1
関節鏡下関節鼠摘出術（右肘）	1
関節鏡下肩関節唇形成術（右肩） 腱板断裂を伴わないもの	1
関節鏡下拘縮受動術（右肩）	1
関節鏡下骨折観血の手術 × 2 靱帯修復	1
関節形成術	1
関節形成術（右手関節）S-K 法 腱鞘滑膜切除術	1
関節形成術（左肘）	1
関節形成術＋滑膜切除術（左遠位橈尺関節）	1
関節固定術（左母趾）	1
関節固定術 自家骨移植術（左足関節 腸骨移植）	1
関節固定術（左足関節）、自家骨移植術（距骨、脛骨）	1
関節授動術（右小指）	1
関節授動術 × 2 骨内異物除去	1
関節内 ORIF	2
関節内 ORIF（右手）	1
関節内 ORIF（右肘）	1
関節内 ORIF（左手関節）	1
関節内 ORIF（左膝）	1
関節内 ORIF（左肘）	1
関節内 ORIF（左肘）人工骨頭挿入術（肘）	1
関節内 ORIF（左母指）	1
関節内 ORIF（右膝）	1
関節内骨折観血の手術	3
関節内骨折観血の手術（右示指）	2
関節内骨折観血の手術（右手関節）	4
関節内骨折観血の手術（右手関節）骨折観血の手術	1
関節内骨折観血の手術（右小指）	1

關節内骨折観血の手術（右第5趾）	1
關節内骨折観血の手術（右肘）	2
關節内骨折観血の手術（右橈骨）	1
關節内骨折観血の手術（左示指）	1
關節内骨折観血の手術（左手関節）	4
關節内骨折観血の手術（左手関節）CM 關節観血の関節制動術	1
關節内骨折観血の手術（左中指）	1
關節内骨折観血の手術（左肘）	2
關節内骨折観血の手術（左橈骨）	2
關節内骨折観血の手術×2、経皮の鋼線刺入術×1	1
關節内骨折観血の手術・（右手第5CM 関節）	1
關節内骨折観血の手術・観血の脱臼整復術（左手第4CM 関節）	1
關節内骨折観血の手術×2（左環小指）	1
關節内骨折観血の骨折手術＋外側靱帯修復術（右肘関節）皮切別	1
偽関節骨折（右示指末節骨）	1
偽関節手術（＋骨移植 腸骨と人工骨使用）（左手舟状骨）	
＋遠位橈尺関節制動術	1
偽関節手術（＋有形骨弁移植）	
橈骨より骨移植（人工骨使用）（左手舟状骨）	1
偽関節手術（＋有形骨弁移植）	
橈骨より骨移植（人工骨使用）（右手舟状骨）	1
偽関節手術（右環指）	1
偽関節手術（右中指）	2
偽関節手術（右有鉤骨）	1
偽関節手術（左小指）	1
偽関節手術（左上腕骨遠位）＋骨移植術（骨盤）と人工骨併用	1
偽関節手術（鎖骨）＋自家骨移植術（左腸骨）	1
偽関節手術＋骨移植術（腸骨＋人工骨）骨内異物除去（右上腕）	1
偽関節手術・關節内骨折観血の手術（母指MP 関節橈側側副靱帯修復）	1
経皮の鋼線刺入固定術（右環指）	2
経皮の鋼線刺入固定術（右小指）	3
経皮の鋼線刺入固定術（左示指）	1
経皮の鋼線刺入固定術（左小指）	3
経皮の鋼線刺入固定術（左上腕骨）	1
経皮の鋼線刺入固定術（左前腕）	1
経皮の鋼線刺入固定術（左中指）	1
経皮の鋼線刺入固定術（左橈骨）	1
経皮の鋼線刺入固定術（石黒法）	1
経皮の鋼線刺入固定術（石黒法）（右小指）	3
経皮の鋼線刺入固定術（石黒法）（右中指）	4

経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）（右中指）	
＋ PIP 関節内骨折観血の手術（右中指）	1
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）（左環指）	1
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）（左小指）	1
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）（左中指）	2
経皮的鋼線刺入固定術・骨折観血の手術（右小指）	1
経皮的網線刺入術（第4趾）、観血の脱臼整復固定術（第5趾）	1
経皮的鋼線刺入術（右示指）	1
経皮的鋼線刺入術（右小指）	2
経皮的鋼線刺入術（右第4趾）	1
経皮的鋼線刺入術（右第5趾）	1
経皮的鋼線刺入術（右母指）	1
経皮的鋼線刺入術（左鎖骨）	1
経皮的鋼線刺入術（左小指）	1
経皮的鋼線刺入術（石黒法）	1
経皮的脊椎後方固定術 PPS（T11-L3）	1
経皮的脊椎後方固定術（T10-L4）PPS、組織採取（L1）	1
経皮的椎体形成術	2
経皮的椎体洗浄＋経皮的後方固定術（6椎間）	1
経皮的ピンニング術	5
頸椎後方固定術（1椎間）	1
頸椎後方固定術（C5/C6/C7）ナビ使用	1
頸椎後方除圧固定術（C2-7）	1
頸椎前方固定術（C3/4/5椎間）	1
頸椎前方固定術（C4-6・2椎間）、自家骨移植術	1
頸椎椎弓形成術（C3-7）	1
腰椎後方椎体間固定（L5/S）	1
腰椎後方椎体間固定術（L4/5、L5/S）	1
腰椎後方椎体間固定術（ナビ使用）	1
腰椎前方後方同時固定（L3/4/5 2椎体）後方椎体間固定術（5/S）、	
骨移植（同種骨非生体のもの）	1
後方椎体間固定術×2、5椎間後側方、ナビ使用	1
腰仙椎後方固定術（再手術）L5/s	1
骨腫瘍切除術＋人工骨移植術（左示指）	2
骨腫瘍切除術＋人工骨移植術（左中指）	1
伸筋腱移行術・腱移植術（右小指・右環指）皮切4カ所	
＋手関節形成術（右手関節）皮切4カ所	1
伸筋腱再建術（腱移植術）（左小指）	1
伸筋腱脱臼整復固定術（右中指）	1
伸筋腱脱臼整復固定術（左環指）	1

伸筋腱脱臼整復固定術（左中指）	1
伸筋腱剝離術（左環指）	1
伸筋腱剝離術（右環指）	1
伸筋腱縫合術（右環指）	1
伸筋腱縫合術（左示指）	1
神經腫切除術（右環指）	2
神經腫切除術（左上腕）	1
神經腫切除術（右前腕）	1
尺骨神經移行術（右肘）	5
尺骨神經移行術（右肘部管）	1
尺骨神經移行術（左肘）	2
尺骨神經前方移行術（右肘）	1
尺骨神經剝離術 滑膜切除術（右手關節）（2皮切）	1
尺骨神經剝離術（右肘）	1
筋膜切開術（右下腿）	1
筋膜切開術（右前腕）×3	1
骨髓炎手術 病巣搔爬術（右母趾）	1
骨髓炎手術（左下腿）	1
骨折觀血的手術（Rt 手關節）	1
骨折觀血的手術（右下肢）	1
骨折觀血的手術（右下腿）	2
骨折觀血的手術（右下腿） 靱帶形成術（右足關節）	1
骨折觀血的手術（右鎖骨）	6
骨折觀血的手術（右尺骨） 橈骨非觀血的手術	1
骨折觀血的手術（右手）	1
骨折觀血的手術×2（右手）	1
骨折觀血的手術（右手舟狀骨）	1
骨折觀血的手術（右手關節）	8
骨折觀血的手術（右手關節）×2	1
骨折觀血的手術（右手關節） 關節內骨折觀血的手術（左大腿內側）	1
骨折觀血的手術（右手首）×2	1
骨折觀血的手術（右上腕）	14
骨折觀血的手術（右上腕）×2	1
骨折觀血的手術（右上腕）（インプラント周囲骨折）	1
骨折觀血的手術（右前腕）	10
骨折觀血的手術（右足關節）	1
骨折觀血的手術（右足關節）×2	1
骨折觀血的手術（右足關節）×3	1
骨折觀血的手術（右大腿）	33
骨折觀血的手術（右母指）	1

骨折觀血的手術（右第 4 中手骨）	1
骨折觀血的手術（右第 4 趾）	1
骨折觀血的手術（右第 5 中手骨）	2
骨折觀血的手術 × 2（右環・小指）	1
骨折觀血的手術（右膝蓋骨）	1
骨折觀血的手術（右肘）	1
骨折觀血的手術（右肘） + 靱帶修復術	1
骨折觀血的手術（右橈骨）	6
骨折觀血的手術（右腓骨）	2
骨折觀血的手術（右踵骨）	1
骨折觀血的手術（股關節）	2
骨折觀血的手術（骨盤）	2
骨折觀血的手術（骨盤）ナビ使用	1
骨折觀血的手術（左下腿）	4
骨折觀血的手術（左下腿） × 2 足關節關節鏡下遊離体切除術（左）	1
骨折觀血的手術（左下腿 × 2）	1
骨折觀血的手術（左大腿）	1
骨折觀血的手術（左股關節、左手關節）	1
骨折觀血的手術（左鎖骨）	6
骨折觀血的手術（左尺骨）	1
骨折觀血的手術（左手）	1
骨折觀血的手術（左手關節）	13
骨折觀血的手術（左手關節）遠位橈尺關節制動術	1
骨折觀血的手術（左手關節）關節内	1
骨折觀血的手術（左舟状骨）	3
骨折觀血的手術 × 2（左手舟状骨、左足）	1
骨折觀血的手術（左小指）	1
骨折觀血的手術（左上腕）	10
骨折觀血的手術（左前腕 左大腿）	1
骨折觀血的手術（左前腕）	18
骨折觀血的手術（左足）	2
骨折觀血的手術（左足關節）	4
骨折觀血的手術（左大腿）	38
骨折觀血的手術（左第 1 手根中手關節）	1
骨折觀血的手術（左第 4 中手骨）	1
骨折觀血的手術（左第 4 趾）経皮的鋼線刺入固定術（左第 3 趾）	1
骨折觀血的手術（左第 5 中手骨）	3
骨折觀血的手術（左第 5 中足骨）	3
骨折觀血的手術（左中指）	1
骨折觀血的手術（左膝蓋骨）	1

骨折観血の手術（左母指）	2
骨折観血の手術（左母指）（関節内）ピンニング	1
骨折観血の手術×2（左環指・小指）	1
骨折観血の手術（左橈骨）	5
骨折観血の手術（左腓骨＋脛骨）	1
骨折観血の手術×1（左脛骨）非観血の整復術×1	1
骨折観血の手術×2（肘関節内（橈骨）（左前腕×2）＋肘関節制動術	1
骨折観血の手術×3（LR手関節、右膝蓋骨）	1
骨折観血の手術×6（前腕×2 鎖骨 中手骨 大腿骨 脛骨）	1
骨折観血の手術・経皮的鋼線刺入固定術	1
骨折経皮的鋼線刺入術	1
骨折観血の手術×2（両大腿）	1
指神経剥離術（右中指）右中指中節骨骨腫瘍切除術	1
指神経誘導術（右中指）	1
神経移行術（右肘部管）	3
神経移行術（左肘部管）	3
神経再生誘導術（右大腿神経・右鼠径部）持続チュービング	1
鎖骨遠位端切除術、抜釘術（右鎖骨）	1
切除関節形成術（左足）	1
神経切除術（左膝）	1
神経剥離術 鏡視下によるもの	1
神経剥離術（右肘頭部）	1
神経剥離術（左肘）	1
神経縫合術（右小指）	1
神経縫合術（左示指）	1
神経縫合術（左尺骨）	1
神経縫合術（左手部）	1
神経縫合術×2（右中・環指）	1
大腿神経剥離術（右大腿）	1
関節脱臼観血の整復術（右小指）	1
関節脱臼観血の整復術・靱帯縫合術（左小指）2皮切	1
骨内異物（挿入物）除去術（右大腿骨）	1
骨内異物（挿入物）除去術（右第5中手骨）	1
骨内異物（挿入物）除去術（骨盤）	1
骨内異物除去術 関節鏡視下拘縮解離術	1
骨内異物除去術 拘縮解離術	1
骨内異物除去術 手根管開放術（左手）	1
骨内異物除去術 肘関節授動術（R肘）上腕三頭筋腱剥離術 3皮切	1
骨内異物除去術 腱移行術	1
骨内異物除去術（右4.5中手骨）	1

骨内異物除去術（右下肢）	1
骨内異物除去術（右下腿）	1
骨内異物除去術（右鎖骨）	9
骨内異物除去術（右尺骨）	1
骨内異物除去術（右手）	2
骨内異物除去術（右手）、拘縮解離術（右小指）	1
骨内異物除去術（右手） + MP 關節授動術・伸筋腱剝離術	1
骨内異物除去術（右手關節）	3
骨内異物除去術（右手關節） + 癥痕拘縮形成術	1
骨内異物除去術（右小指）	1
骨内異物除去術（右上肢）	1
骨内異物除去術（右上肢）神經剝離術	1
骨内異物除去術（右上肢） + 觀血的關節授動術	1
骨内異物除去術（右上腕骨）	1
骨内異物除去術（右前腕）	5
骨内異物除去術（右側關節）	1
骨内異物除去術（右足）	1
骨内異物除去術（右足關節）	4
骨内異物除去術（右大腿骨）	2
骨内異物除去術（右第 1 中手骨）	1
骨内異物除去術（右第 5CM、右第 5 中手骨）	1
骨内異物除去術（右第 5 中足骨）	1
骨内異物除去術（右中指）	1
骨内異物除去術（右肘）	1
骨内異物除去術（右肘） + 創傷處理（右足部）	1
骨内異物除去術（右母指）	1
骨内異物除去術（右母指） + MP 關節授動術	1
骨内異物除去術（右橈骨）	5
骨内異物除去術（右脛骨）	2
骨内異物除去術（右腓骨）	1
骨内異物除去術（骨盤）	1
骨内異物除去術（左下腿）	1
骨内異物除去術（左外果）	1
骨内異物除去術（左鎖骨）	11
骨内異物除去術（左手） + MP 關節授動術	1
骨内異物除去術（左手） + PIP 關節授動術	1
骨内異物除去術（左手關節）	2
骨内異物除去術（左手關節）神經剝離術、關節鏡下手根管開放手術（左手）	1
骨内異物除去術（左手關節） + 癥痕拘縮形成術	1
骨内異物除去術（左手首）	1

骨内異物除去術（左上肢）	2
骨内異物除去術（左上腕）	2
骨内異物除去術（左足）	3
骨内異物除去術（左足関節 外果）	1
骨内異物除去術（左足関節）	6
骨内異物除去術（左大腿）、THA（左）ナビあり	1
骨内異物除去術（左大腿骨）	1
骨内異物除去術（左第1中手骨）	1
骨内異物除去術（左膝）	1
骨内異物除去術（左膝蓋骨）	1
骨内異物除去術（左肘関節）	1
骨内異物除去術（左母指中手骨）	1
骨内異物除去術（左橈骨）	9
骨内異物除去術（左腓骨）	2
骨内異物除去術（左脛骨・腓骨）	1
骨内異物除去術、関節授動術	1
骨内異物除去術＋MP関節関節授動術（左小指 第5中手骨）	1
骨内異物除去術＋リバー型人工肩関節置換術（R肩） ＋創傷処理（5cm未満：筋肉に達するもの）	1
骨内異物除去術＋伸筋腱剥離術＋MP関節関節授動術（右第5中手骨）、 骨内異物除去手術（右膝）	1
骨内異物除去術×2	2
骨内異物除去術×2（右腓骨、脛骨）	1
骨内異物除去術×2（左橈尺骨）	1
骨内異物除去術×2（脛骨、腓骨）	1
骨内異物除去術×3 関節鏡下滑膜切除術 左膝、左足関節	1
骨内異物除去術×4 左手拘縮解離術	1
骨内異物除去術・伸筋腱癒着・MP関節授動術	1
関節内異物除去術（左股関節）	1
右下腿切断術	1
左下腿切断術	1
左大腿切断術	3
足指切断術	1
足部切断術（右5趾）	1
足部切断術（左5趾）	1
足部切断術	1
足趾切断術（右母趾）	2
骨切除 腱移行術（右足）	1
人工骨頭挿入術（右股）	4
人工骨頭挿入術（右大腿）	5

人工骨頭挿入術（左股）	14
人工骨頭挿入術（左大腿）	6
人工骨頭置換術（右大腿）	1
人工骨頭置換術（左股）	1
腱縫合術（右アキレス腱）	4
腱縫合術（右中指）	3
腱縫合術（右環指）	1
腱縫合術（左アキレス腱）	3
腱縫合術（左環指）	1
腱縫合術・神経縫合術（左示指）	1
アキレス腱付着部再建術（左踵骨後方）	1
腱縫合術×7+神経縫合術×3	1
腱縫合術×2（右小指）	1
屈筋腱縫合術	1
左小指伸筋腱縫合術	1
尺側靱帯修復術（右母指）	2
尺側側副靱帯修復術（右母指 MP 関節）	2
右肘内側靱帯再建術+右肘外側靱帯修復術	1
腱剥離術	1
腱剥離術（左環指）	1
靱帯断裂縫合術	1
人工関節置換術（股）ナビあり	1
人工関節部分置換術（右膝 PF）	1
人工肩関節全置換術（左肩）	1
人工肩関節置換術（右肩）	1
人工股関節再置換術 右股関節	1
人工関節再置換術 右膝	1
人工橈骨頭挿入術、肘関節制動術	1
脊椎固定術（Th11-L2）、骨折観血的手術	1
脊椎後方固定術（7 椎間）+椎体間固定（2 椎間）	1
脊椎後方固定術（L2-L4）、椎弓切除術（L2/3.3/4）	1
脊椎後方固定術（L3/4・4/5・5/S・S/I 4 椎間）・椎弓切除術（2 椎弓）	1
脊椎後方固定術（Th10-L1 の 3 椎間）Th12 椎体形成	1
脊椎後方固定術（Th8-L3）	1
脊椎後方固定術 T12-L3 3 椎間後側方固定	1
脊椎後方椎体間固定術 L4/5 5/S（TLIF）	1
脊椎後方椎体間固定術（1 椎間）椎弓切除術（2 椎弓）	1
脊椎後方椎体間固定術（1 椎間）、後側方固定術（8 椎間）	1
脊椎後方椎体間固定術（1 椎間）、後側方椎体間固定術（6 椎間）	1
脊椎後方椎体間固定術（1 椎間）、椎弓切除（2 椎弓）	1

脊椎後方椎体間固定術（2 椎間）、後側方椎体間固定術（2 椎間）	1
脊椎後方椎体間固定術（3 椎間） 後側方固定（6 椎間）	1
脊椎後方椎体間固定術（L4/5）、自家骨髄移植術	1
脊椎後方椎体間固定術（L5/S）	2
脊椎後方椎体間固定術（L5/S）、後側方固定術（S1/S2）	1
脊椎後方椎体固定術（L4/5 5/S）	1
脊椎前後同時固定術（L4/5）＋脊椎後方固定術（L4- 骨盤） ＋椎弓切除術（L4-S1）＋椎体間固定（L5-S）	1
脊椎前方固定（L2-5：3 椎間）後方固定術（L2-5：3 椎間）、 脊椎後側方固定（L5-S：1 椎間）	1
脊椎前方固定術（L2-5LLIF）3 椎間 同種骨移植 非生体その他	1
脊椎前方固定術（L3/4/5）（2 椎間）同種骨移植（非生体・その他）	1
脊椎前方後方固定術	1
脊椎前方後方固定術（L3-5）LLIF+PPS、 同種骨移植（非生体その他）2 椎間	1
脊椎前方後方固定術 LLIF PPS 2 椎間 同種骨移植非生体その他	1
脊椎前方後方固定術 LLIF PPS（L2-5、同種骨移植（非生体その他）	1
脊椎前方後方固定術（2 椎間）	1
脊椎前方後方固定術（3 椎間：L2/3・3/4・4/5） ＋後方椎体間固定（1 椎間）＋後側方固定（1 椎間） ＋同種骨移植（非生体・その他）	1
脊椎前方後方固定術（3 椎間：L2/3・3/4・4/5） 後方固定術（1 椎間：L5/S）後方側方固定術（1 椎間：L5/S） 同種骨移植（非生体・その他）	1
脊椎前方後方固定術（L2-5）LLIF PPS	1
脊椎前方後方固定術（L2-5）3 椎間	1
脊椎前方後方固定術（L2-5LLIF+PSF L2- 骨盤）	1
脊椎前方後方固定術（L3/4）同種骨移植（非生体その他）ナビ加算	1
脊椎前方後方固定術（L3-5）LLIF PPS	1
脊椎前方後方固定術・2 椎間（L3/4・4/5）・同種骨移植（非生体その他）	1
脊椎前方後方固定術 3 椎間 同種骨移植 P 生体その他、ナビ使用	1
脊椎前方後方同時固定術（2 椎間）、脊椎後方椎体間固定術（1 椎間）	1
第 1 腰椎椎体形成術、脊椎後方固定術（Th11-L2）	1
前方後方固定術（L4/5）	1
創外固定器抜去	1
創洗浄・内固定剤入れ替え	1
創傷処置 左母指	1
創傷処置（100cm ² 以上 500cm ² 未満）	1
創傷処置（直径 10cm 以上）	1
創傷処理 筋肉・臓器に達するもの（長径 5cm 以上 10cm 未満）	1

創傷処理（5cm 以上 筋に達する）右足関節	1
創傷処理（右足）（5cm ～ 10cm 未満・臓器に達する）	1
創傷処理（下顎）5cm 未満（達しないもの）	1
創傷処理（左膝）	1
腱鞘滑膜切除術（右小指）	1
腱鞘滑膜切除術（右手）	1
腱鞘滑膜切除術（右中指）	1
腱鞘滑膜切除術（左小指）	1
腱鞘滑膜切除術（左中指）	1
腱鞘滑膜切除術（左母指）	1
腱鞘滑膜切除術・腱鞘形成術（右）	1
腱鞘切開術（右環指）	3
腱鞘切開術（右環指）+ ガングリオン摘出術（右環指）	1
腱鞘切開術（右示指）	1
腱鞘切開術（右手）	1
腱鞘切開術（右手関節）	5
腱鞘切開術（右中指）	13
腱鞘切開術（右母指）	7
腱鞘切開術（左環指）	4
腱鞘切開術（左示指）	2
腱鞘切開術（左手関節）	3
腱鞘切開術（左中指）	8
腱鞘切開術（左中指）+ 腱鞘内ガングリオン摘出術（左中指）	1
腱鞘切開術（左母指）	7
腱鞘切開術× 2	1
腱鞘切開術・ガングリオン摘出術（右中指）	1
靱帯再建術（右足関節）	1
靱帯修復術（右母指）	1
椎弓形成術	1
椎弓形成術（C3-7）5 椎弓	1
椎弓形成術 C3-6	1
椎弓切除 腰椎椎間板ヘルニア摘出術	1
椎弓切除（L2-5）	1
椎弓切除術	3
椎弓切除術（4 椎弓）	1
椎弓切除術（L1 - L5）	1
椎弓切除術（L2/3、L3/4）	1
椎弓切除術（L2 - 4）2 椎弓 後方固定術（L4/5）椎体間固定術（1 椎間）	1
椎弓切除術（L2-6）	1
椎弓切除術（L3/4/5）	1

椎弓切除術 (L3-5) 3 椎弓	1
椎弓切除術 (L4/5)	1
椎弓切除術 (L4-S1) 3 椎弓	1
椎弓切除術 (T12-L3)	1
椎弓切除術・仙骨骨腫瘍生検術	1
内視鏡下椎弓切除術	1
悪性軟部腫瘍切除術 (右上腕遠位部)	1
軟部腫瘍切除術 (右足関節)	1
軟部腫瘍切除術 (左足)	1
軟部腫瘍摘出術 (右環指)	1
軟部腫瘍摘出術 (右肩甲部)	1
軟部腫瘍摘出術 (右示指)	1
軟部腫瘍摘出術 (右第 5 足趾)	1
軟部腫瘍摘出術 (左環指)	2
軟部腫瘍摘出術 (左指)	1
軟部腫瘍摘出術 (左小指)	1
軟部腫瘍摘出術 (左足関節)	1
軟部腫瘍摘出術 (左足背)	1
軟部腫瘍摘出術 (左臀部) (K030-1)	1
軟部腫瘍摘出術・神経腫切除術 (右殿部)	1
軟部腫瘤摘出術 (左背部)	1
抜釘術 右肩	1
抜釘術 右鎖骨	1
抜釘術 右手	1
抜釘術 右手関節	1
抜釘術 右足	2
抜釘術 右膝	2
抜釘術 左足	2
抜釘術 左膝	1
抜釘術 関節鏡 右膝	5
抜釘術 関節鏡 左膝	2
抜釘術 関節鏡下半月板切除術 右膝	1
抜釘術 病巣搔爬術 右大腿	1
抜釘術×2 (左鎖骨) (左肩甲骨)	1
皮下腫瘍摘出術 (右手背部) (露出部) (3cm)	1
皮下腫瘍摘出術 (右中指)	1
皮下腫瘍摘出術 (右背部)	1
皮下腫瘍摘出術 (左肩)	1
皮下腫瘍摘出術 (左示指)	1
皮下腫瘍摘出術 (左示指) 露出部	1

皮下腫瘍摘出術（左手部）	2
皮下腫瘍摘出術（左前腕）露出部	1
皮下腫瘍摘出術（左膝）	1
皮下腫瘍摘出術×2（左上腕後方）	1
脊髓腫瘍摘出術	1
病巣搔爬術	3
病巣搔爬術 切開排膿（右下腿）	1
病巣搔爬術（右足底）	1
病巣搔爬術（左股関節）	1
病巣搔爬術・デブリートマン（右手）	1
搔爬洗浄、セメントビーズ留置、人工関節拔去（右股関節）	1
変形治癒骨折矯正手術（左橈骨）	1
変形治癒骨折矯正手術（左小指）	1
母指 CM 関節形成術（LRSA）STT 関節形成術（左手）皮膚切開 3 か所	1
母指 CM 関節形成術（左母指）LRSA	5
母指手掌部異物摘出術	1
有鉤骨偽関節手術（左手）	1
腱移行術 1. 指（手）	1
腱移行術（右母指）	1
腱移植術（左前腕）×2	1
腱移植術（左中指）	1
右骨切り術＋関節鏡下内側半月板切除 左関節鏡下内側半月板切除	1
高位脛骨骨切り術、関節鏡下内側半月制動術（左膝）	1
左橈骨遠位端変形治癒矯正骨切術	1
第 1 中手骨外転対立骨切り術（右）	1
右正中神経剥離術（右手根管）	2
右大腿神経ブロック	1
右母指 CM 関節形成術 LRSA	1
外骨腫切除術（左示指）	1
外反母趾矯正手術（右母趾）骨切り術（第 2・3・5 中足骨）	
観血の脱臼整復術	1
滑液包切除術（左足関節）	1
寛骨臼骨折観血の手術（右）	2
血管縫合術 右手	1
椎体生検術	1
皮弁形成術	1

整形外科集計

1,365

泌尿器科

TUR-BT	44
TUR-BT 尿管ステント交換	1

TUR-BT 膀胱結石除去術	1
TUR-P	17
右高位精巣摘除術	1
右内シャント造設術	1
左内シャント造設術	3
腎瘻造設術	3
右陰嚢水腫根治術	1
経尿道的前立腺切除術	1
腹腔鏡下右腎摘除	1
腹腔鏡下右腎尿管全摘術	1
腹腔鏡下左腎摘除術	2
腹腔鏡下左腎尿管摘除	1
腹腔鏡下左腎尿管全摘	1

泌尿器科集計

79

婦人科

子宮鏡下筋腫切除術	1
子宮鏡下筋腫切除術（従来径）	1
子宮鏡下筋腫切除術、会陰縫合	1
子宮鏡下内膜ポリープ切除術	2
子宮鏡下内膜ポリープ切除術（細径）	7
子宮鏡下内膜ポリープ切除術（細径）生食使用	5
子宮鏡下内膜ポリープ切除術（従来径）	10
子宮鏡下内膜ポリープ切除術（従来径）、子宮頸管ポリープ切除術	1
子宮頸管ポリープ切除術	1
子宮頸部円錐切除術	9
子宮頸部円錐切除術、子宮内膜全面搔爬術	1
子宮内膜全面搔爬術	6
子宮内膜全面搔爬術＋子宮鏡下子宮異物除去	1
子宮頸部腫瘍切除術	1
子宮付属器悪性腫瘍手術	1
子宮付属器悪性腫瘍手術、癒着剥離術	1
子宮鏡下内膜腫瘍切除術（従来径）	1
子宮内膜症病巣除去術＋癒着剥離術	1
子宮内膜症病巣除去術（左卵巣内膜症性嚢胞切除）、癒着剥離術	1
子宮腔部コンジローマ焼灼術	1
子宮頸部円錐切除術	1
腹腔鏡下筋腫切除術	3
腹腔鏡下卵巣腫瘍切除術	6
腹腔鏡下卵巣腫瘍切除術＋TCR（細径）	1
腹腔鏡下卵巣腫瘍切除術、内膜症病巣除去術（嚢胞切除または内壁焼灼）	1

腹腔鏡下右付属器切除術	1
腹腔鏡下左付属器切除（子宮内膜症病巣除去術）、癒着剥離術	1
腹腔鏡下左付属器切除術＋右卵管切除術 癒着剥離術	1
腹腔鏡下左卵管切除術	1
腹腔鏡下左卵巢腫瘍摘出術	1
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術、癒着剥離術	2
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術＋癒着剥離術（子宮全摘術＋左付属器切除術）	1
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮全摘術＋両側卵管切除術：両側卵巢温存）	1
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 （子宮全摘＋右付属器切除＋左卵管切除：左卵巢温存）	1
腹腔鏡下子宮全摘術＋左付属器切除＋右卵管切除（右卵巢温存）	1
腹腔鏡下子宮全摘術＋大網切除術（追加手術）＋癒着剥離術	1
腹腔鏡下子宮全摘術＋両側卵管切除術 癒着剥離術	1
腹腔鏡下子宮全摘術＋両側卵管切除術、膈ヘルニア修復術、癒着剥離術	1
腹腔鏡下子宮全摘術＋両側卵管切除術＋癒着剥離術	1
腹腔鏡下卵巢嚢胞切除術	1
腹腔鏡下両側付属器切除術	4
腹腔鏡下両側付属器切除術＋癒着剥離術	5
腹腔鏡下両側付属器切除術＋子宮鏡下内膜ポリープ切除術（従来径）	1
腹腔鏡下子宮内膜症病理除去術・癒着剥離術	2
腹腔鏡下腔式子宮全摘術＋両側付属器切除術	4
腹腔鏡下腔式子宮全摘術＋両側卵管切除術（両側卵巢は温存）	4
腹腔鏡下腔式子宮全摘術＋両側付属器切除術 癒着剥離術	1
腹腔鏡下腔式子宮全摘術＋右付属器切除術 ＋左卵管切除術（左卵巢は温存）	1
腹腔鏡下腔式子宮全摘術＋右付属器切除術 ＋左卵管切除術（左卵巢は温存）＋癒着剥離術	1
腹腔鏡下腔式子宮全摘術＋両側卵管切除術 左卵巢は温存（右は切除後）	1
腹腔鏡下腔式子宮全摘術＋両側卵管切除術（両側卵巢は温存） ＋癒着剥離術	2
腹腔鏡下腔式子宮全摘術＋両側卵管切除術、癒着剥離、 会陰裂傷縫合（両側卵巢温存）	1
腹腔鏡下腔式子宮全摘術＋両側卵管切除術＋癒着剥離術	1
腹腔鏡下両側卵管切除術	1
腹式単純子宮全摘術＋両側卵管切除術	1
腹式単純子宮全摘術＋両側卵管切除術（両側卵巢は温存）	1
腹式単純子宮全摘術＋左付属器切除術 ＋右卵管切除術（右卵巢温存）癒着剥離術	1
腹腔鏡下腫瘍生検	1
腹腔鏡下膿瘍ドレナージ術＋癒着剥離術＋右卵管切除術	1

腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術＋子宮鏡下筋腫切除術	
＋右卵巢内膜症性嚢胞内壁焼灼術	1
腹腔鏡補助下卵巢腫瘍切除術	1
外陰部コンジローマ焼灼術	1
外陰部・子宮腔部コンジローマ焼灼術	1
TLH+LSO＋右卵巢内膜症性嚢胞除去	
＋右卵管切除（右卵巢は可及的に温存）癒着剥離術	1
経腔的腫瘍内容液ドレナージ	1

婦人科集計	121
-------	-----

総計	2,497
----	-------

(2)科別麻酔手技別件数

麻酔法	循環器 内科	一般 消化外	呼吸器 外科	心臓 血管外	整形 外科	婦人科	眼科	泌尿 器科	総計
全身麻酔(吸入)	1	264	43		846	58		29	1,241
全身麻酔(TIVA)		25	2		88	18			133
全身麻酔(吸入)＋硬・脊、伝麻		30	7		188	4		8	237
全身麻酔(TIVA)＋硬・脊、伝麻			1		17	2		1	21
脊髄くも膜下麻酔					2	37		34	73
その他	22	3	1	30	224	2	503	7	792
総計	23	322	54	30	1,365	121	503	79	2,497

23. 内視鏡センター 内視鏡的検査及び処置・手術件数(月別・手技別)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部内視鏡	経口	130	110	114	123	126	116	154	154	135	96	137	129	1,524
	経鼻	81	86	110	123	104	104	123	122	134	104	98	88	1,277
	小腸	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	生検	36	47	26	49	40	37	58	47	52	40	47	50	529
	ピロリテック	9	2	5	8	7	9	4	6	4	8	5	9	76
	EMR	0	0	1	0	2	0	0	1	1	1	0	2	8
	ESD	0	1	2	2	2	1	1	2	0	0	1	3	15
	EUS	7	8	7	2	7	5	12	12	5	0	3	7	75
	EIS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	EVL	1	1	1	0	1	4	2	0	0	1	0	0	11
	PEG (造設)	0	1	2	1	0	0	0	2	3	4	3	1	17
	PEG (交換)	4	2	7	1	2	2	3	2	7	1	2	1	34
	止血術	5	1	2	2	4	6	6	3	4	4	3	2	42
	異物除去	1	1	2	2	1	0	1	1	0	0	2	1	12
	拡張術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ステント	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	イレウス管	0	1	1	2	4	7	5	2	1	3	1	4	31
	緊急 (時間外)	2	0	1	0	3	3	3	2	2	0	0	2	18
下部内視鏡	EUS	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	4
	ESD	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	4
	CF	163	123	124	160	145	149	143	150	148	129	137	153	1,724
	生検	61	35	46	53	38	49	45	42	36	28	38	40	511
	EMR	35	23	31	36	29	55	42	54	49	46	56	54	510
	止血術	4	1	1	1	7	2	4	2	5	2	1	1	31
	ステント留置	1	0	0	1	2	4	1	0	1	0	0	1	11
	異物除去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	拡張術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イレウス管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	緊急 (時間外)	1	0	0	0	2	0	2	1	0	0	0	2	8
ERCP他	ERCP	10	15	15	19	17	11	17	17	10	19	13	9	172
	EST	2	6	5	7	6	3	7	5	4	3	4	2	54
	結石除去	4	12	4	10	5	6	7	6	3	10	4	5	76
	ステント挿入	5	8	10	12	12	6	10	14	6	6	6	7	102
	ENBD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生検	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	4
PTCD他	PTCD	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	PTGBD	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	4
	肝生検	0	1	1	0	0	2	0	1	2	0	4	1	12
	PEIT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ステント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	瘻孔造影	5	2	2	1	3	2	1	1	4	1	0	4	26
	拡張術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポート植込術	2	1	3	2	0	1	0	2	0	0	1	2	14
	カプセル内視鏡	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	PICC	2	5	4	6	5	5	6	3	4	2	14	9	65
気管支鏡	ブロンコ	5	5	0	4	2	2	3	2	2	4	2	5	36
	生検	3	5	0	4	3	1	2	1	2	3	2	5	31
	EUS	2	2	0	3	0	1	2	0	0	1	2	3	16

24. カテーテル治療センター 月別検査・治療件数

カテーテル検査件数														
2024～25年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器系	CAG	17	16	9	16	9	20	5	13	13	14	7	18	157
	(FFR)	3	4	1	0	0	3	0	5	0	1	0	0	17
	(coroflow)	1	2	1	0	1	1	0	2	2	2	0	0	12
	(FFR Angio)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	7
	(NIRS+IVUS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	RHC	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	4
	PCI	10	10	9	13	7	9	5	5	13	12	5	11	109
	(IVUS)	4	4	7	11	6	6	4	4	9	10	3	10	78
	(OCT)	0	2	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	8
	(NIRS+IVUS)	5	4	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	21
	ロータブレーター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
	下肢AG	2	3	5	2	0	0	1	0	0	1	0	0	14
	EVT	1	2	5	1	0	0	1	0	0	1	0	1	12
	IVUS	0	1	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	6
	シャント造影	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	シャントPTA	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	Dimond Back	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	IVC フィルター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	EPS/ABL	1	0	3	0	0	1	0	1	2	2	2	0	12
	一時ペーシング	1	0	1	1	1	1	0	3	1	0	2	4	15
	IABP	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	1	1	8
	PCPS	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
	other	2	2	1	2	2	1	6	0	1	5	1	1	24
	緊急件数	11	8	5	9	4	12	2	4	4	5	3	6	73
	(em-CAG)	11	8	5	7	4	12	2	4	4	5	3	6	71
	(内、PCI)	7	6	5	5	4	6	2	4	4	4	2	5	54

25. 薬剤科 (1)処方箋枚数・剤数及び薬剤管理指導件数

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	年間合計
薬剤管理指導件数(合計)	199	378	377	406	539	438	551	751	683	532	488	603	495	5,945
薬剤管理指導料1件数(ハイリスク)	56	154	126	145	157	183	176	258	225	218	171	241	176	2,110
薬剤管理指導料2件数(通常)	143	224	251	261	382	255	375	493	458	314	277	362	316	3,795
退院時薬剤情報管理指導料件数	316	310	353	406	406	327	380	382	403	313	334	372	359	4,302
麻薬管理指導件数	4	3	5	5	3	6	8	9	16	13	10	5	7	87
病棟薬剤業務実施加算1	1,050	1,019	1,069	1,249	1,234	1,085	1,158	1,201	1,269	1,282	1,139	1,236	1,166	13,991
病棟薬剤業務実施加算2	147	129	108	179	185	166	151	196	266	278	233	170	216	1,294
連携充実加算 2024年6月～2025年1月までは、外来腫瘍化学療法診療料2を算定していた為、連携充実加算は未算定	42	37	0	0	0	0	0	0	0	0	31	24	11	134
退院時薬剤情報連携加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定薬剤治療管理料1	15	14	10	21	16	14	13	24	21	14	11	16	15.8	189
特定薬剤治療管理料2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
外来化学療法加算1件数	1	1	2	1	1	1	2	0	1	1	0	1	1	12
無菌製剤処理件数1(イ)	67	61	74	67	75	74	90	60	77	73	64	50	69	832
無菌製剤処理件数1(ロ)	12	17	3	8	6	6	8	5	7	3	4	10	7	89
無菌製剤処理件数2	134	163	141	272	230	200	227	298	253	193	279	290	223	2,680
後発医薬品指数 90%以上	93.0%	94.8%	95.8%	93.3%	93.3%	95.9%	96.7%	96.5%	95.9%	95.7%	95.1%	96.7%	95.2%	95.2%
後発医薬品カットオフ値 50%以上	58.0%	57.3%	57.2%	59.9%	57.9%	57.3%	56.4%	58.1%	59.8%	59.1%	59.5%	58.1%	58.2%	58.2%
院外処方箋発行枚数	5,244	5,183	4,821	5,349	5,208	4,932	5,264	5,050	5,438	5,022	4,698	5,171	5,115	61,380
院外処方箋発行率	97.1%	96.5%	96.7%	96.5%	96.5%	96.9%	97.0%	96.5%	94.7%	95.0%	96.7%	96.2%	96.4%	96.4%
時間外等院内処方枚数	154	188	162	196	187	156	159	184	307	264	158	207	194	2,322
時間外等院内処方1日平均枚数	5.1	6.1	5.4	6.3	6.0	5.2	5.1	6.1	12.8	8.5	5.6	6.7	6.6	79
時間外等院内処方剤数	203	272	214	292	270	227	211	260	467	428	230	302	281	3,376
時間外等院内処方1日平均剤数	6.8	8.8	7.1	9.4	8.7	7.6	6.8	8.7	15.1	13.8	8.2	9.7	9.2	111
入院処方箋枚数	3,140	2,589	2,791	3,260	3,110	3,006	3,032	3,366	3,586	3,100	3,070	3,297	3,112	37,347
入院処方箋1日平均枚数	104.7	83.5	93.0	105.2	100.3	100.2	97.8	112.2	115.7	100.0	109.6	106.4	102.4	1,229
入院処方箋剤数	6,257	4,896	5,016	4,994	5,550	5,605	5,876	6,335	7,149	6,775	6,775	5,932	5,930	71,160
入院処方箋1日平均剤数	208.6	158.0	167.2	161.1	179.0	186.8	189.5	211.2	230.6	218.5	242.0	191.4	195.3	2,344
注射処方箋枚数	3,281	3,214	3,582	3,454	3,352	2,919	3,042	3,230	3,556	3,522	3,067	2,975	3,266	39,194
注射処方箋1日平均枚数	109.4	103.7	119.4	79.2	108.2	97.3	98.1	107.7	114.7	113.6	109.5	96.0	104.7	1,257
TDM件数	2	14	10	13	14	3	3	7	10	6	5	6	7.8	93
TPN件数	14	0	2	8	4	17	7	17	16	11	1	4	8.4	101
持参薬鑑別件数	307	288	291	402	355	299	299	356	313	341	276	318	320.4	3,845
持参薬鑑別種類	2,433	2,316	2,477	3,218	2,972	2,198	2,524	2,784	2,607	2,550	2,224	2,471	2,565	30,774
持参薬処理(再調剤)件数	189	207	209	252	254	194	219	252	219	214	208	218	220	2,635
持参薬処理(再調剤)種類	1,003	1,169	1,217	1,470	1,501	1,086	1,305	1,487	1,303	1,172	1,195	1,274	1,265	15,182
入院化学療法注射箋枚数	17	23	15	17	14	13	16	13	19	29	16	13	17	205
外来化学療法注射箋枚数	64	66	62	58	66	67	79	55	60	52	51	45	60	725

(2)採用・削除医薬品集計

2024年度	新規採用医薬品数				小計	院外専用採用医薬品数			小計	合計	削除医薬品数				計
	内服剤	外用剤	注射剤	その他		内服剤	外用剤	その他			内服剤	外用剤	注射剤	その他	
2024年 4月	0	1	3	0	4	3	0	0	3	7	4	1	1	0	6
2024年 5月	0	0	4	0	4	1	0	0	1	5	0	0	2	0	2
2024年 6月	1	1	0	0	2	1	0	0	1	3	17	2	2	0	21
2024年 7月	2	0	3	0	5	4	0	0	4	9	0	2	4	0	6
2024年 8月	2	0	0	0	2	0	2	0	2	4	0	0	0	0	0
2024年 9月	2	0	1	0	3	4	4	0	8	11	0	2	2	0	4
2024年10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024年11月	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	0	0	3
2024年12月	2	0	1	0	3	3	0	0	3	6	2	1	0	0	3
2025年 1月	0	0	1	0	1	0	2	0	2	3	0	0	1	0	1
2025年 2月	0	0	0	0	0	4	0	0	4	4	0	1	2	0	3
2025年 3月	1	0	1	0	2	0	0	0	0	2	3	0	0	0	3
合計	10	3	14	0	27	20	8	0	28	55	28	10	14	0	52

(3)実務実習受入れ実績

なし

(4)学会発表・学術研修会参加実績

年月日	学会・研修会・勉強会名	主催・内容
2024年 5月19日	2024年教育研修委員会主催研修 ライフイベントと血糖管理～周術期&周産期～	日本くすりと糖尿病学会
2024年 5月23日	第32回三島圏域がん研究会	三島圏域がん研究会
2024年 5月23日～ 5月25日	日本薬剤師会第39年会	日本薬剤学会
2024年 6月 8日	第17回周術期管理チームセミナー	日本麻酔科学会
2024年 6月22日～ 6月23日	第13回東北ブロック学術大会	日本病院薬剤師会
2024年 6月27日～ 6月29日	第98回日本感染症学会学術講演会 第72回日本化学療法学会総会 合同学会	日本感染症学会 日本化学療法学会
2024年 7月20日～ 6月21日	第11回JADEC年次学術集会	日本糖尿病協会
2024年 8月11日	2024年教育研修委員会主催研修 糖尿病と医療DXを学ぶ	日本くすりと糖尿病学会
2024年 9月12日	第33回三島圏域がん研究会	三島圏域がん研究会
2024年 9月14日	関西支部周術期管理チームセミナー	日本麻酔科学会
2024年10月 4日～10月 6日	第28回日本心不全学会学術集会	日本心不全学会
2024年10月11日～10月13日	第26回骨粗鬆症学会	日本骨粗鬆症学会
2024年10月19日	2024年教育研修委員会主催研修 アドボカシー活動と腎症重症化予防について学ぶ	日本くすりと糖尿病学会
2024年10月26日	第62回日本糖尿病学会近畿地方会 第61回JADEC近畿地方会	日本糖尿病学会
2024年11月 2日～11月 4日	日本医療薬学会年会	日本医療薬学会
2025年 1月18日	令和6年度日本病院薬剤師会 医薬品安全管理責任者等講習会	日本病院薬剤師会
2025年 1月23日	第34回三島圏域がん研究会	三島圏域がん研究会
2025年 1月25日～ 1月26日	第46回日本病院薬剤師会近畿学術大会	日本病院薬剤師会
2025年 2月 8日	地域フォーミュラー合同研修会	一般社団法人 高槻市薬剤師会
2025年 2月11日	2025年教育研修委員会主催研修 1型糖尿病を持つ方への薬物療法支援～基礎編～	日本くすりと糖尿病学会
2025年 2月14日～ 2月15日	第40回日本栄養治療学会学術集会	日本栄養治療学会
2025年 3月 7日～ 3月 8日	第12回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会	日本脆弱性骨折ネットワーク
2025年 3月15日～ 3月16日	第14回日本臨床腫瘍学会学術大会2025	日本臨床腫瘍学会

(5)院内研修会開催実績

年月日	研修会名	研修内容	対象	研修方法
2024年 4月	採用者オリエンテーション	毒物・劇物の取扱いとその他の管理 薬剤(麻薬等)について	新入職員	バリテスト
2024年 7月22日～ 8月20日	医療安全研修	麻薬・向精神薬の取り扱いについて	全職員	バリテスト
2024年 7月22日～ 8月20日	感染対策研修	抗菌薬適正使用	全職員	バリテスト
2025年 1月27日～ 2月25日	医療安全研修	麻薬の取り扱いについて	全職員	バリテスト
2025年 1月27日～ 2月25日	感染対策研修	抗菌薬適正使用	全職員	バリテスト

(6)薬剤科内研修実績

年月日	研修内容	参加人数
2024年 9月26日	アミティーザカプセルについて	8
2024年10月 1日	アミティーザカプセルについて	9
2025年 1月30日	フォゼベル錠について	9
2025年 1月31日	フォゼベル錠について	8
2025年 2月14日	キドパレン輸液について	9
2025年 2月 7日	キドパレン輸液について	8
2025年 3月 7日	アブストラル舌下錠について	8
2025年 3月12日	アブストラル舌下錠について	9
2025年 3月13日	ジャイパーカ錠について	9
2025年 3月14日	ジャイパーカ錠について	8

26. 放射線科

(1)年間活動報告

学術研修会・参加実績・科内勉強会

年	月日	学術研修会・参加実績	年	月日	学術研修会・参加実績
2024	4月	ラジサポ web 講演会（富士製薬）	2024	10月	富士フィルムメディカル共催セミナー
	5月	ITEM ハイライトセミナー（SIEMENS）			Cyber DECT 8th カンファレンス
	6月	第116回南大阪 MRI 研究会（zoom）			シーメンス株 WEB セミナー CT 装置 被ばく管理とCTDI 測定の必要性（10/1）
		第26回東京 MAGNETOM 研究（Microsoft Teams）			Dr.K 腹部 CT 探偵読影__ CT lecture（10/5）
		第37回 GEHC CT 友の会			第99回福井 CT・MR 研究会（10/24）
		第23回九州沖縄医療情報技師会勉強会			第158回 Tokyo CT Technology Seminar（10/25）
		日本診療放射線技師会 告示研修			第5回関西島津ユーザー友の会
		第43回関西 SOMATOM 研究会			
	7月	第12回根本塾		11月	CXDI Webinar 2024@ キヤノンメディカルシステムズ（11/15）
		第71回関西 MAGNETOM 研究会			第4回関西 Nemoto 造影 CT 研究会（11/23）
		第22回鹿児島県医療情報システム研究会			イオプロミド注「BYL」WEB カンファレンスより円滑な造影 CT 検査を目指してーインシデント対策・タスクシェアなどー
		第21回中部医療情報技師会研究会			第7回湯 Q ミーティング
		西日本地区学術講演会～STAT 画像報告所見	12月		第10回岩手医療情報研究会
		日本診療放射線技師会 告示研修			第10回九州 GECT ユーザー会
		第74回日本病院学会			ecasebook 第五回心臓 CT 最前線 2025
		第10回 SART 学術ナイトセミナー	2025	1月	第2回医療安全セミナー
		2024 放射線診療フォーラム in Kyushu			ecasebook 第六回心臓 CT 再考
		BayerRadiologySeminar（7/23）			バイエル web カンファレンス「DoLESS.CARE_MORE.」
		BayerMedicalDialogueRadiology 心不全パンデミック時代の到来を踏まえた MRI/CT 撮影の意義を追求する（7/31）		2月	第105回 多摩画像研究会
	8月	ラジサポ web 講演会 No.18 フォトカウンティング CT・立位 CT の実際・応用			令和6年度 近畿地域診療放射線技師会学術大会 2/9
		三島地域医療イメージングフォーラム（東和会開催）			三島地域医療イメージングフォーラム（東和会開催）
		日本診療放射線技師会 告示研修			業務拡大状況報告会
		AI から免疫研究まで		3月	第29回近畿救急撮影セミナー
		第50回関西 CT 技術シンポジウム			第59回西播支部学術講演会
		普通救命講習			第15回福島救急撮影カンファレンス
	9月	WCCM in KYOTO 2024			第5回読影の補助（STAT）画像セミナー
		第4回読影の補助（STAT CT-MRI）画像セミナー			9th CyberDECTConfence
		イオプロミド注「BYL」WEB カンファレンス			20th CTTechnology 福山セミナー
		ラジサポ「F」Web 講演会			第32回南関東 SOMATOM 研究会
		第9回診療放射線技師 BRT セミナー			
		CT 装置 造影理論の実際 Part2[シーメンスヘルスケア株]			
	10月	日本心臓 CT 技術研究会 ラジサポ「F」Web2024	年	月日	放射線科主催院内研修
		第1回京都画像診断核医学講演会	2024	4月	放射線安全管理研修（新入職員）
		第104回多摩画像研究会	2025	2月	放射線業務従事者研修会
		JACTEC Web セミナー 2024		3月	第5回三島地域医療イメージングフォーラム

年	月日	科内勉強会
2024	4月	STAT 報告 12 月症例漏れ振り返り
	5月	STAT 報告 12 月症例漏れ振り返り
	6月	STAT 報告 1 月症例漏れ振り返り
		STAT 報告 2 月症例漏れ振り返り
	7月	肝臓撮影法追加 (truFi3D)
		検診 DXA 解析法解説
	8月	STAT 報告 2 月症例漏れ振り返り
	9月	STAT 報告ガイドラインへ変更 話し合い
		GE 社製 CT 最新のトピックス
	10月	ブロンコ (CT 仮想気管支作成) 話し合い
		CT オートリコン操作方法クチャー
	11月	穿刺講習 (前半組)
		STAT 報告 3 月症例漏れ振り返り
		新規採用サーフロー針概要説明会
2025	10月	穿刺時注意事項概要
	12月	穿刺講習 (後半組)
	1月	STAT 集計方法レクチャー
	2月	STAT 報告 3 月症例漏れ振り返り
	3月	STAT 報告 3 月症例漏れ振り返り
		放射線科ラダー話し合い

(2)月別 検査件数

一般撮影、マンモグラフィ検査件数

年月		総撮影件数	撮影人数	入院人数	外来人数	病室撮影	手術室撮影	MMG	骨塩定量	院内健診
2024	4月	2,838	1,860	531	1,329	206	35	34	76	482
	5月	3,244	2,077	545	1,532	142	40	56	62	2
	6月	3,276	2,116	583	1,533	123	41	63	66	9
	7月	3,383	2,252	604	1,648	151	37	59	76	0
	8月	3,401	2,180	650	1,530	211	47	44	70	1
	9月	3,351	2,172	566	1,606	179	34	56	76	0
	10月	3,589	2,258	614	1,644	210	53	97	75	421
	11月	3,575	2,266	730	1,536	205	47	70	75	3
	12月	3,582	2,252	688	1,564	225	34	60	79	0
2025	1月	3,366	2,237	753	1,484	270	33	45	88	0
	2月	3,385	2,162	660	1,502	202	50	40	79	0
	3月	3,699	2,324	742	1,582	193	37	41	101	0
合計		40,689	26,156	7,666	18,490	2,317	488	665	923	918

CT検査件数

年月		頭・頸		胸		胸-腹		腹		CTC		四肢・股		脊椎	乳腺		冠動脈		入院患者	紹介	単純	造影	総 件数		1日 平均
		P	E	P	E	P	E	P	E	P	E	P	E	P	E	P	E								
2024	4月	121	11	177	7	386	53	175	35	4	0	116	6	29	2	2	1	24	293	166	1,011	138	1,149	4月	46
	5月	137	12	190	4	368	62	204	22	2	0	137	2	34	0	2	1	29	327	169	1,073	133	1,206	5月	50
	6月	138	7	202	8	409	56	169	35	3	0	109	5	43	0	4	0	29	355	173	1,073	144	1,217	6月	49
	7月	183	11	230	1	482	66	210	20	5	0	109	2	26	0	1	1	25	436	157	1,246	126	1,372	7月	53
	8月	151	8	239	0	446	65	193	32	4	0	132	4	40	0	1	0	21	436	160	1,205	131	1,336	8月	51
	9月	146	13	208	3	407	51	212	33	6	0	126	2	40	0	3	0	25	386	177	1,145	130	1,275	9月	55
	10月	162	11	191	5	422	57	228	34	6	0	159	3	40	1	3	2	27	378	160	1,211	140	1,351	10月	52
	11月	152	7	206	2	413	55	178	30	4	0	147	2	64	0	1	0	23	382	149	1,164	120	1,284	11月	54
	12月	175	8	232	0	441	53	187	24	2	0	152	8	53	0	3	0	24	393	158	1,242	120	1,362	12月	57
2025	1月	111	8	199	5	415	59	178	21	4	0	143	3	43	0	3	2	39	385	132	1,095	138	1,233	1月	54
	2月	137	8	181	2	377	66	186	27	1	0	146	3	49	0	2	0	25	338	152	1,077	133	1,210	2月	55
	3月	129	11	182	2	404	55	174	26	2	0	174	3	55	0	2	1	35	335	148	1,121	134	1,255	3月	52
総件数		1,742	115	2,437	39	4,970	698	2,294	339	43	0	1,650	43	516	3	27	8	326	4,444	1,901	13,663	1,587	15,250	平均	52

MRI検査件数

年月		頭部・ 脳頸	頸部	乳腺	心臓	胸部	腹部	骨盤	脊椎	四肢	下肢 血管	総件数	紹介	単純	造影	入院		1日 平均
2024	4月	161	2	16	0	3	66	34	86	102	1	471	237	440	31	14	4月	18.8
	5月	160	5	20	0	3	69	27	94	87	2	467	218	429	38	30	5月	19.5
	6月	143	2	10	0	4	69	28	85	82	1	424	169	398	26	19	6月	17.0
	7月	157	5	9	2	2	54	22	111	92	0	454	223	432	22	30	7月	17.5
	8月	134	1	12	3	3	72	33	82	94	0	434	187	407	27	32	8月	16.7
	9月	125	1	15	0	1	80	18	89	88	0	417	182	393	24	18	9月	18.1
	10月	143	3	19	1	4	88	30	101	110	0	499	236	465	34	39	10月	19.2
	11月	150	4	20	2	1	63	30	92	91	3	456	218	419	37	27	11月	19.0
	12月	131	5	25	0	4	65	31	90	104	1	456	203	413	43	28	12月	19.0
2025	1月	122	3	25	0	4	59	32	71	74	1	391	176	342	49	22	1月	17.0
	2月	130	2	11	4	1	74	23	87	77	0	409	182	380	29	24	2月	18.6
	3月	140	8	11	4	3	78	30	87	99	2	462	199	435	27	27	3月	18.5
総件数		1,696	41	193	16	33	837	338	1,075	1,100	11	5,340	2,430	4,953	387	310	年間	18.2

透視撮影件数

年月	ERCP	イレウス管	PTGBD	PTCD	PICC	ポット	瘻孔	胃透視	注腸	肝生検	内科その他	ブロンコ	HSG	外科透視	整復	整形その他	泌尿器科系	耳鼻科	小児	合計
2024	4月	10	1	0	3	0	3	3	0	6	5	0	0	2	9	0	17	0	0	59
	5月	15	2	1	5	0	8	5	1	4	5	0	0	1	11	0	13	0	0	71
	6月	16	2	0	6	1	9	2	1	12	0	0	0	2	13	0	16	0	0	80
	7月	19	2	0	8	0	9	0	0	11	4	0	0	4	18	0	11	0	0	86
	8月	17	7	1	6	0	5	2	0	6	2	0	0	2	8	0	18	0	0	74
	9月	11	11	1	9	0	8	6	2	11	2	0	0	9	10	0	9	0	0	89
	10月	17	15	1	7	0	9	7	1	5	4	0	0	10	16	0	18	0	0	110
	11月	17	3	1	5	0	9	3	1	10	2	0	0	16	12	1	19	0	0	99
	12月	10	3	0	4	0	7	1	1	15	2	0	0	0	16	2	17	0	0	78
2025	1月	19	5	0	3	0	4	2	0	9	4	0	0	9	14	0	17	0	0	86
	2月	12	4	0	14	0	7	4	4	5	2	0	0	6	7	0	17	0	0	82
	3月	10	7	0	11	0	8	2	1	11	7	0	0	14	13	0	17	0	0	101
合計		173	62	5	81	1	86	37	12	105	39	0	0	75	147	3	189	0	0	1,015

カテーテル検査件数

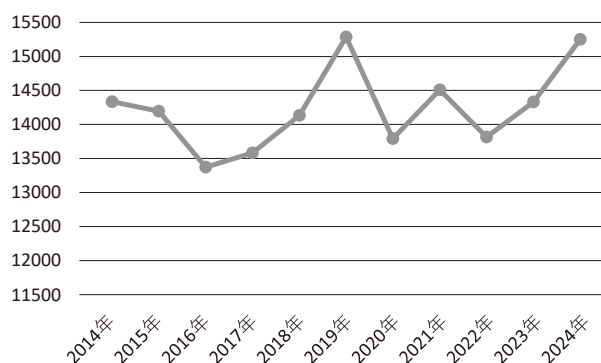
	2024									2025			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
CAG	17	16	9	16	9	20	5	13	13	14	7	18	157
(FFR)	3	4	1	0	0	3	0	5	0	1	0	0	17
(coroflow)	1	2	1	0	1	1	0	2	2	2	0	0	12
(FFR Angio)											2	5	7
(NIRS+IVUS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RHC	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	4
PCI	10	10	9	13	7	9	5	5	13	12	5	11	109
(IVUS)	4	4	7	11	6	6	4	4	9	10	3	10	78
(OCT)	0	2	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	8
(NIRS+IVUS)	5	4	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	21
ロータプレートター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
下肢AG	2	3	5	2	0	0	1	0	0	1	0	0	14
EVT	1	2	5	1	0	0	1	0	0	1	0	1	12
IVUS	0	1	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	6
シャント造影	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
シャントPTA	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
Dimond Back							1						1
IVCフィルター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EPS/ABL	1	0	3	0	0	1	0	1	2	2	2	0	12
一時ペーシング	1	0	1	1	1	1	0	3	1	0	2	4	15
IABP	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	1	1	8
PCPS	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
other	2	2	1	2	2	1	6	0	1	5	1	1	24
緊急件数	11	8	5	9	4	12	2	4	4	5	3	6	73
(em-CAG)	11	8	5	7	4	12	2	4	4	5	3	6	71
(内、PCI)	7	6	5	5	4	6	2	4	4	4	2	5	54

CT MRI 検査年度別 総検査件数と紹介検査件数と検査紹介率推移

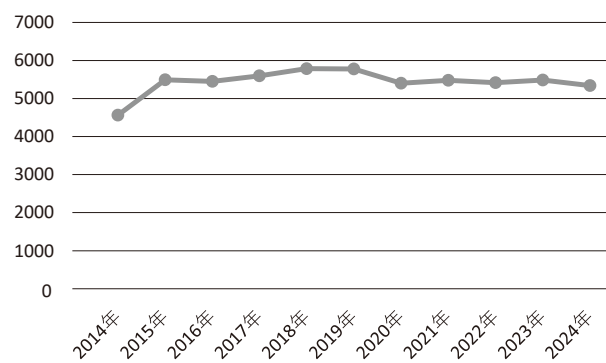
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
CT総件数	14,334	14,194	13,374	13,582	14,132	15,286	13,793	14,511	13,814	14,333	15,250
CT紹介	1,365	1,376	1,295	1,355	1,426	1,425	1,273	1,401	1,589	1,709	1,901
紹介率	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	12%	12%	12%
		MRI3T導入					CT装置更新				
MR総件数	4,564	5,489	5,448	5,595	5,786	5,773	5,399	5,476	5,417	5,486	5,340
MR紹介	1,237	1,740	1,810	2,106	2,251	2,313	2,212	2,399	2,493	2,524	2,430
紹介率	27%	32%	33%	38%	39%	40%	41%	44%	46%	46%	46%

※ 2023 年度は CT・MRI ともに紹介件数・紹介率が過去最高となった

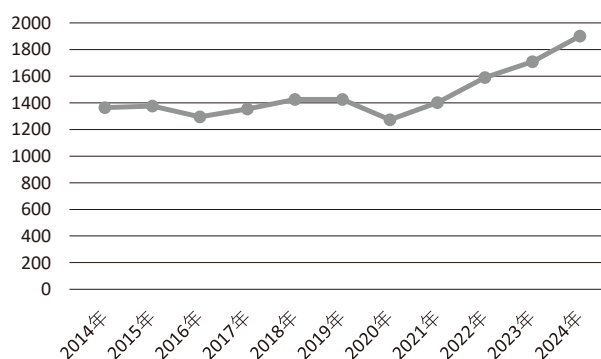
CT検査総件数



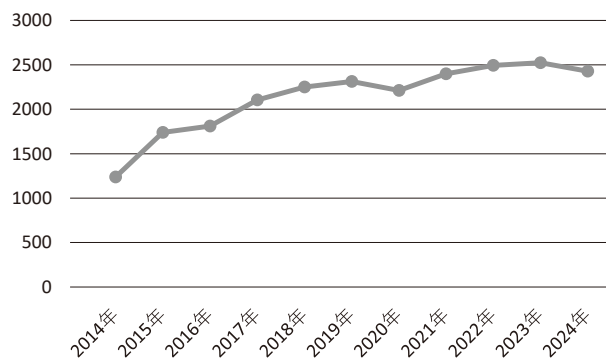
MR検査総件数



CT検査紹介件数



MR検査紹介件数



27. 臨床検査科

(1)年間活動報告

1) 学術集会、研究会、勉強会等 参加実績

開催日		研修会名	テーマ、主な内容	主催団体
2024年	4月 4日	企業主催勉強会	輸血WEBセミナー カラム凝集法	カイノス
	4月11日	企業主催勉強会	QuidelOrtho Webセミナー 第1回輸血検査の概論	オーソ
	4月18日	企業主催勉強会	前立腺がん診断能の向上に向けて～phiの有用性と今後の展望～	ベックマンコールター
	4月20日	企業主催勉強会	ヘモスタシスセミナー～フォン・ヴィレブランド病～	SYSMEX
	4月20日	企業主催勉強会	ヘモスタシスセミナー～VTEと血栓マーカー～	SYSMEX
	4月25日	企業主催勉強会	ユリナリスセミナーVol.3 異型細胞	SYSMEX
	4月26日	企業主催勉強会	血液形態カンファレンスVol.8 解説講演会	abbott
	5月 6日	企業主催勉強会	超音波webセミナー Let's start GLS 今からでも遅くない、はじめてみようGLS	CANON
	5月 6日	企業主催勉強会	知っていて損はない血栓関連マーカー 術後のDVTスクリーニング	SYSMEX
	5月 9日	企業主催勉強会	産科危機的出血への対応 血液疾患の訪問診療と在宅輸血	日本赤十字社
	5月 9日	企業主催勉強会	大阪府赤十字血液シンポジウム	日本赤十字社
	5月10日	企業主催勉強会	第2回QuidelOrtho Learning Program for immunohematology 2024 ABO血液型検査	オーソ
	5月29日	企業主催勉強会	血液形態カンファレンス Vol.8	abbott
	6月 8日	The Echo Live	The Echo Live 2024「ポジティブ志向心エコー」	The Echo Live
	6月 8日	日本臨床細胞学会主催勉強会	2024年春季細胞学会	日本臨床細胞学会
	6月12日	企業主催勉強会	Labマネジメントセミナー 精度管理のキホン～QCエラー発生、どう対処する?～	SYSMEX
	6月15日	企業主催勉強会	第3回RhD血液型検査	オーソ
	6月15日	企業主催勉強会	第50回SCANIC学術研究会	ベックマンコールター
	6月29日	関西心エコーリサーチクラブ	心エコー図で診る心不全治療におけるGDMTの有用性 等	関西心エコーリサーチクラブ
	7月 1日	企業主催勉強会	第4回ヘマトロジーテクニカルセミナー『血球減少症』	abbott
	7月24日	企業主催勉強会	尿一般検査項目を極めよう「潜血編」	アークレイ
	8月10日	企業主催勉強会	不規則抗体同定検査について解釈の仕方、検査方法、意義	オーソ
	8月11日	日本病理学会主催勉強会	110回日本病理組織技術学会	日本病理学会

2024年	9月 1日	日臨技主催勉強会	認定病理特定講習会	日臨技
	9月 2日	企業主催勉強会	シスメックスLabマネジメントセミナー ④分析装置管理と品質保証のためのITツール活用術	SYSMEX
	9月10日	企業主催勉強会	うまく使おう血球計数装置延長戦!!	SYSMEX
	9月12日	三島圏域がん研究会	「終末期鎮静において心理士ができること」「患者の鎮静の意思決定に関わる看護師の役割」「苦痛緩和のための鎮静」	三島医療圏がん診療協議会
	9月12日	企業主催勉強会	UF5000/UF-1500装置特徴を知る	SYSMEX
	9月19日	企業主催勉強会	尿分野LIVEカスタマートレーニング 測定結果から得られる情報…見方	SYSMEX
	9月20日	日本緑内障学会	ここまで見える、ここから魅せる!	日本緑内障学会
	9月21日	日本超音波検査学会	第51回関西地方会学術集会 ～ 今を勉め、明日を見通す～	日本超音波検査学会
	9月25日	大阪府主催勉強会	大阪府医療安全Webセミナー 当 院における肝炎ウイルス対策 等	大阪府
	9月26日	企業主催勉強会	データの解釈を深める	SYSMEX
	9月28日	企業主催勉強会	第1回TERAKOYA PSG	日本光電
	10月19日	企業主催勉強会	直接抗グロブリン試験 意義・主義・ 解釈	オーソ
	10月24日	他院主催勉強会	第1東和会病院臨床検査科 術前診断が困難であった多血肝腫 瘍の1症例	第1東和会病院
	10月25日	企業主催勉強会	sysmex hepatology seminar 当院におけるC型肝炎の現状把握 から現在まで 生活習慣病と肝炎	SYSMEX
	10月26日	企業主催勉強会	第五一回『SCANIC』学術研究会	ベックマンコールター
	11月 1日	企業主催勉強会	イムノロジーセミナー 2024 in TOKYO 認知症領域における臨 床検査技師の取り組み	SYSMEX
	11月 7日	企業主催勉強会	輸血webセミナー・気づきから始める 安全管理	カイノス
	11月14日	日本臨床眼科学会	未来への貢献	日本臨床眼科学会
	11月16日	企業主催勉強会	精度管理とは オーソDailyQCを用いて データの 解釈・再検方法	オーソ
	11月18日	企業主催勉強会	肺癌遺伝子パネル検査Flash Webnar	ノバルティスファーマ
	11月18日	大臨技主催勉強会	ICT部会定期講習会	大臨技
	11月23日	企業主催勉強会	SEKISUI-CSC基礎セミナー 精度 管理	積水メディカル
	11月23日	日本臨床細胞学会主催勉強 会	令和6年度ワークショップ	大阪府細胞検査士会

2024年	12月 1日	日本超音波検査学会	JSS関西 第40回地方会学術集会	日本超音波検査学会
	12月 8日	企業主催勉強会	検査業務の自動化効率化×ソリューションで実現	SYSMEX
	12月10日	企業主催勉強会	Labマネージメントセミナー Caresphereシリーズにおける精度管理機能	SYSMEX
	12月12日	企業主催勉強会	第10回道場山本「ちょっとこれっ教えて 陰性桿菌サマライズ編」	Gram Eye
	12月13日	企業主催勉強会	レジオネラ感染症の最新情報	極東製薬
	12月13日	企業主催勉強会	百日咳菌 オンデマンドセミナー(再配信)	極東製薬
2025年	1月10日	大臨技主催勉強会	病理細胞検査部門 病理細胞診特別講習会	大臨技
	1月11日	他院主催勉強会	がん分子病理セミナー2025	徳洲会病理部門
	1月18日	企業主催勉強会	シスメックスヘモスタシスセミナー2025in TOKyO	SYSMEX
	1月24日	三島圏域がん研究会	がん患者の自殺予防対策講演会	三島医療圏がん診療ネットワーク協議会
	1月25日	企業主催勉強会	第6回SDC感染症研究会	島津ダイアグノスティックス
	1月30日	企業主催勉強会	第4回general sonographer's seminar eason2	GE ヘルスケア
	2月 9日	日本心臓病学会 教育セミナー	第63回ファンダメンタル・コース	日本心臓病学会
	2月 9日	大臨技主催勉強会	病理細胞検査部門 大阪病理技術研究会	大臨技
	2月15日	企業主催勉強会	災害時におけるPOCTによる臨床検査支援活動	オーソ
	2月16日	日本心臓病学会 教育セミナー	第49回アドバンス・コース	日本心臓病学会
	2月21日	日本病理学会主催勉強会	病理技術向上講座、びわ湖細胞病理チュートリアル	日本病理学会
	2月26日	日臨技主催勉強会	第1回認定寄生虫制度Webセミナー	日本臨床一般検査学会
	2月26日	企業主催勉強会	オーソテクニカルセミナー メンテナンス講習	オーソ
	2月27日	企業主催勉強会	生化学・免疫 診断治療 プロカルシトニン	オーソ
	3月 1日	日本臨床細胞学会主催勉強会	大阪府臨床細胞学会第49回学術集会	大阪府臨床細胞学会
	3月 9日	日本病理学会主催勉強会	第111回日本病理技術学会、臨時総会	日本病理技術学会
	3月13日	企業主催勉強会	消化管エコーセミナー「IBD診療にエコーを活かす」	CANON
	3月14日	企業主催勉強会	今後の輸血検査技師に求められること	オーソ
	3月16日	企業主催勉強会	超音波のレクチャー企画 Meet the Expert IN 大阪	GE ヘルスケア

2) 学術集会、研究会、勉強会等発表、講演実績

開催日		上段：学会、研修会名(開催場所)、中段：演題名、下段：○発表者、共同演者
2024年	1月19日	第16回院内学会(大阪) 満足度に影響する項目の調査 ～満足度向上に向けて～ ○里 もみじ

3) 臨床検査臨地実習受け入れ実績

開催日		要請団体	視察内容	人 数
2024年	11月25日～ 3月 5日	玉田学園 神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科	臨床検査業務全般の実習	1名

4) 他施設視察、研修実績

開催日		視察先	視察内容	主催団体
2024年度		無し		

5) 科内勉強会実績(外部招聘)

開催日		テーマ、内容	主催団体、講演者
2024年	5月24日	ISOと改善活動	オーソ
	8月 1日	肝炎フォローアップ	アボット
	9月20日	Alinity統合機説明	アボット
	10月24日	三島地域臨床検査研究会	第一東和会病院
	10月30日	睡眠時無呼吸検査	フクダ電子
	12月 3日	生化学・免疫機器の各社性能	シノテスト
2025年	1月 8日	採血管準備装置説明	小林クリエイト
	1月16日	採血管準備装置説明	テクノメディカ
	1月29日	検査システムUpdate内容の説明	SYSMEX
	2月 6日	三島地域臨床検査研究会	当院臨床検査科

6) 科内勉強会実績(当院臨床検査技師)

開催日		テーマ、内容	担当検査技師
2024年	4月	TPLA・RPR	室 智之
	5月	呼気NO濃度	下村 悠姫
	6月	中心静脈点滴と検査結果	坂本 律子
	7月	採血時の神経損傷	林 昭宏
	8月	VEXUS症候群疑い症例	石原 美桜里
	9月	毒劇物(ホルマリン)の取扱い	松本 仁
	10月	肝障害を伴うウイルス感染症	山村 佳子
	11月	ペースメーカー	宜保 明李
	12月	心停止時の血ガスデータ	田中 勇希
2025年	1月	職員満足度(院内学会)	里 もみじ
	2月	血圧	乾 建介
	3月	肺塞栓症	吉川 黎

7) 新規採用、及び更新機器

設置日		機器名称	規格・形式	メーカー
2024年	9月	判定用卓上遠心分離器	KA-2200	KUBOTA
	12月	全自動遺伝子解析装置	SmartGene	ミズホメディー
2025年	3月	滑走式マイクローム	REM-710-SB	大和光機

8) 新規実施検査項目

開始日		項目名称	使用検査機器	メーカー
2024年	12月	マイコプラズマPCR法	SmartGene	ミズホメディー

9) 精度管理・情報管理

①外部精度管理

施行月		主催団体	内容・項目	評点
外部団体による臨床検査精度管理調査				
2024年	6月	日本臨床検査技師会	臨床検査項目全般	(A+B) 99.6%
	9月	日本医師会	臨床検査項目全般	97.5点
	11月	大阪府医師会	臨床検査項目全般	95.5点
試薬・機器メーカーによる精度管理調査				
2024年	6月	CANON社	脂質、腎、糖尿病関連項目	
	6月	関東化学社	酵素系項目	
	7月	極東製薬工業社	梅毒TPLA・RPR	
	9月	SYSMEX社	止血	
	10月	シーメンス社	血液ガス項目	
	12月	シノテスト	UIBC	
2025年	3月	ニッポーコー社	CRP、PreALB、U-ALB	
試薬メーカーによる精度管理データ統計分析				
年12回		シスメックス社(QAP)	血液検査、生化学検査項目	
年12回		シーメンス社(シーメンスQC)	血液ガス項目	
年12回		シスメックス社(CA-NETTII)	CBC・止血機能検査項目	

②内部精度管理

施行日		対象	内容・項目
毎 日		各種検査機器	標準物質を用いた各種検査機器の精度管理

③情報管理

施行日		対象	内容・項目
毎 月		院内感染情報	臨床検査部門サーベランス
毎 月		院内感染情報	耐性菌検出状況
毎 月		院内感染情報	結核菌検出状況
毎 月		血液製剤使用統計情報	RBC、FFP、PC、自己血等使用数、廃棄数

10) 治験・共同研究項目

開始日		治験・共同研究名称	実施検査
2021年	10月	PEMA-CORE研究	対象患者なし

(2)月別 検体検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
総検査件数 (注1)	2024	102,414	90,623	90,948	99,873	97,584	90,311	101,435	96,499	95,235	95,414	85,785	92,856	1,138,977
	2023	100,271	92,328	99,493	98,309	103,983	98,299	99,258	94,978	97,955	94,140	92,781	93,901	1,165,696
外来検査件数	2024	62,841	64,727	62,378	68,550	66,190	62,638	67,297	65,025	93,563	64,023	57,427	65,286	799,945
	2023	62,424	65,306	68,488	68,205	68,321	64,294	63,758	65,138	65,512	61,119	63,402	63,740	779,707
入院検査件数	2024	26,089	22,874	24,832	27,922	28,414	23,997	25,646	27,302	28,756	28,889	25,677	25,138	315,536
	2023	25,524	23,989	27,554	26,602	32,751	30,557	27,291	26,385	29,713	30,355	26,941	27,903	335,565
ドック、健診	2024	13,484	3,022	3,737	3,401	2,980	3,676	8,492	4,172	2,916	2,502	2,681	2,432	53,495
	2023	12,323	3,033	3,451	3,502	2,911	3,448	8,209	3,455	2,730	2,666	2,438	2,258	50,424
院内検査件数	2024	87,690	86,025	86,283	95,375	93,392	85,686	92,064	91,454	91,509	91,723	82,280	89,383	1,072,864
	2023	86,576	87,425	94,129	93,407	99,793	93,702	90,282	90,497	94,083	90,391	89,271	90,741	1,100,297
委託検査件数	2024	14,724	4,598	4,665	4,498	4,192	4,625	9,371	5,045	3,726	3,691	3,505	3,473	66,113
	2023	13,695	4,903	5,364	4,902	4,190	4,597	8,976	4,481	3,872	3,749	3,510	3,160	65,399
検査依頼患者数	2024	5,260	4,662	4,687	5,319	5,246	4,723	5,532	5,074	5,276	5,227	4,574	4,892	60,472
	2023	5,389	4,699	5,055	5,078	5,422	5,180	5,263	4,850	5,043	4,901	4,727	4,812	60,419
至急検査件数	2024	2,654	2,580	2,497	3,005	2,969	2,738	2,866	2,808	2,903	2,860	2,490	2,731	33,101
	2023	2,619	2,640	2,776	2,898	3,134	3,062	2,709	2,782	2,960	2,764	2,697	2,825	33,866
委託検査率 (%)	2024	14.4	5.1	5.1	4.5	4.3	5.1	9.2	5.2	3.9	3.9	4.1	3.7	5.8
	2023	13.7	5.3	5.4	5.0	4.0	4.7	9.0	4.7	4.0	4.0	3.8	3.4	5.6
至急検査率 (%)	2024	50.5	55.3	53.3	56.5	56.6	58.0	51.8	55.3	55.0	54.7	54.4	55.8	54.7
	2023	48.6	56.2	54.9	57.1	57.8	59.1	51.5	57.4	58.7	56.4	57.1	58.7	56.1

(注1) 総検査件数:生理機能、微生物、細胞診、病理、輸血をのぞく
4月・10月の職員健診を委託件数に含む
至急件数に救急外来の一部を含まない

(3)月別 その他検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
血液製剤依頼件数 (注2)	2024	43	36	38	66	63	51	64	93	69	54	59	45	681
	2023	65	66	56	44	59	58	45	55	69	62	51	63	693
自己血件数 (注2)	2024	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	2	7
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
微生物検査件数	2024	1,104	1,149	1,150	1,369	1,288	1,173	1,261	1,359	1,486	1,246	1,106	1,236	14,927
	2023	1,138	1,151	1,243	1,258	1,473	1,410	1,315	1,170	1,421	1,147	1,155	1,300	15,181
生理機能検査件数	2024	2,031	1,788	1,953	2,076	1,778	1,742	2,204	2,032	1,857	1,902	1,749	2,029	23,141
	2023	1,837	1,715	1,885	1,901	1,811	1,739	2,122	1,823	1,915	1,754	1,822	1,932	22,256
病理検査件数	2024	208	175	165	198	193	196	236	238	215	193	230	238	2,485
	2023	190	197	184	198	226	182	214	204	220	194	199	215	2,423
迅速病理検査件数	2024	7	8	10	9	8	10	13	11	5	12	13	13	119
	2023	7	6	9	8	8	4	6	2	5	7	4	5	71
迅速細胞診件数	2024	2	4	3	2	3	5	8	9	4	8	7	7	62
	2023	2	5	6	4	5	1	5	3	3	7	4	2	47
産婦人科 細胞診件数	2024	73	95	86	98	96	98	133	117	68	82	114	100	1,160
	2023	76	92	88	97	88	94	117	114	85	75	93	71	1,090
その他 細胞診件数	2024	34	40	31	33	35	17	36	34	103	33	38	31	465
	2023	37	28	37	33	37	43	42	38	32	30	33	31	421

(注2) 輸血、自己血:1依頼書1件

(4) 月別 生理機能検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
心電図	2024	1,227	958	1,032	1,119	939	964	1,275	1,088	1,007	1,027	910	1,068	12,614
	2023	1,171	943	1,050	1,034	1,033	919	1,228	984	1,023	914	933	931	12,163
歩行負荷心電図	2024	18	14	7	10	9	12	9	9	2	10	7	7	114
	2023	9	10	9	4	11	12	15	6	14	14	14	6	124
ホルター心電図	2024	26	22	29	20	18	19	22	18	25	15	22	29	265
	2023	36	29	33	17	24	21	22	26	15	22	31	31	307
24時間血圧測定	2024	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3
	2023	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
心臓エコー	2024	221	216	223	242	219	210	255	260	241	251	224	265	2,827
	2023	217	219	253	264	256	213	230	247	257	214	256	234	2,860
経食道エコー	2024	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	5
	2023	1	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	7
ストレスエコー	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
トレッドミル	2024	2	2	5	3	2	1	3	8	3	2	4	1	36
	2023	5	5	4	3	2	1	1	3	2	5	5	3	39
脳波	2024	3	3	3	3	2	1	1	2	2	2	3	2	27
	2023	4	2	4	2	3	3	0	1	6	3	0	2	30
肺機能検査	2024	130	120	163	179	155	158	180	178	163	161	158	169	1,914
	2023	21	110	155	166	145	160	178	145	149	147	158	197	1,731
気道可逆試験	2024	1	1	0	1	0	0	3	0	2	0	0	1	9
	2023	0	0	0	2	0	1	0	0	2	0	0	0	5
ABI(血圧脈波)	2024	45	65	83	54	49	27	39	38	42	34	49	69	594
	2023	48	44	34	41	53	33	47	42	55	51	46	61	555
SRPP	2024	4	3	3	2	2	2	6	7	7	8	6	3	53
	2023	3	1	1	3	2	1	3	2	5	0	2	2	25
頸動脈エコー	2024	26	30	47	21	20	18	28	30	20	24	31	39	334
	2023	36	26	21	21	28	17	35	14	31	27	23	41	320
腹部エコー	2024	68	73	74	97	91	87	91	100	87	81	84	93	1,026
	2023	60	61	81	80	77	92	72	81	76	79	82	99	940
甲状腺エコー	2024	31	25	21	32	18	28	27	26	29	33	23	31	324
	2023	13	20	17	21	25	15	20	13	23	26	23	18	234
下肢静脈エコー	2024	39	44	66	61	47	24	30	19	21	21	23	23	418
	2023	36	57	56	41	41	49	44	59	51	37	45	55	571
術前下肢静脈エコー	2024	48	63	72	61	64	73	85	78	60	79	74	83	840
	2023	66	59	53	91	76	73	90	70	86	75	70	84	893
その他エコー	2024	4	4	4	0	1	1	3	4	1	3	1	1	27
	2023	3	6	3	6	3	4	4	2	2	2	3	4	42
純音聴力測定	2024	84	86	83	111	98	85	101	116	99	96	91	98	1,148
	2023	87	93	97	84	9	100	102	108	99	99	95	118	1,091
チンパノメトリー	2024	8	7	13	16	17	8	14	20	7	12	10	13	145
	2023	4	14	5	9	11	9	12	8	7	10	8	7	104
耳小骨筋反射測定	2024	8	5	3	7	3	2	5	6	8	5	6	6	64
	2023	6	7	4	4	5	5	5	3	3	4	2	7	55
電気味覚検査	2024	3	0	0	1	1	2	1	2	4	1	4	4	23
	2023	2	1	0	2	1	0	2	1	1	1	0	3	14
語音聴力測定	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	2023	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	5
耳鳴検査	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

自記オーディオ	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
睡眠時無呼吸試験	2024	2	4	1	0	0	2	1	2	3	3	2	1	21
	2023	3	2	0	3	0	3	4	4	2	1	0	0	22
終夜睡眠 ポリグラフィー	2024	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	7
	2023	1	2	0	0	1	1	3	2	1	0	1	2	14
CPX 心肺運動負荷試験	2024	3	5	3	4	4	0	2	0	6	1	1	1	30
	2023	4	3	3	2	2	5	3	2	5	2	4	1	36
呼気NO検査	2024	30	35	18	32	18	16	22	21	16	32	14	17	271
	2023										19	21	26	66

(5)眼科機器別検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
視力検査	2024	388	390	375	415	348	354	410	425	415	419	406	349	4,694
	2023	421	401	470	415	395	395	395	415	403	349	378	389	4,826
眼圧検査	2024	416	407	415	449	364	358	433	447	437	428	424	363	4,941
	2023	429	405	473	418	401	406	407	433	418	364	396	417	4,967
Goldmann視野計	2024	18	18	18	25	11	13	13	21	14	16	17	12	196
	2023	35	22	21	20	15	25	25	25	14	12	13	16	243
Humphrey視野計	2024	21	23	24	25	17	26	21	18	17	16	25	21	254
	2023	22	16	33	31	33	30	26	30	20	18	16	27	302
眼位 (HESS)	2024	12	11	5	7	10	6	5	7	7	11	4	4	89
	2023	13	8	15	10	5	10	16	25	16	10	11	13	152
中心CFF	2024	3	5	5	1	2	1	5	6	2	7	4	0	41
	2023	8	8	4	1	1	4	3	5	5	5	4	2	50
スベキュラー マイクロスコープ	2024	17	15	17	20	8	17	25	28	17	10	12	14	200
	2023	18	25	19	10	11	9	20	17	12	15	17	13	186
アムスラーチャート	2024	0	1	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	6
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
眼軸長測定 (IOLマスター・Aモード)	2024	12	14	15	18	5	17	22	27	16	10	12	14	182
	2023	14	20	17	7	10	7	17	15	10	14	15	14	160
Bモード	2024	0	0	0	3	1	0	0	1	1	5	1	3	15
	2023	0	1	2	3	2	1	0	6	3	2	1	1	22
光干渉断層計	2024	167	190	169	213	152	176	203	159	178	169	166	130	2,072
	2023	186	200	224	195	188	197	186	198	182	172	182	164	2,274
眼底カメラ	2024	67	58	68	78	68	66	70	110	134	108	109	105	1,041
	2023	72	70	73	63	55	54	54	62	51	50	54	51	709
蛍光眼底造影 (FA・IA)	2024	13	4	2	6	7	3	3	3	6	1	1	7	56
	2023	2	6	2	3	4	5	5	1	9	4	7	0	48
自発蛍光撮影	2024	0	2	1	2	1	0	0	0	2	0	0	1	9
	2023	2	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	7
光干渉断層 血管撮影	2024	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5
	2023	2	0	1	0	3	2	4	1	2	0	1	2	18

(6)臨床検査科設置主要機器一覧

分類	機器名称	規格・形式	メーカー
検体検査部門			
システム	検体検査システム端末	Caresphere LWS、QM	C.N.A
一般	全自動尿中有形成分分析装置	UF-5000	Sysmex
	全自動尿分析装置	AX-4061	ARKREY
	全自動血液ガス分析装置	RapidPoint 500e	SIEMENS
血液・輸血	全自動血液型分析装置	Vision	Ortho-Clinical Diagnostics
	多項目自動血球測定装置	XR-1000	Sysmex
	全自動血液凝固測定装置	CN-6000	Sysmex
	全自動赤沈計	Smart Rate20	常光
生化・免疫	生化学自動分析装置	JCA-BM9130	日本電子
	生化学自動分析装置	DimensionXpandplus	SIEMENS
	血中アンモニア測定装置	ポケットケムBA PA-4140	アークレイ
	全自動免疫化学発光測定装置	cobas e 601	Roche
細菌検査部門			
細菌	微生物総合管理システム端末	SMILE	SIEMENS
	細菌自動分析装置	WA DxM1040	BECKMAN COULTER
	全自動血液培養装置	BACT/ALERT 3D	BIOMERIEUX JAPAN
PCR	全自動遺伝子解析装置	GeneXpertシステムGX-II	BECKMAN COULTER
	全自動遺伝子解析装置	SmartGene	ミズホメディ
	新型コロナウイルス遺伝子検査機器	ID NOW	Abbott
	リアルタイム濁度測定装置	Loopamp	栄研
	新型コロナウイルス遺伝子検査機器	Liat	Roche
生理機能検査部門			
生理	自動解析心電図計	Cardiomax8 FCP-8800等	フクダ電子
	デジタルホルター記録器	FM-1300等	フクダ電子
	電子式スパイロメーター	spiro sift SP370	フクダ電子
	呼気NO濃度測定器	NObreathV2	原田産業
	ABI測定装置	form PWV/ABI	コーリン
	皮膚灌流圧測定装置	Nahri MV monitor	NEXIS
	脳波計	EEG-1200	日本光電
	簡易型睡眠評価装置	LS-140	フクダ電子
	終夜睡眠ポリグラフシステム	Alice 6 LDE	PHILIPS-RESPIRONICS合同会社
	トレッドミルベルト	MAT-2700	フクダ電子
	全自動血圧脈波計	tangoM2	フクダ電子
エコー	超音波診断装置(循環器)	vivid E95	GE
	超音波診断装置(循環器)	vivid S60	GE
	超音波診断装置(循環器)	vivid S60	GE
	超音波診断装置(循環器)	vivid S70	GE
	超音波診断装置(循環器)	vivid S5	GE
	携帯型超音波診断装置(汎用)	Vscan Extend	GE
	超音波診断装置(腹部・体表臓器)	Logiq S8	GE
	超音波診断装置(腹部・体表臓器)	Logiq P6	GE
聴力	オーディオメータ	AA-M1A	RION
	インピーダンスオーディオメータ	RS-22	RION
	電気味覚測定装置	TR06	RION

設置場所	機器名称	規格・形式	メーカー
CPx	運動負荷心電図測定装置	STS-2100	日本光電
	運動負荷血圧監視装置	tangoM2	エス・エム・アイ・ジャパン
	エルゴメータ	STB-3400	日本光電
	呼気ガス分析装置	エアロモニタAE310s	ミナト医科学
病理検査部門			
病理	迅速凍結切片作成装置	Polar-D	サクラファインテックジャパン
	滑走式ミクロトーム	REM-710-SB	大和光機
眼科検査部門			
眼科検査室	マルチファンクションレフラクトメーター	MR-6000	TOMEY
	字づまり視力検査器	CV-5000	TOMEY
	スペキュラーマイクロスコープ	EM-4000	TOMEY
	レンズメーター	TL-7000	TOMEY
	近代式中心フリッカー値測定器		ヤガミ
	超音波画像診断装置	UD-8000	TOMEY
	眼軸長・角膜厚測定装置	AL-4000	TOMEY
	IOLマスター	500	ZEISS
	ハンフリーフィールドアナライザー	HFAⅢ 840	ZEISS
	ゴールドマン視野計		イナミ
	HESS	ヘススクリーンMKⅡ	ジャパンフォーカス
	共焦点走査型ダイオードレーザ検眼鏡	Mirante	NIDEK
	アイケア	ic200	エムイーテクニカ

28. 臨床工学科

(1)業務

2024 年度（2024 年 4 月～ 2025 年 3 月）における臨床工学科の主な業務内容を示す。

臨床工学科では医療機器を介する連携業務を軸とし、カテーテル治療センター、内視鏡センターでは介助業務などを実施。また 2024 年 1 月 23 日より手術室業務を新たに開始した。

- ① 血液浄化センター 関連業務
- ② 病棟・ICU 関連業務
- ③ 人工呼吸器及び麻酔器 関連業務
- ④ 輸液ポンプ、シリンジポンプなど ME 機器管理（貸出／返却、日常／定期／保守点検）関連業務
- ⑤ カテーテル治療センター 関連業務
- ⑥ ペースメーカー（植込術・外来）関連業務
- ⑦ 内視鏡センター 関連業務
- ⑧ ME 管理機器（保守／定期／日常）点検、修理等の機器管理業務
- ⑨ 手術室 関連業務

(2)医療機器 安全管理体制

2024 年度 臨床工学科における管理医療機器は総数 742 台となっている。内訳は、輸液ポンプ 85→91 台（内 Drip Eye20 台、内 PCA 用ポンプ 1 台）、シリンジポンプ 70→86 台（内 PCA 用ポンプ 3 台）、除細動器 12 台、人工呼吸器 12 台（内、ServoS 4 台、Servoi 1 台、V60 3 台、Airvo2 3 台、ParaPAC 1 台、なお NIP-V および ASV はレンタル機のため含めず）、補助循環装置 3 台（ECMO1 台、IABP2 台）、血液浄化関連装置 11 台（透析用監視装置 8 台、供給装置 1 台、溶解装置 1 台、透析用水作成装置 1 台）、麻酔器 5 台、生体情報モニター（セントラルモニター 10 台、ベッドサイドモニター 112 台、送信機 82→81 台）、手動式血圧計 122→127 台、パルスオキシメーター 138→142 台 等となった。昨年度は管理医療機器の総数が 645→742 台と約 100 台増加した。機器として故障して補充をしていなかった輸液ポンプやシリンジポンプをはじめ、病棟などで配置している個数分だけでは足りなくなり、新規購入した手動式血圧計、パルスオキシメーターなどが挙げられる。

当院における特定保守管理医療機器のうち保守点検が必要とされる機器は、①補助循環装置（ECMO・IABP） ②人工呼吸器 ③血液浄化装置 ④除細動装置（AED を除く）であり、保守点検計画を策定し実施した。その他の機器の保守点検として、⑤輸液ポンプ ⑥シリンジポンプ ⑦麻酔器 ⑧モニター（関連機器を含む） ⑨その他 の保守点検計画を策定し実施した。

2024 年度における各機器の定期点検・保守点検回数を下記表 1.～2. に示す。表 1. 表 2. に機種毎の定期点検・保守点検数、表 3. に臨床工学科へ依頼された修理依頼数およびメーカー修理依頼数を記した。

表1. 特定保守管理医療機器の(定期/保守)点検数

2024～25年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①補助循環装置(ECMO・IABP)	11/0	9/0	6/0	9/1	15/0	9/0	6/0	9/0	6/0	9/0	6/0	3/1	98/2
②人工呼吸器	14/0	9/0	10/0	16/0	18/5	13/0	18/0	13/0	16/3	29/0	12/0	24/0	192/8
③血液浄化装置	26/0	27/11	25/0	27/3	27/11	25/0	27/0	26/10	26/0	27/1	24/11	26/0	313/47
④除細動器	0	4	4	2	0	0	0	10	1	0	0	3	24

※血液浄化装置：RO装置の日常、定期点検を含む

※除細動器：院内ME保守点検数

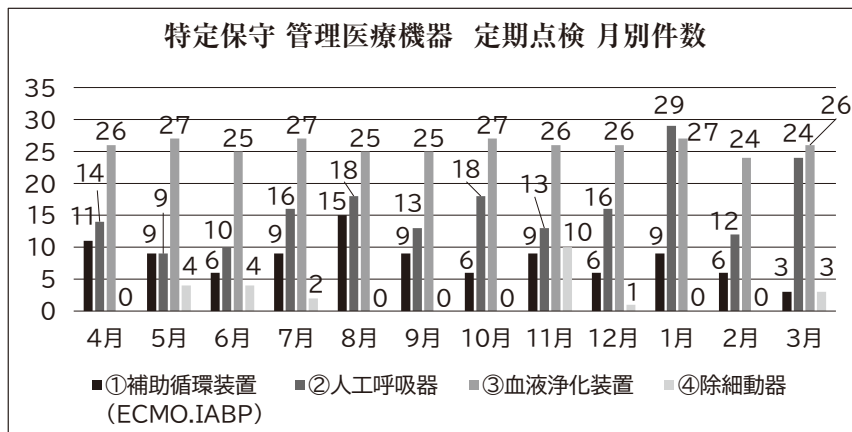


表2. その他 医療機器の(定期/保守)点検数

2024～25年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
⑤輸液ポンプ	96/13	102/5	91/5	145/9	146/11	100/8	127/6	132/4	116/1	131/2	139/6	116/2	1,668/72
⑥シリンジポンプ	91/7	81/7	79/0	79/5	98/7	104/7	56/0	104/7	66/2	91/5	80/4	65/0	994/51
ドリップアイ	74/0	83/1	89/3	79/2	92/1	90/3	84/3	84/1	84/0	93/0	63/2	64/0	986/16
⑦麻酔器	20/0	20/0	20/0	20/0	20/5	20/0	20/0	25/0	20/0	20/0	20/0	25/0	250/5

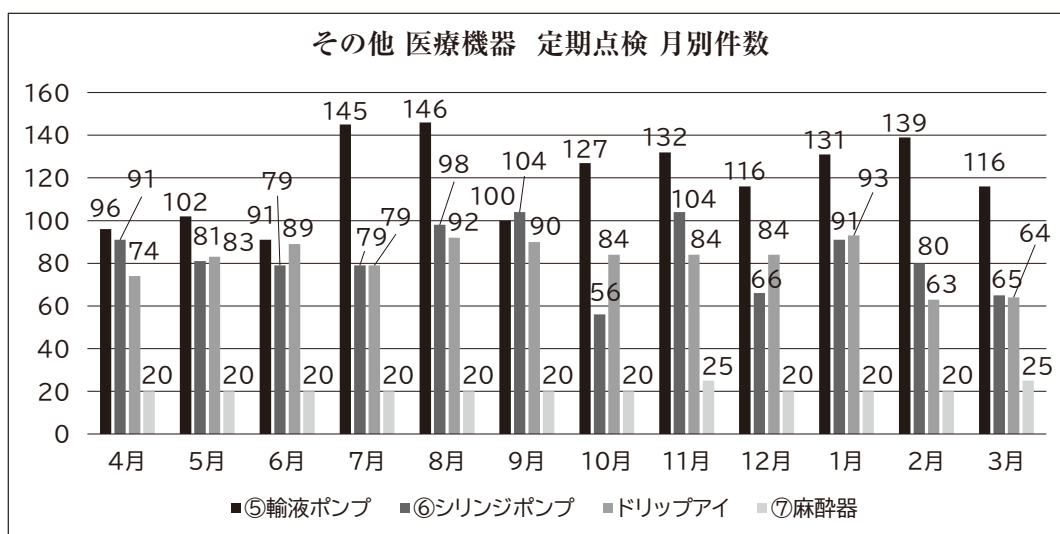
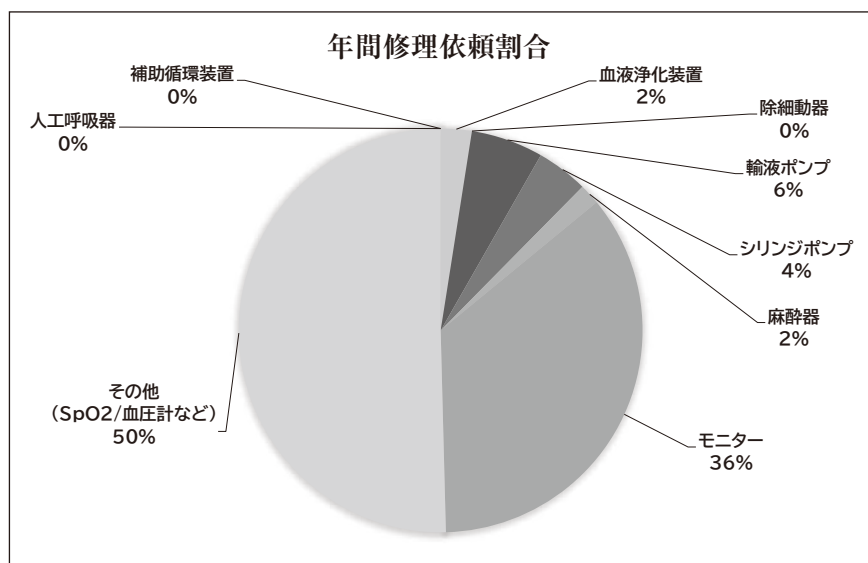


表3. 年間修理依頼数（上段：院内ME対応 下段：メーカー修理依頼）

2024～25年	修理数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
補助循環装置 (ECMO・IABP)	院内ME	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メーカー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人工呼吸器	院内ME	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メーカー	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
血液浄化装置 (関連機器含む)	院内ME	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	メーカー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
除細動器	院内ME	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メーカー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
輸液ポンプ	院内ME	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	5
	メーカー	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
シリンジポンプ	院内ME	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	メーカー	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
麻酔器	院内ME	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メーカー	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
モニター (関連機器含む)	院内ME	2	1	2	1	0	7	3	2	4	5	5	7	39
	メーカー	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	4
その他 (SpO2/血圧計など)	院内ME	4	4	5	7	5	3	5	6	4	6	2	10	61
	メーカー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



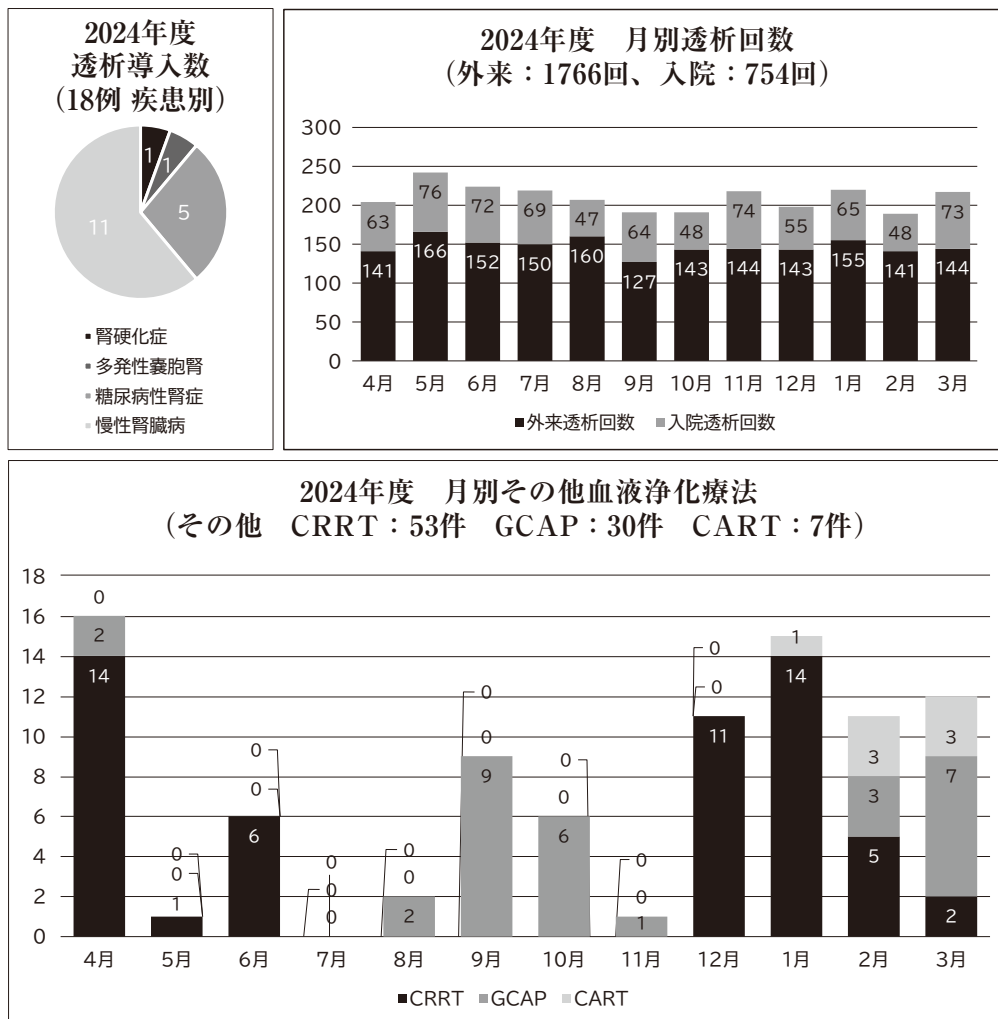
(3)血液浄化室業務

2024 年度における血液浄化療法件数を下図に記す。

血液浄化センターでは 2022 年 5 月にオンライン HDF を開始以降、新たな血液浄化法への取り組みを実施しており、2024 年 2 月には I-HDF、同年 10 月に BV-UFC を開始した。また、複数回に渡って勉強会を実施し、手順書等資料の作成に取り組んだ。

表4. 2024年度における血液浄化療法件数

2024～25年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来透析回数	141	166	152	150	160	127	143	144	143	155	141	144	1,766
入院透析回数	63	76	72	69	47	64	48	74	55	65	48	73	754
透析導入患者数	2	2	2	2	1	0	1	0	1	4	1	2	18
持続的腎代替療法/ (CRRT)実施件数	14	1	6	0	0	0	0	0	11	14	5	2	53
潰瘍性大腸炎に対する 自己免疫吸着療法 (G-CAP)実施件数	2	0	0	0	2	9	6	1	0	0	3	7	30
腹水濃縮灌流法 (CART)実施件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	7

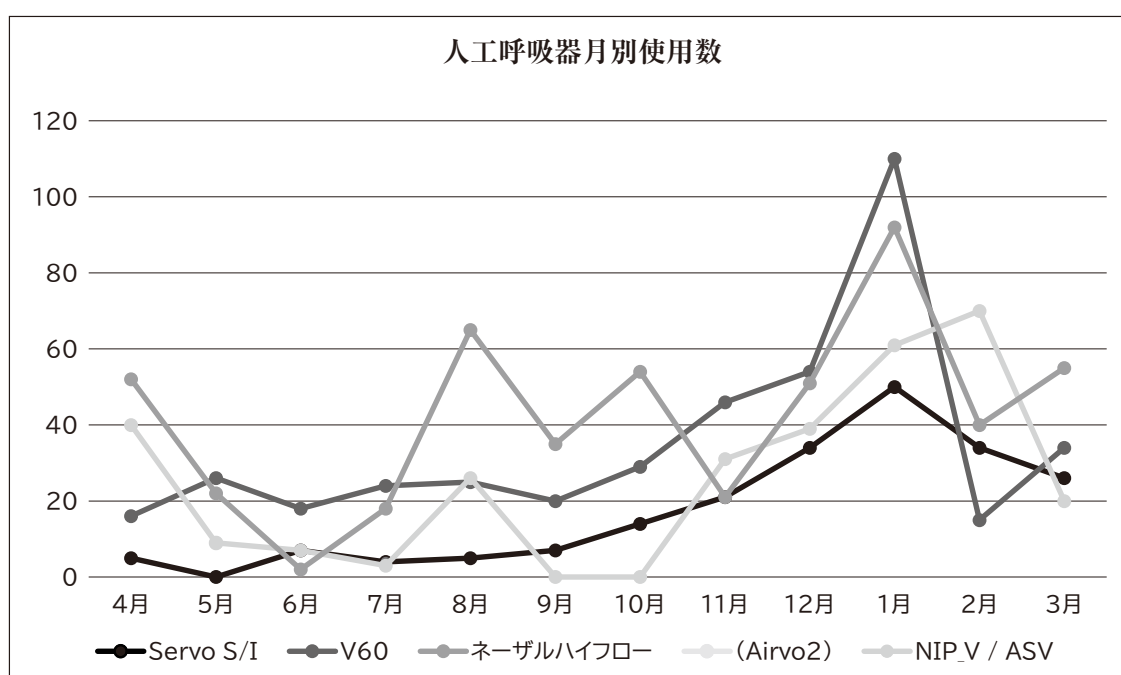


(4)人工呼吸器業務

人工呼吸器業務において、使用中日常点検、開始前の始業点検（定期点検含む）を実施した。点検業務を実施することで、使用中の故障は無く安全に使用できた。また、非侵襲的陽圧換気（NPPV・ASV・V60 ベンチレータ）も人工呼吸器として日常・定期・保守点検業務を行った。2024 年度における人工呼吸器関連の使用台数を下記表 5. 記す。

表5. 2024年度における人工呼吸器使用数

2024～25年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
Servo S/I	5	0	7	4	5	7	14	21	34	50	34	26	207
V60	16	26	18	24	25	20	29	46	54	110	15	34	417
ネーザルハイフロー（Airvo2）	52	22	2	18	65	35	54	21	51	92	40	55	507
NIP_V/ASV	40	9	7	3	26	0	0	31	39	61	70	20	306



(5)カテーテル治療センター業務

カテーテル治療センターにおける関連業務（直接介助業務、ポリグラフ・イメージングデバイス業務等）を中心に補助循環装置の操作、管理を行った。対応人数が課題であったため教育中であるが最大6名と増員した。下記、表 6. に ME 関連機器の使用件数を記す。

表6. 2024年度におけるカテーテル治療センターME関連機器の使用件数

2024～25年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一時ペーシング	1	0	1	1	1	2	3	3	1	0	1	4	18
IABP	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	7
ECMO	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3

(6) ペースメーカー業務

2024 年度のペースメーカー外来では、プログラマー操作を主業務に、ペースメーカー植込み術、および交換術を実施。また、ペースメーカー植込み患者の MRI 実施前後の準備及び設定変更、実施中の管理など行った。以前より実施していた遠隔モニタリングも対応メーカーを拡大し、2022 年 11 月 Medtronic、2023 年 2 月 Abbott（旧 SJM）、2024 年 3 月 Micro Port、2025 年 3 月 Boston と対応メーカーを 5 社へ拡大した。

表 7. 2024 年度におけるペースメーカー関連件数

2024～25年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ペースメーカー外来患者	37	45	30	26	36	25	30	33	22	23	33	26	366
新規植込	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
ジェネレータ本体交換	1	1	0	1	3	0	2	2	0	0	0	1	11

(※緊急及び臨時で行ったペースメーカーチェックは含まず)

(7) 内視鏡センター業務

2024 年度の内視鏡センターにおける月別件数を下記。表 8 に記す。内視鏡センターでは、洗浄業務や医師介助業務等を実施。今年度は透視業務の検査中の介助等も介入を行った。2024 年度は育成中の 1 名を含め 4 名で業務を実施した。

表 8. 2024 年度 内視鏡センター月別上部・下部 消化器検査件数

2024～25年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部消化器内視鏡検査	185	172	196	230	219	196	238	247	228	173	216	197	2,527
下部消化管内視鏡検査	132	105	97	134	115	127	114	109	116	99	111	126	1,385

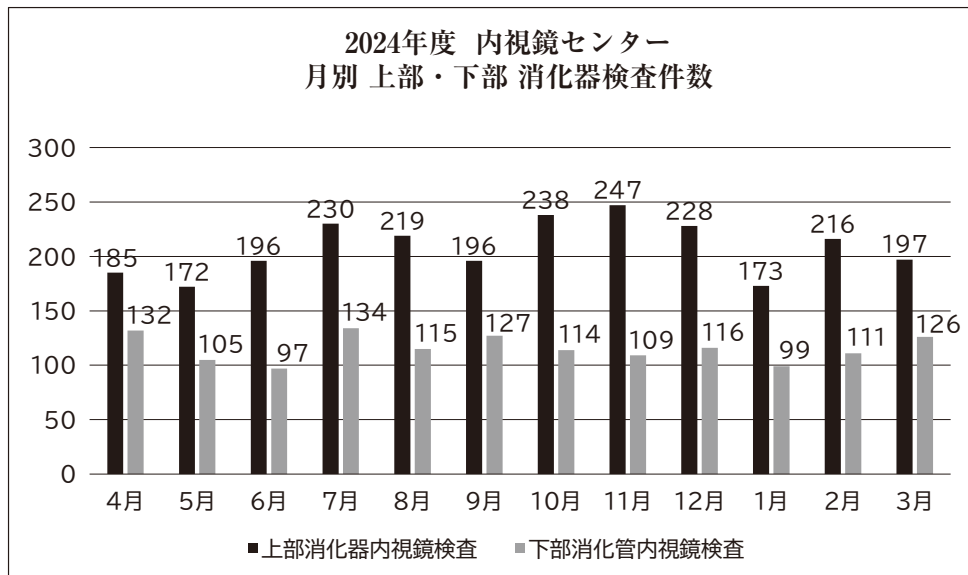
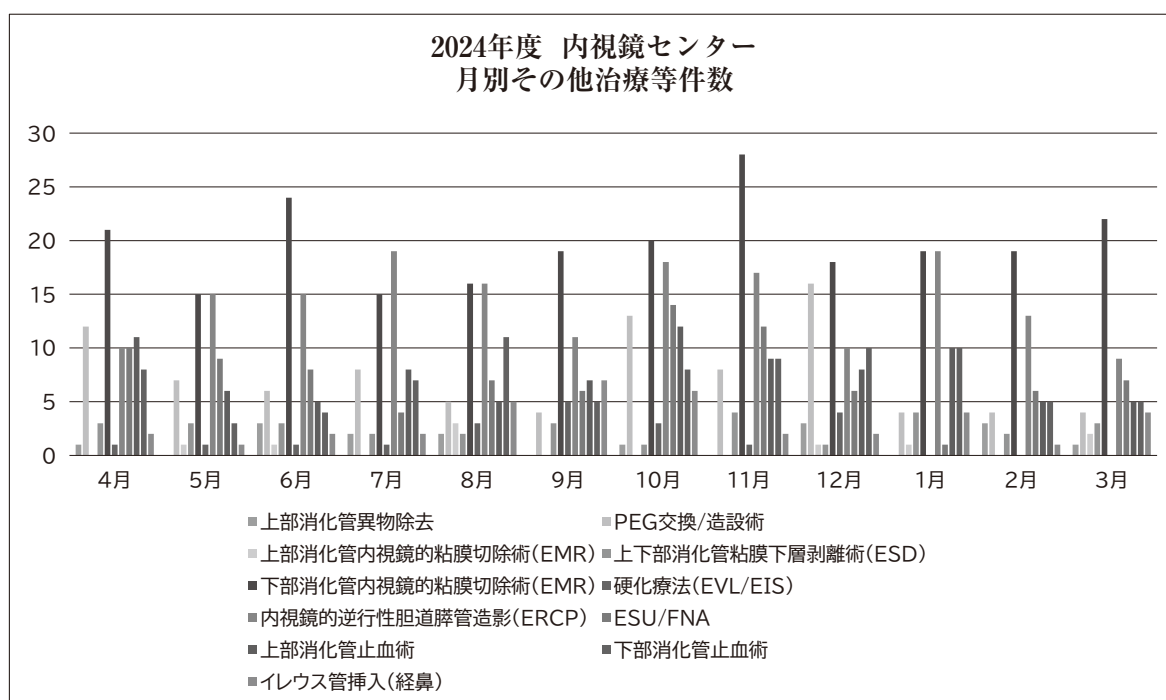


表9. 2024年度 内視鏡センター月別その他治療等件数

2024～25年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部消化器内視鏡検査	1	0	3	2	2	0	1	0	3	0	3	1	16
PEG交換/造設術	12	7	6	8	5	4	13	8	16	4	4	4	91
上部消化管内視鏡的粘膜切除術(EMR)	0	1	1	0	3	0	0	0	1	1	0	2	9
上下部消化管粘膜下層剥離術(ESD)	3	3	3	2	2	3	1	4	1	4	2	3	31
下部消化管内視鏡的粘膜切除術(EMR)	21	15	24	15	16	19	20	28	18	19	19	22	236
硬化療法(EVL/EIS)	1	1	1	1	3	5	3	1	4	0	0	0	20
内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP)	10	15	15	19	16	11	18	17	10	19	13	9	174
ESU/FNA	10	9	8	4	7	6	14	12	6	1	6	7	90
上部消化管止血術	11	6	5	8	5	7	12	9	8	10	5	5	91
下部消化管止血術	8	3	4	7	11	5	8	9	10	10	5	5	85
イレウス管挿入(経鼻)	2	1	2	2	5	7	6	2	2	4	1	4	38



(8)研修・学会活動等

① 医療機器新規および更新等による勉強会

- 新規採用 TEC-5600 除細動器取り扱い (2024/4/2、4/11、4/23 対象：中央手術センター 看護師)
- カテーテル治療センター ダイヤモンドバック事前勉強会 (2024/5/28)
- カテーテル治療センター AVVIGO 入れ替え取扱説明会 (2024/8/23、8/28)

② (院内) 医療機器安全管理研修

- 新入職員対象 輸液ポンプ・シリンジポンプの標準取り扱い (2024/6/7 新入職員看護師)
- 中途採用職員対象 除細動器の取扱い (2024/8/3、8/10、8/17 対象：2024 年度中央手術センター 中途採用看護師)
- 研修医対象 人工呼吸器の基本的な取り扱い (2024/8/22、10/17 研修医)
- E-ラーニング 人工呼吸器 (IPPV) の取扱い (2024/12/26-3/31 4 階病棟 看護師)

③ 院外学会 / 院外研修

- KCJL2024 (2024/4/13 座長、一般参加)
- Servo プリベンティブメンテナンス (2024/5/29 メンテナンス実地研修)
- モニター心電図セミナー ステップアップ不整脈コース (2024/7/26 講習会 2 名受講)
- 令和 6 年度 医療機器安全基礎講習会 (2024/8/1-8/31 e-ラーニング)
- 大阪血管内イメージングカンファレンス (2024/9/7 ZOOM webinar 座長)
- CCT2024 (2024/10/24 ~ 26 一般参加・招待参加)
- 日本消化器内視鏡技師会 ブラッシュアップセミナー (2024/11/2 一般参加)
- SPIRIT2024 (2025/2/1 座長、一般参加)

④ 認定士取得、臨床工学技士告示研修

- 告示研修 2 名履修

⑤ 臨床工学科内及び関連部署勉強会

- 血液浄化センター 勉強会 (リン・カルシウム・PTH の基礎とフォゼベル) 2024/4/17、4/25
- 血液浄化センター 勉強会 (災害対策) 2024/6/19、6/27
- 血液浄化センター 勉強会 (腎性貧血) 2024/7/26
- 内視鏡センター 勉強会 (VVP 保守契約について) 2024/9/4
- 血液浄化センター 勉強会 (BV-UFC) 2024/9/10、9/30
- 血液浄化センター 勉強会 (感染対策) 2024/11/20、11/2
- 血液浄化センター 勉強会 (フォゼベル) 2024/12/5

29. リハビリテーション科

スタッフ

医師 1 名、理学療法士 11 名、作業療法士 5 名（内：非常勤 1 名）、言語聴覚士 1 名

(1) 施設基準 等

運動器リハビリテーション料	(I)
呼吸器リハビリテーション料	(I)
心大血管疾患リハビリテーション料	(I)
脳血管疾患リハビリテーション料	(II)
廃用症候群リハビリテーション料	(II)
がん患者リハビリテーション料	
早期離床リハビリテーション加算	

(2) 認定資格

1) 理学療法

骨粗鬆症マネージャー（日本骨粗鬆症学会）
一般社団法人 日本理学療法士協会認定 認定理学療法士（循環）
一般社団法人 日本理学療法士協会認定 認定理学療法士（地域）
日本循環器学会 心不全療養指導士
3 学会合同呼吸療法士
がんリハビリテーション研修終了
心臓リハビリテーション指導士（日本心臓リハビリテーション学会）
介護支援専門員
第一種衛生管理者
大阪糖尿病療法指導士
福祉用具プランナー
福祉用具専門相談員
福祉住環境コーディネーター 2 級
地域包括ケア推進リーダー（日本理学療法士協会認定）
介護予防推進リーダー（日本理学療法士協会認定）
視覚障害者リハビリテーション基準研修終了（日本ライトハウス）
理学・作業療法士養成教員講習課程修了
臨床実習指導者講習会修了

2) 作業療法

一般社団法人 日本作業療法士協会認定 認定作業療法士
一般社団法人 日本作業療法士協会認定 専門作業療法士（手）

一般社団法人 日本ハンドセラピー学会認定 認定ハンドセラピスト

SW-test 講習会終了

AMPS 認定評価者

福祉住環境コーディネーター 2級

理学・作業療法士養成教員講習課程修了

臨床実習指導者講習修了

(3)学術集会・研究会・勉強会等 参加実績

■参加実績

開催日	学会・研修会	テーマ	開催場所
2024年	5月18日 第30回大阪リウマチケア研究会	講習会	大阪
	6月24～28日 第11回日本循環器理学療法学会サテライトカンファレンス	講習会	オンライン
	9月20日 第4回なにわハンドセラピー勉強会	講習会	オンライン
	9月28日 日本ハンドセラピー学会 入門セミナー	講習会	大阪
	10月11～13日 第26回日本骨粗鬆症学会	学術集会	石川
	10月12日 南信地区ハンドセラピー勉強会特別研修会	研修会	オンライン
	11月6～9日 第8回アジア太平洋作業療法学会	学術集会	北海道
	11月9日 第136回近畿手外科研究会	研修会	大阪
	11月15日 第5回なにわハンドセラピー勉強会	講習会	オンライン
	11月16～17日 第11回日本地域理学療法学会学術大会	学術集会	大阪
	11月15～16日 第34回日本呼吸ケア・リハビリテーション学術集会	学術集会	愛知
	11月30日 日本ハンドセラピー学会応用実践研修会～腱～	研修会	オンライン
	12月1日 大阪府作業療法士会	学術集会	大阪
2025年	1月10日 第3南信地区ハンドセラピー勉強会	講習会	オンライン
	1月17日 第6回なにわハンドセラピー勉強会	講習会	大阪
	1月25日 第12回中部日本ハンドセラピー研究会	研集会	京都
	2月15日 日本ハンドセラピー学会応用実践研修会～末梢神経～	研修会	オンライン
	2月16日 第38回日本リウマチリハビリテーション研究会	研修会	大阪
	2月17日 第16回九州ハンドセラピー研究会学術集会	学術集会	オンデマンド
	2月22日 第4回京阪手の外科セミナー	講習会	大阪
	3月3日 高槻市理学療法士会主催研修会	研修会	大阪
	3月14～15日 第37回日本肘関節学会学術集会	学術集会	岡山

開催日	発表、講演	テーマ	開催場所
2024年	5月18日	第30回大阪リウマチケア研究会	発表
	7月16日	健康教室	講演
	8月11日	北摂総合病院主催：於 茨木市コミュニティセンター	講演
	10月4日	北摂総合病院主催：於 芝生すこやかテラス	講演
	11月6～9日	第8回アジア太平洋作業療法学会	学術集会
	11月29日	北摂総合病院主催：於 とんだすこやかテラス	講演
	12月1日	第38回大阪府作業療法士学会	発表
	12月12日	北摂総合病院主催：於 とんだすこやかテラス	講演
2025年	1月23日	健康教室	講演
	1月25日	第12回中部日本ハンドセラピー研究会	発表・座長
	2月10日	北摂総合病院主催：於 芝生すこやかテラス	講演

<院外活動>

一般社団法人高槻市理学療法士会 副会長(学術局理事)

(4)実習生受け入れ実績

実習開始日	実習終了日	実習受入校	職種
2024年 4月 8日 月曜日	2024年 5月31日 金曜日	佛教大学	OT
2024年 5月13日 月曜日	2024年 6月29日 土曜日	関西医科大学	PT
2024年 6月24日 月曜日	2024年 7月13日 土曜日	大和大学	PT
2024年 8月 5日 月曜日	2024年10月11日 金曜日	京都医健専門学校	OT
2024年 9月 2日 月曜日	2024年10月26日 土曜日	藍野大学	PT
2024年 9月 2日 月曜日	2024年 9月21日 土曜日	関西医科大学	OT
2024年 9月 9日 月曜日	2024年 9月28日 土曜日	関西医科大学	OT
2025年 1月 6日 月曜日	2025年 3月 8日 土曜日	関西医科大学	OT
2025年 1月27日 月曜日	2025年 1月31日 金曜日	履正社国際医療スポーツ専門学校	PT
2025年 2月 3日 月曜日	2025年 3月 1日 土曜日	行岡医療大学	PT

(5)月別・理学療法実績

2024年度			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運動器															
入院	I	単位	1,331	1,344	1,518	1,318	1,398	1,436	1,320	1,387	1,522	1,489	1,613	1,881	17,557
外来	I	単位	1,375	1,336	1,159	1,185	1,265	1,290	1,422	1,221	1,336	1,248	1,390	1,430	15,657
単位数			2,706	2,680	2,677	2,503	2,663	2,726	2,742	2,608	2,858	2,737	3,003	3,311	33,214
呼吸器															
入院	I	単位	207	260	276	291	314	294	267	339	207	355	385	283	3,478
外来	I	単位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	13	19
単位数			207	260	276	291	314	294	267	339	207	355	391	296	3,497
脳血管															
入院	II	単位	3	1	40	52	66	25	28	13	0	0	36	42	306
外来	II	単位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数			3	1	40	52	66	25	28	13	0	0	36	42	306
早期リハ															
件数			2,052	1,833	2,211	1,940	2,470	2,178	2,269	2,197	1,999	2,085	2,327	2,422	25,983
初期加算															
件数			1,412	1,323	1,577	1,625	1,714	1,507	1,740	1,596	1,424	1,366	1,504	1,640	18,428
摂食機能療法															
件数			120	131	80	125	111	110	118	61	64	48	48	68	1,084
外来リハビリテーション診療料															
1	件数		0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
2	件数		319	340	289	296	298	296	319	290	280	306	315	311	3,659
単位数			319	340	289	296	298	296	319	290	280	306	315	311	3,659
がんリハ															
入院	単位		151	109	112	204	187	116	182	152	119	160	111	112	1,715
外来	単位		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数			151	109	112	204	187	116	182	152	119	160	111	112	1,715
廃用症候群リハ															
入院	II	単位	528	541	479	748	754	572	680	449	395	410	391	337	6,284
外来	II	単位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数			528	541	479	748	754	572	680	449	395	410	391	337	6,284
心リハ															
入院	I	単位	400	335	162	170	185	189	195	290	167	308	295	347	3,043
外来	I	単位	81	90	90	124	72	101	137	111	129	111	113	114	1,273
単位数			481	425	252	294	257	290	332	401	296	419	408	461	4,316
早期離床・リハビリテーション加算（ハイケア）															
件数			188	152	128	238	232	227	208	245	355	347	330	250	2,900

運動器リハビリテーション料 (I) 入院17,555単位 外来15,656単位
 呼吸器リハビリテーション料 (I) 入院 3,478単位 外来 19単位
 心大血管疾患リハビリテーション料 (I) 入院 3,043単位 外来 1,273単位
 脳血管疾患リハビリテーション料 (II) 入院 306単位
 廃用症候群リハビリテーション料 (II) 入院 6,284単位
 がん患者リハビリテーション料 入院 1,715単位
 リハビリテーション総合計画評価料 4,301件
 退院時リハビリテーション指導料件 920件
 精密知覚機能検査 502件
 摂食機能療法 1,084件
 治療用装具作成 828件
 早期離床・リハビリテーション加算 2,901件

30. 地域医療連携室（１）市町村別 登録医届出数

高槻市	233
茨木市	191
摂津市	18
その他	57
合計	499

（2025年3月末）

（２）登録医新規届出数

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	9	3	1	2	0	2	5	0	0	0	0	3	25
閉院	4	0	0	2	1	0	4	0	0	3	2	1	17
届出総数	496	499	500	500	499	501	502	502	502	499	497	499	

（３）紹介患者総数

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
紹介患者総数	1,265	1,206	1,213	1,414	1,182	1,251	1,346	1,270	1,282	1,166	1,189	1,249	15,033
再掲)うち入院紹介患者数	341	320	355	453	361	329	360	402	385	378	353	346	4,383
再掲)うち外来紹介患者数	586	558	566	692	535	632	632	601	595	588	556	656	7,197
再掲)うち検査紹介患者数	459	429	408	448	379	413	469	414	427	348	406	379	4,979

注) 紹介患者総数は、外来・入院・検査の重複カウントを避け主目的に1件としてカウントしていること。
注) ここでの紹介患者数は、初再診に係らず紹介状を持参する等の患者数であること。

（４）登録医紹介患者数

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録医紹介患者総数	1,025	987	967	1,141	957	1,027	1,123	1,044	1,040	910	986	1,028	12,235
再掲)うち入院紹介患者数	280	263	282	362	285	276	299	321	307	294	284	276	3,529
再掲)うち外来紹介患者数	390	394	383	472	378	448	466	434	423	402	401	482	5,073
再掲)うち検査紹介患者数	458	408	390	437	378	400	450	413	407	325	396	372	4,834
入院紹介登録医実数	122	124	132	138	127	132	125	140	137	134	125	129	1,565
外来紹介登録医実数	129	135	144	157	123	136	145	138	143	151	134	154	1,689
検査紹介登録医実数	83	74	80	82	74	83	75	76	76	69	80	73	925

注) 登録医紹介患者総数及び紹介登録医実数は、外来・入院・検査の重複カウントを避け主目的に1件としてカウントしていること。
注) ここでの紹介患者数は、初再診に係らず紹介状を持参する等の患者数であること。

(5)登録医回診数

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回診延べ回数	13	15	12	7	4	3	8	6	1	5	3	7	84
被回診患者実数	11	11	7	7	4	3	6	6	1	5	3	5	69
回診登録医実数	6	5	5	3	3	3	2	3	1	4	2	2	39

(6)介護・福祉施設・その他医療機関からの紹介患者数

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護・福祉施設その他医療機関からの紹介患者数	240	219	246	273	225	224	223	226	242	256	203	221	2,798
再掲)うち入院紹介患者数	61	57	73	91	76	53	61	81	78	84	69	70	854
再掲)うち外来紹介患者数	196	164	183	220	157	184	166	167	172	186	155	174	2,124
再掲)うち検査紹介患者数	16	21	18	11	15	13	19	16	20	23	10	7	189

注) 紹介患者総数は、外来・入院・検査の重複カウントを避け主目的に1件としてカウントしていること。

注) ここでの紹介患者数は、初再診に係らず紹介状を持参する等の患者数であること。

(7)逆紹介数

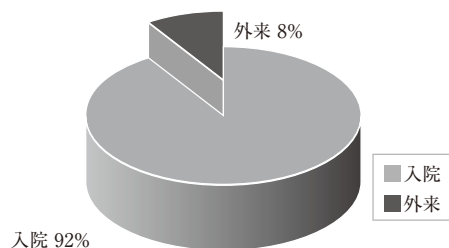
2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
逆紹介患者数	496	427	472	505	486	421	468	461	460	417	401	527	5,541

注) 逆紹介患者数は、診療情報提供料に基づく件数であること。

(8)MSW業務実績

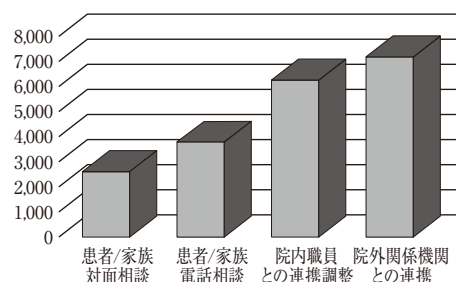
入外別・相談患者数

2024年度	実績	%
入院	1,056	92%
外来	89	8%
合計	1,145	100%



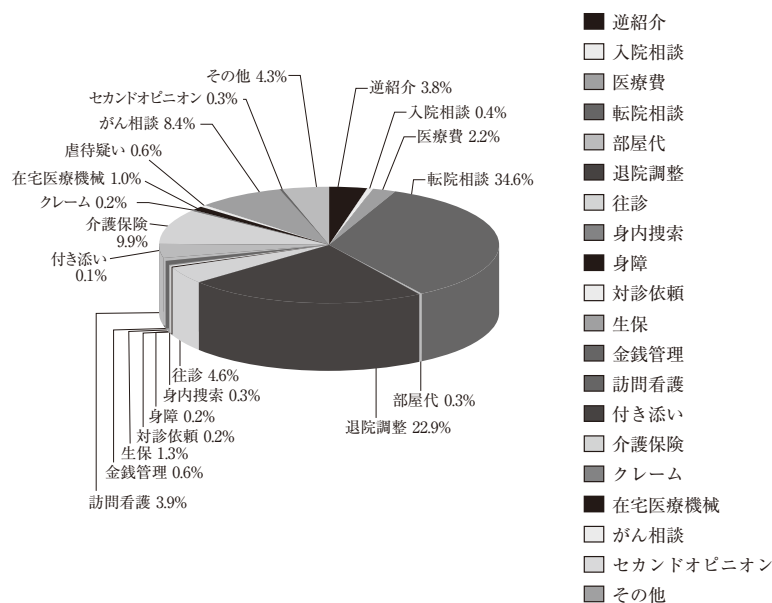
援助形態別・のべ相談件数

患者/家族 対面相談	2,609	13.2%
患者/家族 電話相談	3,834	19.4%
院内職員との連携調整	6,230	31.5%
院外関係機関との連携	7,124	36.0%
合計	19,797	100.0%



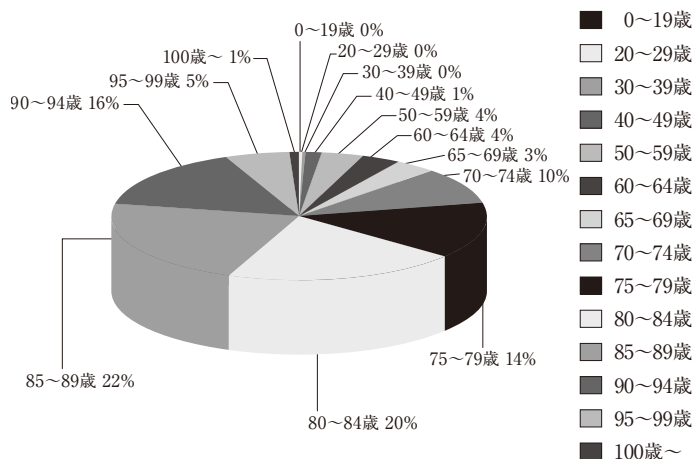
相談内容別・のべ相談件数

相談内容	件数	%
逆紹介	72	3.84%
入院相談	7	0.37%
医療費	41	2.19%
転院相談	649	34.61%
部屋代	5	0.27%
退院調整	429	22.88%
往診	87	4.64%
身内捜索	6	0.32%
身障	3	0.16%
対診依頼	4	0.21%
生保	24	1.28%
金銭管理	12	0.64%
訪問看護	74	3.95%
付き添い	1	0.05%
介護保険	185	9.87%
クレーム	4	0.21%
在宅医療機械	18	0.96%
虐待疑い	11	0.59%
がん相談	158	8.43%
セカンドオピニオン	5	0.27%
その他	80	4.27%
合 計	1,875	100.00%



年齢別・相談患者数

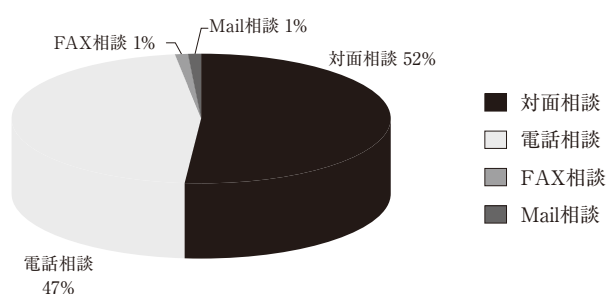
年齢別	患者件数	%
0～19歳	2	0.2%
20～29歳	2	0.2%
30～39歳	3	0.3%
40～49歳	16	1.4%
50～59歳	40	3.5%
60～64歳	40	3.5%
65～69歳	39	3.4%
70～74歳	108	9.4%
75～79歳	163	14.2%
80～84歳	230	20.1%
85～89歳	253	22.1%
90～94歳	178	15.5%
95～99歳	62	5.4%
100歳～	9	0.8%
合 計	1,145	100.0%



がん相談件数

がん相談患者数合計：158 人

相談方法	件数	%
対面相談	290	52%
電話相談	264	47%
FAX相談	4	1%
Mail相談	3	1%
合計	561	100%



(9) 登録医向け情報誌「Link」発刊実績

- Vol.277 2024.5
- 北摂総合病院 診療科のご案内
 - 2024 年度 北摂総合病院 新入職医師のご紹介
 - 第 27 回 登録医会議・懇親会開催のお知らせ
 - 令和 6 年能登半島地震災害派遣に出向しました
- Vol.278 2024.9
- 当院の医師がベストドクターズ 2024 -2025 に選出されました
木野 昌也（理事長）
植田 直樹（病院長代理、整形外科主任部長、手外科センター長）
豊田 昌夫（副院長、一般・消化器外科主任部長）
森井 功（副院長、救急診療科部長）
佐野村 誠（病院長補佐、消化器内科主任部長）
植田 初江（病理診断科部長）
諏訪 道博（臨床検査科部長）
永松 航（循環器科部長、カテーテル治療センター長）
 - 参与就任のお知らせ
 - 当院のスペシャリスト看護師たち
 - 入退職医師の紹介
 - 第 27 回 登録医会議・懇親会開催のご案内
 - 第 22 回 多職種連携の会開催のお知らせ
 - 高槻まつり 2024 に初出展しました
- Vol.279 2024.12
- 患者サポートセンター 始動
～地域連携・入退院支援・病床管理の機能を強化して新たにスタート！～
 - 高度専門職看護師による BLS 出張研修
 - 新入職医師のご紹介
循環器科 伊吹 宗晃 / 整形外科 浅井 重博
 - 第 27 回 登録医会議・懇親会を開催しました
- Vol.280 2025.1
- 2025 年度 北摂総合病院行動指針
「Very Best Hospital を目指して 感謝報恩」
新年のご挨拶
理事長
病院長
病院長補佐 兼 看護部長
病院長補佐 兼 事務局長
地域医療連携室
訪問看護ステーション
ケアプランセンター
 - 第 16 回 院内学会を開催しました

(10)登録医会議・懇親会

*令和6年9月28日(土)17時より、ホテルグランヴィア大阪20F(一部:鳳凰の間、二部:名庭の間)にて第27回登録医会議・懇親会を開催。

*当日参加者は、登録医86名、職員72名の合計158名。

*会議内容

2023年度活動報告

.....病院長 小林 一郎

「当院におけるCTを活用した骨診断と術中ナビゲーションシステム」

.....整形外科 木野 圭一郎

「心房細動に対するカテーテル治療の適応と実際」

.....循環器科部長 永松 航

「Snap Diagnosis(直観的診断)」

.....総合内科部長 玄 武司

「三島医療圏における本院救急診療の役割」

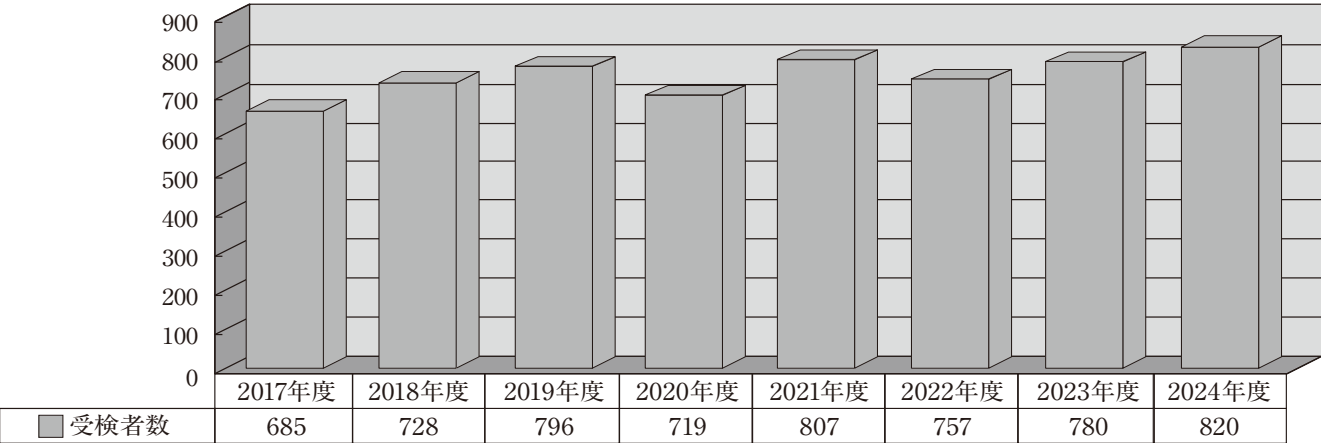
.....副院長 兼 救急診療科部長 森井 功

31. 健康事業室（1）ドック種別・月別 受検者数

月別	日帰り人間ドック		脳ドック		肺癌ドック		乳癌ドック	PET健診		企業健診		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	女性	男性	女性	男性	女性	
4月	20	8	9	4	3	0	7			0	0	51
5月	19	10	7	4	3	3	5			5	0	56
6月	26	11	8	5	4	0	3			8	4	69
7月	36	19	5	7	4	3	6			0	0	80
8月	36	13	4	4	2	2	2			0	0	63
9月	40	11	4	5	2	3	6			0	0	71
10月	22	26	7	2	3	1	13			0	0	74
11月	34	22	12	6	5	2	4			0	0	85
12月	33	20	3	4	1	1	7			0	0	69
1月	29	14	5	3	2	0	7			0	0	60
2月	33	16	3	4	4	1	6			0	0	67
3月	32	19	10	4	4	0	6			0	0	75
小計	360	189	77	52	37	16	72			13	4	820
合計	549		129		53		72	0		17		

※脳ドック・肺癌ドック・乳癌ドック・PET健診は人間ドックとのセットも含む ※ドック経由の特定健診数は省く

ドック・企業健診受検者数（過去8年間の実績）



(2) 人間ドック結果要精密検査数

総合判定要精密検査数	C		D		E		F		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
身体測定(身長・体重・BIM)	215	72	0	1	3	0	0	0	291
血圧	61	21	20	5	2	0	1	0	110
呼吸機能(肺機能検査・胸部X線)	99	44	27	22	0	0	0	0	192
聴力	24	10	77	20	0	0	0	0	131
循環器系検査(安静時心電図)	78	31	5	5	1	0	0	0	120
眼科(視力・眼底・眼圧)	39	29	51	26	1	0	48	16	210
腹部超音波検査	328	169	13	1	1	0	0	0	512
胃部検査(胃部X線・胃部内視鏡)	302	153	6	5	6	3	0	0	475
前立腺検査(PSA)	0		1		0		0		1
婦人科検査(子宮頸部細胞診・超音波)		0		4		2		0	6
大腸検査(便潜血)	0	0	14	13	0	0	0	0	27
血液検査	249	150	147	55	2	0	1	0	604
尿検査	81	78	18	23	0	0	6	0	206

判定基準 C：経過観察 日常生活に注意を要し、経過の観察が必要。医師の指導を。 E：要治療
D：再検・精検 異常を認め、再検査・精密検査が必要。必ず受診を。 F：治療中

(3) ドック種別 個人負担別受検者数

	日帰り人間ドック	脳ドック	肺癌ドック	乳癌ドック	PET検診	企業健診
全額自己負担	166	74	35	22		0
一部自己負担	284	48	17	42		0
自己負担なし	99	7	1	8		17
合 計	549	129	53	72		17

32. 栄養科

栄養科では、臨床栄養・栄養指導・給食管理の常務がある。令和6年度は管理栄養士6名で運用した。給食管理では入院患者の増加に伴い食数は増加した。栄養指導では入院栄養指導は増加したが、外来栄養指導は減少した。診療報酬改定に変更があり、栄養情報連携加算・早期栄養介入加算は増加した。下記に令和6年度の活動報告を行う。

①月別食種別件数及び入外別栄養指導実績

月	食数 (加算+非加算)	非加算	加算	栄養指導			
				入院	外来	集団実施	計
4	13,377	7,902	5,475	285	13	0	298
5	12,566	8,195	4,371	242	14	0	256
6	12,842	7,554	5,288	260	14	0	274
7	14,860	9,615	5,242	326	10	0	336
8	15,207	10,872	4,335	260	12	0	272
9	14,261	9,315	4,946	288	9	0	297
10	13,536	8,817	4,719	290	16	0	306
11	15,416	8,975	6,441	327	25	0	352
12	16,250	10,043	6,207	272	12	0	284
1	16,899	10,625	6,274	302	13	0	315
2	15,190	9,665	5,525	289	20	0	309
3	14,755	9,960	4,795	295	12	0	307
合計	175,159	111,538	63,618	3,436	170	0	3,606

②栄養士介入件数

月	件数
4	90
5	88
6	115
7	147
8	134
9	108
10	106
11	107
12	220
1	125
2	93
3	101
合計	1,434

③NST加算件数

月	件数
4	37
5	34
6	44
7	23
8	51
9	37
10	39
11	34
12	31
1	31
2	26
3	22
合計	409

④栄養サマリー作成数

月	件数
4	70
5	56
6	90
7	90
8	75
9	72
10	78
11	58
12	82
1	130
2	63
3	91
合計	955

⑤栄養情報提供加算数

月	件数
4	38
5	21
6	83
7	88
8	73
9	46
10	59
11	44
12	54
1	35
2	47
3	58
合計	646

⑥早期栄養介入加算件数

月	件数
4	24
5	15
6	25
7	75
8	51
9	61
10	38
11	63
12	106
1	84
2	77
3	55
合計	674

33. 医療秘書係

診断書・証明書等代行記載実績

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
発生数	378	373	376	511	394	375	361	398	400	388	349	399	4,702
代行数	378	373	375	508	394	371	356	398	400	388	349	399	4,689
代行率	100.0%	100.0%	99.7%	99.4%	100.0%	98.9%	98.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.7%

退院時サマリー代行記載実績

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
発生数	436	440	478	575	548	459	486	518	536	471	465	506	5,918
代行数	392	386	435	533	506	341	461	489	508	441	432	469	5,393
代行率	89.9%	87.7%	91.0%	92.7%	92.3%	74.3%	94.9%	94.4%	94.8%	93.6%	92.9%	92.7%	90.9%

ORION救急情報登録実績（総件数:3,713件）

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急搬入数	242	263	307	438	394	276	273	284	329	296	291	320	3,713

消化管病理診断 所見確認漏れ支援

画像診断 緊急確認所見報告実績（2024年4月から2025年3月）

全所見数	緊急所見数	緊急所見率
16,730	472	2.82%

NCD登録実績（2024年1月～2024年12月）

対 象	登録数
外科手術	354
呼吸器外科手術	55
泌尿器科手術	55
J-PCI症例	109
J-EVT/SHD症例	14
心臓血管外科手術(PMI)	18
心臓血管外科手術(下肢静脈)	46
合 計	651

院内がん登録実績

(2024年診断症例)
登録件数
400

34. 訪問看護ステーション (1)利用状況

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実訪問者数	122	114	118	109	118	121	130	125	130	125	126	130	1,468
訪問件数	527	508	507	569	568	569	559	490	506	523	530	659	6,515
介護保険利用者数	102	97	100	93	105	107	107	105	110	107	107	108	1,248
介護訪問回数	404	406	406	397	451	465	470	423	426	435	421	452	5,156
医療保険利用者数	19	17	18	16	13	14	13	20	20	18	19	22	209
医療訪問回数	103	102	101	162	117	104	89	67	80	88	109	207	1,329
新規件数	9	7	11	12	10	7	7	12	11	9	7	12	114
終了件数	11	14	5	10	9	11	5	8	11	8	7	13	112
入院等中断者	11	4	4	7	5	2	6	10	7	7	6	8	77
在宅死	1	5	1	4	1	6	0	2	1	2	1	6	30
病死(末期以外も含む)	4	1	3	1	4	1	2	4	4	8	1	1	34

(2)実習受け入れ状況

学校名	実習期間
梅花女子大学看護学部	2024年 4月15日 ～ 4月26日 2名
	2024年 5月 7日 ～ 5月17日 2名
	2024年 6月 3日 ～ 6月14日 2名
	2024年 6月17日 ～ 6月28日 2名
大手前国際看護学部 (在宅看護学実習)	2024年 7月 1日 ～ 7月 5日 2名
	2024年 7月16日 ～ 7月19日 2名
高槻市医師会看護専門学校	2024年 7月 8日 ～ 7月 9日 3名
	2024年 7月11日 ～ 7月12日 2名
	2024年 9月30日 ～ 10月 1日 3名
	2024年10月 3日 ～ 10月 4日 2名
	2024年10月21日 ～ 10月22日 2名
	2024年10月24日 ～ 10月25日 2名
大阪医科薬科大学看護学部 (在宅看護学実習)	2024年 9月16日 ～ 9月27日 2名
	2024年10月28日 ～ 11月 8日 2名
	2024年12月 9日 ～ 12月20日 2名
	2025年 1月27日 ～ 2月 7日 2名

(3)地域活動

○大阪府訪問看護ステーション協会 三島ブロックブロック長 (上戸)

(4)院内外活動

○健康教室 2024 年 6 月 21 日 昭和台自治会館「梅雨にご用心

ジメジメ・ムシムシに負けない体づくりの為に」 原

2024 年 8 月 11 日 東コミュニティーセンター「熱中症について」 上戸

2024 年 10 月 4 日 昭和台自治会館「皮膚の健康の話」 上戸

35. ケアプランセンター (1)居宅介護支援・委託業務実績

	2024年									2025年			計(延)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ケアプラン作成数	249	239	240	244	247	249	242	245	248	252	259	252	2,966
新規介護相談件数	34	28	44	26	48	26	29	37	33	34	18	49	406
内訳: 院内(病棟など)	30	26	39	24	40	24	23	32	25	28	15	44	350
地域包括支援センター	1	0	2	1	3	0	0	2	0	1	1	1	12
直接相談(本人・家族)	3	2	1	1	4	1	5	0	5	3	1	2	28
登録医・他医療機関・施設	0	0	2	0	1	1	1	3	3	2	1	2	16
お断り(外部)	1	1	3	1	3	0	2	0	2	0	0	0	13

(2)地域活動マネジメント(地域住民対象)

	開催数	エリア
出前健康教室 【依頼型】	14	高槻8(柳川・西・津之江・富田・寿栄川添)
		茨木6(白川・三島・庄栄・東・オニクル)
出前健康教室 【当院主催型】	7	高槻5(芝生・クロスバル高槻・富田)
		茨木2(東・オニクル)
認知症カフェ	11	高槻(富田・昭和台)
※詳細実績については総務ページ参照		
健康だより配布	毎月600枚配布ーエリア／高槻・茨木	

(3)地域役員・地域ケア会議参加実績

	エリア	担当者
地域ケア会議・ケアマネジャー連絡会	富田・富田南・三箇牧	全員
	各地域包括支援センター	
高槻市介護保険事業者協議会	高槻	坂本(理事・部会長)
高槻市居宅支援部会		
茨木市高齢者サービス事業所連絡会	茨木	坂本(副部会長)
相談支援部会		
三島圏域リハビリテーション協議会	高槻	坂本(会長)
ケアマネジャー連絡会		
高槻・島本嚙下栄養研究会	高槻	坂本(世話人)

(4)実習受入実績

○実習受入人数—1人

○担当科目「サービス担当者会議」

36. 各種委員会活動 (1)医療安全対策室／医療安全管理委員会

室 長 兼 医療安全管理委員会委員長	: 竹内 徹 (医療安全管理担当診療部部長)
副室長 兼 医療安全管理委員会委員	: 松江 さつき (専従医療安全担当看護師看護師長)
	: 濱畑 耕造 (放射線科係長・現科長)
医薬品安全管理責任者	: 太田垣 昌志 (薬剤科科長)
医療機器安全管理責任者	: 西村 岳洋 (臨床工学科科長)
リスクマネジャー	: 各所属に配置

1. 定例会議、及び委員会

医療安全管理委員会、及び医療安全対策室会議を毎月1回開催した。

2. 医療安全対策室の活動内容

院内各所から提出される「インシデント、アクシデントレポート」の原因分析、及び再発防止に関する検討を行い、防止策を立案し、医療安全管理委員会へ報告、提案。

発生事例に応じて各関係職員と事例の検討会を実施

事故内容に対して、安全対策実施内容の決定と実施状況の評価

死亡事例報告書のチェック実施

診断報告書確認の実施

合併症カンファレンス実施

院内採用医療器具に対する安全管理面の評価

随時各部署のカンファレンスに参加

安全対策に関する周知の必要に応じて、経営幹部会や診療部医長会、医局会での伝達

全職員に対する安全管理必修研修会の実施 (年2回)

医療安全文化調査の実施

3. 医療安全管理委員会の活動内容

医療安全対策会議より報告、提案された医療安全管理対策の評価、承認及び実行状況に応じた事例検討会の開催

4. 医療安全対策地域連携ラウンドの実施

1-1 連携合同カンファレンス実施

2025年2月・3月 社会医療法人 愛仁会 高槻病院と相互評価を実施

1-2 連携合同カンファレンス実施

2024年12月 社会医療法人 美杉会 佐藤病院、男山病院の評価を実施

2025年3月 医療法人 庸愛会 富田町病院の評価を実施

5. 具体的決定事項

- 6 月 ・医療安全対策 NEWS「医療機関における個人情報の取り扱いに関する注意喚起」
- 9 月 ・医療安全対策 NEWS「世界患者安全の日」
三島医療圏医療安全ネットワークと共催し、取り組みを実施。ポスター掲示やポケットティッシュの配布、職員のテーマカラーのオレンジ色マスクの着用
- 10 月 ・医療安全 NEWS「手術に設置されてある、DAM（Difficult airway management）カートの紹介」
- 1 月 ・医療安全対策 NEWS「医療事故再発防止に向けた提言 第 20 号 血液パニック値に係る死亡の分析」 提言 1～5 に沿ったパニック値の院内ルールの提示。

6. 院内安全管理研修会

①各部門、各職種対象

“新採用者オリエンテーション 医療安全管理について”（新入職員・中途採用対象）
（講師：松江 さつき 医療安全対策室副室長）
2024 年 4 月

“看護新入職オリエンテーション 医療安全について”
【医療安全概論】【薬剤管理】（看護部新採用者対象）
（講師：松江 さつき 医療安全対策室副室長）
2024 年 4 月

“看護補助研修 看護補助者の業務に関連した『報告・連絡・相談』、『患者確認方法』、『業務範囲』について”（看護補助対象）
（講師：松江 さつき 医療安全対策室副室長）
2024 年 8 月

“新採用者フォローアップ研修 ノンテクニカルスキルについて”（新入職員対象）
（講師：松江 さつき 医療安全対策室副室長）
2024 年 10 月

“臨床研修医医療安全研修”（臨床研修医対象）
（講師：松江 さつき 医療安全対策室副室長）
2024 年 6 月

“看護部ラダー研修”（看護部看護ラダー取得者対象）
（講師：松江 さつき 医療安全対策室副室長）
2024 年 10・11・12 月

“中途採用者オリエンテーション 医療安全について”（全職種中途採用対象）
（講師：松江 さつき 医療安全対策室副室長）
2024 年 12 月

②全職員対象

○医療従事者必修研修 年2回

- ・上期「医療安全情報（報告書管理体制加算・確認会話・世界患者安全の日）」

（講師：松江 さつき 医療安全対策室副室長
2024年7月・e-ラーニング）

- ・下期「発生した院内事例から対策を学ぶ」

（講師：松江 さつき 医療安全対策室副室長
2025年2月・e-ラーニング）

③ Web 配信視聴研修

- ・医療安全研修会 「世界患者安全の日」

（三島医療圏医療安全ネットワーク共催）
2024年9月 ZOOM、ウェビナー形式

7. 学会・講演会等参加、他院外医療安全活動実績

◎日本医療機能評価機構「その身体拘束、誰を守るためのもの？」

2024年10月9日

松江 さつき 医療安全対策室副室長

◎医療の質・安全学会 第17回医療の質・安全学会学術集会

2024年11月29・30日

松江 さつき 医療安全対策室副室長

◎医療機器安全基礎講習会

2024年8月22日

三浦 和哉 臨床工学技士

◎府北支部医療安全交流会 ZOOM 開催

2024年6月・9月・12月、2025年3月

松江 さつき 医療安全対策室副室長

◎大阪府看護協会医療安全対策委員会

2024年4・5・6・7・8・9・10・11・12月、2025年1・2・3月

松江 さつき 医療安全対策室副室長

◎三島圏域医療安全ネットワーク会議 ZOOM 開催

2024年8・9月

竹内 徹 医療安全対策室室長

松江 さつき 医療安全対策室副室長

8. 医療事故統計（2024 年度）

2024 年 4 月～ 2025 年 3 月報告件数

インシデント：1,173 件 アクシデント：13 件 合併症報告：22 件 計：1,208 件

	投薬 点滴	転倒 転落	治療 関係	ライン トラブル	検査 関係	手術 関係	医療 機器	食事 栄養	事務 関係	その他	合 計
インシ デント	339	312	26	177	62	27	23	66	25	116	1,173
アクシ デント	0	6	0	0	0	0	1	0	0	6	13
合併症 報告	0	0	0	0	0	10	0	0	0	12	22
合 計	339	318	26	177	62	37	24	66	25	134	1,208

(2) クリニカルパス委員会

1998年にクリニカルパス委員会を立ち上げ、25年が経過した。2024年度は、患者用パスの見直し(標準化)を行うと共に、新規パスの作成・修正の効率化をはかった。見直し中のため、クリニカルパス大会は中止とし来年度に開催することとした。今後も新規パス作成、現行のパス改訂のスピードアップを図りながら、新たに院内の様々な職種によるエビデンスや最新の知識を取り入れた多職種連携パスの作成を目指していきたい。

委員長	福井 浩一（整形外科 リハビリテーション部長）
副委員長	奥村 友子（HCU 看護師長）
事務局	黒岩 正司（医療情報課 課長） 井貫 由美子（地域医療連携室 主任）
メンバー	各部署に配置

* 定例委員会

毎月第3火曜日 14：30～15：30

（2025年度からは、奇数月第3火曜日 15：00～16：00）

* グループ活動内容

- バリエーション分析： バリエーション発生事例を集計し、内容を分析。必要に応じパス見直しを検討。
- 監査： マニュアルに沿って入力、運用できているかを定期的にチェックし、報告を行う。
- マニュアル改訂： パスに関する院内マニュアルを定期的に見直し、適宜改訂。
- パス大会・パス学会推進： 院内パス大会や日本クリニカルパス学術集会への演題発表の推進・支援を行う。
- 委員教育： パス委員会内部でパスへの知識や理解を深め、院内への普及やチーム医療の推進を図る。
- 教育ツール作成： 委員教育、委員の知識向上に有効なツールの開発、運用
- 現行パス見直し： 現行パス等を見直し、改訂を行う。

* クリニカルパス大会

2024年度は中止とし、来年度に見直し内容などの議題を検討中。

表 1. 電子パスシステム 適用パス一覧 (2024)

診療科名	クリニカルパス名称	集計
【一般・消化器外科】	OV ソケイヘルニア根治術パス (2泊3日)	10
	OV ソケイヘルニア根治術パス (3泊4日)	59
	OV 大腿骨頸部骨折 BHA・THA パス (FLS)	1
	OV 虫垂炎パス	32
	OV 腹腔鏡下胆嚢摘出術パス	57
	大腸切除 ERAS パス	69
	乳癌パス (4泊5日)	11
	肛門疾患パス	10
一般・消化器外科 集計		249
【眼科】	OV 白内障 1泊2日パス	153
眼科 集計		153
【呼吸器外科】	BFS 6 階	3
	気胸パス	21
	肺切除術パス	20
呼吸器外科 集計		44
【呼吸器内科】	BFS 6 階	30
	OV PSG (睡眠時無呼吸検査) パス	7
	OV 心臓カテーテル (PCI 上肢) パス	1
	OV 大腿骨近位部骨折 骨接合パス (FLS)	1
	アブレーションパス	1
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	7
	肺切除術パス	1
呼吸器内科 集計		48
【循環器内科】	(訂正版) TUR-Bt パス	1
	OV ソケイヘルニア根治術パス (3泊4日)	1
	OV 下肢血管形成術パス	12
	OV 心臓カテーテル (CAG 上肢) パス	40
	OV 心臓カテーテル (PCI 上肢) パス	48
	OV 心臓カテーテル (緊急 PCI 上肢) パス	7
	アブレーションパス	19
	ジェネレーター交換術パス (前日入院)	6
	ジェネレーター交換術パス (当日入院)	9
	新規ジェネレーター挿入術パス	2
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	86
循環器内科 集計		231
【小児科】	OV 小児腸管感染症 (体重 15kg) パス	1
	OV 小児腸管感染症パス (体重 30kg) パス	1

【小児科】	OV 小児肺炎気管支炎（体重 08kg 水薬）パス	2
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 10kg 水薬）パス	7
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 15kg 散剤）パス	3
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 15kg 水薬）パス	8
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 20kg 散剤）パス	5
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 20kg 水薬）パス	2
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 30k 錠剤）パス	15
小児科 集計		44
【消化器内科】	BFS 6 階	2
	OV CV ポート（中心静脈リザーバー留置術）パス	11
	OV ポリペクパス（成人用・1 泊 2 日）	206
	OV ポリペクパス（成人用・2 泊 3 日）	17
	OV 心臓カテーテル（PCI 上肢）パス	1
	OV 腹腔鏡下胆嚢摘出術パス	1
	新型コロナウイルス感染症パス_改訂版	85
	人工膝関節置換術パス	1
	大腸切除 ERAS パス	2
消化器内科 集計		326
【心臓血管外科】	下肢静脈瘤血管内焼灼術パス	3
	下肢静脈瘤血管内焼灼術パス（当日入院）	15
	下肢静脈瘤手術パス（日帰り）	10
心臓血管外科 集計		28
【整形外科】	（当日 OP）整形下肢手術パス	49
	（当日 OP）整形上肢・肩甲帯パス（1 泊 2 日）	79
	（当日 OP）整形上肢・肩甲帯パス（2 泊 3 日）	34
	OV BHA・THA パス	27
	OV（当日 OP）整形手根管パス	60
	OV（当日 OP・小児用）整形上肢・肩甲帯パス	13
	OV（当日小児）整形下肢パス	4
	OV 小児・整形下肢パス	3
	OV 小児・整形上肢・肩甲帯パス	11
	OV 整形下肢手術パス	193
	OV 整形上肢・肩甲帯パス	226
	OV 整形上肢・肩甲帯パス（3 泊 4 日）	114
	OV 大腿骨近位部骨折 骨接合パス（FLS）	129
	OV 大腿骨頸部骨折 BHA・THA パス（FLS）	63
	胸腰椎移行部固定術パス	13
	胸椎固定術パス	4
	腰椎固定術パス	41

【整形外科】	腰部脊柱管狭窄症手術（固定なし）パス	28
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	3
	人工膝関節置換術パス	60
整形外科 集計		1,154
【総合内科】	OV CV ポート（中心静脈リザーバー留置術）パス	1
	OV 腹腔鏡下胆嚢摘出術パス	1
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	13
総合内科 集計		15
【糖尿病・内分泌内科】	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	6
糖尿病・内分泌内科 集計		6
【泌尿器科】	（訂正版）TUR-Bt パス	45
	TUR-P パス	18
泌尿器科 集計		63
【皮膚科】	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	1
皮膚科 集計		1
【婦人科】	TLH LAVH LM パス（5泊6日）	31
	システクパス	33
	卵巣、卵管、子宮婦人科 OP（開腹）	4
	膣式手術パス（2泊3日）脊椎麻酔	42
	膣式手術パス（2泊3日）全身麻酔	9
婦人科 集計		119
総計		2,481

(3)院内学会運営委員会

第16回目の「北摂総合病院 院内学会」は、2025年1月19日（日）に毎日新聞オーバルホールにて開催された。参加職員数297名、発表数24演題となり、各部署から医療の質の向上を目指して1年間取り組んできた改善活動や研究成果の発表が全職員を挙げて行われた。開催は参加者による積極的な質疑応答がなされた。今回より開始時間の前倒しを行い、学会演題とは別にランチョンセミナーとして院内の取り組みや紹介を実施した。また、今後の院内学会発展のため後日に院内学会アンケートを実施した（アンケート回答数：366名）。

1. 委員会メンバー

○運営委員メンバー

委員長 植田 直樹

事務局 早川 小織、大森 尚樹、上松 健司、黒岩 正司、大西 悠里、宇治 秀孝

2. 定例会

運営委員会 第1月曜日 16：00 から 17：00

3. 第16回 北摂総合病院 院内学会

最優秀賞：放射線科

優秀賞：救急推進担当

入賞①：HCU

入賞②：栄養調理科

入賞③：薬剤科

発表順番・テーマ一覧表

発表順	部署名	テーマ
1	ケアプランセンター	カスタマーハラスメントマニュアル作成
2	栄養科	栄養管理の現状報告
3	5階病棟	患者誤認防止の取り組みについて ―誤認ゼロを目指して―
4	保育所	病院で働く職員の子育て支援をしっかりと担う保育所を目指して ―子どもを安心して預けられる場所である為に―
5	中央手術センター	安心して信頼できる滅菌物提供への取り組み
6	訪問看護ステーション	訪問看護師による「人生会議の記録」の実態調査 ―利用者の思いを繋げていくために―
7	4階病棟	大腿骨手術を受ける低栄養リスク患者に対し、 栄養状態改善に向けた病棟看護師の取り組み
8	リハビリテーション科	大腿骨近位部骨折患者における受傷前後での運動機能の関係性 ―骨折予防に着目して―

ランチョンセミナー		
1	整形外科	骨粗鬆症治療および当院でのFLS取り組みについて
2	患者サポートセンター	患者サポートセンターの紹介
発表順	部署名	テーマ
9	3階病棟	個室隔離中の患者の転棟防止
10	救急推進担当	病院内救急救命士による病院前救護活動の準備過程 —安全な現場を目指して事前情報項目を見出そう—
11	HCU	救急外来を受診した患者への帰宅支援フローチャートの導入
12	放射線科	診療放射線技師の業務拡大に伴うタスクシェア —静脈路確保の実践—
13	地域医療連携室	新たな登録医情報ツールの開発 —整形外科の逆紹介率アップを目指して—
14	病院サービス課	入院案内説明の動画による待ち時間短縮 —更なるサービス向上を目指して—
15	特定行為委員会	看護師が行う特定行為について
16	臨床検査科	満足度に影響する項目の調査 —満足度向上に向けて—
発表順	部署名	テーマ
17	6階病棟	経口摂取困難患者に対する看護の標準化
18	臨床工学科	Blood Volume 計による除水制御機能は安全な血液透析療法に貢献できるか —血圧低下による除水困難症状が軽減した 1 例—
19	外来フロア	血液浄化センターにおける災害発生時の緊急離脱技術の習得と統一に向けて
20	7階病棟	病棟看護師の転倒予防に関する意識向上に向けた取り組み
21	HICT	当院における陰部洗浄ボトル処理の評価 —看護補助者業務の負担軽減と院内感染対策の両立を目指して—
22	薬剤科	当院における処方変更の現状、今後の改善にむけての検討
23	診療部	被疑薬にアミティーザが疑われたバチ指の1例
24	栄養調理科	物価高騰に対する挑戦状 —栄養調理科より美味しい給食を届ける為に—

(4)感染防止対策室・院内感染対策委員会

・感染防止対策室（ICT/AST 兼）	・ ICT メンバー	・ ICM メンバー
室長 貴島 源一（医師 ICD）	越智 薫（医師）	各部署に 1 名配置
副室長 馬場 恵美（専従看護師）	笹井 文子（看護師）	
室員 大貫 さほ（臨床検査技師）	松永 博子（看護補助）	
大坂 佳史（薬剤師）		
森 あずみ（看護師）		

当院は、1994 年に院内感染対策委員会、2011 年に ICT（Infection Control Team）、2014 年度に ICM（Infection control Manager）委員会、2018 年度に抗菌薬適正使用支援を目的とした AST（Antimicrobial Stewardship Team）を組織し、院内感染対策推進のために組織的に取り組んでいる。

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症が一般疾病となり 1 年が経過し、院内では、平時の感染対策を中心とした院内巡回や直接観察、外来や地域を含めた感染対策および抗菌薬適正使用、地域で取り組む新興感染症への備えなどの活動を行うことを目標として活動した。

2024 年の主な活動内容

1. 院内感染対策委員会（毎月 1 回：計 12 回実施）
毎月：耐性菌発生状況、COVID-19 発生状況と対策、病院の方針等について周知・決定
病院感染予防マニュアル改訂の承認
2. 院内感染発生時のコンサルテーション・指導
3. 院内感染防止マニュアルの適宜改訂、実施内容の指導・監督
4. 抗菌薬適正使用ガイドライン改訂
5. 各種サーベイランスの実施
手術部位感染（SSI：JANIS）、中心ライン関連血流感染（CLABSI）、薬剤耐性菌
手指消毒回数、個人防護具使用量、インフルエンザ・感染性胃腸炎（流行期）
針刺し損傷・皮膚粘膜曝露、抗菌薬使用量、血液培養 2 セット率
J-SIPHE への参加（ほぼすべての項目に参加）
6. 耐性菌情報の発行（週報作成、毎週グループウェア更新）とアンチバイオグラム作成
7. 各種ラウンドおよび巡回
AST ラウンド計 56 回（毎週火曜：抗菌薬適正使用・耐性菌・無菌材料からの培養陽性例など）
ICT 環境ラウンド（計 56 回毎週火曜 ICT 院内巡回および直接観察）
ICM ラウンド（毎月 1 回各部署：手指衛生手順と 5 つのタイミング唱和、PPE の着脱手順）
8. 薬事審議会での抗菌薬新規採用・削除
新規採用薬：（2024 年 7 月）ジェニナック錠 200mg
アベロックス錠 400mg
ラスビック点滴静注 150mg
（2024 年 8 月）ゾコーバ錠 125mg
削除薬・院外専用へ変更薬剤は 2024 年度なし
9. 患者・家族・地域住民および医療従事者等の感染対策指導、対応

10. 病院職員への教育（e-ラーニング含む）

ICT/AST 必修研修

7/15- 8/20「流行している感染症と対策、抗菌薬適正使用」（558/561 名受講 受講率 99.4%）

1/27- 2/25「医療従事者に必要なワクチンと抗菌薬適正使用」（539/553 名受講 受講率 97.4%）

11. ICT ★ NEWS の発行（9 回）

Vol.48「5/5 は手指衛生の日」

Vol.49「麻疹頻発しています」

Vol.50「夏に注意したい感染症」

Vol.51「針刺し予防の日」

Vol.52「インフルエンザ対策は予防が大事」

Vol.53「手指消毒剤・環境清拭ワイプを変更しました」

Vol.54「手指衛生していますか？」

Vol.55「感染性胃腸炎と麻疹にご用心！！」

Vol.56「生体消毒薬の使い分け」

12. 感染防止対策加算に係る連携病院とのカンファレンスの主催

1-1 連携相互ラウンド：高槻日本赤十字病院（10/24 訪問、10/31 受入）

1-2.3 連携カンファレンス：三島南病院・富田町病院・茨木病院（6/25, 10/1, 12/10, 1/8 計 4 回実施）

外来連携カンファレンス：34 施設（7/3, 2025/2/6）

新興感染症に対する訓練の実施（12/12）

北摂四医師会感染対策ネットワーク看護部世話人会出席（5/17）

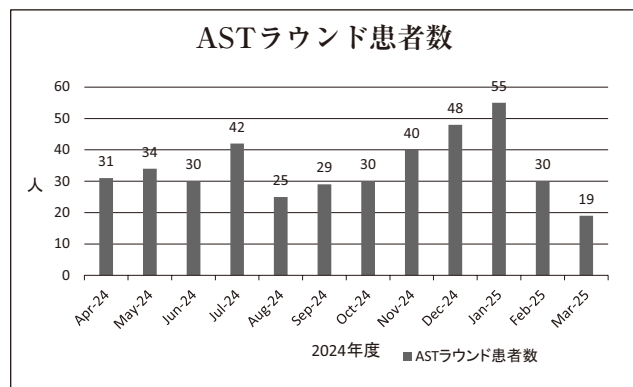
13. 学会・研究会・講習会参加

2023 年 9 月 -2024 年 6 月 大阪府看護協会感染管理認定看護師教育課程修了

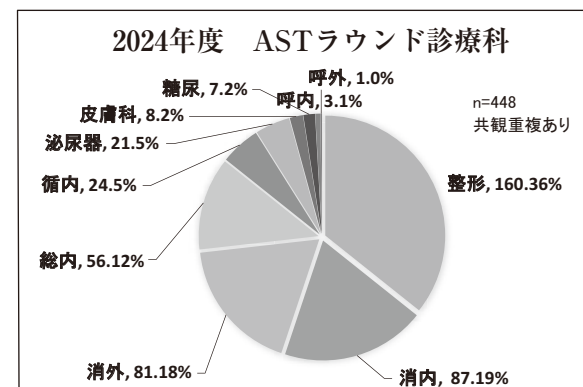
特定行為研修修了

2024 年 12 月日本看護協会感染管理特定認定看護師資格取得（森あずみ）

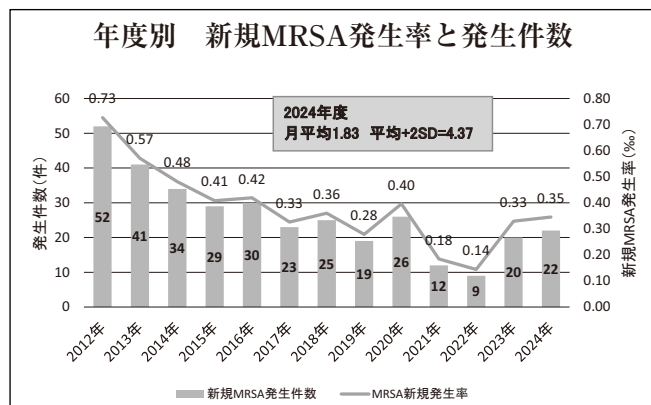
1.AST ラウンド実績（ICT 巡回同日開催）



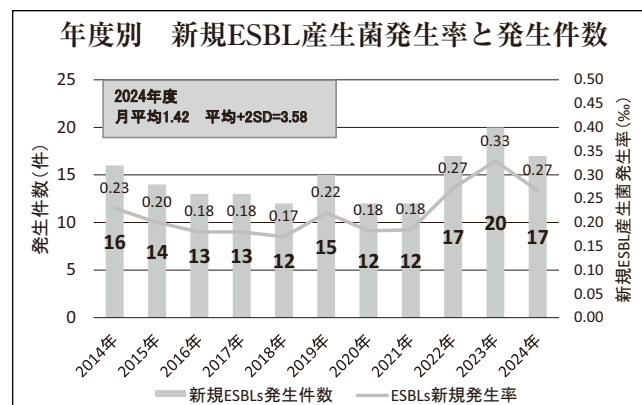
2.AST ラウンド診療科



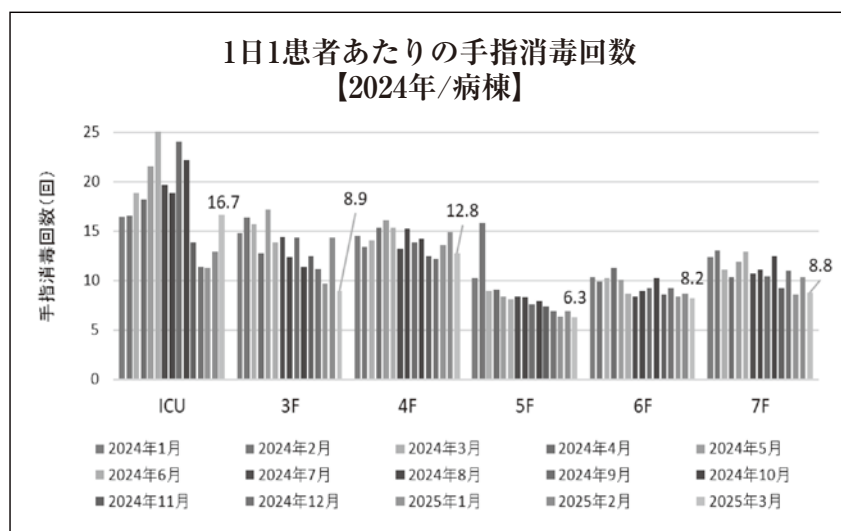
3. 年度別新規 MRSA 発生率と発生件数



4. 年度別新規 ESBL 産生菌発生率と発生件数



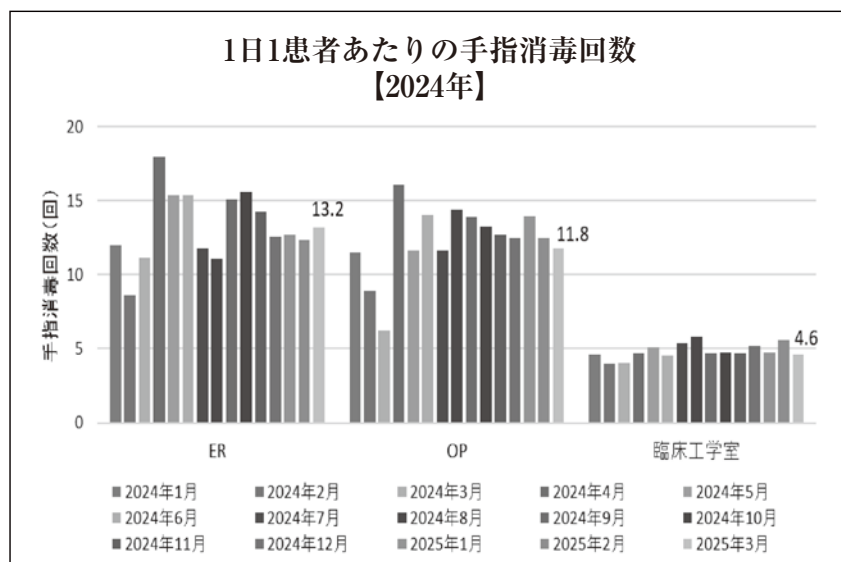
5.1 日 1 患者あたりの手指消毒回数推移（病棟）



2024 年度目標

- ・ HCU=20 回
- ・ 3F=14 回
- ・ 4F=17 回
- ・ 5F ~ 7F=12 回
- ・ 全体平均=20 回以上

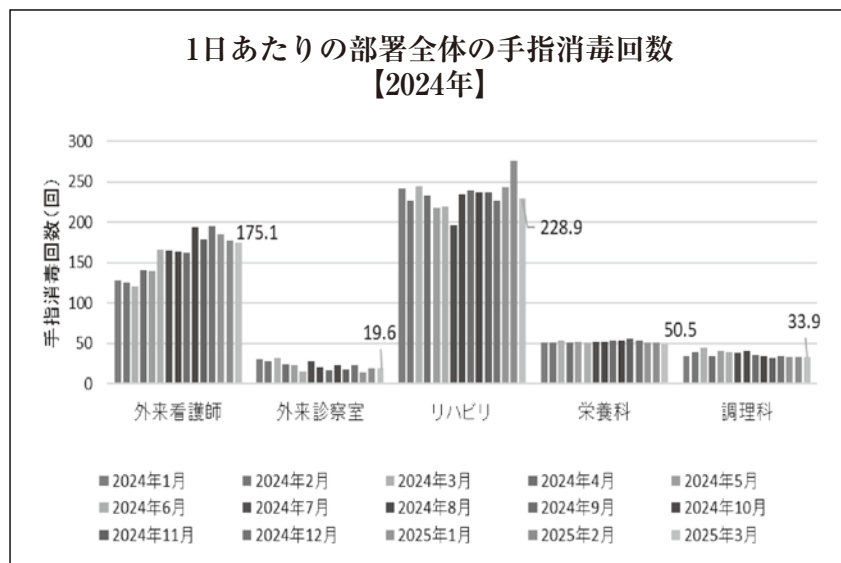
6.1 日 1 患者あたりの手指消毒回数推移（ER・手術・臨床工学室）



2024 年度目標

- ・ ER=14 回
- ・ OP=12 回
- ・ ME=6 回

7.1 日当たりの部署全体の手指消毒回数推移（外来看護師・外来診察室・リハビリ・栄養科・調理科）



2024 年度目標

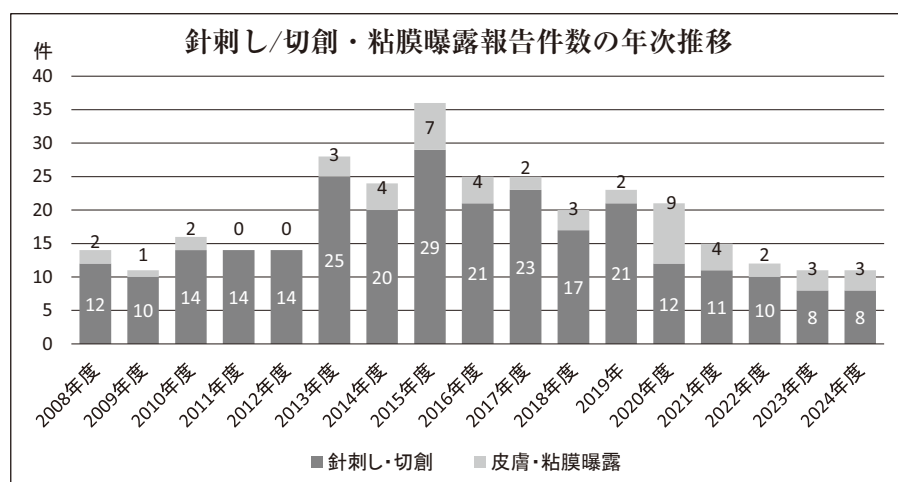
- ・ 外) Ns=145 回
- ・ 外来) 診察室=25 回
- ・ リハビリ=235 回
- ・ 栄養科=53 回
- ・ 調理科=46 回

【1～7. 評価】AST ラウンド件数は増加傾向である。2025 年度は感染管理システム導入に伴い、スクリーニングが手作業からシステム化されるため、AST ラウンド件数の更なる増加が見込まれる。

黄色ブドウ球菌における MRSA の分離頻度は多くなく、平均 +2SD を大きく下回っている。ただし、新規発生率の増加は 2 年連続である。ESBL に関しては、新規発生件数は前年度と比較して減少している。

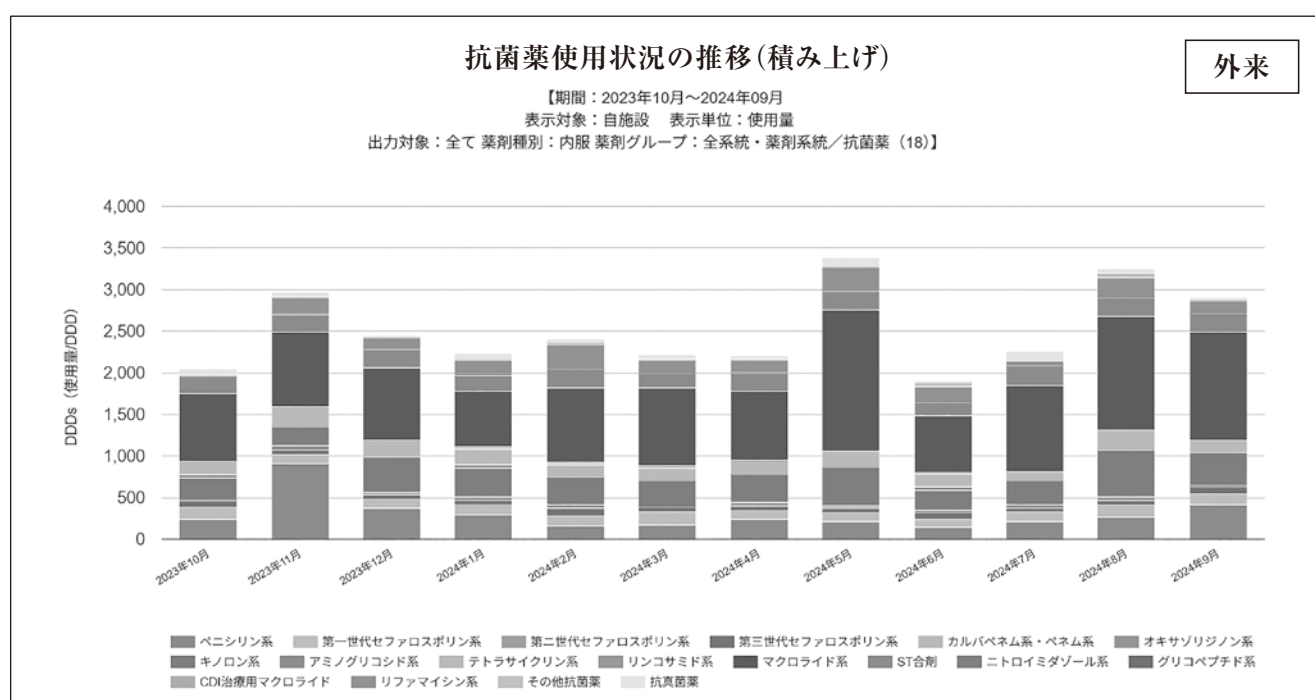
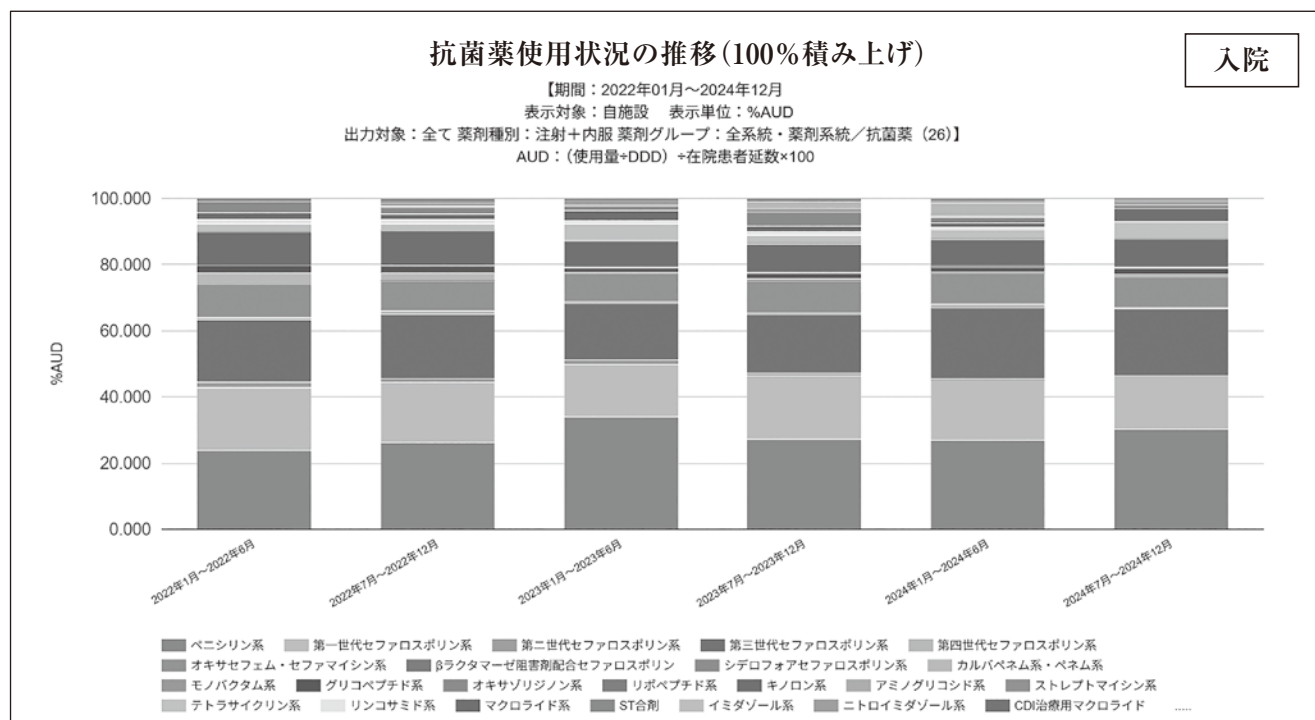
手指消毒回数はコロナ禍を過ぎて、やや減少傾向であった。WHO のフレームワークを活用し、多角的戦略を実施していく。また、観察タイミングを増やし、直接観察を実施しフィードバックをしていくことで、適切なタイミングでの手指衛生実施率を向上させ、環境整備の徹底と継続を目標として活動する。

8. 針刺し損傷・皮膚粘膜曝露件数推移



【8. 評価】コロナ禍でアイシールドを装着する機会が増え、粘膜曝露事例は減少を維持している。針刺し切創に関しても減少傾向であるが、患者の予期せぬ体動時に曝露する看護師や、手術閉創時の医師の曝露が目立っていた。また、集計には含めていないが、院外歯科などの当院以外の医療従事者の切創・血液曝露事例対応も増えてきている。そのため、外部からの針刺し切創・皮膚粘膜曝露事例にも対応できるような、院内のルールに準じたフロー作成を計画している。

9. 抗菌薬の系統別使用状況の推移



【9. 評価】 抗菌薬使用状況の内訳としては、どの各抗菌薬も使用割合で比較すると大きな変動は認めず、入院患者ではペニシリン系の使用割合が大きく、外来患者ではマクロライド系抗菌薬の使用割合が大きくなっている。北摂四医師会ネットワークや1-2.3. 外来連携施設と協働し、抗菌薬使用状況のデータ共有も含め、地域ぐるみで AMR 対策を推進していく。

10. 臨床分離菌 薬剤感受性一覧 (2024 年)

系統	略号	一般名	グラム陽性球菌								グラム陰性桿菌																			
			101	118	12	72	32	73	26	70	305	96	174	19	52	11	15	32	1	10	52	11	23	126	14	13	22	34		
			<i>S. aureus</i> (MSSA)	<i>S. aureus</i> (MRSA)	A群凝固菌(<i>S. pyogenes</i> 含む)	<i>S. agalactiae</i>	<i>S. pneumoniae</i>	<i>E. faecalis</i>	<i>E. fecium</i>	<i>H. influenzae</i> (BLNAR 含む) ※1	<i>E. coli</i> (ESBL 以外) ※2	<i>E. coli</i> ESBL	<i>K. pneumoniae</i> (ESBL 以外) ※2	<i>K. pneumoniae</i> ESBL	<i>K. oxytoca</i> (ESBL 含む) ※3	<i>Salmonella</i> sp.	<i>S. marcescens</i>	<i>P. mirabilis</i> (ESBL 以外)	<i>P. mirabilis</i> ESBL	<i>P. vulgaris</i>	<i>E. cloacae</i> complex	<i>C. freundii</i>	<i>M. morganii</i>	<i>P. aeruginosa</i>	<i>Acinetobacter baumannii</i> haem	<i>Steno. maltophilia</i>	<i>C. jejuni</i> (参考値)	<i>Bac. fragilis</i> Gp.		
ペニシリン	PCG	ベンジルペニシリン	37		100	100	97	97	31▲																					
	ABPC	アンピシリン	38					100	31▲	49	71						82▼			88										
	PIPC	ピペラシリン									100▲					50▼		100▲	100							90	100			
βラクタマーゼ 阻害薬	SBT/ABPC	スルバクタム / アンピシリン	100								78		92		83	82▼								5					88	
	CVA/AMPC	クラブリラン酸 / アモキシシリン																												
	SBT/CPZ	スルバクタム / セフォペラゾン																												
	TAZ/PIPC	タゾバクタム / ピペラシリン									100		99		96		64▲	100												
セファロスポリン	CEZ	セファゾリン	100								85		97		27▼				69											
	CTX	セフトキシム									100		100		100				100											
	CAZ	セフトジジム									98		100		100	100	36▼	100												
	CTRX	セフトリアキソン			100	100				96	99		100		98	100	80▲	96												
	CFPM	セフェピム									100		100		100	100	100	100												
セファマイシン	CMZ	セフトメゾール									98	99	100	100	100			100											44▲	
モノバクタム	AZT	アズトレオナム									98		99		98		43▼	100												
カルバペネム	IPM	イミペネム	100								100			100	100														100	
	MEPM	メロペネム									100	100	100	100	100	100	100	100											97	
アミノグリコシド	GM	ゲンタマイシン	71▼	65							95	83	99	84	98			100	96											
	AMK	アミカシン									100	100	100	100	100			100	100											
マクロライド	EM	エリスロマイシン	76	15	73▼	62		31	13▼																					
	CAM	クラリスロマイシン					25			76																				
リンコマイシン	CLDM	クリンダマイシン	78	25	82▼	66▼																							53▲	
テトラサイクリン	MINO	ミノサイクリン	99	84				34	81																				88	
フルオロキノロン	LVFX	レボフロキサシン	76	8	92	59	89▼	93	19	100	72	9	97	58	96	91▲	87▲	59▼												
サルファ剤	ST	スルファメトキサゾール / トリメトプリム	99	100							90	60	98	44	98	82▼	100	86												
その他	FOM	ホスホマイシン	99	97							90	85	26▲	16▼	24	100	20▼	71												
グリコペプチド	VCM	バンコマイシン	100	100	100	100		100	100																					
	TEIC	テイコプラニン	100	100					100	100																				
その他	LZD	リネゾリド	99	100					100	100																				

対象菌株数少数のため評価せず

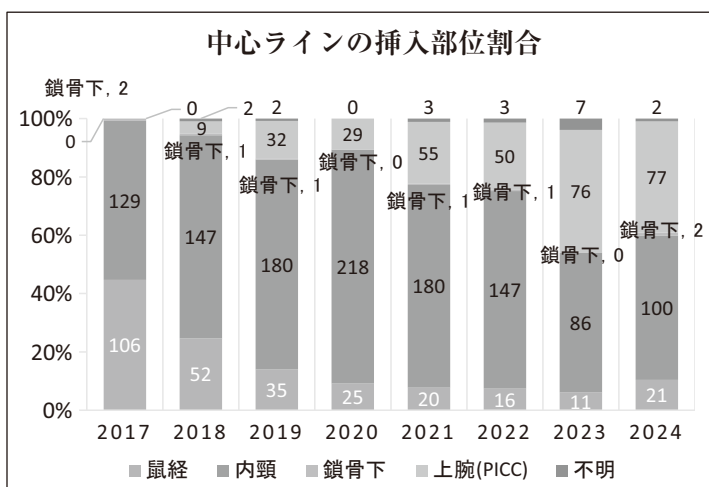
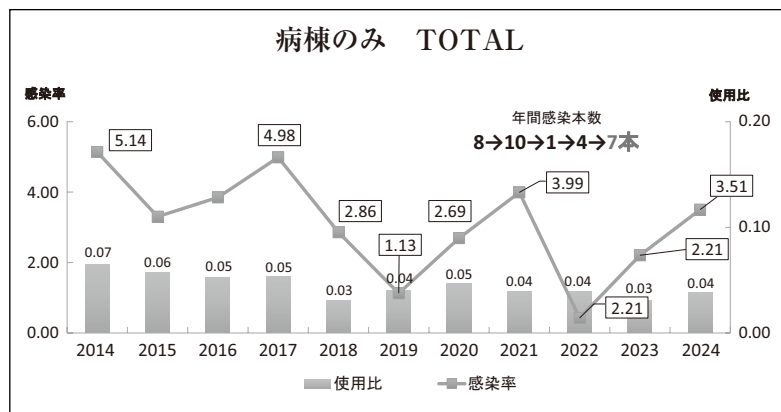
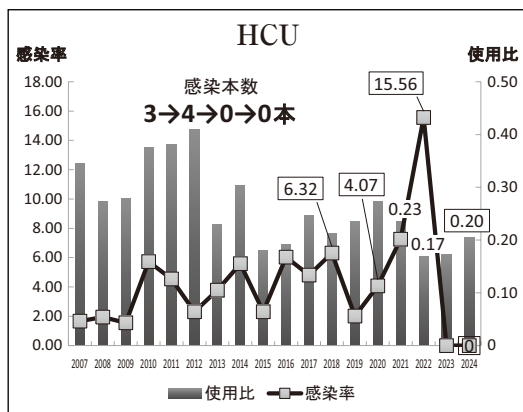
感受性率 ■: 80%以上 ■: 79%以下 ▲▼前年比 (10%以上の差) / 結果によらず耐性

※1 BLNAR の場合に耐性

※2 CPE、クラスCβラクタマーゼ産生菌含む

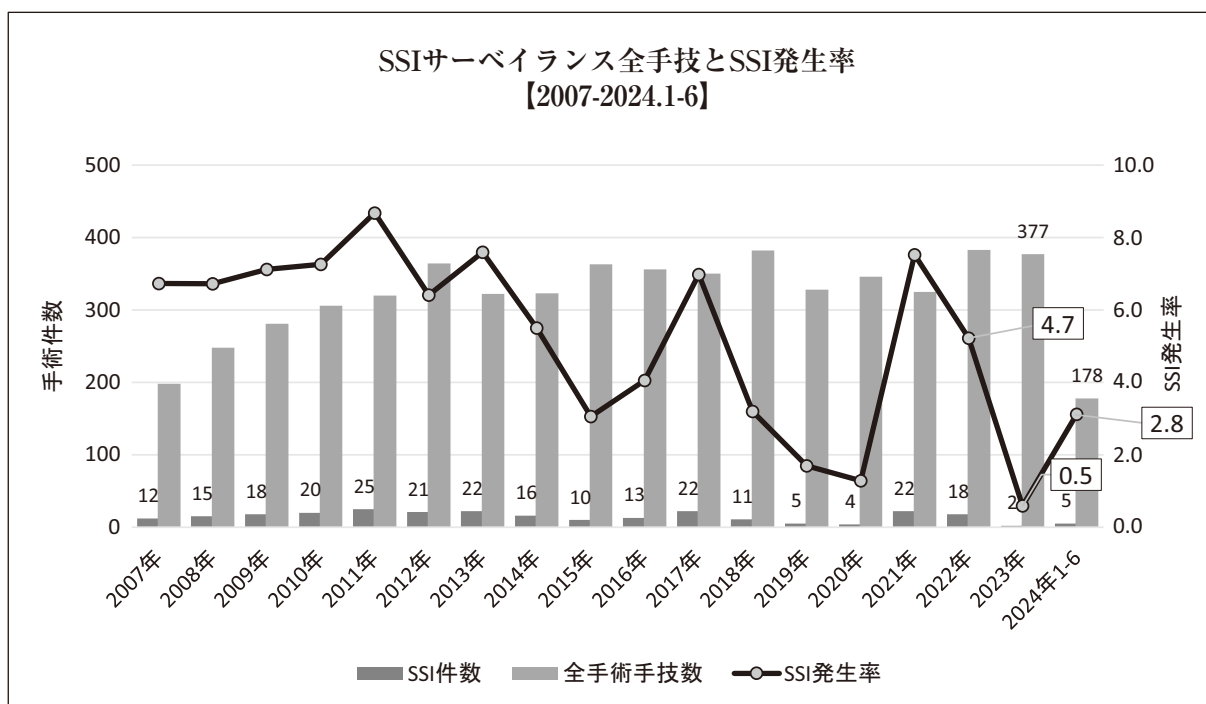
※3 CPE、クラスCβラクタマーゼ産生菌、K2 βラクタマーゼ疑い K.oxytoca 含む

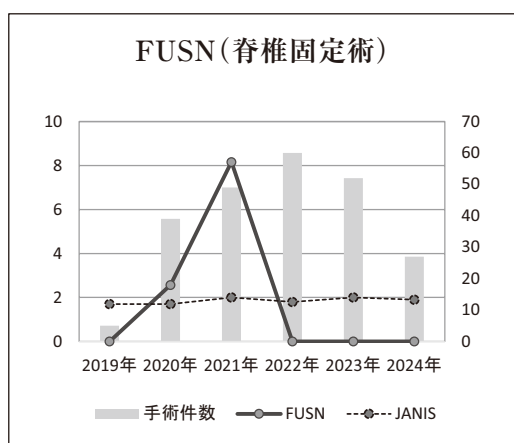
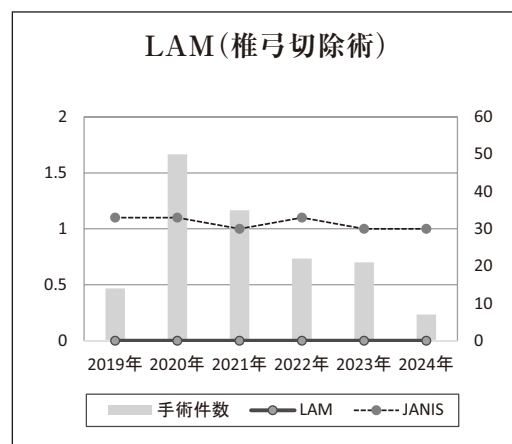
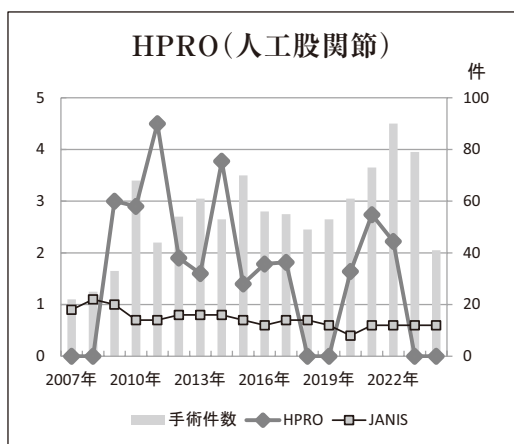
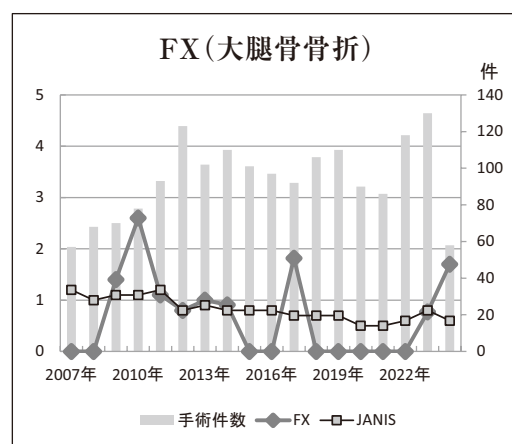
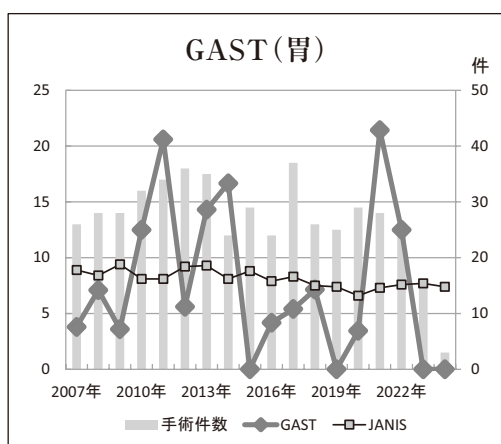
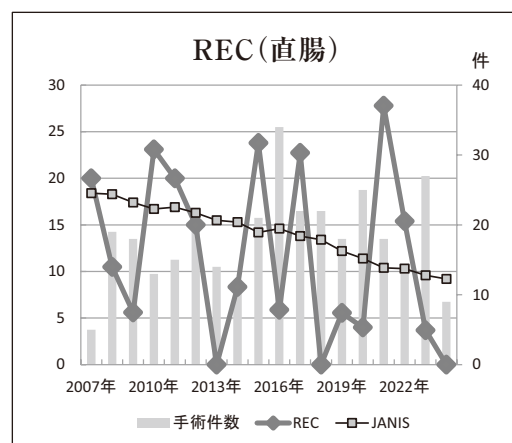
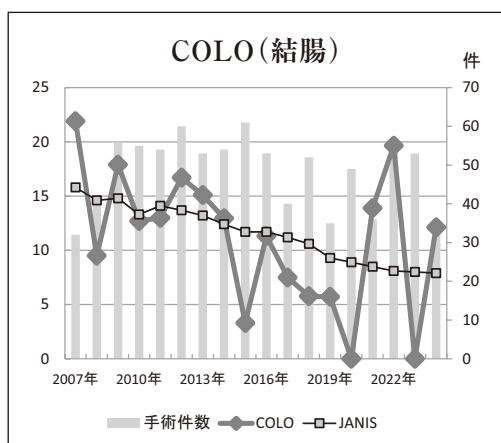
11. 当院における中心ライン関連感染サーベイランス状況（CLABSI）



【11. 評価】 中心静脈ラインの使用比は年々減少傾向である。HCUにおける感染は0本であったものの、病棟では増加した。中心静脈ラインの挿入本数は年々減少し、選択使用されている中心静脈ラインではPICCの割合が増加している。引き続き血流感染サーベイランスによるCLABSI低減のための活動と、PICCの管理を含めた清潔な輸液管理を確認・指導し、徹底する必要がある。

12. 当院における手術部位サーベイランス状況（SSI）





【12. 評価】SSI 件数は低下している。ただ、手術件数と比較しての SSI 発生率は増加傾向である。また、2025 年度は感染管理システムを導入開始した。これまでより多くの手術手技の SSI サーベイランスが可能となる予定であり、フィードバックはタイムリーに行えるようになることが想定される。より患者の感染予防や管理に寄与することができる。

(5)薬事審議会

開催日：2024 年 4 月 22 日 第 250 回

審議内容：① 4 種類の新規医薬品、3 種類の院外専用薬採用申請検討

- ② 緊急採用薬 17 種類の申請報告
- ③ 供給制限のある薬剤 3 種類の報告
- ④ 製造・販売中止薬剤 5 種類の報告
 - 削除薬剤 1 種類
- ⑤ 供給・出荷停止薬剤 2 種類の報告
- ⑥ 採用薬見直し
 - 後発医薬品へ薬剤変更 5 種類
 - メーカー変更薬剤 6 種類
 - 院外専用へ変更薬剤 11 種類
 - 削除薬剤 3 種類
- ⑦ 4 月期限切れによる採用薬の報告
 - 院外専用へ変更薬剤 3 種類
 - 要時発注へ変更薬剤 3 種類
 - 削除薬剤 3 種類

開催日：2024 年 5 月 20 日 第 251 回

審議内容：① 4 種類新規医薬品、1 種類の院外専用薬採用申請検討

- ② 緊急採用薬 7 種類の申請報告
- ③ 供給制限のある薬剤 4 種類の報告
- ④ 製造・販売中止薬剤 2 種類の報告
 - 後発医薬品へ薬剤変更 1 種類
 - 院外専用へ変更薬剤 1 種類
- ⑤ 供給・出荷停止薬剤 1 種類の報告
- ⑥ 採用薬の見直し
 - 後発医薬品へ薬剤変更 6 種類
 - メーカー変更薬剤 3 種類
 - 院外専用へ変更薬剤 5 種類
 - 削除薬剤 2 種類
- ⑦ 5 月期限切れによる採用薬の報告
 - 院外専用へ変更薬剤 2 種類

開催日：2024 年 6 月 17 日 第 252 回

審議内容：① 1 種類の新規医薬品、1 種類の院外専用薬採用申請検討

- ② 緊急採用薬 15 種類の申請報告
- ③ 供給制限のある薬剤 5 種類の報告
- ④ 製造・販売中止薬剤 5 種類の報告

- 先発医薬品へ薬剤変更 1 種類
- ⑤ 採用薬の見直し
 - 後発医薬品へ薬剤変更 10 種類
 - メーカー変更薬剤 5 種類
 - 院外専用へ変更薬剤 10 種類
 - 削除薬剤 19 種類
- ⑥ 6 月期限切れによる採用薬の報告
 - 院外専用へ変更薬剤 1 種類
 - 削除薬剤 3 種類

開催日：2024 年 7 月 22 日 第 253 回

審議内容：① 5 種類の新規医薬品、4 種類の院外専用薬採用申請検討

- ② 緊急採用薬 26 種類の申請報告
- ③ 供給制限のある薬剤 10 種類の報告
- ④ 製造・販売中止薬剤 3 種類の報告
 - 先発医薬品へ薬剤変更 1 種類
 - メーカー変更薬剤 1 種類
 - 削除薬剤 1 種類
- ⑤ 採用薬の見直し
 - 後発医薬品へ薬剤変更 5 種類
 - メーカー変更薬剤 3 種類
 - 院外専用へ変更薬剤 5 種類
 - 削除薬剤 4 種類
- ⑥ 7 月期限切れによる採用薬の報告
 - 削除薬剤 1 種類

開催日：2024 年 8 月 19 日 第 254 回

審議内容：① 2 種類の新規医薬品、2 種類の院外専用薬採用申請検討

- ② 緊急採用薬 20 種類の申請報告
- ③ 供給制限のある薬剤 2 種類の報告
- ④ 製造・販売中止薬 1 種類の報告
 - メーカー変更薬剤 1 種類
- ⑤ 採用薬の見直し
 - 後発医薬品へ薬剤変更 7 種類
 - メーカー変更薬剤 2 種類
 - 院外専用へ変更薬剤 1 種類
- ⑥ 8 月期限切れによる採用薬なし
 - 院外専用へ変更薬剤 1 種類

開催日：2024 年 9 月 9 日 第 255 回

審議内容：① 3 種類の新規医薬品、8 種類の院外専用薬採用申請検討

- ② 緊急採用薬 28 種類の申請報告
- ③ 供給制限のある薬剤 6 種類の報告
- ④ 製造・販売中止薬 2 種類の報告
 - 先発医薬品へ薬剤変更 1 種類
 - 削除薬剤 1 種類
- ⑤ 採用薬の見直し
 - 削除薬剤 1 種類
- ⑥ 9 月期限切れによる採用薬の報告
 - 要時発注へ変更薬剤 1 種類
 - 削除薬剤 2 種類

開催日：2024 年 10 月 21 日 第 256 回

審議内容：① 新規医薬品採用・院外専用薬採用申請なし

- ② 緊急採用薬 37 種類の申請報告
- ③ 供給制限のある薬剤 12 種類の報告
- ④ 製造・販売中止薬 3 種類の報告
 - 削除薬剤 3 種類
- ⑤ 採用薬の見直し
 - 後発医薬品へ薬剤変更 1 種類
 - メーカー変更薬剤 4 種類
 - 院外専用へ変薬剤更 3 種類
- ⑥ 10 月期限切れによる採用薬の報告
 - 要時発注へ変更薬剤 1 種類
 - 院外専用へ変薬剤更 1 種類

開催日：2024 年 11 月 18 日 第 257 回

審議内容：① 1 種類の新規医薬品採用申請検討

- ② 緊急採用薬 16 種類の申請報告
- ③ 供給制限のある薬剤 12 種類の報告
- ④ 採用薬の見直し
 - 削除薬剤 2 種類
- ⑤ 11 月期限切れによる採用薬の報告
 - 要時発注へ変更薬剤 4 種類
 - 削除薬剤 1 種類

開催日：2024 年 12 月 16 日 第 258 回

審議内容：① 3 種類の新規医薬品・3 種類の院外専用薬採用申請検討

- ② 緊急採用薬 13 種類の申請報告
- ③ 供給制限のある薬剤 9 種類の報告
- ④ 製造・販売中止薬 2 種類の報告
 - 先発医薬品へ薬剤変更 1 種類
 - 削除薬剤 1 種類
- ⑤ 採用薬の見直し
 - 後発医薬品へ薬剤変更 8 種類
 - 院外専用へ変薬剤更 5 種類
 - メーカー変更薬剤 1 種類
 - 削除薬剤 1 種類
- ⑥ 12 月期限切れによる採用薬の報告
 - 要時発注へ変更薬剤 2 種類
 - 削除薬剤 1 種類

開催日：2025 年 1 月 20 日 第 259 回

審議内容：① 1 種類の新規医薬品・2 種類の院外専用薬採用申請検討

- ② 緊急採用薬 12 種類の申請報告
- ③ 供給制限のある薬剤 7 種類の報告
- ④ 採用薬の見直し
 - 後発医薬品へ薬剤変更 1 種類
 - メーカー変更薬剤 7 種
 - 削除薬剤 1 種類
- ⑤ 1 月期限切れによる採用薬の報告

開催日：2025 年 2 月 17 日 第 260 回

審議内容：① 4 種類の院外専用薬採用申請検討

- ② 緊急採用薬 21 種類の申請報告
- ③ 供給制限のある薬剤 10 種類の報告
- ④ 製造・販売中止薬 1 種類の報告
 - 削除薬剤 1 種類
- ⑤ 採用薬の見直し
 - 後発医薬品へ薬剤変更 3 種類
 - メーカー変更薬剤 1 種類
- ⑥ 2 月期限切れによる採用薬の報告
 - 院外専用へ変更薬剤 1 種類
 - 削除薬剤 2 種

開催日：2025 年 3 月 17 日 第 261 回

審議内容：① 2 種類の新規医薬品採用申請検討

② 緊急採用薬 23 種類の申請報告

③ 供給制限のある薬剤 12 種類の報告

④ 製造・販売中止薬 3 種類の報告

→ 削除薬剤 3 種類

⑤ 採用薬の見直し

→ メーカー変更薬剤 3 種類

→ 院外専用へ変薬剤更 3 種類

⑥ 3 月期限切れによる採用薬の報告

→ 院外専用へ変更薬剤 2 種類

→ 要時購入へ変更薬剤 1 種

(6)救急委員会

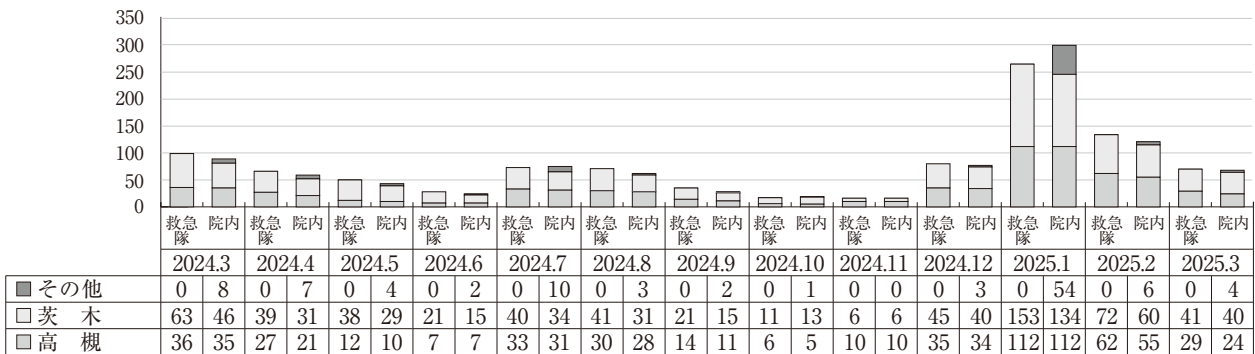
毎月第2金曜日 開催 午後4時00分～5時00分

【定期活動内容】

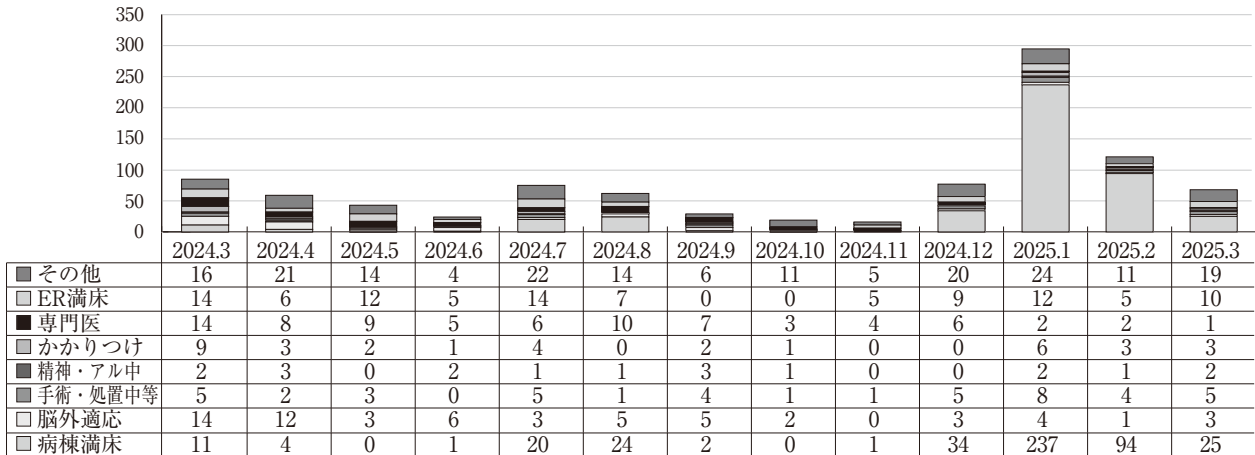
※救急搬送数、搬入数の報告、お断り件数・お断り理由の確認

※ ER、ICU、手術室、各病棟、薬剤科、放射線科、検査科等で起こったコードブルー事例報告及び検討・振り返り、各部署の研修会

救急隊別救急搬入お断り件数



お断り件数内訳



【評価】

救急車の応需率が季節ごとに変動しており、その変動要因として入院病床との相関が高いことが確認される。空床病床が厳しい状況で重症救急患者の受け入れ判断において（入院病床の確保が困難）という理由で応需を断らざるえないケースが増加する。

※ CPR 実施事例件数は 20 件、その中で抜粋して検討をした。

(7)褥瘡対策委員会

メンバー（2024 年度）

委員長：芳川 た江子（医師）

副委員長：門戸 典子（WOCナース）

委員：看護師 担当師長…………… 中道

外来…………… 橋本（高添）

7 F…………… 佐藤（岸本・藤本・伊地知）

6 F…………… 木谷（杉山）

5 F…………… 巖（羽根）

4 F…………… 門（大塚）

3 F…………… 中島

ER/ICU …………… 河村（雪本）

手術室…………… 清水（北村）

看護補助…………… 平山

栄養科 …………… 岡本・山本・小林

薬剤科 …………… 森・住吉

リハビリ …………… 良田・遠近・福田

地域 …………… 上田

医療情報 …………… 金谷・大田

〈2024 年度の活動〉

(1) 褥瘡回診

毎週1回、各病棟を回り、褥瘡患者さんのチェックやマットの使用状況のチェックなどを行っています。又、毎月第2・4水曜日の15時から褥瘡対策チームで回診を行っています。

今年1年間で、当院入院患者さんの中で褥瘡のできている人は111名おられ、そのうち持ち込みは93名、院内発生は18名おられました。昨年度と比べて持ち込みの褥瘡は減り、院内発生は増えています。

医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）は、10名でした。

医療関連機器とは、弾性ストッキング・NPPV・V60マスク・胃管カテーテル・イレウス管などがあります。

褥瘡対策委員会の最大の目標は、院内発生数を限りなく0に近づけることです。

(2) 褥瘡対策委員会

毎月第1水曜日15時から、3F多目的ホールで開催しています。各病棟の褥瘡患者さんの症例を電子カルテを通して、スクリーンに映し出して、皆で検討しています。

(3) 今年度開催した院内勉強会（15時から、褥瘡対策委員会内で）

①11月6日（水）「褥瘡に関する薬剤」

(4) 今年度開催した院内勉強会（17：30～多目的ホールで）

- ① 7月 3日（水）「スキンケア、スキンテア、おむつの当て方」
- ② 9月 4日（水）「DESIGN-R 2020 評価」
- ③ 10月 2日（水）「体圧分散・ポジショニング・体圧分散寝具の取り扱い方法」
→保健所の監査が入るため多目的ホール使用不可、集合研修は中止、各病棟で
- ④ 1月 15日（水）「栄養委員会と褥瘡委員会のコラボレーション研修」
- ⑤ 2月 5日（水）「褥瘡ケアの実際」

(5) 今年度参加した褥瘡に関するセミナー・学会

- ① 7月 8日（月）～7月 26日（金） CAPE 床ずれ対策オンラインセミナー 2024
- ② 9月 6日（金）7日（土） 第26回日本褥瘡学会学術集会（アクリエひめじ）
- ③ 11月 9日（土）「褥瘡ケアと栄養」～高槻・島本嚙下栄養研究会
- ④ 1月 29日（水）30日（木）「褥瘡のケアと予防」～オンラインセミナー（コンバテック）

(6) 今後の課題

褥瘡の患者さんというのは、本来いないのが理想的なのですが、全身状態、栄養状態にも左右され、又、他院や在宅などからの持ち込みも多く、なかなかケアが大変なことが多いです。

又、2014年8月より全ての入院患者さんに褥瘡対策に関する診療計画書をあげて褥瘡予防に努めていて、又、院内発生がかなり少ないことが評価されたのか、病院機能評価でもS判定をいただきました。今後も、全ての入院患者さんの褥瘡予防に努め、院内発生数を限りなくゼロに近づけたいと思います。

(8)労働安全衛生委員会

1. 目的

本委員会は、労働安全衛生法に基づき、労働災害防止を労使一体となって、職員の災害防止、安全を守り、快適な職場環境の形成を促進。また、疾病予防および健康増進に関する事項審議調査し必要な措置を行うための健康診断や、心の健康診断「ストレスチェック」を実施。また、外部業者(株)セーフティーネットの「こことカラダの健康相談窓口」を開設し、心身ともに安全と健康で働きやすい職場環境整備することを目的に設置されています。

2. 委員会メンバー構成

＜委員長＞ 1名 ＜副委員長＞ 1名 ＜産業医＞ 1名
＜委員＞ 看護師 3名・他技師等 13名 ＜事務局＞ 人事課 3名

3. 2024 年度における委員会の主な取り組み

※定期健康診断・ストレスチェックと予防接種

4月	6月	7月	8月	10月	11月		12月	1月	2月
定期健康診断 (全職員)	HBワクチン 接種	HBワクチン 接種	麻疹・風疹・ ムンプス・水痘 ワクチン接種	定期健康診断 (特定業務従事者)	インフルエンザ ワクチン接種	ストレス チェック (全職員)	HBワクチン 接種	HBワクチン 接種	麻疹・風疹・ ムンプス・水痘 ワクチン接種
561人	60人	45人	40人	433人	523人	550人	47人	10人	20人

HB ワクチン接種 第1回…6月・7月・12月、第2回…12月・1月・翌年度6月

※「こことカラダの健康相談窓口」による電話相談

外部業者(株)セーフティーネットと契約。フリーダイヤル 24 時間 365 日利用可能。

職場・仕事・健康以外に家庭問題なども相談ができる。年度内の利用件数は1回

※毎月の職場巡回（毎月第1火曜 14：00～）

職員の働きやすい職場環境を維持する為に、産業医、衛生管理者が職場の巡回を実施

4月	年度初めにつき次月にまとめて実施	10月	保健所立入検査と重なるため次月実施
5月	2023 年度の振返り	11月	2F 病理検査室
6月	栄養科・栄養調理科	12月	臨床検査科（2F 病理検査室つづき）
7月	循環器センター（7F 病棟）	1月	年末年始休みと重なるため次月実施
8月	8F 食堂、屋上	2月	4F 病棟
9月	病院前更衣棟	3月	2024 年度の総括

4. 委員会における主な審議内容（月1回開催）

- ・職場巡回実施後の職場環境の改善策
- ・職員健診、ワクチン接種の業務改善を検討
- ・長時間労働による労働者の健康障害防止について状況把握（所属別の残業時間推移を共有）
- ・年次有給休暇の取得率を共有、把握
- ・食堂内設置の意見箱から投書された問題の改善点を検討
- ・安全衛生管理体制の再確認、化学物質管理者・保護具管理者選任
- ・メンタルヘルスの向上への取り組み（メンタルヘルスサポートについて着手）

I 定例委員会

毎月第3水曜日 16:00～

目的：臨床検査の精度及び効率の向上並びに標準化を図る

委員会構成メンバー：

- ・諏訪 道博…………… 臨床検査科部長（委員長）
- ・齊藤 潤…………… 臨床検査科科长
- ・米村 里美…………… 臨床検査科係長
- ・中島 典子…………… 3F レディースフロア看護師長
- ・中道 和歌子…………… 外来フロア看護師長
- ・橋本 シオリ…………… 病院サービス課職員

II 主な議題と検討内容

◎精度管理、機器、試薬等の検討

- ・病理診断システム稼働

4/15 より病理診断システムを稼働した。

（電子カルテ変更点）

- ・依頼と結果の確認画面が別々になった
- ・患者に結果を説明した際の結果説明終了の記録を付けることとした
（検査業務変更点）

- ・検体やブロックをシステム上で管理可能になった

- ・過去のデータを統計処理しやすくなった

- ・ミクロトーム導入

病理診断科で今年度は液状細胞診のスライド作製機を導入予定であったが、費用や必要性から再検討し、3/6 にミクロトームを導入。剖検室に設置した。

これにより、病理診断から遺伝子検査の検査期間短縮や検査費用の削減を図る。

- ・マイコプラズマの PCR 検査機器導入

1/8 より SmartGene（PCR 検査機器）を導入し、マイコプラズマの PCR 検査を院内で開始した。

これにより精度向上と、マクロライド耐性の有無確認が可能になった。

- ・検査システムバージョンアップ

検査業務の効率向上、管理性能向上の為、検査システム（CaresphereLWS）を 2/22 にリハーサル実施後、3/26 にバージョンアップを行った。

◎業務改善、効率化、運用

- ・カルテの名前変更時

電子カルテで登録した名前や ID を変更した際は、病院サービス課から検査科に連絡して頂くよう連絡していたが、連絡が無いことが多いため、連絡の徹底を要望した。

検査科内では変更を確認した際の対応について周知している。

- 検査技師のミスによる病棟患者再採血について

病棟患者の採血容器作製の際、別オーダを見落として準備した為、再採血となった事例有。病棟看護師より技師が採血をするべきとの意見があり、技師のミスで発生する採り直しについてはできるだけ採りに行くこととした。ラベル発行ミスについても再発防止策を講じた。

- 輸血対応の遅れ

非常勤医師が輸血依頼方法を知らず、看護師に確認したがわからず、検査技師もヤギー依頼時の台紙名がわからず手間取った事例有。

依頼方法の周知と確認し易さ向上の為、リンクライブラリに輸血の依頼方法等を掲載した。

- 採血時疼痛事例について

採血室で手背を2回穿刺したが採血できず、処置室に採血依頼し、右手首から採血実施。右手の痺れ・痛みを訴え整形外科を受診し、CS介入となった事例あり。患者との協議は終了しているが下記対応について看護部と協議した。

(患者情報の共有)

アルコール禁や患者への配慮について看護師間での情報伝達に漏れがあり、患者対応がきちんとしていなかった為問題となった。検査科としても看護師と患者情報の共有をより図る必要があると感じた為、看護部依頼時の情報共有の重要性について周知した。

(採血困難患者への対応)

外来看護師長より採血室で採血困難であれば、看護部を介さず直接医師に連絡し、中止として良いのではないかと意見があり。医療安全を交えた協議で、処置室での採血ではほぼ全ての患者において採血は問題なくできており、採血室で採血困難患者の対応を全て行うのは難しい為、処置室での看護師による採血は継続実施することとなった。看護師が実施困難と判断した際は、医師に確認し、中止を検討する。

- 結果が電子カルテに飛ばなかった事例対応

電子カルテに検査結果が飛んでいない事例があり、調査を実施した。

調査の結果、コメント内で改行していた為結果が飛ばなかったことが判明。

システムの改善は難しく、検査科内で周知し、画面上に注意を表示し対応した。

- 地域医療従事者研修

地域医療従事者研修施設の要件対応と、病院相互の交流を目的とし、第一東和会病院検査科と連携し、勉強会を開始。10月位に東和会病院、2月に当院主催で勉強会を開催し、次年度も引き続き実施する予定である。

- 肝炎説明の算定要件追加について

2022年より、当院が以前から算定している「短期滞在手術等基本料」の算定要件に「肝炎ウイルス検査結果が陰性であっても患者に適切な説明を行い、文書により提供する」との内容が追加されている。現状では眼科のみが短期滞在手術等基本料を算定しており、短期滞在手術同意書に肝炎ウイルス検査結果説明書を追加し、説明する手順を整えた。

- パンフレット設置

病理解剖の院内実施件数を増やす為、病理解剖案内のパンフレットを作成。

外来・病棟のパンフレット置き場に追加し、参照可能とした。

- 輸血関連加算の算定開始

輸血管理加算Ⅱ：110点 輸血適正管理加算：60点 を7/1より算定し始めた。

適時調査への対応も考慮し、必要書類を整備する。

- 糞便の潜血検査

出血が疑われる際の参考として、尿試験紙で潜血検査を実施して欲しいと依頼されることがあるが、尿検体以外では偽陽性とする可能性を否定できないなど、精度を保証できない為、検査科では実施しない。医師の判断で実施する際は、試験紙を渡して実施して頂く。

- 非至急検体の検査時間

至急ではない検体を3時間後に測定。パニック値であった為報告し、心筋梗塞疑いで入院、緊急カテになった例あり。非至急検体であっても出来るだけ早く結果返却する様検査科内で指示した。諏訪 Dr より依頼医に対しても事例報告実施。

- ダムウェイター使用時の検体落下

ダムウェイターを使用した検体移送時に検体落下が時々起きている。

看護部、検査科に注意を促した。

- 採血時の患者確認

1/22より検体容器と診察券の患者確認バーコード運用を開始した。

今後、受付表も含めた3点確認も実施できる様、システム更新を検討する。

◎その他

- 学生実習

神戸常盤大学の実習生を受け入れた（11/25～3/5）。

実習指導要領の改定により、内視鏡の見学が必須となった他、生理検査の期間が指定されたが対応し、問題なく実習を終了することができた。

I 定例委員会

第1火曜日 16:00～16:30

II 活動内容

1. 血液製剤の適正使用および安全な輸血業務が行えることを目的に活動し検討を行った。

- 血液製剤の取り扱いについて
- 血液製剤払い出し、保管管理方法について
- 血液製剤と交差適合試験成績書の確認の徹底について
- 輸血中止時の連絡の徹底
- 血液製剤依頼箋の誤記に関する啓蒙
- 血液製剤、血液分画製剤の年間使用量、廃棄数、廃棄率の報告検討
- C/T 比の報告
- 血液センターより輸血情報の提供
- アルブミン製剤、グロブリン製剤の適正使用
- 輸血・血液製剤査定減点率の検討
- 輸血諸経費削減について
- 輸血前後の感染症検査実施について
- 輸血後情報に基づく遡及調査について
- 輸血指示確認の徹底について
- 同意書確認の徹底について
- 輸血施行時のバイタルチェックの徹底と確認
- 血漿交換について
- 輸血療法の実施に関する指針、血液製剤使用指針改定について
- 危機的出血への対応ガイドライン、フローチャートについて
- 外来輸血運用方法、グループウェア施設予約利用について
- 自己血院内保管管理について
- HLA 抗体保持患者への ABO 異型 HLA 適合血小板の輸血について
- 輸血手順、ベッドサイドでの血液製剤照合の徹底
- T & S の推進と血液製剤院内在庫の実施について
- 輸血の効果判定について
- 緊急輸血の実施手順について
- 自己血貯血時の迷走神経反射について
- 宗教的理由による輸血拒否患者に対する基本方針について

2. 輸血副作用報告

- 赤血球液（RBC）による副作用報告1件。掻痒感・かゆみ、膨隆疹あり。
血液センターでの精査は実施せず。

3. 血液センター遡及調査

- 本年度なし

4. 本年度検討および報告事項

- 輸血同意書の改訂、輸血および血漿分画製剤使用説明文を改訂し運用した。
- 輸血後感染症検査の実施は医師が必要と判断した場合に実施するとして、全例実施は廃止し、上記同意書に記載した。
- 自己血有効期限を血液センター RBC の有効期限が 21 日から 28 日に延長されたのを踏まえ、貯血パックの有効期限内である 28 日に延長した。
- 緊急内視鏡時に輸血指示あり内視鏡室へ RBC 出庫するも、輸血指示医と内視鏡施行医、および看護師との連携不足にて内視鏡後の輸血となった事例あり。医師と看護部で内視鏡中の輸血施行は問題ないことを確認した。
- 危機的出血フローチャートを、「救急診療科、集中治療科」「内視鏡」「麻酔科」の 3 種から、「日勤帯」「夜勤帯」に改定し運用した。
- 血液製剤依頼箋を改訂し、輸血同意書確認欄を作製、緊急時は臨床検査科で印刷可能とした。
- 輸血同意書は、同一目的であっても入院毎に再取得する必要がある。
医師の認識に相違があったため、再度周知した。
- FFP 溶解方法のマニュアルを作成し配布、動画を作成し研修で閲覧した。
- 輸血管理料 2 および輸血適正加算を取得、2024 年 7 月より算定開始した。
- 発熱持続のため輸血が中止となり製剤を破棄した事例について。4 単位を投与予定であり、はじめの 2 単位投与中に発熱を認めたが、医師より輸血継続指示があり、次の製剤の投与準備中に発熱認めた為、輸血中止し製剤廃棄となった。輸血継続時のバイタルチェックタイミングを再度確認した。
- 自己血輸血にて婦人科が減少し整形外科が主となったため、血液バッグ用の採血装置を、婦人科管理から外来看護部の管理に変更した。
- 自己血貯血バッグを、テルモ社の「ロング 400ml 貯血バッグ」へ変更した。また 200ml 貯血は依頼がないことから 200ml バッグは常備しないこととした。
- 4 月に改訂した輸血同意書で、製剤単位数や製剤名チェックが不十分であったことから再検討し改訂を行った。
- 自己血採取時に貯血困難で採血量が少ない事例があった為、採取量について確認した。採血量は ± 10% 以内が推奨されていること。少ない場合はクエン酸中毒に注意し返血速度を遅くする必要があること。過不足時の返血は、主治医の判断のもとで実行し、患者の容態変化に十分注意することを確認した。
- 自己血微小凝固塊による返血不能の際のルート交換や、製剤の静置などの対応法の確認。

5. 血液センター輸血情報

- 令和 5 年度赤十字血液シンポジウム＜近畿ブロック＞の動画リンク
- 薬価改定 2404
- 輸血等に関連する診療報酬について ― 令和 6 年 6 月
- 輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例 2023 年
- 赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用 2023 年
- 新型コロナウイルスの輸血感染リスクについて～輸血後情報に基づく調査から得られた知見
- 輸血用血液製剤のキャンセルについて
- 輸血関連循環過負荷（TACO）の危険因子について

- 原料血漿必要量増加の背景とその対策
- 細菌スクリーニングを導入した新規血小板の製造販売承認取得のお知らせ

6. 輸血管理委員会勉強会

- 3月「血液製剤の取り扱いについて」参加者 316 名（看護部 173 名、診療部 17 名、診療技術部 75 名、事務局 35 名）。

7. 凍結血漿保管冷凍庫の更新（2025.06.06）

Ⅲ 輸血統計

血液製剤使用状況（単位数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
RBC 使用単位数	2024	113	98	106	152	162	132	170	259	160	144	152	124	1,772
	2023	168	193	160	120	154	188	116	172	199	196	142	171	1,979
RBC 廃棄単位数	2024	0	8	2	6	0	0	4	2	0	0	0	0	22
	2023	0	2	0	4	6	0	4	10	4	0	0	0	30
RBC 廃棄率（%）	2024	0.0	7.5	1.9	3.8	0.0	0.0	2.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
	2023	0.0	1.0	0.0	3.2	3.8	0.0	3.3	5.5	2.0	0.0	0.0	0.0	1.5
FFP(全て)使用単位数	2024	0	2	10	0	4	0	0	12	0	4	4	10	46
	2023	8	4	0	0	0	8	8	6	0	2	6	2	44
FFP(血漿交換)使用単位数	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PC 使用単位数	2024	10	0	0	95	330	150	50	20	80	0	0	0	735
	2023	0	0	0	10	0	0	0	20	0	0	10	0	40
自己血 貯血パック数	2024	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	2	2	11
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
自己血 廃棄パック数	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*自己血の廃棄は貯血した翌月の場合あり *2023.03 RBC有効期限28日に延長

血液分画製剤使用状況（本数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アブラキサン点滴静注	2024	0	14	12	10	16	12	12	8	14	14	7	7	126
	2023	6	14	6	4	4	4	12	12	14	16	9	7	108
献血アルブミン25% 50ml	2024	42	13	13	47	31	50	35	44	43	37	32	27	414
	2023	23	59	65	53	30	19	17	20	46	40	52	38	462
献血グロベニン-I 5g	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
ヴェノグロブリンIH 5g/50mL	2024	3	6	0	3	13	2	0	3	12	0	0	6	48
	2023	4	7	9	6	0	6	3	0	10	0	0	6	51
タコシール(ハーフ、レギュラー)	2024	2	0	1	0	1	2	2	0	0	0	1	0	9
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ノイアート 1500単位	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハプトグロビン 2000単位	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フィブリノゲンHT 1g	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フィプロガミンP	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
献血アルブミンネート4.4% 静注250ml	2024	0	0	3	3	0	0	7	2	3	2	5	3	28
	2023	2	1	0	0	4	0	0	0	0	2	0	0	9
乾燥HBグロブリン 200単位	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
抗D人免疫グロブリン	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
破傷風グロブリン 250単位	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペリプラストPコンビセット 組織接着用	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペリプラストPコンビセット 5ml	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペリプラストPコンビセット 3ml	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フロシール 5ml	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フロシール 10ml	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
注射用ヘブスプリンIH 1000単位	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アコアラン静注用 600	2024	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	6	0	18
	2023	0	0	15	12	0	0	4	0	0	0	8	0	39
献血ノンスロン 1500注射用	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
ヘムライブラ皮下注 90mg/0.6ml	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘムライブラ皮下注 105mg/0.7ml	2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボルヒール組織接着用 3mL4瓶	2024	0	2	2	1	1	0	1	0	0	0	1	0	8
	2023	0	1	2	0	1	0	2	0	3	2	3	0	14

輸血後検査実施状況（件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
輸血後検査実施件数	2024	17	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
	2023	11	18	14	20	16	16	11	7	13	12	15	12	165
	2022	13	7	12	15	18	6	11	7	19	14	7	14	143
	2021	9	15	10	10	11	16	10	10	19	9	16	14	149
	2020	10	17	29	21	14	17	15	18	11	11	6	13	182
	2019	13	24	17	21	13	19	13	20	13	27	21	22	223
	2018	11	17	8	19	12	16	22	12	17	29	15	19	197
	2017	15	22	24	12	19	21	15	14	18	11	19	21	211
	2016	12	19	19	13	20	13	16	15	16	10	14	21	188
	2015	3	0	1	2	3	2	10	12	18	19	14	12	96
	2014	4	1	2	1	0	3	2	3	1	1	2	2	22
	2013	0	1	1	1	4	1	2	3	3	2	5	1	24
	2012	1	0	1	2	2	6	4	0	2	2	1	3	24
	2011	3	0	2	1	1	1	6	2	0	3	1	3	23

※2024.04より輸血後検査は医師が必要と判断したときのみ実施

(11) 治験審査委員会

審査委員会委員

委員長：芳川 た江子

外部委員：高野 正子

院内委員：碓山 直邦、田尻 愛子、岩村 恭子、齊藤 潤、坂部 博志、三嶋 信二、石井 麻美、平田 浩紀

現在、実施中の治験はないため治験審査委員会の開催はなし。

(12)職員教育研修委員会

令和 6 年度活動実績

1. 目 的

職員教育研修委員会は、全職員共通の理解・認識を要するテーマについて企画・運営する。

具体的には、階層別研修（新入職員研修、中途採用研修、昇進者研修 等）や、医療施設職員として必要とされる内容（感染・医療安全・倫理・接遇等）に鑑み、企画・実施します。また各部門別・委員会別研修については、支援・調整等を図り、職員教育並びに人財育成の更なる向上を促進してまいります。

2. 委員会メンバー（委員名は令和 6 年度のもの）

- ①委 員 長 植田病院長代理
- ②副委員長 田尻病院長補佐、坂部病院長補佐
- ③委 員 西村副部長、野口師長、笹井師長、奥田室長、古澤係長
- ④事 務 局 菅田課長、中島係長、上松

3. 委員会の開催

毎月 1 回（原則、第 1 金曜日 16：00 ～ 16：30）特別会議室

4. 今年度の実績

①研修の実施

	研修科目	実施日	講 師	対象者	受講人数	内 容
基礎教育Ⅰ	①信条学習会	全1回で 年2回	理事長講話	新入職者	66名	・ 当院の信条及び経営理念の理解・浸透
	②新規採用職員 オリエンテーション	4月1日 2日	理事長 病院長 委員会講師 等	新入職者	54名	・ 当院の概要と展望、医療安全管理・ 感染対策など基本的事項の周知 （※集合研修+eラーニング）
	③中途採用職員 オリエンテーション	12月11日			16名	
基礎研修Ⅱ	フォローアップ研修	10月4日	委員会及び対策室	4月 新入職員	33名	・ 基礎知識の再確認 ・ 同期グループによるディスカッション
		10月18日			24名	
役職者研修	新昇進者研修	7月2日	理事長 病院長 他	新昇進者 (主任対象)	9名	・ 管理者としてのあり方、マネジメント能力の向上
倫理研修	臨床現場における倫理的関わり	上期: 9月27日 下期: 1月22日	上期:野口師長 下期:志田京子先生	全職員	上期: 302名 下期: 206名	上期:「医療倫理から考えるACP支援の在り方」 下期:「倫理的職場風土を考える」

②必修研修の受講実績管理

研修科目		実施日(集合研修)	講 師	対象者	受講人数	内 容
医療安全&感染対策合同研修	上期	e-ラーニング	各対策室	631名	558名	- 医療安全…「報告書管理体制加算、確認会話、世界患者安全の日」 - 感染…「環境整備とクロスの使い分け、抗菌薬適性使用」 - 受講率88.4%
	下期	e-ラーニング	各対策室	553名	539名	- 医療安全…「発生した院内事例から対策を学ぶ」 - 感染…「新興感染症と個人防護具、抗菌薬適性使用」 - 受講率97.4%
情報セキュリティ研修		e-ラーニング	医療情報課	548名	539名	「情報セキュリティとは、正当な理由のない電子カルテの閲覧」 - 受講率98.3%
放射線従事者研修		e-ラーニング	放射線科	121名	109名	「放射線の基礎研修」 - 放射線線量計(ルミネスバッジ)着用者対象 - 受講率90.0%
ハラスメント研修		- 集合研修 - e-ラーニング	人事課	543名	500名	「職場におけるハラスメントについて知識を身につけ理解を深める」 - 受講率92.0%
医療安全ガス		e-ラーニング	医療ガス安全管理委員会	465名	340名	「当院の医療安全ガスについて」 - 受講率73.1%
骨粗鬆症に対する知識の共有とFLSの意義について		e-ラーニング	FLS委員会	528名	248名	「骨折リエゾンサービス(FLS)とは何か?」 ※院内学会にて講義

※対象者・受講者とも、期間中の休職者(産休・育休者等)・退職者除く

(13)病床・HCU運営管理委員会

本委員会は平成19年4月より毎月第1火曜日の診療部医長会での開催を基本とし、病院全体の社会資源である病床の有効的利用の観点から、病床状況の報告・問題点の検討・調整を行う場としている。

議長：小林病院長

司会：坂部病院長補佐

委員：診療部医長会出席者 事務局：病院サービス課入退院係

主な報告検討内容

開催日：2024年4月9日（火）第273回

- 2024年3月診療分病床管理状況報告（※月別新入院患者数前年同月比較・在院延べ患者数・平均在院日数・病床利用率前年比較、新入院科別計画対実績前年比較、日別入退院・在院患者数推移、日別入退院比、曜日別入院経路別新入院・退院数）
- 救急車お断り件数、医師判断事例、未搬入の搬送先詳細
- 4月後半から5月6日まで予約入院の減少に伴う在院患者数維持と新入院受入れの為の迅速な退院指示の協力依頼。
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2024年5月7日（火）第274回

- 2024年4月分診療分病床管理状況報告（※同様）
- 救急車お断り件数、医師判断事例、登録医等のお断り事例、未搬入の搬送先詳細
- 5月前半の月、火曜日に予約入院が増加傾向。週明けの退院調整の協力が必要。
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2024年6月4日（火）第275回

- 2024年5月病床管理状況報告（※同様）
- 救急車お断り件数、医師判断事例、登録医等のお断り事例、未搬入の搬送先詳細
- 医師判断によるお断りの再検討
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）
- 6月は入院推奨。ER・地域連携室通しての登録医等からの紹介を積極的に受け入れる。

開催日：2024年7月9日（火）第276回

- 2024年6月病床管理状況報告（※同様）
- 救急車お断り件数、医師判断事例、登録医等のお断り事例、未搬入の搬送先詳細
- 週明け月・火曜日に予約入院が集中している状況のため週明け退院を推奨
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2024年8月6日（火）第277回

- 2024年7月病床管理状況報告（※同様）
- 救急車お断り件数、医師判断事例、登録医等のお断り事例、未搬入の搬送先詳細
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2024年9月10日（火）第278回

- 2024年8月病床管理状況報告（※同様）

- 救急車お断り件数、医師判断事例、登録医等のお断り事例、未搬入の搬送先詳細
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2024 年 10 月 8 日（火）第 279 回

- 2024 年 9 月病床管理状況報告（※同様）
- 2024 年 7 月～9 月救急車応需疾患別上位 20 位比較と前年比較
- 救急車お断り件数、医師判断事例、登録医等のお断り事例、未搬入の搬送先詳細
- 9 月より 213 床運用。10 月 1 日からは 217 床運用。
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2024 年 11 月 7 日（火）第 280 回

- 2024 年 10 月病床管理状況報告（※同様）
- 救急車お断り件数、医師判断事例、未搬入の搬送先詳細
- 救急車応需疾患別前年比較
- 2024 年 4 月～8 月 3 階病棟月別入退院数・病床利用率
- 2024 年 4 月～10 月新入院数・在院患者数と平均在院日数・在院患者数入院単価推移
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2024 年 12 月 10 日（火）第 281 回

- 2024 年 11 月病床管理状況報告（※同様）
- 救急車お断り件数、医師判断事例、登録医等のお断り事例、未搬入の搬送先詳細
- 2024 年 4 月～11 月救急車応需率・応需件数前年比較
- 一般病棟看護必要度と地域包括医療病棟看護必要度・ADL 低下率・転棟率・在宅復帰率
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）
- 午後診療で時間外に後日予約入院となった場合の取り扱いについて検討

開催日：2025 年 1 月 7 日（火）第 282 回

- 2024 年 12 月病床管理状況報告（※同様）
- 救急車お断り件数、医師判断事例、登録医等のお断り事例、未搬入の搬送先詳細
- 2024 年 4 月～12 月救急車応需率・応需件数前年比較
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）
- 一般病棟がコロナの影響で利用率減。病床確保困難な状況のため早期退院推奨。

開催日：2025 年 2 月 6 日（火）第 283 回

- 2025 年 1 月病床管理状況報告（※同様）
- 救急車お断り件数、医師判断事例、登録医等のお断り事例、未搬入の搬送先詳細
- 2024 年 4 月～2025 年 1 月救急車応需率・応需件数前年比較
- 一般病棟看護必要度と地域包括医療病棟看護必要度・ADL 低下率・転棟率・在宅復帰率
- 1 月前半は退院推奨。予約入院の状況により退院調整の変更を考慮要。
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）
- 入院等お断りについて、患者サポートセンターでの検討事例を各科にも周知依頼
- 1 月の看護必要度を各科で検討依頼

開催日：2025 年 3 月 11 日（火）第 284 回

- 2025 年 2 月病床状況報告（※同様）
- 救急車お断り件数、医師判断事例、登録医等のお断り事例、未搬入の搬送先詳細
- 2024 年 4 月～2025 年 2 月救急車応需率・応需件数前年比較
- 一般病棟看護必要度と地域包括医療病棟看護必要度・ADL 低下率・転棟率・在宅復帰率
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）
- 看護必要度を上げるための検討
- 患者サポートセンターで検討されたお断り事例について、リストを作成し各診療科医師のメール BOX へフィードバック開始
- 週明けの退院協力依頼と迅速な退院指示の依頼。

開催日：2025 年 4 月 8 日（火）第 285 回

- 植田病院長就任に伴い議長移行
- 2025 年 3 月病床状況報告（※同様）
- 救急車お断り件数、医師判断事例、未搬入の搬送先詳細
- 2024 年 4 月～2025 年 3 月救急車応需率・応需件数前年比較
- 一般病棟看護必要度と地域包括医療病棟看護必要度・ADL 低下率・転棟率・在宅復帰率
- 緊急入院受入れのため週明けの退院推奨
- HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）
- 病床状況の情報共有について効率的にするための検討

■ 2024 年度曜日別新入院・退院・在院 ※ 4 月～ 9 月までは有効利用病床数の変動あり

	日	月	火	水	木	金	土	総計
入 院	379	1,053	1,224	945	889	873	606	5,969
退 院	272	637	925	1,013	1,006	946	1,154	5,953
在院延べ数	9,125	9,695	9,824	9,756	9,639	9,566	9,018	66,623
曜 日	52	53	52	52	52	52	52	365

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
予約	190	171	203	228	176	174	204	205	203	209	200	200	2,363
診察	66	54	62	70	81	64	76	77	65	67	54	60	796
ER	175	219	224	307	284	210	226	244	255	235	203	228	2,810
合計	431	444	489	605	541	448	506	526	523	511	457	488	5,969

■ 2024 年度 月別入院経路別構成

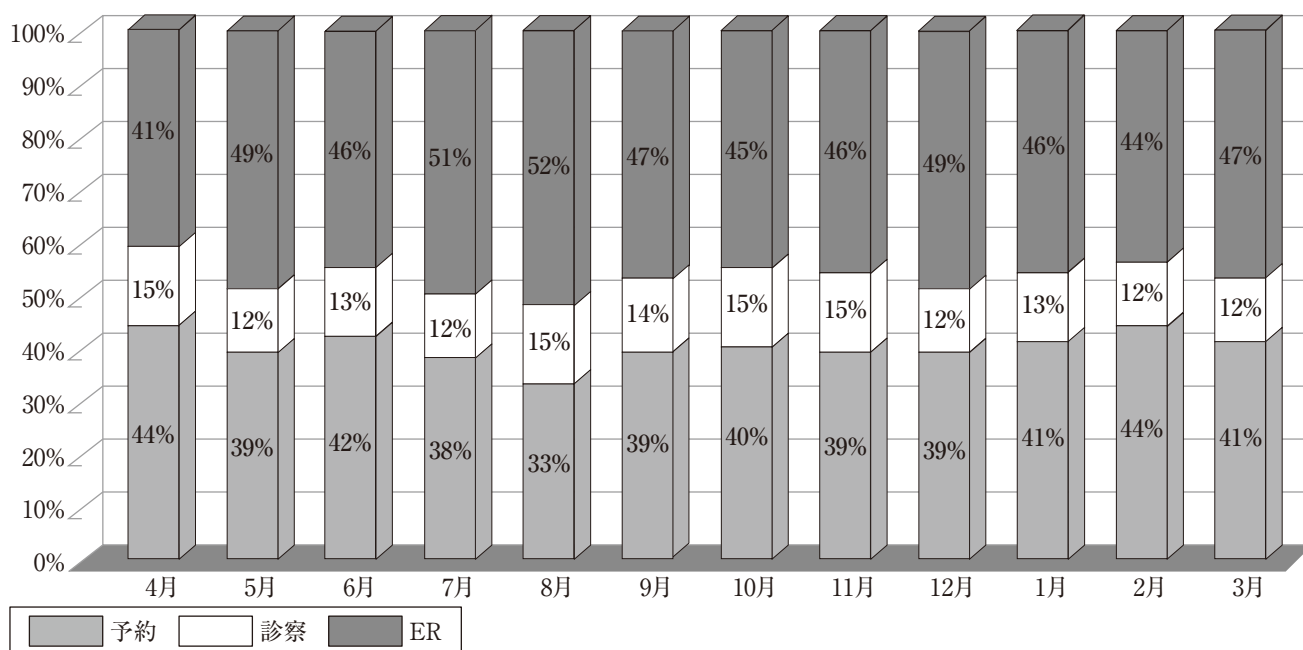
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予 約	44%	39%	42%	38%	33%	39%	40%	39%	39%	41%	44%	41%
診 察	15%	12%	13%	12%	15%	14%	15%	15%	12%	13%	12%	12%
E R	41%	49%	46%	51%	52%	47%	45%	46%	49%	46%	44%	47%

A：予約……予約入院

B：診察……外来診察後即日入院

C：E R……E R 診察後即日入院

※診察・E R・予約のそれぞれに紹介を含む



(14) 地域医療支援病院運営委員会

当院は2008年11月21日付けで大阪府より地域医療支援病院に承認され、承認後はかかりつけ医師・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬局等からの要請に適切に対応し、地域医療の確保に必要な支援等を行うことが求められる。また、規定に挙げた8項（下記参照）の目的達成のため、業務の遂行状況を審議し、当院管理者へ意見を述べ地域医療支援病院として適切な運営を行うことを目的として設置された。

- (1) 施設・設備の共同利用の実施
- (2) 救急医療の提供
- (3) 地域の医療従事者に対する研修の実施
- (4) 諸記録の管理
- (5) 諸記録の閲覧
- (6) 紹介患者に対する医療提供
- (7) 患者に対する相談体制
- (8) その他

委員名簿

〈外部委員〉

委 員	所 属	役 職	氏 名
外部委員	高槻市医師会	理事	島津 保生
外部委員	高槻市歯科医師会	相談役	美濃 律
外部委員	高槻市薬剤師会	名誉会長	松尾 浩
外部委員	高槻市保健所	所長	森定 一稔
外部委員	高槻市消防本部	救急課長	津田 裕士
外部委員	茨木市医師会	理事	中島 周三
外部委員	摂津市医師会	理事	馬場 義親
外部委員	高槻警察署	警備課長	濱村 克巳
外部委員	茨木市消防署	救急救助課長	倉橋 亘
外部委員	茨木保健所	所長	永井 仁美

〈院内委員〉

委 員	所 属	役 職	氏 名
院内委員	北摂総合病院	理事長	木野 昌也
院内委員	北摂総合病院	病院長	小林 一郎
院内委員	北摂総合病院	病院長代理	植田 直樹
院内委員	北摂総合病院	副院長	森井 功
院内委員	北摂総合病院	病院長補佐・看護部長	田尻 愛子
院内委員	北摂総合病院	病院長補佐・事務局長	坂部 博志
院内委員	北摂総合病院	副事務局長	筒水 貴弘
事務局	北摂総合病院	経営企画室 室長	池田 健士
事務局	北摂総合病院	経営企画室 室長	奥田 利典

活動内容

開催日

☐令和6年4月11日（木） 14：00～15：00

議案

- 議題1 2023年度1～3月 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率実績報告
- 議題2 2023年度1～3月 紹介患者数実績報告について
- 議題3 2023年度1～3月 地域研修実績について
- 議題4 2023年度1～3月 救急応需状況について
- 議題5 2023年度1～3月 他医療機関への救急転送目的の救急車利用について
- 議題6 その他 話題提供

開催日

☐令和6年7月11日（木） 14：00～15：00

議案

- 議題1 2024年度4～6月 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率実績報告
- 議題2 2024年度4～6月 紹介患者数実績報告について
- 議題3 2024年度4～6月 地域研修実績について
- 議題4 2024年度4～6月 救急応需状況について
- 議題5 2024年度4～6月 他医療機関への救急転送目的の救急車利用について
- 議題6 その他 話題提供

開催日

☐令和6年10月10日（木） 14：00～15：00

議案

- 議題1 2024年度7～9月 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率実績報告
- 議題2 2024年度7～9月 紹介患者数実績報告について
- 議題3 2024年度7～9月 地域研修実績について
- 議題4 2024年度7～9月 救急応需状況について
- 議題5 2024年度7～9月 他医療機関への救急転送目的の救急車利用について
- 議題6 その他 話題提供

開催日

☐令和7年1月9日（木） 14：00～15：00

議案

- 議題1 2024年度10～12月 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率実績報告
- 議題2 2024年度10～12月 紹介患者数実績報告について
- 議題3 2024年度10～12月 地域研修実績について
- 議題4 2024年度10～12月 救急応需状況について
- 議題5 2024年度10～12月 他医療機関への救急転送目的の救急車利用について
- 議題6 その他 事務局より病院活動報告（地域包括医療病棟、患者サポートセンター）

(15)がん治療・化学療法委員会、緩和ケア委員会及びレジメン管理委員会

本委員会は、がん治療及び化学療法に関する事項を専門的に評価・検討し、レジメンの審査等を含め、当院における集学的ながん治療の促進・質向上を図ると共に、医療の質向上を目的に設置された。

開催日

☐毎月第4金曜日 16:30～

委員名簿

☐佐野村（委員長）・西谷（副委員長）京林（副委員長）・田中・増井・猪飼・大塚・岸本・門
奥田・西岡・山城・岩村・松谷・野口・田村・岡本・小林・大西・草留（事務局）

活動・検討内容等

- ☐緩和ケア回診の報告
- ☐外来がん化学療法について
- ☐連携充実加算の新たな取り組み
- ☐医薬用麻薬製剤導入時の取り決め
- ☐がん患者の自殺予防手引き
- ☐irAE 対策について 早見表及びマニュアル作成
- ☐精神科回診の見直し
- ☐がん患者の未告知についての取り決め
- ☐持ち込み麻薬破棄依頼書について
- ☐2023 年がん登録数について
- ☐病棟での医療用麻薬製剤の取り扱いについて
- ☐大阪府がん診療連携拠点病院更新に向けて
- ☐がん診療拠点病院の病院訪問について
- ☐抗がん剤治療患者における心機能検査
- ☐診療報酬の加算、管理料算定に向けて
- ☐持参薬麻薬製剤の管理
- ☐大阪府各部会の報告
- ☐レジメン管理委員会 新規レジメンについて
- ☐がん相談支援センターについて
- ☐次年度の緩和ケア研修会の開催について
- ☐がん診療推進室の 2025 年度活動

■大阪府がん診療拠点病院の病院訪問

訪 問 日：2024 年 12 月 26 日（木）13 時から 15 時

訪 問 者：大阪府がん診療連携協議会 会長 松浦 成昭 氏

大阪府がん診療連携協議会 がん登録・情報提供部会 部会長 宮代 勲 氏

大阪府がん診療連携協議会 緩和ケア部会 部会長 飯島 正平 氏

特定非営利活動法人ピンクリボン大阪 富尾 貴美代 氏
吹田ホスピス市民塾 半崎 智恵美 氏
大阪医科薬科大学病院 がん医療総合センター・副センター長 山口 敏史 氏
社会医療法人東和会 第一東和会病院 がん性疼痛認定看護師 池島 佑美 氏
社会医療法人東和会 第一東和会病院 診療情報管理士 福本 孝明 氏
大阪府健康づくり課 主事 藤原 遼祐 氏

■第32回 三島圏域がん研究会

開催日：2024年05月23日（木）
方法：WEB配信（ZOOMウェビナー）
対象：医療従事者（医師、薬剤師、看護師、栄養士など）
当番世話人：愛仁会 高槻病院 船田 泰弘 先生

■第33回 三島圏域がん研究会

開催日：2024年09月12日（木）
方法：WEB配信（ZOOMウェビナー）
対象：医療従事者（医師、薬剤師、看護師、栄養士など）
当番世話人：高槻赤十字病院 緩和ケア科 部長 橋本 典夫 先生

■第34回 三島圏域がん研究会

開催日：2025年01月23日（木）
方法：ZOOMウェビナー
対象：医療従事者（医師、看護師、薬剤師、MSW、理学療法士など）
当番世話人：大阪医科薬科大学病院 化学療法センター センター長 山口 敏史 先生

■第6回 北摂がんサロン

開催日時：2024年5月25日（土） 14:00～ 参加者2名
開催場所：多目的ホール
『岡本栄養士からの栄養のお話、座談会』

■第7回 北摂がんサロン

開催日時：2024年10月12日（土） 14:00～ 参加者4名
開催場所：多目的ホール
『西谷医師からのお話と栄養補助食品の揭示』

■第8回 北摂がんサロン

開催日時：2025年1月25日（土） 参加者0名
開催場所：多目的ホール

■北摂がんフォーラム 2024

開催日時：2024年8月23日（金） 17：00～

開催場所：多目的ホール

司 会：大西 悠里

開会の辞：佐野村 誠

『がん相談支援センターを知ってもらいたい』

演題1「診断時からの緩和ケアの重要性～医療ソーシャルワーカー介入事例から考える」

地域医療連携室：社会福祉士 岩渕 佑里

演題2「がん相談支援センターの役割～家族背景により介入した症例を通じて～」

診療部：消化器内科部長 佐野村 誠

演題3「がん相談員の役割と当院のがん相談実績」

看護部：がん性疼痛看護認定看護師 京林 裕美

■北摂がんフォーラム 2024

開催日時：2025年3月7日（金） 17：00～

開催場所：多目的ホール

司 会：佐野村 誠

『がん看護 各部署の症例発表』

演題1「進行が早いがん患者の看護における課題と難渋した1例」

外来フロア 小川 美沙

演題2「救急外来でがんと診断された患者の問題解決への支援」

HCU 大塚 万奈

演題3「3階病棟で実践した緩和ケアの一例」

3階病棟 岸本 智美

演題4「患者のニーズに添った緩和ケア介入」

4階病棟 門 千尋

演題5「患者を看取ということ～多職種連携の重要性を実感した事例～」

5階病棟 管 友梨佳

演題6「意思表示困難患者の代理医師決定支援を行った症例」

6階病棟 西岡 香穂里

演題7「治療抵抗性の苦痛のある患者への看護」

7階病棟 山城 祥

■がんサージボード

開催日時：2024年7月31日（水） 13：30～

開催場所：多目的ホール

『ラズベリー型腺窩上皮型胃腫瘍の1例』 消化器内科部長 佐野村 誠

開催日時：2024年8月21日（水） 13：00～

開催場所：多目的ホール

『早期肛門管癌の1例』 消化器内科部長 佐野村 誠

開催日時：2024年10月16日（水） 13：00～

開催場所：多目的ホール

『閉経後出血を機に受診しE2（エストラジオール）産生を伴う

悪性ブレンナー腫瘍と診断した一例』 婦人科部長 田中 理恵

開催日時：2024年12月18日（水） 13：00～

開催場所：多目的ホール

『十二指腸球部に多発十二指腸 NET と異所性膵を合併した 1 例』

消化器内科部長 佐野村 誠

■多職種連携の会

開催日時：2024 年 10 月 5 日

開催場所：多目的ホール

出席者：外部参加者 32 名・院内参加者 25 名 計 57 名

開会の挨拶：植田会長

『在宅診療の現状や連携での問題点について』

やまもとホームケアクリニック 山本 誠士 院長

『当院における在宅緩和ケアの取り組み～北摂総合病院との連携事例を中心に～』

つじ・クリニック 辻 宏明 院長

グループディスカッション テーマ『在宅医療推進のためにできること』

■第 4 回 三島医療圏がん診療拠点病院合同市民公開セミナー

開催日時：2024 年 11 月 16 日（土）

開催場所：大阪医科薬科大学 本部北キャンパス 看護学部講堂

『もっと知ろう がんのこと』

主 幹：当院

司 会：病院長補佐兼消化器内科主任部長 佐野村 誠

演題 2「大腸がん検診 便潜血陽性といわれたら」 病院長補佐兼消化器内科主任部長 佐野村 誠

■大阪医大合同がんサロン

開催日時：2025 年 1 月 18 日（土）

開催場所：大阪医科薬科大学病院

■三島圏域がん自殺対策

開催日時：2025 年 1 月 24 日（金）

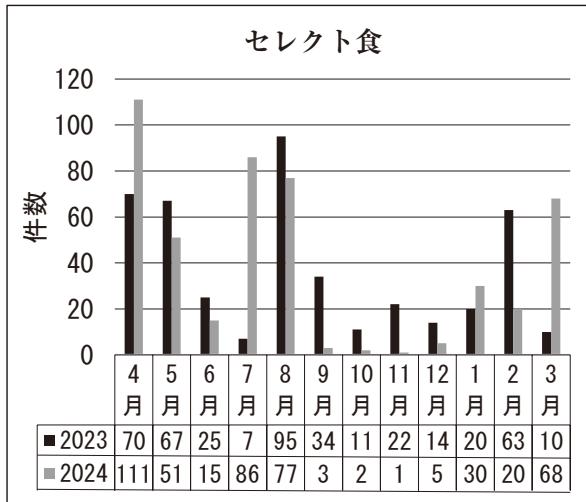
開催場所：大阪医科薬科大学病院

閉会の挨拶：病院長補佐兼消化器内科主任部長 佐野村 誠

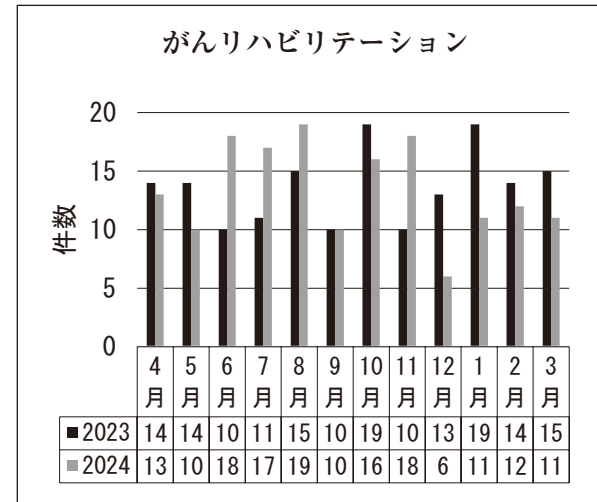
■がんと仕事の協立支援

開催日時：2025 年 1 月 31 日（金）

【セレクト食】



【がんリハビリテーション】 164 件



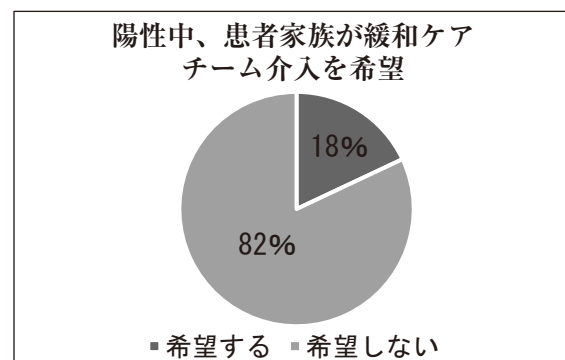
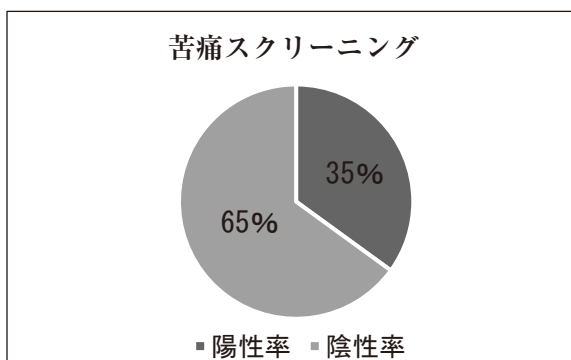
【連携充実加算】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2023	37	43	39	37	37	37	34	43	43	43	40	43
2024	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	83

【がん相談】 417 件

【緩和ケアチーム新規介入】：104 名

【苦痛スクリーニング】：649 件



がん相談支援センター会議

本会議は、がん治療・化学療法委員会に基づき、がん相談支援センターの運営に関し必要な事項を定めると共に、がん診療推進と連携を図りながら、がん患者家族などのサポートを行うことを目的に設置された。

開催日

☐毎月第2木曜日 13：30～

委員名簿

☐佐野村（センター長）・西谷（副センター長）京林（副センター長）・小林・大西・草留（事務局）

活動検討内容等

- ☐がん相談支援センターの周知
- ☐がんサロン運営について
- ☐がんフォーラム運営について
- ☐がん相談支援センターの症例報告
- ☐多職種連携の会 緩和ケア担当の会 内容検討
- ☐がん相談支援センターの設備・整備
- ☐がん診療拠点病院報告について
- ☐がん教育について
- ☐診療報酬 各加算について

(16)診療録管理(監査)委員会

1. 委員会メンバー

委員長：諏訪 道博

副委員長：中島 典子

事務局：黒岩 正司

委員：柏原 真須美、松本 恵子、坂下 功治、金谷 悠里

2. 定期開催日時

毎月第1木曜 15:30～

3. 活動内容

☐診療記録内容の適切性

☐入院診療記録量の監査

☐入院診療記録質的監査

☐診療・看護記録記載の負担軽減・効率化

4. 活動実績

医療情報課が主となり全退院患者に対して診療録量の監査業務（入院診療計画書、病名、手術記録、退院サマリ、追認、退院サマリ）を行った。また当委員会にて、主に医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリテーションの記録に対して診療録質的監査を実施した。コンプライアンスの徹底を図るため、不備のある診療録は該当職種に修正依頼を行い、開示に耐えうる診療録を目指した。

第160回（令和6年4月4日）：2023年度詳細不明コード発生率：7.20%

：3月診療録開示状況：6件

：2月退院サマリ作成率：94.9%

：カルテ質的監査：4名

第161回（令和6年5月2日）：4月詳細不明コード発生率：5.88%

：4月診療録開示状況：8件

：3月退院サマリ作成率：93.5%

：カルテ質的監査：4名

第162回（令和6年6月6日）：5月詳細不明コード発生率：8.89%

：5月診療録開示状況：8件

：4月退院サマリ作成率：90.11%

：カルテ質的監査：4名

第163回（令和6年7月4日）：6月詳細不明コード発生率：7.21%

：6月診療録開示状況：3件

：5月退院サマリ作成率：92.03%

：カルテ質的監査：4名

第 164 回（令和 6 年 8 月 1 日）：7 月詳細不明コード発生率：7.33%
：7 月診療録開示状況：4 件
：6 月退院サマリ作成率：93.10%
：カルテ質的監査：4 名

第 165 回（令和 6 年 9 月 5 日）：8 月詳細不明コード発生率：6.05%
：8 月診療録開示状況：7 件
：7 月退院サマリ作成率：87.22%
：カルテ質的監査：4 名

第 166 回（令和 6 年 10 月 3 日）：9 月詳細不明コード発生率：6.70%
：9 月診療録開示状況：5 件
：8 月退院サマリ作成率：91.79%
：カルテ質的監査：4 名

第 167 回（令和 6 年 11 月 7 日）：10 月詳細不明コード発生率：4.04%
：10 月診療録開示状況：3 件
：9 月退院サマリ作成率：94.32%
：カルテ質的監査：4 名

第 168 回（令和 6 年 12 月 5 日）：11 月詳細不明コード発生率：5.77%
：11 月診療録開示状況：7 件
：10 月退院サマリ作成率：94.24%
：カルテ質的監査：4 名

第 169 回（令和 7 年 1 月 9 日）：12 月詳細不明コード発生率：6.38%
：12 月診療録開示状況：3 件
：11 月退院サマリ作成率：93.81%
：カルテ質的監査：4 名

第 170 回（令和 7 年 2 月 6 日）：1 月詳細不明コード発生率：4.63%
：1 月診療録開示状況：8 件
：12 月退院サマリ作成率：93.27%
：カルテ質的監査：4 名

第 171 回（令和 7 年 3 月 6 日）：2 月詳細不明コード発生率：4.57%
：2 月診療録開示状況：10 件
：1 月退院サマリ作成率：92.31%
：カルテ質的監査：4 名

● 2024 年度詳細不明コード発生率：6.32%

● 2024 年度開示状況：71 件

● 2024 年度カルテ質的監査：48 名

(17)診療報酬適正化委員会

当院が提供する医療・看護をはじめ、病院サービスのほぼ全ての対価は厚生労働省が定める診療報酬制度に則り請求されている。従って、診療報酬請求の適正化に努めることは、提供する病院サービスの適切な対価を確保することであり、同時にコンプライアンスの徹底を図ることでもある。加えて、2008年4月のDPC対象病院への移行後は、DPCコーディングの適切性を院内で精査・監査することも求められている。これらの背景を踏まえ、2008年度より委員会を設置、診療報酬減点・過誤・返戻の評価・検討、およびDPCコーディングの精査・監査を継続的・組織的に行い、当院における診療報酬請求の適切性を確保・維持する目的で活動を行っている。

【委員会の構成】

委員長	医師
委員	看護師
	薬剤師
	事務局職員

委員会での主な検討事項

- ・当月・過誤減点および返戻状況の報告、対策の立案・実行
- ・DPC制度の正しい理解と周知方法の検討
- ・適切なコーディング、DPC請求のための事例検討
- ・当委員会で報告した内容を診療部長会へフィードバック

■第81回 診療報酬適正化委員会

日時：令和6年4月12日（金）

議題1：適切なコーディングに関する検討（脱水症・心内血栓症・心室頻拍・慢性心不全）

議題2：適切なコーディングに関する検討（盲腸癌・急性限局性腹膜炎）

議題3：適切なコーディングに関する検討（溶連菌感染疑い・肝障害・成人still病疑い）

議題4：適切なコーディングに関する検討（誤嚥性肺炎・血小板減少症・皮下血種）

議題5：適切なコーディングに関する検討（下肢急性動脈閉塞症・アンチトロンビンⅢ欠乏症）

■第82回 診療報酬適正化委員会

日時：令和6年5月10日（金）

議題1：適切なコーディングに関する検討（脱水症・機能性ディスペプシア・尿路感染症）

議題2：適切なコーディングに関する検討（胆嚢結石症・胆嚢腺筋症）

議題3：適切なコーディングに関する検討（膀胱破裂・麻痺性イレウス）

議題4：適切なコーディングに関する検討（褥瘡・誤嚥性肺炎・菌血症）

議題5：適切なコーディングに関する検討（虫垂腫瘍・大動脈弁狭窄症）

■第 83 回 診療報酬適正化委員会

日 時：令和 6 年 6 月 14 日（金）

- 議題 1：適切なコーディングに関する検討（低 Na 血症・糖尿病ケトosis・蜂巣炎）
- 議題 2：適切なコーディングに関する検討（気管支肺炎・汎血球減少症・肺水腫・心不全）
- 議題 3：適切なコーディングに関する検討（慢性腎臓病・腎性貧血）
- 議題 4：適切なコーディングに関する検討（下腿部皮下血種・心不全）
- 議題 5：適切なコーディングに関する検討（心不全・大動脈弁狭窄症・心房細動の DPC）

■第 84 回 診療報酬適正化委員会

日 時：令和 6 年 7 月 12 日（金）

- 議題 1：適切なコーディングに関する検討（気管支肺炎・汎血球減少症・心不全）
- 議題 2：適切なコーディングに関する検討（慢性腎臓病・腎性貧血）
- 議題 3：適切なコーディングに関する検討（腰椎椎間板ヘルニア・急性心筋梗塞）
- 議題 4：適切なコーディングに関する検討（鉄欠乏性貧血・機能性子宮出血）
- 議題 5：適切なコーディングに関する検討（腹膜炎・肺癌・外傷性気胸）

■第 85 回 診療報酬適正化委員会

日 時：令和 6 年 8 月 9 日（金）

- 議題 1：適切なコーディングに関する検討（COVID-19・誤嚥性肺炎・菌血症）
- 議題 2：適切なコーディングに関する検討（消化管出血・肝門部胆管癌疑い・肝膿瘍）
- 議題 3：適切なコーディングに関する検討（蘇生に成功した心停止・低酸素脳症）
- 議題 4：適切なコーディングに関する検討（心不全・敗血症・胆嚢炎・胆管炎）
- 議題 5：適切なコーディングに関する検討（脱水症・ウェルニッケ脳症）

■第 86 回 診療報酬適正化委員会

日 時：令和 6 年 9 月 13 日（金）

- 議題 1：適切なコーディングに関する検討（食欲不振・食道裂孔ヘルニア・逆流性食道炎）
- 議題 2：適切なコーディングに関する検討（発作性上室頻拍・気管支肺炎・胸膜炎）
- 議題 3：適切なコーディングに関する検討（心不全・心房細動）
- 議題 4：適切なコーディングに関する検討（アルコール性肝硬変・肝硬変症・心不全）

■第 87 回 診療報酬適正化委員会

日 時：令和 6 年 10 月 11 日（金）

- 議題 1：適切なコーディングに関する検討（ARDS・敗血症・急性呼吸不全）
- 議題 2：適切なコーディングに関する検討（下肢静脈瘤）
- 議題 3：適切なコーディングに関する検討（慢性膵炎の急性増悪）
- 議題 4：適切なコーディングに関する検討（敗血症・血小板減少症）
- 議題 5：適切なコーディングに関する検討（胎動困難）

■第 88 回 診療報酬適正化委員会

日 時：令和 6 年 11 月 8 日（金）

- 議題 1：適切なコーディングに関する検討（完全房室ブロック・徐脈性心房細動）
- 議題 2：適切なコーディングに関する検討（肺閉塞症・肺高血圧症）
- 議題 3：適切なコーディングに関する検討（下行結腸癌・イレウス）
- 議題 4：適切なコーディングに関する検討（原発不明癌・腹膜播種・癌性腹膜炎）
- 議題 5：適切なコーディングに関する検討（膀胱出血・尿路感染症・脱水症）

■第 89 回 診療報酬適正化委員会

日 時：令和 6 年 12 月 13 日（金）

- 議題 1：適切なコーディングに関する検討（慢性気管支炎・気管支喘息発作）
- 議題 2：適切なコーディングに関する検討（トルソー症候群）
- 議題 3：適切なコーディングに関する検討（結腸脂肪肉腫）
- 議題 4：適切なコーディングに関する検討（総胆管拡張症・先天性胆道拡張症）
- 議題 5：適切なコーディングに関する疑問点（腰部脊柱管狭窄症）

■第 90 回 診療報酬適正化委員会

日 時：令和 7 年 1 月 10 日（金）

- 議題 1：適切なコーディングに関する検討（胸水貯留・糖尿病・腎不全・肺炎・呼吸不全）
- 議題 2：適切なコーディングに関する検討（仮性瘵のう胞・感染性瘵のう胞）
- 議題 3：適切なコーディングに関する検討（狭心症・解離性障害・心身症・便秘症）
- 議題 4：適切なコーディングに関する検討（心不全・慢性腎臓病・上部消化管出血）
- 議題 5：適切なコーディングに関する検討（遺伝性自己炎症疾患）

■第 91 回 診療報酬適正化委員会

日 時：令和 6 年 9 月 13 日（金）

- 議題 1：適切なコーディングに関する検討（胸水貯留・痔瘻癌・腹膜播種）
- 議題 2：適切なコーディングに関する検討（誤嚥性肺炎・DIC・敗血症）
- 議題 3：適切なコーディングに関する検討（急性虫垂炎・腹腔内膿瘍）
- 議題 4：適切なコーディングに関する検討（うっ血性心不全・細菌性肺炎・間質性肺炎）
- 議題 5：適切なコーディングに関する検討（誤嚥性肺炎・尿路感染症・COVID-19）

(18) 栄養委員会

〈目的〉

本委員会は、入院治療の一旦を担う病院食について、特に栄養管理など治療の観点から、その適切性について検討し、治療効果及び患者様の満足度向上を図る。またNST活動を通じて低栄養患者を抽出し栄養管理を症例個々や各疾患治療に応じて適切に実施しQOL向上に努める。

〈メンバー〉

委員長	糖尿病・内分泌内科	竹内
副委員長	一般・消化器外科	川崎
	栄養科	岡本
	ICU 病棟	下垣内
	3 病棟	柴尾
	4 病棟	竹下・大塚・川口
	5 病棟	荒金・齋藤
	6 病棟	山下・納富
	7 病棟	小林・和田
	外来	山下・松山
	WOC	門戸
	リハビリ	石原・小栗山・福田
	薬剤師	森・田中
	臨床検査技師	坂本・田中
	医療ソーシャルワーカー	石塚
	医事	岸野
	調理師	山口・得居
栄養科全員：管理栄養士（山崎、狩野、山本、小林、米満）		

〈定例委員会〉

第2月曜日	15：00～（多目的ホール）
NSTカンファレンス・回診	毎週金曜日 15：00～

〈開催日〉

- 第1回 令和6年4月8日
1. 3月嗜好調査集計報告
 2. 令和6年度栄養委員会概要
 3. NST回診実績
 4. 退院時栄養サマリー作成実績
 5. 令和6年度年間計画
 6. 栄養委員会ファイル変更（組織表）
 7. 診療報酬改定について
 8. 経管栄養バック規格変更について

9. 栄養調理科より

●第2回

令和6年5月13日

1. 4月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. 栄養委員会メンバー・組織表確認
6. 経管栄養バック規格変更について
7. 診療報酬改定の確認
8. 今後の栄養委員会運営について（今後奇数月と12月に開催予定となる）
9. 栄養調理科より（E スープ・予備茶について）
10. 実習生受け入れ（甲南女子大学）
11. 5/24 より歯科医師参加の NST 回診となると報告
12. 学会：日本臨床栄養代謝学会 近畿支部学術集会で1演題発表予定。

●第3回

令和6年7月8日

1. 5・6月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. 経管栄養バック規格変更について
6. 診療報酬改定の確認
7. 学生受け入れ（8/19～8/30 梅花女子大学）
8. 栄養調理科より（E スープ・予備茶について）

●第4回

令和6年9月9日

1. 7・8月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. 新規採用栄養剤（タンパクプラスゼリー）
6. MNA について
7. 栄養調理科より（予備茶について）
8. GLIM 基準について

●第5回

令和6年11月11日

1. 9月嗜好調査集計報告

2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. 栄養委員会副委員長退職・NST 担当増員・6 病棟専任について
6. 栄養調理科より（予備茶について）
7. GLIM 基準について

●第 6 回

令和 6 年 12 月 9 日

1. 10 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. 栄養委員会主催勉強会開催のお知らせ
6. 栄養調理科より（予備茶について）
7. GLIM 基準について
8. REF-P1 使用について

●第 7 回

令和 7 年 1 月 20 日

1. 11 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. 栄養委員会主催勉強会報告
6. GLIM 基準について
7. 栄養調理科より

●第 8 回

令和 7 年 3 月 10 日

1. 12・1・2 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. 日本人の食事摂取基準 2025 年改訂による変更点
6. 診療科担当制変更について
7. 半固形栄養剤のアダプターの配膳方法の相談
8. 食事代変更費について（4/1～）
9. 栄養調理科より

〈学会・講演会など〉

●2024年7月20日（木）

第16回日本日本栄養代謝学会 近畿支部学術集会

「両足底のⅢ度熱傷患者へ早期NST介入、コラーゲンペプチド投与管理を行い創部改善に繋がった1例」口演

演者：米満 沙織

●2024年8月17日（土）

健康ハートセミナー

「減らすべき塩と維持すべきミネラル」口演

演者：狩野 慎太郎

●2024年8月19日（月）

甲子園大学 臨床栄養療法コース

「急性期病院の管理栄養士はどんな仕事をしているの？」口演

演者：小林 佑輝

●2024年11月9日（土）

第21回高槻・島本嚙下栄養研究会

「当院での褥瘡と栄養管理」口演

演者：岡本 大尚

〈出前教室〉

●2024年5月25日（土）

「高血圧を予防する生活習慣/減塩のコツ」口演

演者：狩野 慎太郎

●2024年11月16日（土）

「高齢者の食事」口演

演者：山本 修平

●2025年2月25日（火）

「食物添加物のイロハ・塩分の怖い話、良い話」口演

演者：小林 佑輝

・講義

●2024年9月～2024年12月 計7講義

高槻市医師会看護学校 准看護学科1年生

講師：岡本 大尚

●2024 年9 月～2024 年11 月 計9 講義

高槻市医師会看護学校 准看護学科2 年生

講師：狩野 慎太郎

・取材・執筆など

●ニュートリションケア第17 巻5 号

株式会社メディカ出版

テーマ「管理栄養士による食事調整と説明で食事摂取量が増加した症例」項目⑥

執筆：小林 佑輝

・資格

●NST 専門療法士

取得者：米満 沙織

・実習生受け入れ

甲南女子大学 2 名

梅花女子大学 2 名

青山大学 1 名

(19)診療材料委員会

〈目的〉

診療材料の標準化・共有を図る

〈開催日〉

第3水曜日 16:30～（特別会議室）

〈2024年度 診療材料委員会メンバー構成〉

【診療部】 救急診療科 森井副院長（委員長）
整形外科 劉病院長補佐（副委員長）

【看護部】 西村看護副部長
外来フロア 中道看護師長
中央手術センター 古川看護師長

【診療技術部】 臨床工学科 西村科長
薬剤科 守田薬剤師
放射線科 濱畑係長
臨床検査科 在間検査技師
臨床検査科 米村検査技師
栄養科 岡本科長

【事務局】 病院サービス課 上山事務職員
資材器財課 吉本事務局員
資材器財課 古賀事務局員

〈随時〉

新規・サンプル・緊急採用診療材料申請者

●第152回診療材料委員会 令和6年4月17日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	山出係長	埋込み型心電図記録計(ICM)
2	放射線科	西垣主任	preludeSYNC(橈骨動脈 尺骨動脈用)

●第153回診療材料委員会 令和6年5月22日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	山出係長	ViperWire Advance Coronary Guide Wire Flex Tip(GWC-123525L)(ガイドワイヤー)
2	臨床工学科	山出係長	Diamonback Coronary OAD Classic Crown(ガイドワイヤー)
3	臨床検査科	松本検査技師	MASコートスライドグラスホワイート20(SMAS-11)

●第154回診療材料委員会 令和6年6月19日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	栄養科	岡本係長	アイソカルゼリーたんぱくプラス(高たんぱくゼリー)

●第155回診療材料委員会 令和6年7月17日(水)

	申請部署	申請者	診療材料名
1	中央手術センター	古川看護副部長	幅広抑制帯(患者抑制帯)
2	放射線科	松元主任	デスポーザブル穿刺針 19G(単回使用吸引用針)

●第156回診療材料委員会 令和6年8月21日(水)

	申請部署	申請者	診療材料名
1	放射線科	松元主任	デスポーザブル穿刺針 19G(単回使用吸引用針)

●第157回診療材料委員会 令和6年9月18日(水)

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	山出係長	ACCOLADEシリーズ(MRI・SR)(ペースメーカー)
			ACCOLADEシリーズ(MRI DR L)(ペースメーカー)
			ACCOLADEシリーズ(MRI DR L)(ペースメーカー)
2	感染対策室	馬場副室長	サニサーラフォーム(300ml)(手指消毒)
3	感染対策室	馬場副室長	ベルシールクリーン(100枚入)(清拭クロス)
4	臨床検査課	斎藤科長	ヘパリンNa採血管 VP-H052K(採血管)

●第158回診療材料委員会 令和6年10月16日(水)

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	山出係長	vaivtAバイブトエース(インサートシース)
2	臨床工学科	西村科長	OHDF用ダイアライザー(ABHシリーズ)
3	臨床検査科 資材器財課	吉本事務局員	検尿カップ(KPC-200T)
4	中央材料室 資材器財課	吉本事務局員	ドレープ
5	臨床工学科 資材器財課	吉本事務局員	成人用麻酔回路
6	資材器財課	吉本事務局員	つけるだけ(除菌液)
7	カテーテル 治療センター	西垣主任	アーテリアルリダーキャス(抹消動脈圧測定用カテーテル)
8	カテーテル 治療センター	西垣主任	血圧モニタリング・キット

●第159回診療材料委員会 令和6年11月20日(水)

	申請部署	申請者	診療材料名
1	カテーテル 治療センター	西垣主任	アーテリアルリダーキャス(抹消動脈圧測定用カテーテル)
2	カテーテル 治療センター	西垣主任	血圧モニタリング・キット

●第160回診療材料委員会 令和6年12月18日(水)

	申請部署	申請者	診療材料名
1	糖尿病・内分泌内科	吉本事務局員	リブレ2 センサー(血糖測定器)
2	糖尿病・内分泌内科	吉本事務局員	リブレ2 リーダー(血糖測定器)
3	婦人科	田中部長	ソフトEMキャス(子宮内膜組織採取具)

●第161回診療材料委員会 令和7年1月15日(水)

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床検査科	大貫主任	インフルエンザ抗原試薬キット

●第 162 回診療材料委員会 令和 7 年 2 月 19 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	中央手術センター	古川看護副部長	K吸着フィルター付輸血ルート(輸血セット) 6入/1箱
2	臨床検査科	石原検査技師	貯血バック 400ml(CPDABBSCD407J1)

●第 163 回診療材料委員会 令和 7 年 3 月 19 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	山出係長	カネカ貫通カテーテル MUSOU(冠動脈貫通用カテーテル)
2	臨床工学科	山出係長	ノブヨシカテーテルII 5FR 110CM Mサイズ Lサイズ
3	臨床工学科	山出係長	リード線 FINELINEII
4	臨床工学科	山出係長	ショックウェーブ C2 コロナリー IVLカテーテル

【報告事項】

- 新規診療材料 計33点
- 試用申請材料 計32点
- 資材器財課提案材料：計 9点 内：5件試用申請材料

今後も診療材料委員会では、下記項目を考慮し、検討と承認を行います。

- ・医療の質を下げることなく、コンプライアンスを遵守した材料の採用
- ・コスト削減(削減の提案を強化)、業務改善(治療・検査時短等)
- ・物価高騰対策とし、資材器財課では6件／年のコスト削減案を提出する。
- ・採用診療材料の1増1減

1. 目 的

病院情報システムを含む全ての情報の管理・運営、及び診療記録の適正な保管管理と活用促進を目的とする。

2. 委員会メンバー

委員長 山口 茂（循環器科 医長）
副委員長 黒岩 正司（医療情報課 課長）
委員 結城 雅子（放射線科 部長）
小西 ゆかり（救急推進担当 看護師長）
松江 さつき（医療安全対策室 副室長）
米村 里美（臨床検査科 係長）
齊籐 潤（臨床検査科 係長）
西村 岳洋（臨床工学科 科長）
萩原 崇晴（放射線科 科長）
谷尾 聡寛（放射線科員）
狩野 慎太郎（栄養科）
岩村 恭子（薬剤科 係長）
古澤 隆雄（リハビリテーション科 係長）
西澤 桃香（病院サービス課 医療秘書係）
事務局 溝手 亨（医療情報課員）

3. 定例会議

毎月第3月曜日 15：00～15：30

4. 主な活動実績

- ・病院情報システム運用における課題検討と改善（システム改修・機能追加）
- ・病院情報システム不具合事例の対策検討・改善
- ・病院情報システム定期メンテナンス
- ・サイバー攻撃への注意喚起
- ・院内便利ツール“BenriWEB”の機能追加等
- ・全館停電点検による病院情報システム関連動作検証
- ・システム改修
- ・2024年度システム導入対応

(21)勤務医及び看護職員負担軽減・処遇改善委員会

本委員会は、勤務医及び看護職員負担軽減・処遇改善に関する事項を評価・検討し、多職種から役割分担を推進し勤務医及び看護職員の負担軽減を図ると共に業務を明確にさせることを目的に設置された。

開催日

☐不定期

委員メンバー

委員長： 小林 一郎

委 員： 植田、永松、竹内、田尻、西村、坂部、萩原、岩村、齊藤、富田、奥田、誉田、天野

事務局： 草留

開催日：令和6年6月29日（土曜日）14：00～14：40

☐勤務医・看護職員の勤務状況について

期間：2024年4月から2024年6月

医師・看護師の残業時間、有給消化等

☐2024年度 勤務医・看護職員の負担軽減及び処遇の改善に係る計画の作成

開催日：令和7年2月22日（土曜日）14：00～14：40

☐勤務医・看護職員の勤務状況について

期間：2024年4月から2024年9月

医師・看護師の残業時間、有給消化等

有給消化の啓発

☐2024年度 勤務医・看護職員の負担軽減及び処遇の改善に係る計画の評価

開催日：令和7年3月15日（土曜日）14：00～14：40

☐勤務医・看護職員の勤務状況について

期間：2024年4月から2025年2月

医師・看護師の残業時間、有給消化等

☐2025年度 勤務医・看護職員の負担軽減及び処遇の改善に係る計画の作成

(22)FLS委員会

□目的

本委員会は、二次性骨折予防に向けて、骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015 年度版に基づき、対象患者の特定、二次骨折リスクの評価、投薬を含む治療の開始、フォローアップと同時に、患者と医療従事者への教育と情報提供を実施することを目的に、2023 年 1 月に活動を開始しました。多職種で連携し、活動を実践することで、健康寿命の延伸に繋がるよう努めています。2024 年度は新たに骨粗鬆症マネージャーが 2 名誕生し、合計 4 名になりました。

□委員会構成メンバー

医 師：劉 長萬 日本骨粗鬆学会認定医
外来看護師：田中 理恵 骨粗鬆症マネージャー・FLS コーディネーター
外来看護師：垣崎 英紀子 骨粗鬆症マネージャー
病棟看護師：園山 真由美
薬 剤 師：岩村 恭子 骨粗鬆症マネージャー
管理栄養士：山崎 真由美
リ ハ ビ リ：良田 都貴子 骨粗鬆症マネージャー
放射線技師：松元 良太
病院サービス課 外来：黒田 由莉花・上原 由有里
病院サービス課 入院：殿内 法子
医療秘書課：岡本 真理子
医療情報課：黒岩 正司
地域連携室：大西 悠里
経営企画室：池田 健士・奥田 利典

□開催日時

土曜日 16:00～1 時間 1 回 / 2 ヶ月

□活動内容

- ・年 1 回 施設内職員に対し、研修実施
- ・地域のコミュニティセンターにて、健康教室開催
- ・骨ドック導入の検討（2025 年 5 月から予約受け入れ開始）
- ・骨粗鬆外来開設に向けて検討 投与薬剤のプロトコル作成
- ・椎体 FLS 診療報酬改訂に向けて、データー集積
- ・FFNJ 学会発表

□大腿骨 FLS

期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月

FLS登録患者数	薬物治療開始患者数	デイ30追跡可能数	デイ30治療継続数	デイ30二次性骨折発生数	デイ120追跡可能数	デイ120治療継続数	デイ120二次性骨折発生数	デイ365追跡可能数	デイ365治療継続数	デイ365二次性骨折発生数
335	318	332	255	1	273	222	0	119	95	0

(23)患者サポートセンター

患者サポートセンターは、入院から退院まで一貫して支援し、質の高いチーム医療の実践による患者満足度の向上を目的とする。また効率的な病床管理を行い、経営基盤の安定化を図る。

①病床管理、②入院支援、③退院支援、④地域連携の4本柱を中心に活動を行う。

開催日時・場所

毎週木曜日 7:30～8:00、特別会議室

委員名簿

佐野村（委員長）、江口（副委員長）、西村、野口、中島、坂部、池田、奥田、大西

活動内容

- 1) 患者サポートセンター運用に関する評価
病床利用率、お断り・転送症例の検討など。
- 2) 病床管理カンファレンスの統括
毎朝9時に開催し、当日の病床運営の方針を配信する。
- 3) 入退院支援の管理
- 4) 地域連携活動のサポート
- 5) 各朝会での報告
- 6) 診療部への方針の配信
- 7) その他

37. 学会実績報告 各種学会・論文・講演会等実績

詳細は各部門を参照

日本病院学会

■第74回 日本病院学会 2024年7月4日・5日

三重県津市 三重県総合文化センター

演題 / 発表者

BPSD 症状を有する患者に対するサーカディアンリズムに着目した取り組み

篠田 美里^{*}（循環器センター）

STAT 画像報告の体制構築に向けた取り組み

岩城 圭佑（放射線科）

ICU・救急フロアにおける災害時の初期対応の知識や技術の習得に対する取り組み

濱畑 綾乃（ICU 救急フロア）

書類作成日数の短縮・期限切れ防止取り組み

満永 留奈（病院サービス課 医療秘書係）

※第74回日本病院学会の優秀演題に選出されました。

38. 病院見学等受入実績

○2024年度 北摂総合病院病院見学受入等実績

年月日		病院名	所在地	見学目的等	見学人数
1	2024年 8月 8日	協仁会小松病院	大阪府	診療情報管理	3名
2	2024年11月13日	純幸会 関西メディカル病院	大阪府	文書管理システム	5名
3	2024年12月10日	健栄会 三康病院	大阪府	情報システム管理	2名
4	2025年 2月21日	全国病院経営管理学会 経営企画専門部会	—	病院運営	9名

39. 国際医学医療研修受入実績

今年度、受け入れなし。

40. 信条学習会

期	開催期間	開催数	参加人数	看護部	業務部	総務部	診療部
				看護部	診療技術部	事務局	診療部
第1期 ～40期	1994年10月～2014年 3月	各期 全5回	1,103	691	266	130	16
41期	2014年 5月～2014年 9月	全5回	24	11	7	6	－
42期	2014年11月～2015年 3月	全5回	18	12	1	5	－
43期	2015年 5月～2015年 9月	全5回	27	14	6	7	－
44期	2015年11月～2016年 3月	全5回	24	14	3	7	－
45期	2016年 5月～2016年 9月	全5回	36	21	7	8	－
46期	2016年 8月～2016年12月	全5回	19	14	2	3	－
47期	2016年12月～2017年 4月	全5回	18	14	1	3	－
48期	2017年 5月～2017年 9月	全5回	24	12	8	4	－
49期	2017年10月～2018年 2月	全5回	24	19	2	3	－
50期	2018年 5月～2018年 9月	全5回	36	20	4	12	－
51期	2018年10月～2019年 2月	全5回	23	16	1	6	－
52期	2019年 5月～2019年 9月	全5回	30	18	4	8	－
53期	2019年10月～2020年 2月	全5回	15	12	2	1	－
54期	2020年 7月～2020年 9月	全2回	27	15	5	7	－
55期	2020年 8月～2020年 9月	全2回	29	18	5	6	－
56期	2021年 8月～2021年 9月	全2回	18	11	4	3	－
57期	2021年 8月～2021年 9月	全2回	18	12	3	3	－
58期	2022年 7月～2022年 8月	全2回	11	8	3	0	－
59期	2022年 8月～2022年10月	全2回	35	20	7	8	－
60期	2023年 4月～2023年 5月	全2回	32	21	6	5	－
61期	2024年 8月～2024年 9月	全1回	69	45	13	11	－
			1,660	1,038	606		16

※信条学習会は、仙養会の信条（幸せを築きます）実現のため、モラロジーの学問を通じて品性の完成・幸福への基盤づくりを行っています。

仙養会 信条

- 一、私達は医療奉公、医術の向上に努めます

一、私達は誠意と親切、責任を完うします

一、私達は任務を通し、幸せを築きます
- 【私達の大きな使命です】

【日々の目標です】

【私達の念願です】

41. 病院機関誌「ほくせつ」

発行年月	VOL.	掲 載 記 事 内 容	
2024年 8月	131	表紙・裏表紙	表紙「森井副院長 染田認知症看護特定認定看護師 花田社会福祉士 イラスト」 裏表紙「高槻まつり企業ブース出店」「編集後記」
		認知症になっても いきいきと暮らせる 共生社会を目指す	副院長/救急診療科部長/集中治療科部長/循環器科/災害対策室室長 救急体制管理室室長 森井 勲 看護部/認知症看護特定認定看護師 染田 敦子 地域医療連携室/社会福祉士/精神保健福祉士 花田 希
		教えて!やさい先生～	夏の食欲低下について 冷がゆ レシピ
		登録医紹介	◇なかむら整形外科 院長 中村 玄

※「ほくせつ」は、1971 年 10 月に第 1 号を発行。以来病院の機関紙として医療関係や地域住民の方々を対象に、北摂総合病院のニュースや情報・活動状況等を発表し、“患者様の満足と安心”の一助の役割を果たすために発行しています。

42. 奉仕活動

(1) 出前健康教室の実績

地域医療支援病院として、「健康を地域に届ける」ことを目的に、2017 年より地域のコミュニティセンター等に出向き出前健康教室を開催している。

コロナ前は年間延べ 1,000 人以上の地域住民の方に参加頂いたが、コロナを境に開催自体が困難となり、その間は「健康だより」という紙面媒体により健康を届ける方向に転換した。

地域住民からの一定の評価を頂き、コロナ明けも健康だより配布は継続している。

23 年度より本格的に再開し、24 年度は 20 回の開催をおこなった。

年月	回数	講座内容	会場	参加人数
2024年 4月	0			
2024年 5月	2	スキンケア	柳川コミセン	33
		高血圧を予防する生活習慣/減塩のコツ	津之江自治会館	40
2024年 6月	2	梅雨に負けないための体づくり	昭和台自治会館	20
		栄養・食事	白川公民館	18
2024年 7月	2	急性腰痛症「腰痛対策」	寿栄川添コミセン	32
		フットケア	UR三島丘7号棟	18
2024年 8月	3	熱中症/体操	茨木市東コミュニティセンター	50
		食中毒・熱中症予防	庄栄コミセン	25
		認知症	オニクル7階会議室①	70
2024年 9月	0			
2024年10月	4	皮膚の健康のお話	昭和台自治会館	20
		白内障	芝生すこやかテラス	43
		膝関節の痛みの原因とその治療法	クロスパル高槻	134
		お薬の正しい使い方	みしまらくらく亭	24
2024年11月	2	高齢者の食事	柳川コミセン	40
		白内障	とんだすこやかテラス	27
2024年12月	1	かゆみ・乾燥肌・リハビリ体操	とんだすこやかテラス	35
2025年 1月	1	骨粗鬆症	茨木東保健福祉センター	34
2025年 2月	3	かゆみ・乾燥肌・リハビリ体操	芝生すこやかテラス	40
		福祉用具体験会	昭和台自治会館	20
		食品添加物のイロハ	寿栄川添コミセン	80
2025年 3月	1	大腸がん検診の実際	オニクル7階会議室①	60
合計	21			863

(2) 献血奉仕活動

年 月	会 場	時 間	受付人数	採血人数	年 度	奉仕参加回数	団体献血
2024年4月	松坂屋高槻店	コロナ禍により 中止	—	—	1985年度 ～ 2013年度	318	55
5月	北摂総合病院(団体献血)		—	—			
5月	松坂屋高槻店		—	—			
6月	松坂屋高槻店		—	—	2014年度	12	2
7月	松坂屋高槻店		—	—	2015年度	12	2
8月	松坂屋高槻店		—	—	2016年度	12	2
9月	松坂屋高槻店		—	—	2017年度	12	2
10月	松坂屋高槻店		—	—	2018年度	12	2
11月	北摂総合病院(団体献血)	10：00～16：00	85	73	2019年度	9	2
11月	松坂屋高槻店	コロナ禍により 中止	—	—	2020年度	0	0
12月	松坂屋高槻店		—	—	2021年度	0	0
2025年1月	松坂屋高槻店		—	—	2022年度	0	0
2月	松坂屋高槻店		—	—	2023年度	0	1
3月	松坂屋高槻店		—	—	2024年度	0	1
計			85	73	計	387	69

※奉仕参加：開設 20 周年の記念行事として 1985 年 8 月 16 日より参加。各会場で献血の呼びかけをしています。

※団体献血：当院が会場となり、職員及び地域の方々が献血しています。

※ 2020 年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しております。

(3)「小さな親切」運動

①使用済み切手

年 月	送付枚数	年 度	送付枚数
2024年 4月	—	1995年 ～ 2015年	310,075
5月	—		
6月	2,616		
7月	—	2016年	10,681
8月	2,034	2017年	8,570
9月	—	2018年	6,988
10月	—	2019年	3,960
11月	1,115	2020年	5,850
12月	—	2021年	5,142
2025年 1月	1,784	2022年	5,807
2月	—	2023年	3,133
3月	—	2024年	7,549
計	7,549	計	367,755

②プリペイドカード

年 月	送付枚数	年 度	送付枚数
2024年 4月	—	2000年 ～ 2015年	10,690
5月	—		
6月	—		
7月	—	2016年	164
8月	—	2017年	73
9月	—	2018年	196
10月	—	2019年	67
11月	—	2020年	26
12月	—	2021年	15
2025年 1月	—	2022年	0
2月	—	2023年	3
3月	—	2024年	0
計	3	計	11,234

※使用済み切手：1996年1月より毎月「小さな親切」運動大阪本部からJOCSIに届けられ、東南アジアの人々の健康を守るための事業資金として役立てられ、2015年4月からは公益社団法人「小さな親切」運動本部(東京)から、ジョイセフ及び日本キリスト教海外医療協力会に寄贈され役立てられています。

※プリペイドカード：2000年7月より毎月東京の日本国際ボランティアセンターへ送付し、カンボジアの農村開発・技術学校運営などの支援活動資金として、又、2007年2月からは、「誕生日ありがとう運動」本部へ送付し、知力ハンディキャップの問題の社会啓発資金として役立てられました。2015年4月より公益社団法人「小さな親切」運動本部(東京)から緑の地球防衛基金へ、2016年10月からは日本国際ボランティアセンターへ寄贈され役立てられています。現在は、扱っておりません。

43. 院内コンサート

入院中の患者様とご家族、外来の患者様、又地域の皆様を対象に音楽を通して、心和む癒しと安らぎのひとときを過ごしていただくことを目的に、病院1F待合ロビーを開放し病院新築移転の年、平成18年11月よりスタート。

毎回、職員を含め100人前後の方々が参加され、楽しいイベントとなっています。

※令和2年より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しています。

開催実績

回	日 時	テーマ	内 容	場 所
1	平成18年11月19日(日) PM 2:00～3:00	心に癒しと安らぎを ～弦楽四重奏を通して～	弦楽四重奏	1F待合ロビー
2	平成19年3月21日(祝) PM 3:00～4:00	室内音楽をあなたに……	弦楽四重奏 + フルート	1F待合ロビー
3	平成19年11月18日(日) PM 1:30～2:30	午後のひとときを 弦楽四重奏とともに	弦楽四重奏	1F待合ロビー
4	平成20年4月20日(日) PM 1:30～2:30	マリンバとともに	マリンバアンサンブル	1F待合ロビー
5	平成20年11月30日(日) PM 1:30～2:30	弦楽四重奏と共に ～心の安らぎをあなたに～	弦楽四重奏	1F待合ロビー
6	平成21年4月26日(日) PM 1:30～2:30	春	フルート三重奏	1F待合ロビー
7	平成22年9月12日(日) PM 2:00～3:00	和楽器が奏でる癒しの音色	お琴・尺八の合奏及び独奏	1F待合ロビー
8	平成23年4月24日(日) PM 1:30～2:30	沖縄民謡で楽しみましょう	沖縄唄三線 & ギター	1F待合ロビー
9	平成23年10月23日(日) PM 1:30～2:30	秋色の調べ	ヘルマンハーブ演奏 (ドイツ生まれの弦楽器)	1F待合ロビー
10	平成24年5月27日(日) PM 2:00～2:50	中国琵琶とのふれあい	中国琵琶 独奏	1F待合ロビー
11	平成24年11月4日(日) PM 1:30～2:20	バイオリンとビオラのミニコンサート	バイオリン・ビオラ デュオ	1F待合ロビー
12	平成25年5月12日(日) PM 1:30～2:20	笑い与健康	落語・漫才・健康体操 (理学療法士兼社会人落語家)	1F待合ロビー
13	平成25年11月24日(日) PM 1:30～2:20	憩いと癒しのひとときを	バイオリン・オカリナ サロンコンサート	1F待合ロビー
14	平成26年4月20日(日) PM 1:30～2:30	癒しと安らぎのひとときを	ジャズコンサート (楽々クラブ)	1F待合ロビー
15	平成26年11月30日(日) PM 1:30～2:20	「しの笛」の奏でる 懐かしく心に染る音色	しの笛演奏 (大阪しの笛協会)	1F待合ロビー
16	平成28年3月27日(日) PM 1:30～2:10	楽しいオカリナ演奏 みんなで歌おう!	オカリナコンサート (SA茨木オカリナサークル“風”)	1F待合ロビー

回	日 時	テーマ	内 容	場 所
17	平成 28 年 11 月 6 日 (日) PM 1:30 ~ 2:10	癒しと安らぎのひとときを!	マンドリンコンサート (千里マンドリンアンサンブル)	1F待合ロビー
18	令和 1 年 11 月 3 日 (日) PM 1:30 ~ 2:10	オカリナコンサート	オカリナコンサート (かざぐるま)	1F待合ロビー
19	令和 2 年度	コロナ禍により中止		
20	令和 3 年度	コロナ禍により中止		
21	令和 4 年度	コロナ禍により中止		
22	令和 5 年度	コロナ禍により中止		
23	令和 6 年度	コロナ禍により中止		

44. ホームページ閲覧件数

URL <https://www.hokusetsu-hp.jp/index.html>

1999 年 開設
2006 年 8 月 メインページリニューアル
2007 年 4 月 メインページリニューアル
2008 年 4 月 研修医専用サイト開設
2008 年 10 月 看護部専用サイト開設
2009 年 3 月 看護部専用サイトリニューアル
2010 年 2 月 看護部専用サイトリニューアル
2012 年 4 月 メインページリニューアル
2012 年 4 月 研修医専用サイトリニューアル
2012 年 12 月 研修医・看護部公式 Facebook 開設
2014 年 5 月 産科公式 Facebook 開設
2019 年 2 月 メインページ・看護部サイトリニューアル
(ナビゲーションメニュー、情報バリアフリー対応、マルチデバイス対応)
2020 年 4 月 病院長挨拶ページ開設
2023 年 3 月 外来化学療法センターサイト開設
2024 年 11 月 看護部専用サイトリニューアル

当院ホームページ閲覧件数

2024 年度 105,240 PV (前年より、7,701 減)

【看護部専用サイト】



信頼感を築く笑顔(EGAO)を届ける

コンセプト

常に「えがお」の看護師を心掛け、安全・安心な看護の質向上を目指します

E	G	A	O
Experience	Growing	Activity	Observation
豊かな経験	育てる人材育成	自ら考えて行動する	確かな観察力

看護の質を向上させるためにはこの4つを充実させる必要があると感じています。
そして、看護師一人ひとりが、責任感と自主性を養い、自立した専門職をめざしています



新人看護師と先輩看護師の指導場面



インタビュー場面

CHARM

3つの魅力

01 充実の教育プログラム

目標管理と連動した北摂ラダーを実施しています。毎年評価することで、自分の成長や課題を明確にできます。

02 キャリアをとことん応援！

院外研修や学会参加は、年1回は公費で受講しています。（推薦必要）
認定看護師や専門看護師の資格取得への支援もあります。（条件あり）
夢の実現をサポートする体制があります。

03 多様な働き方、ワークライフバランス重視へ

勤務形態は個人の事情や相談に対して、柔軟に対応しています。
京都と大阪の間に立地されておりプライベートの充実も図れます。



看護部長あいさつ

この度、令和7年4月1日付けで看護部長を拝命しました。

北摂総合病院は総合診療機能を有する地域の中核病院として、多くの患者の受け入れを行い、迅速かつ適切な医療や看護の提供に大きな役割を担っています。

病院理念を念頭に置き、「患者さんに寄り添い、生きる力を育む看護」を実践するために、医療スタッフと連携してチーム医療に取り組みながら、一人ひとりの患者さんの想いを尊重しつつその人らしさを大切に看護の提供に努めてまいります。

また、急性期治療を終えた患者さんが、住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように訪問看護ステーション・診療所・介護施設等との連携を重視してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



【病院長挨拶ページ更新】

病院長挨拶

この度、令和7年4月1日付で第5代病院長に就任いたしました、植田直樹でございます。歴史と伝統のある当院の舵取りを担うこととなり、身が引き締まる思いです。

当院の使命は、最高の医療を提供し、地域の皆様に安心と満足を与えることです。その使命を実現するために、患者さんにも職員にも、常に「ベリーベスト（Very Best）」な病院を目指し続けております。

これまでの病院長が築き上げてこられた北摂総合病院の伝統を「継承」しつつ、現在病院が抱えている課題を一つひとつ解決し、時代の変化に即した「変革」を進めてまいります。この継承と変革を通じて、さらに質の高い医療を実現し、地域医療支援病院としての責任を果たすとともに、「VERY BEST HOSPITAL」へと近づけるよう尽力してまいります。

皆様のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2025年4月1日
病院長 植田直樹



編集・発行
2025 年 9 月

社会医療法人 仙養会 北摂総合病院

〒569-8585 高槻市北柳川町 6-24

TEL 072-696-2121

FAX 072-690-3061

編集：黒岩・金澤（医療情報課）
発行責任者：坂部 博志（事務局長）
